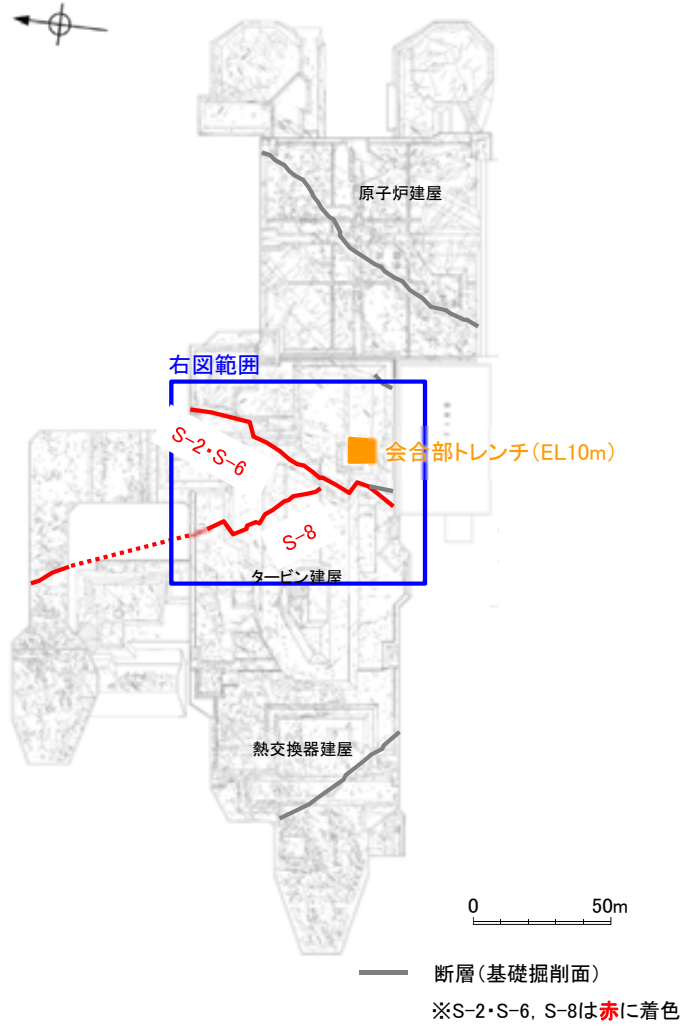
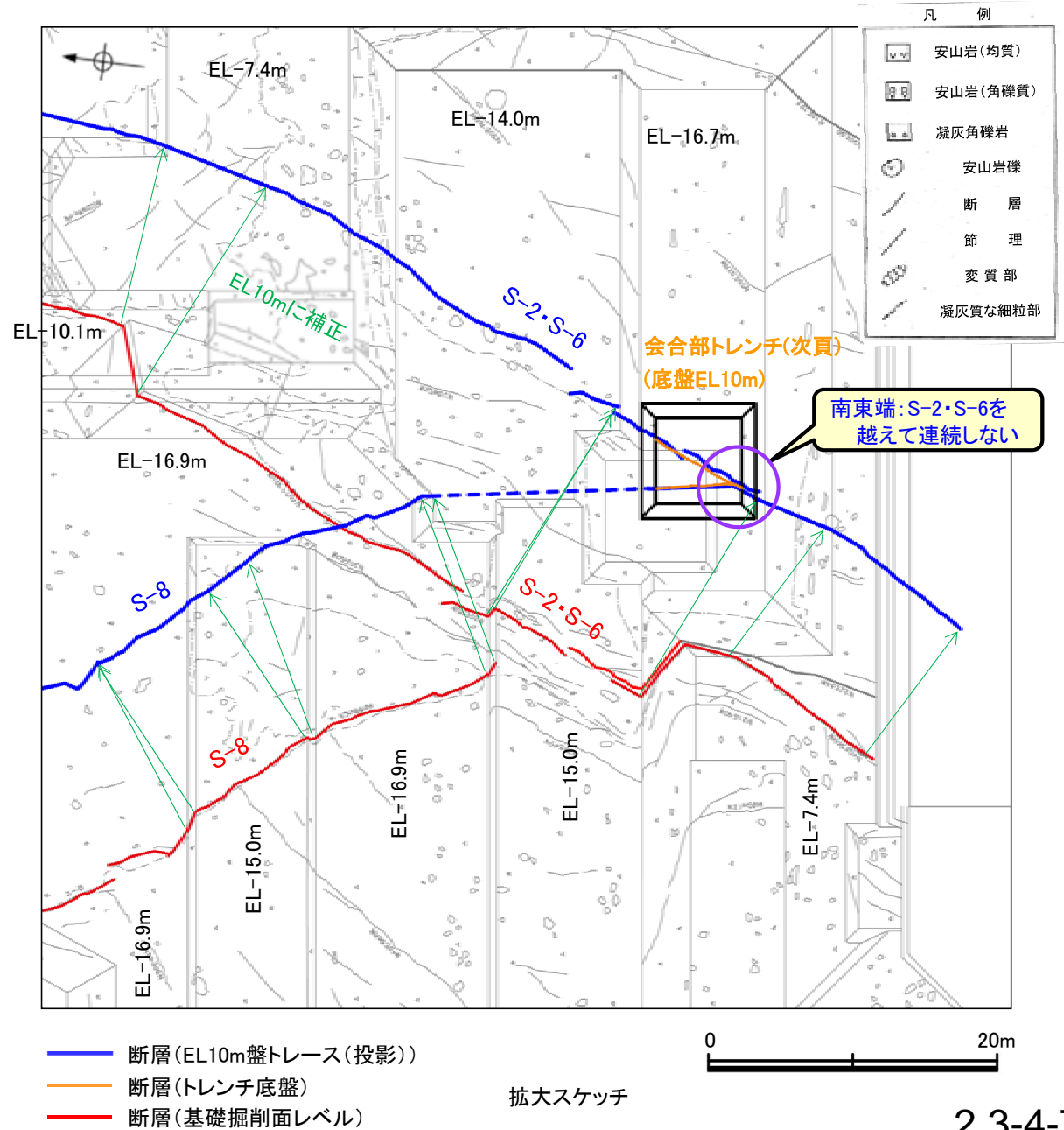


■S-8南東端の評価を以下に示す。

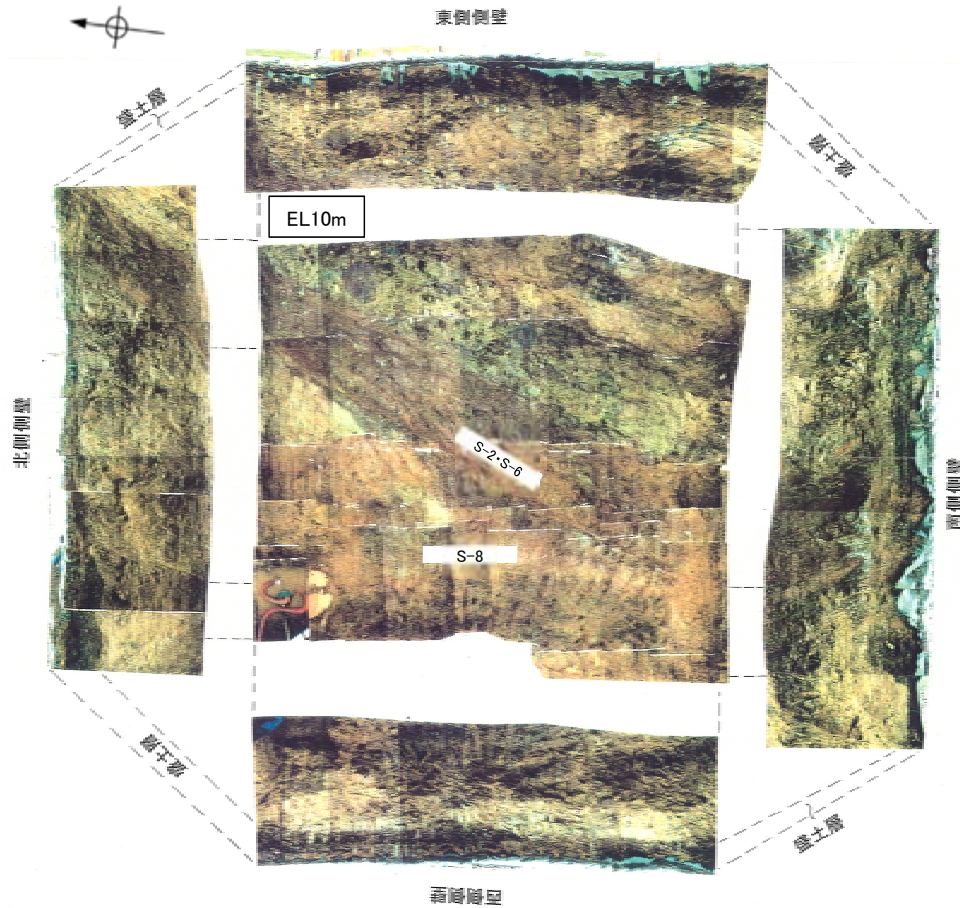
**【S-8南東端の評価】**  
2号機基礎掘削面及び会合部トレンチにおいて、S-8はS-2・S-6を越えて連続しないことを確認。



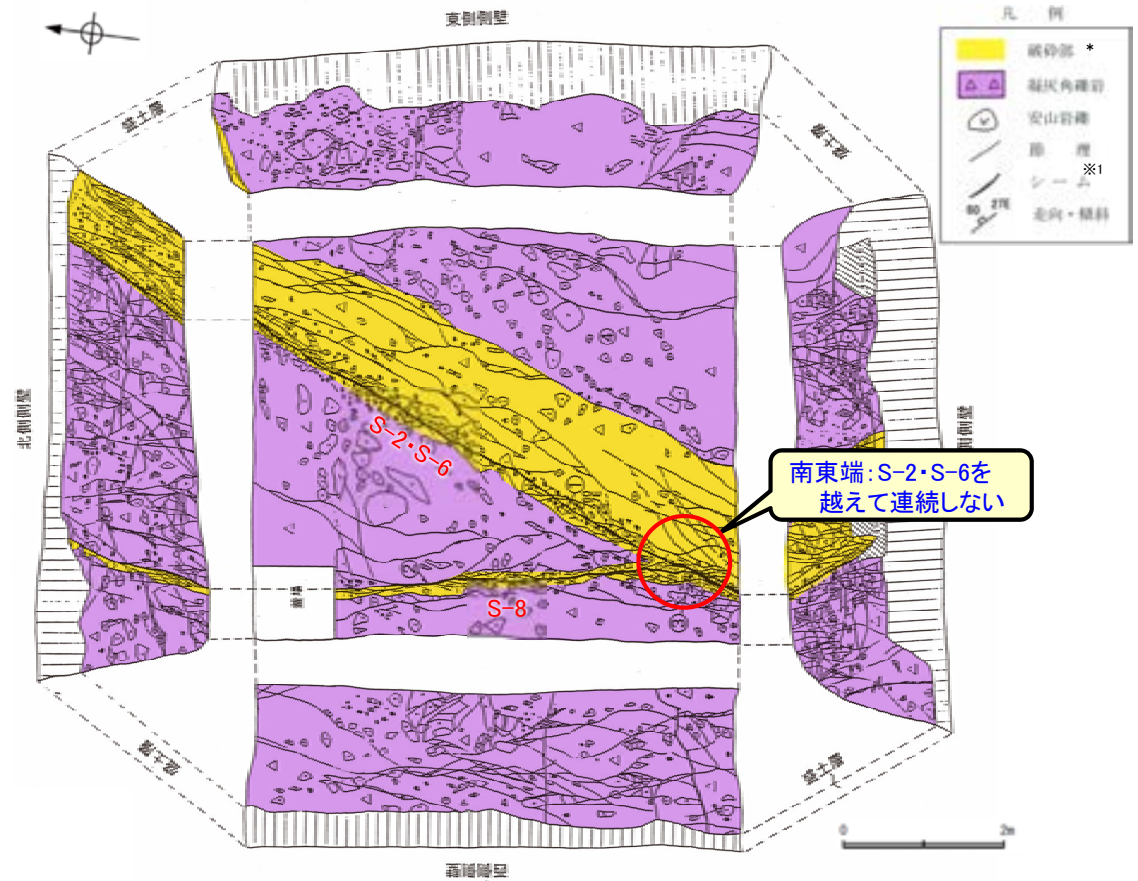
2号機基礎掘削面



○会合部トレンチの調査結果を以下に示す。



会合部トレンチ写真(展開図)



会合部トレンチスケッチ(展開図)  
S-2-S-6とS-8の会合部の状況

※1 スケッチ時の記載用語。  
「粘土状破砕部」に対応する。

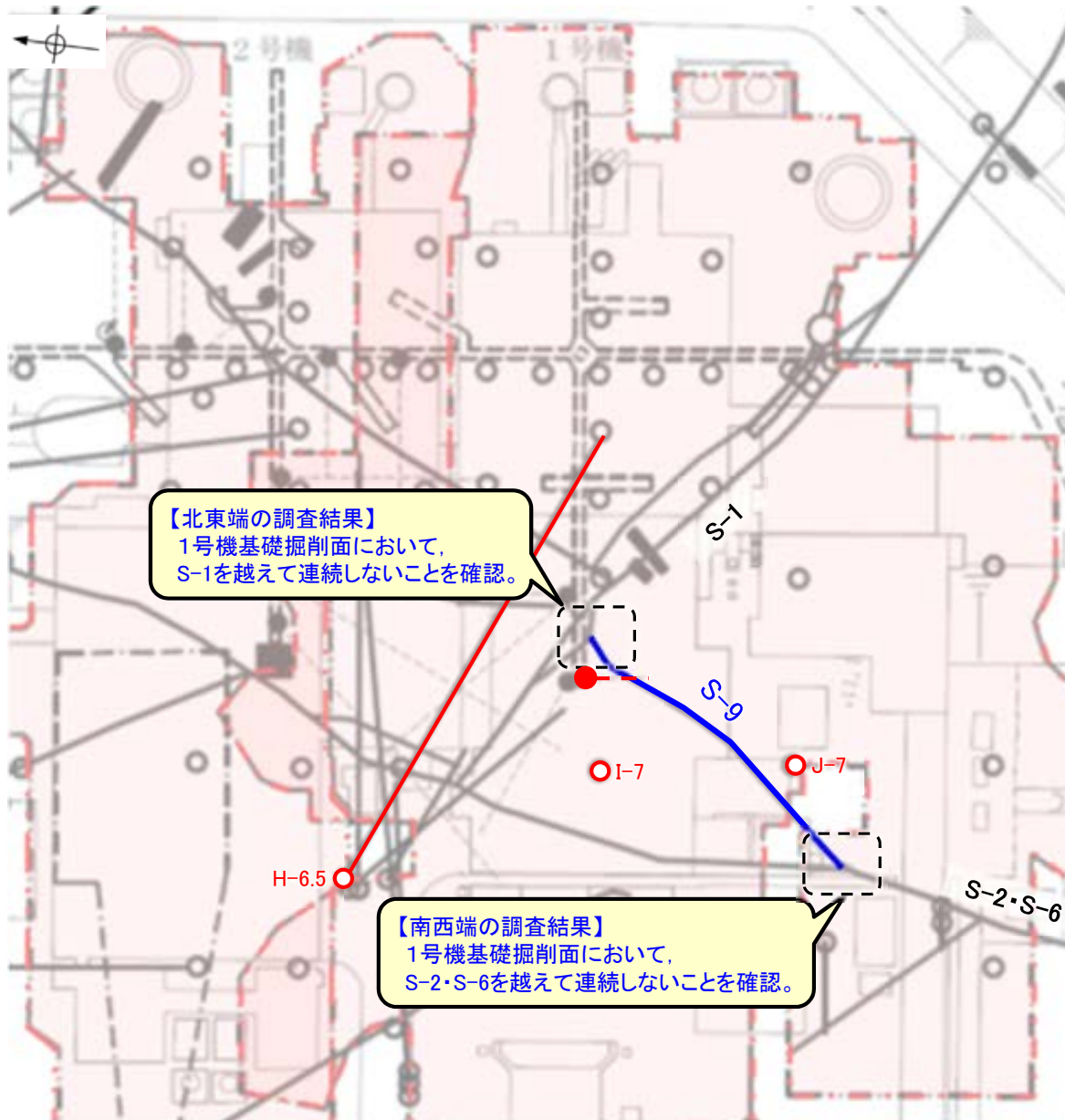
S-8は、S-2-S-6を越えて連続しない。

---

## (7) S-9端部の調査結果

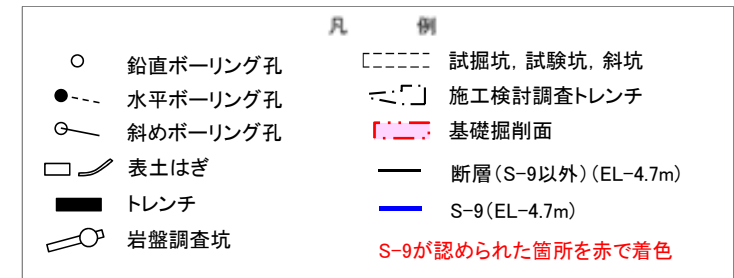
# S-9端部の調査結果 一概要

■S-9端部の調査結果の概要を以下に示す。



**【北東端の調査結果】**  
1号機基礎掘削面において、  
S-1を越えて連続しないことを確認。

**【南西端の調査結果】**  
1号機基礎掘削面において、  
S-2・S-6を越えて連続しないことを確認。

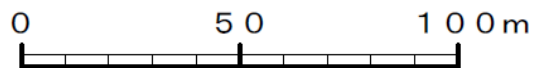


S-9端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北東端	1号機基礎掘削面	北東端の止め
南西端	1号機基礎掘削面	南西端の止め

	延長	走向/傾斜
S-9	85m	N35°E/50°NW*

\* 走向は一般走向  
傾斜は試掘坑の値

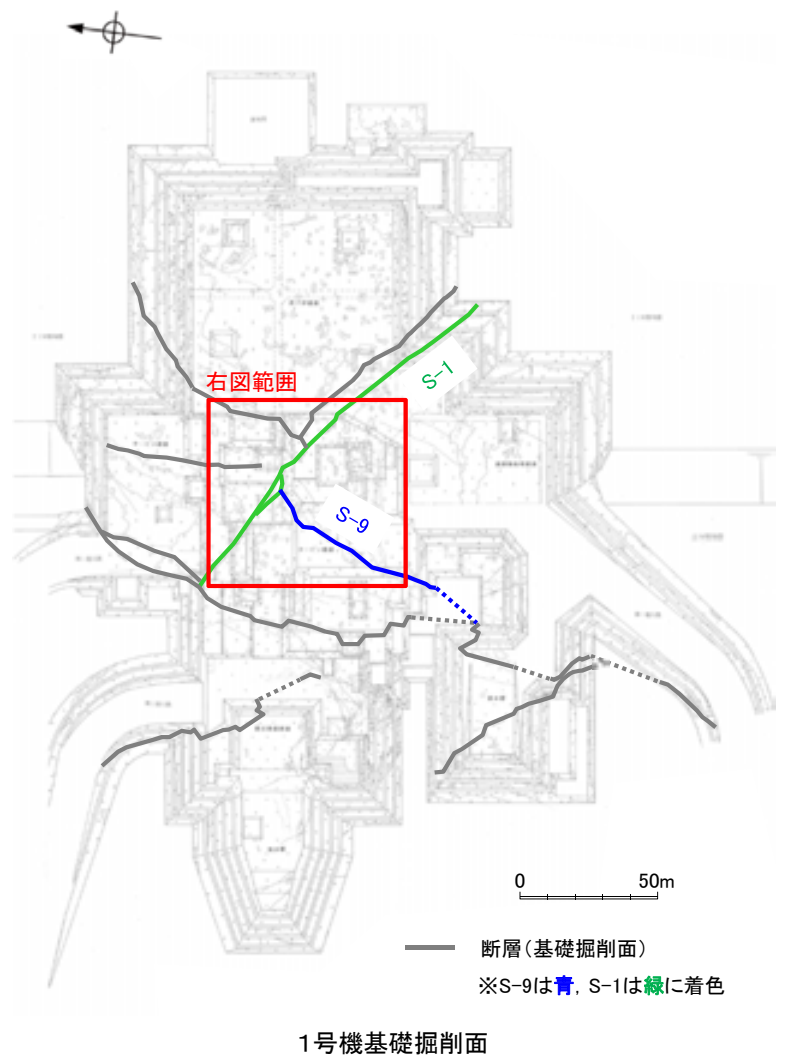


調査位置図

# S-9端部の評価 —北東端: 1号機基礎掘削面—

■S-9北東端の評価を以下に示す。

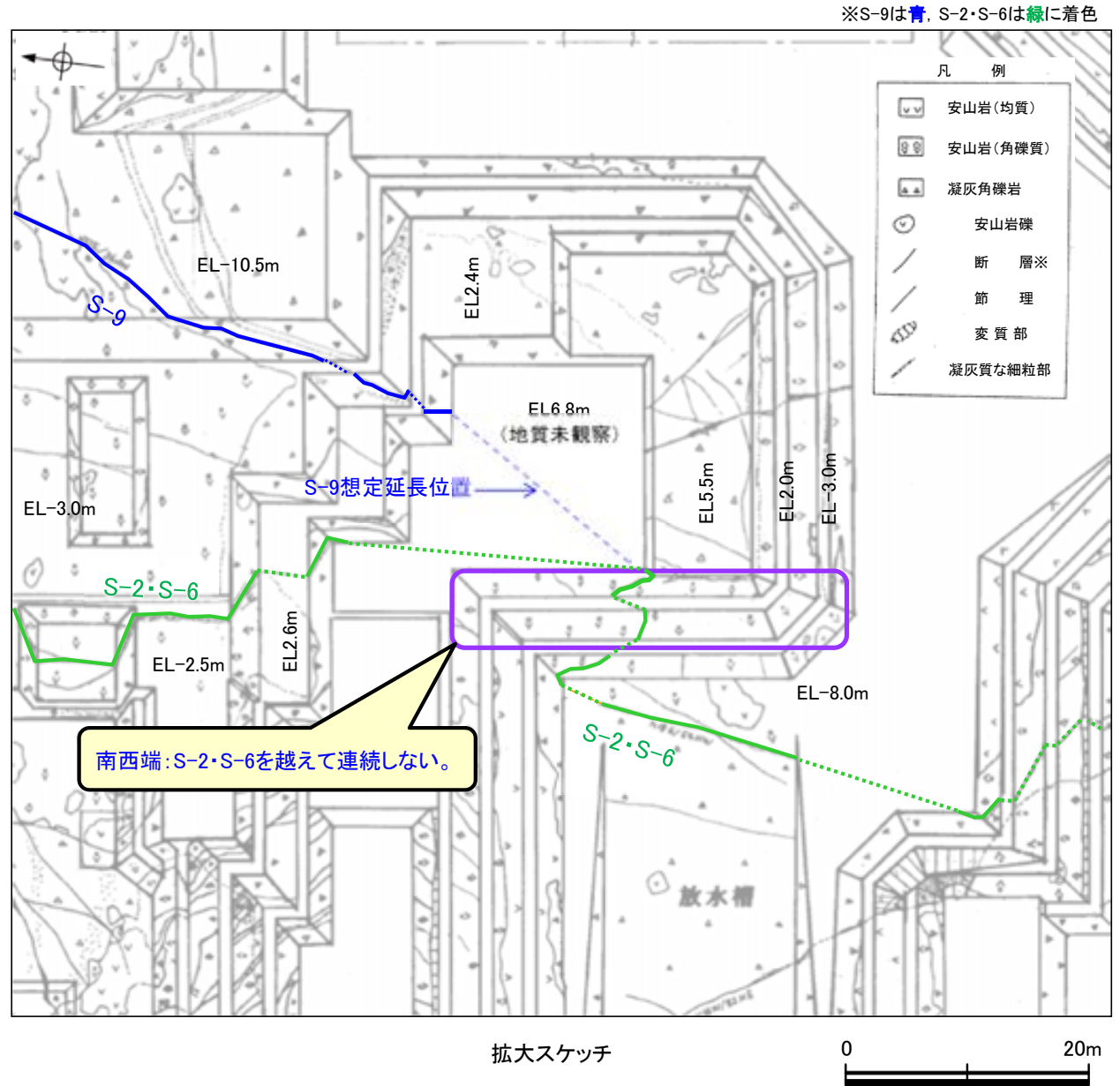
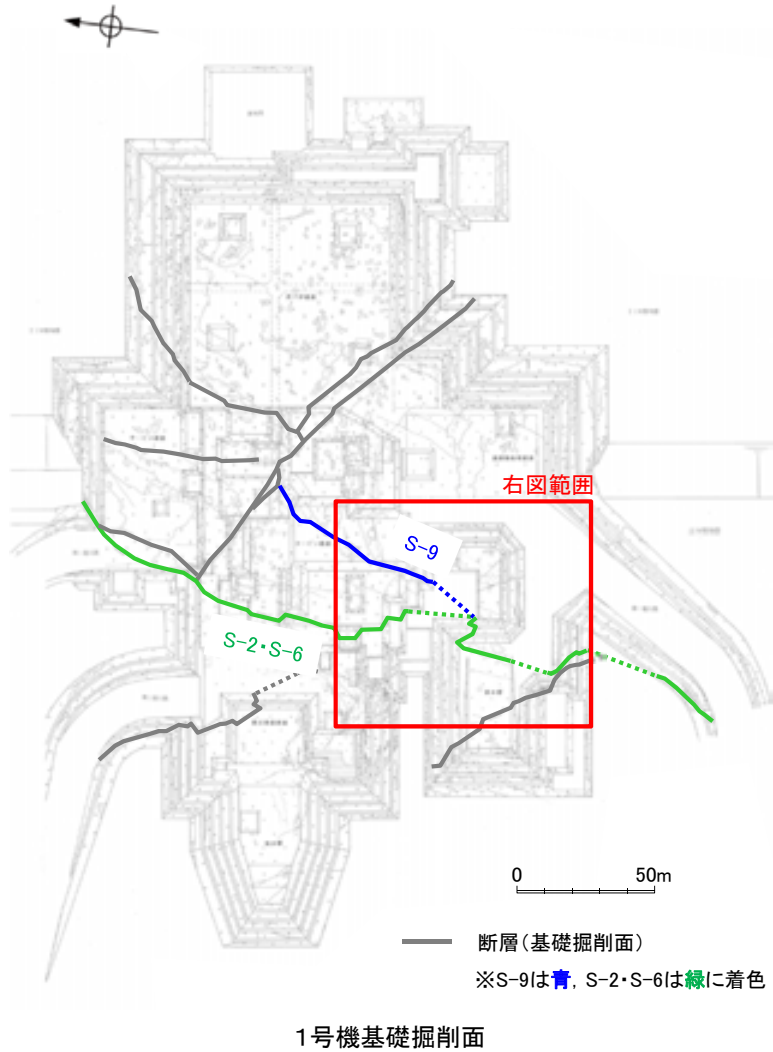
**【S-9北東端の評価】**  
1号機基礎掘削面において、S-9はS-1を越えて連続しないことを確認。



■S-9南西端の評価を以下に示す。

**【S-9南西端の評価】**

1号機基礎掘削面において、S-9はS-2・S-6を越えて連続しないことを確認。

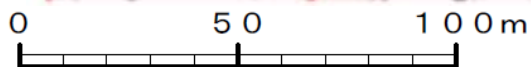
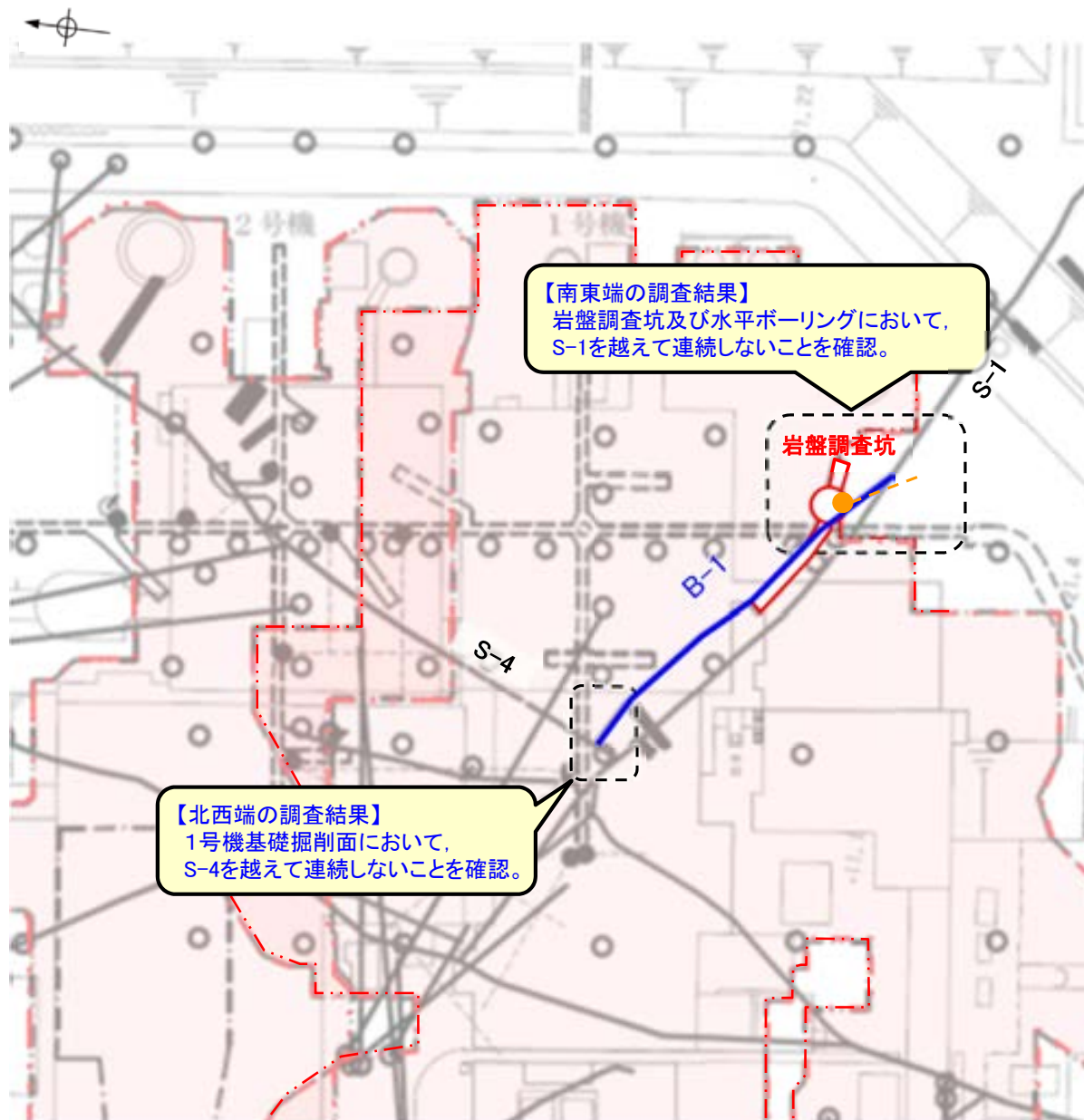


---

## (8) B-1端部の調査結果

# B-1端部の調査結果 一概要

■B-1端部の調査結果の概要を以下に示す。



調査位置図

凡 例

- 鉛直ボーリング孔
- 水平ボーリング孔
- 斜めボーリング孔
- 表土はぎ
- トレンチ
- 🔧 岩盤調査坑
- [- - -] 試掘坑, 試験坑, 斜坑
- [ ] 施工検討調査トレンチ
- [ ] 基礎掘削面
- 断層(B-1以外)(EL-4.7m)
- B-1(EL-4.7m)

B-1が認められた箇所を赤で着色  
B-1端部においてB-1が認められない箇所を橙で着色

B-1端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北西端	1号機基礎掘削面	北西端の止め
南東端	岩盤調査坑及び水平ボーリング	南東端の止め

	延長	走向/傾斜
B-1	100m	N49° W / 86° NE*

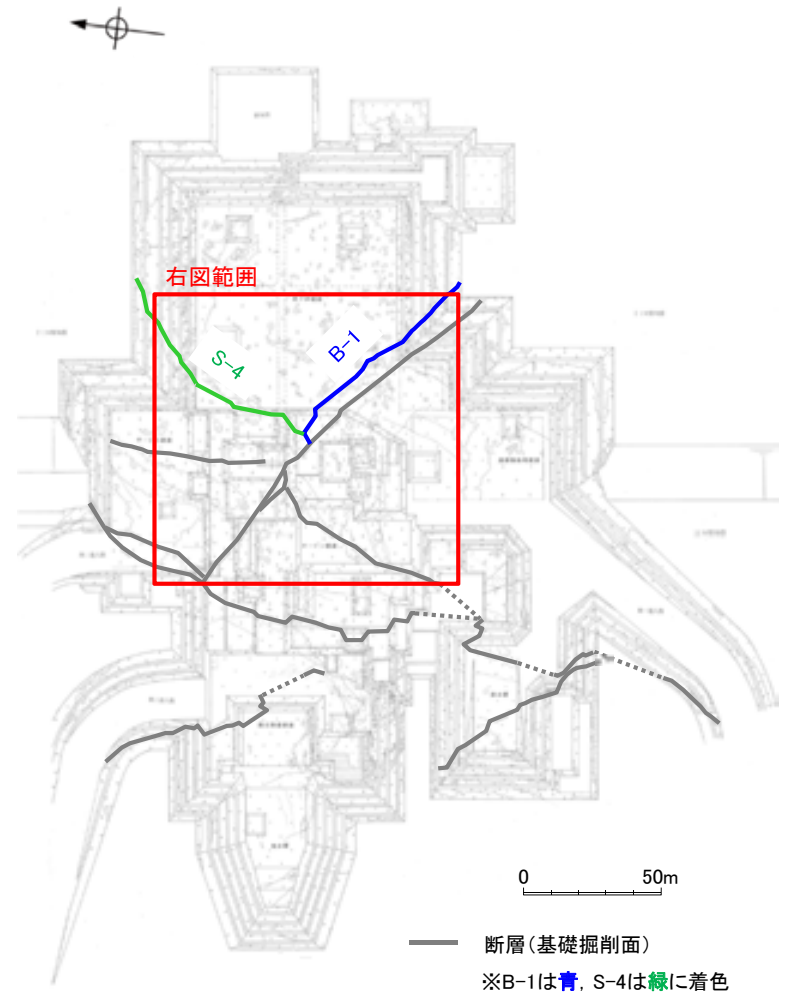
\* 走向は一般走向  
傾斜は基礎掘削面の値



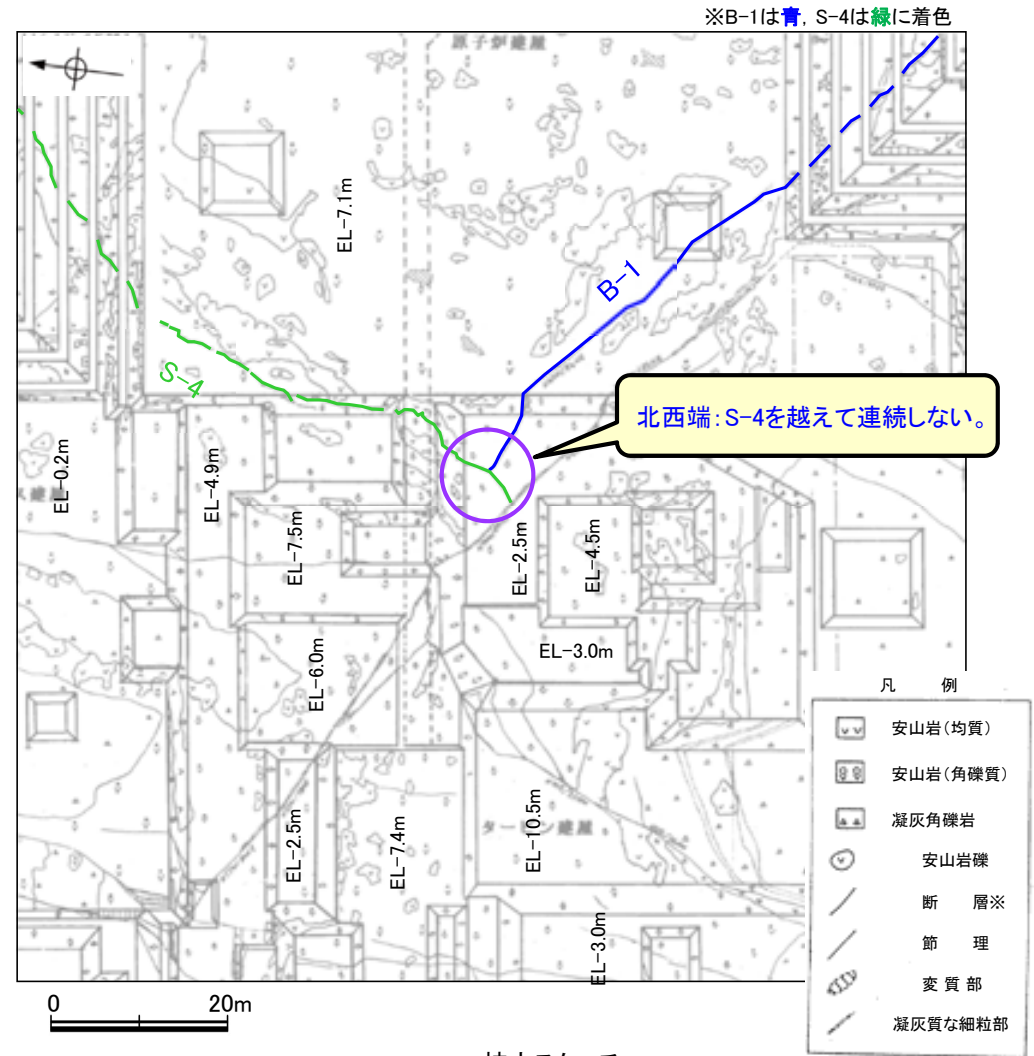
# B-1端部の評価 —北西端:1号機基礎掘削面—

■B-1北西端の評価を以下に示す。

**【B-1北西端の評価】**  
1号機基礎掘削面において、B-1はS-4を越えて連続しないことを確認。



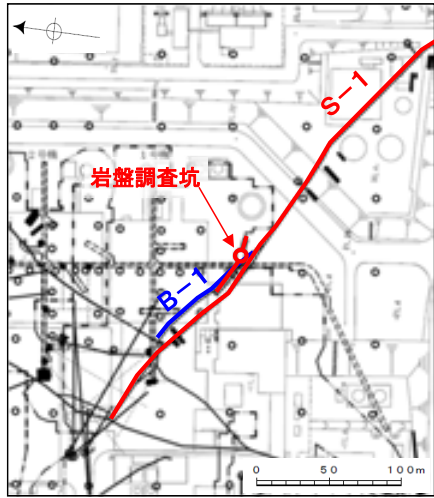
1号機基礎掘削面



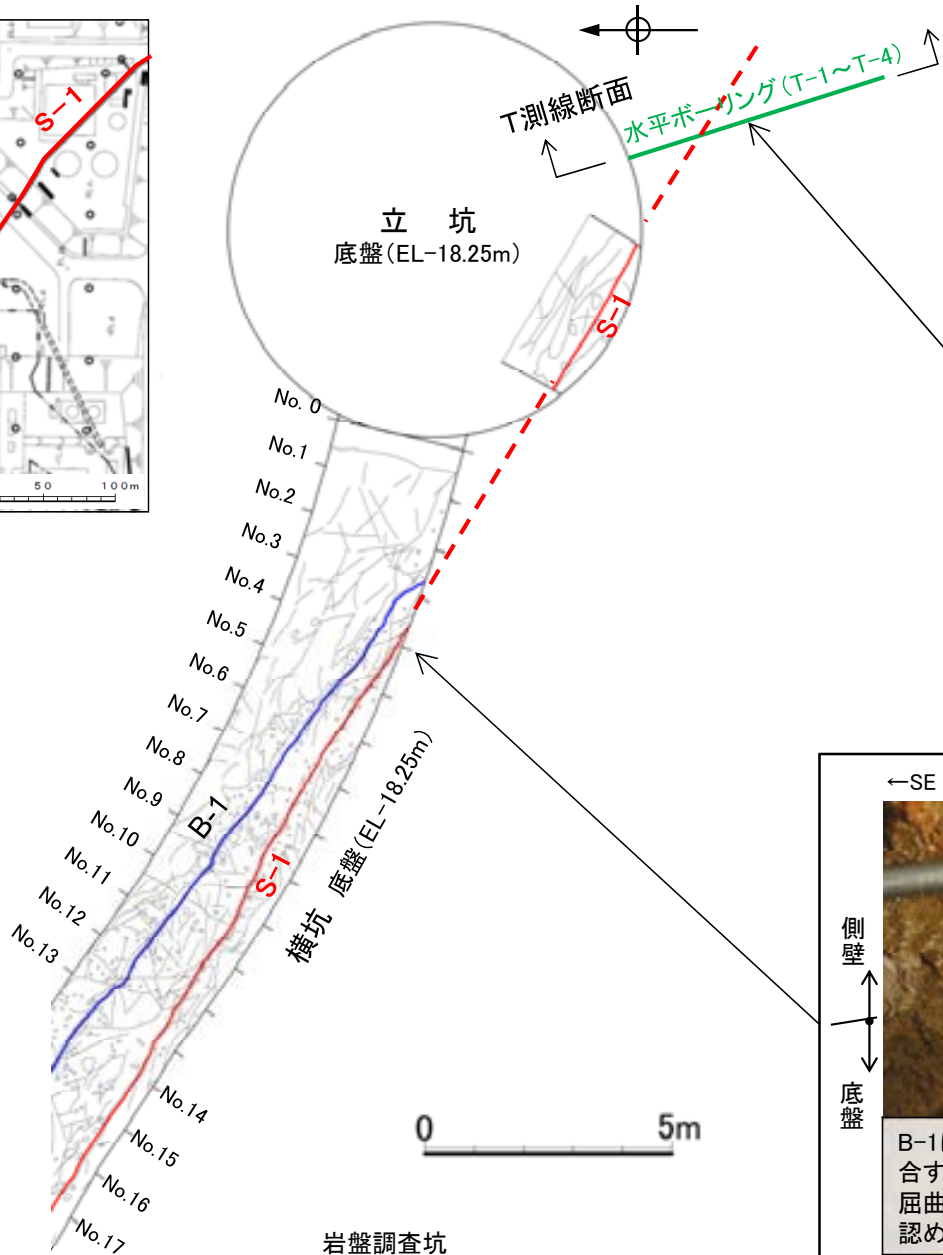
拡大スケッチ

■B-1南東端の評価を以下に示す。

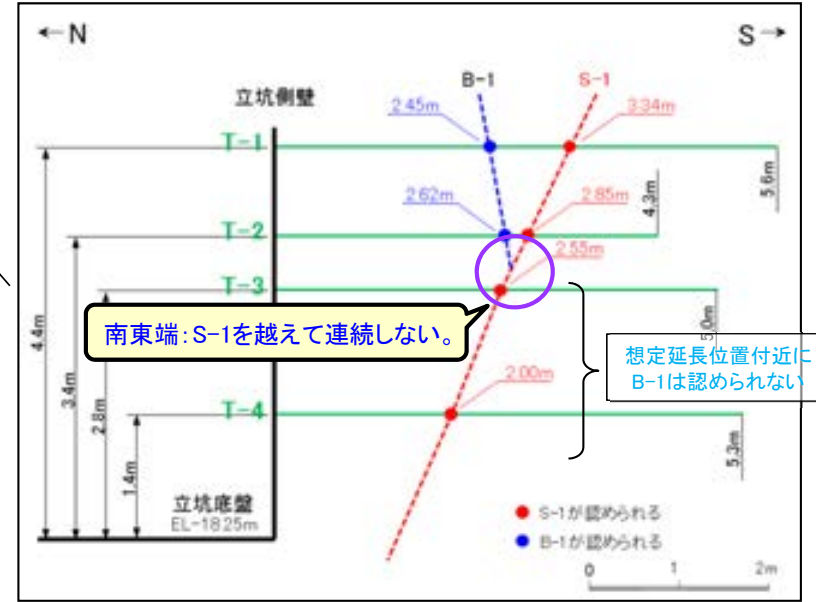
**【B-1南東端の評価】**  
岩盤調査坑及び水平ボーリングにおいて、B-1はS-1を越えて連続しないことを確認。



位置図



岩盤調査坑  
ボーリング調査位置図



南東端: S-1を越えて連続しない。  
想定延長位置付近に B-1は認められない

T測線水平ボーリング 断面図 (H:V=1:1)  
(各孔のボーリングコア写真を次頁、次々頁に示す)

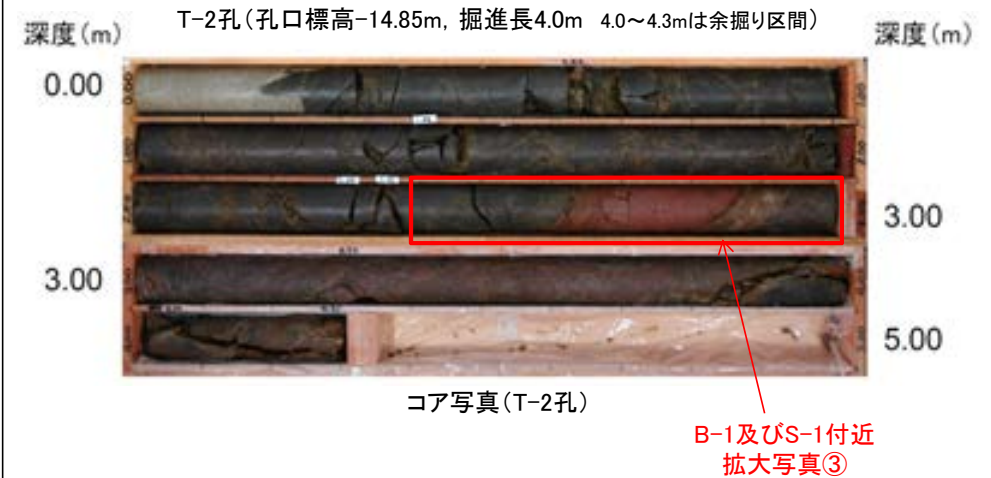
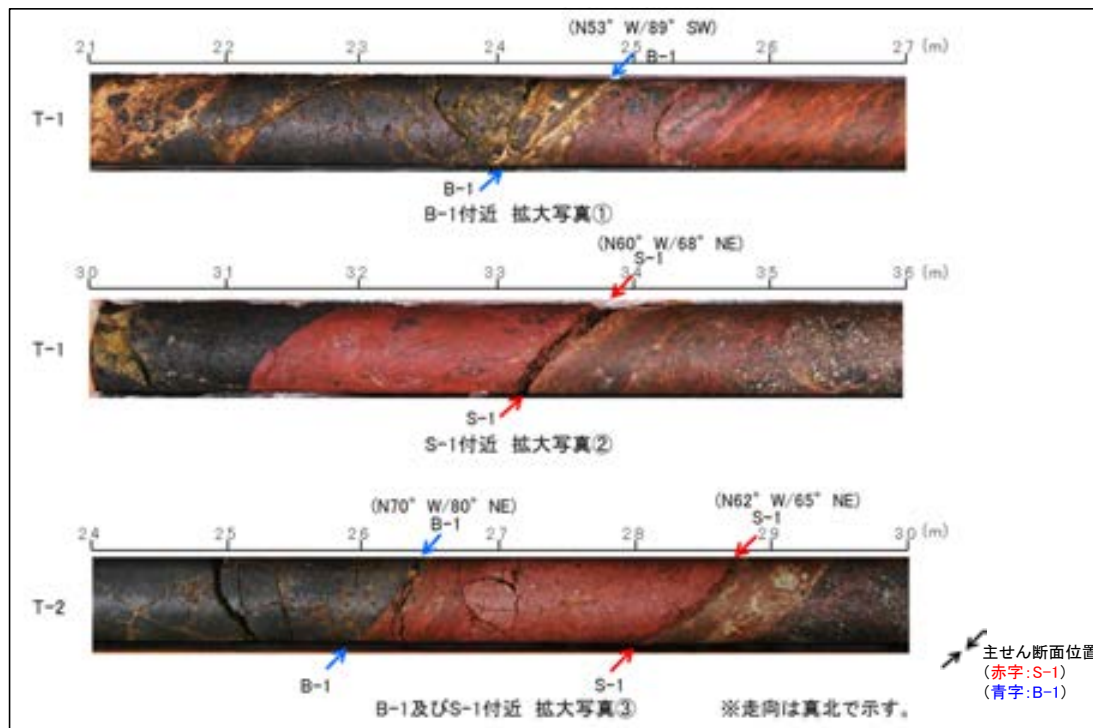
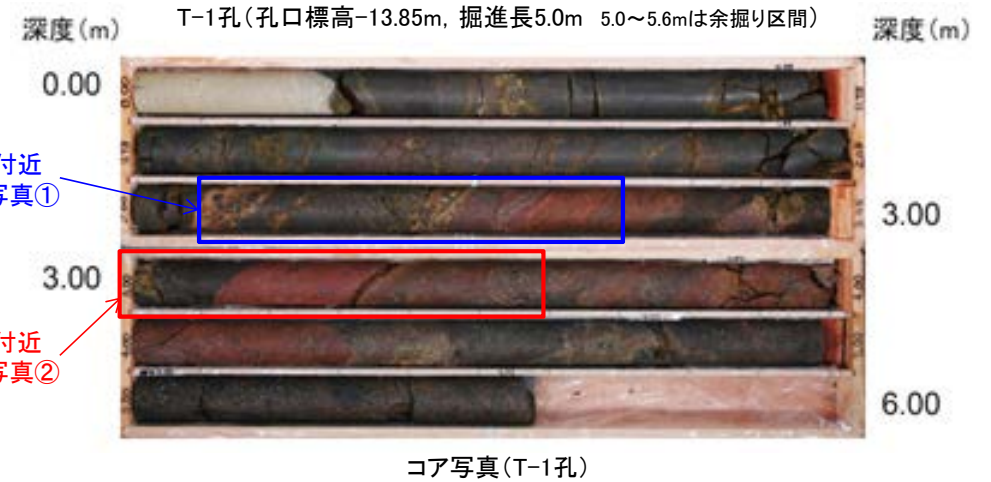
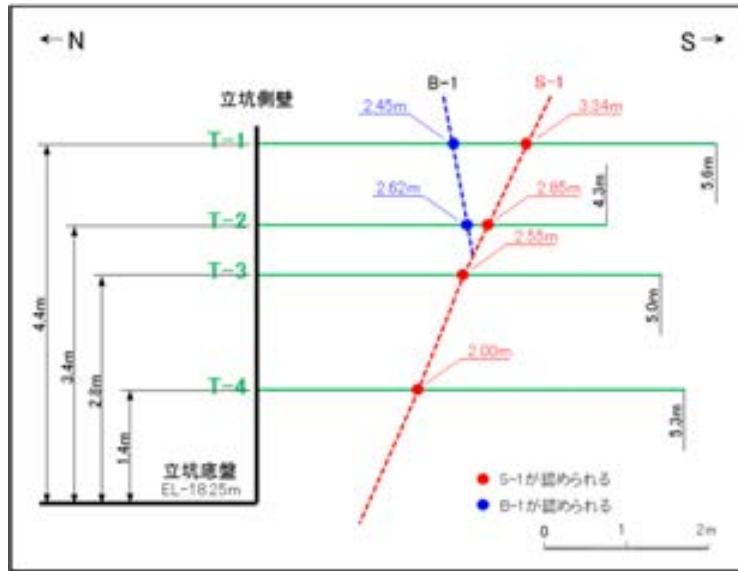


B-1はS-1方向に  
会合するように大きく  
屈曲している部分が  
認められる。

No.3付近底盤写真

水平ボーリング(T-1孔, T-2孔) コア写真

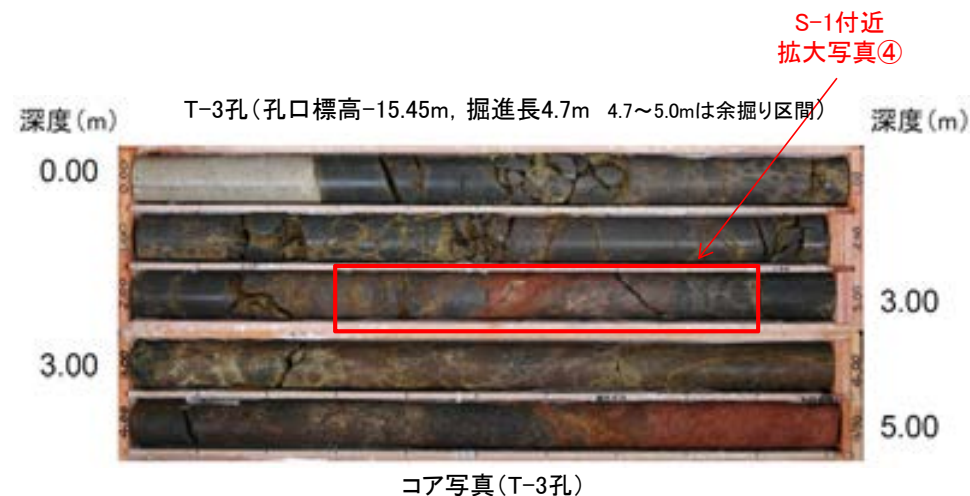
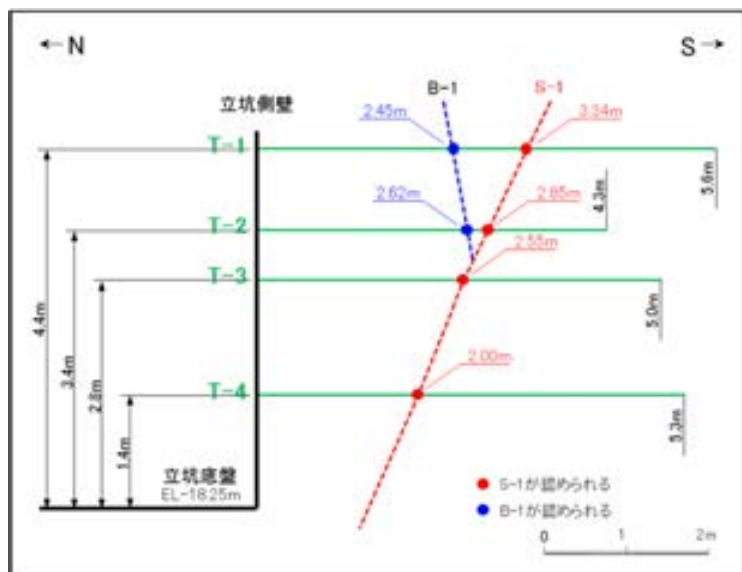
柱状図はデータ集1



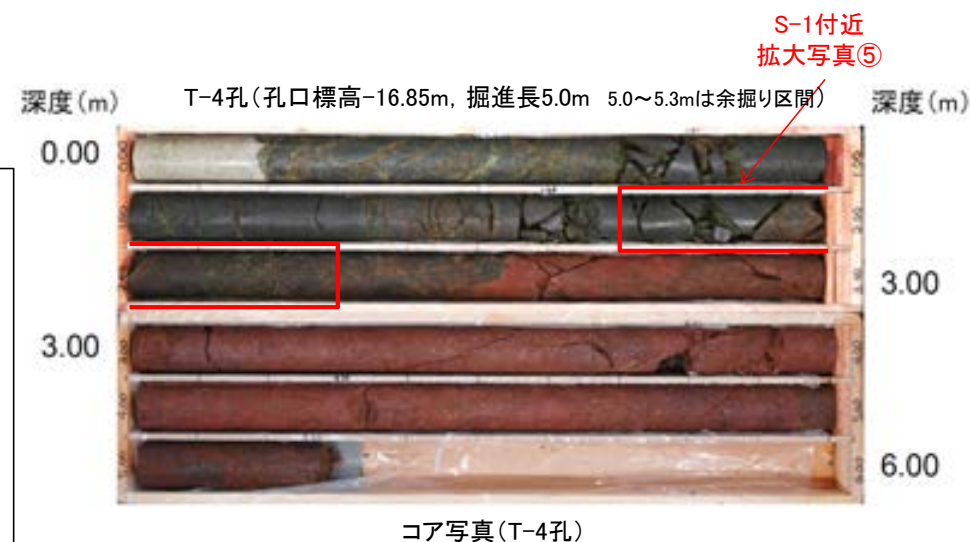
T-1, T-2孔においてS-1とその上盤側にB-1が認められる。

水平ボーリング(T-3孔, T-4孔) コア写真

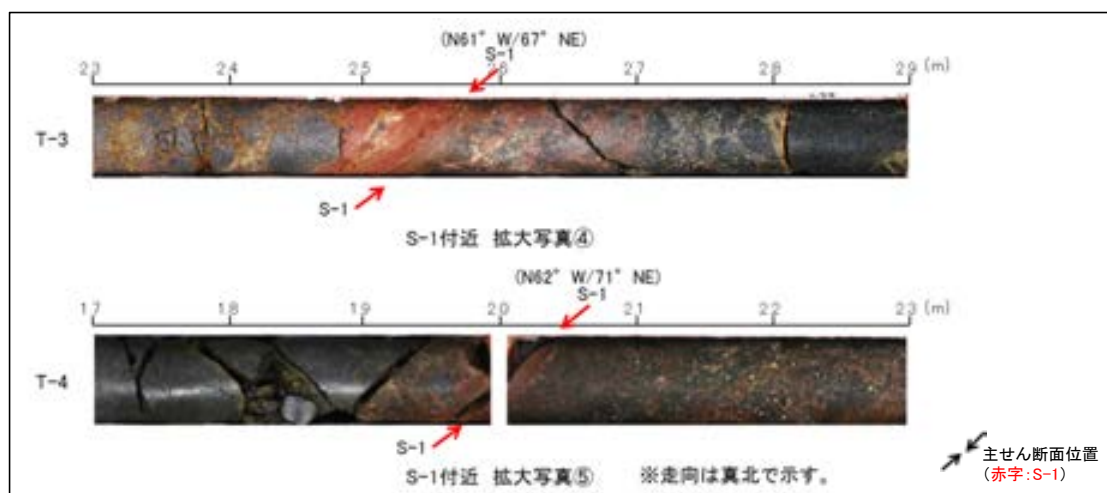
柱状図はデータ集1



コア写真(T-3孔)



コア写真(T-4孔)



T-3, T-4孔においてS-1が認められるものの、その下盤側にB-1は認められない。

---

## (9) B-2端部の調査結果

# B-2端部の調査結果 ー概要ー

■B-2端部の調査結果の概要を以下に示す。



凡 例

○	鉛直ボーリング孔	[-----]	試掘坑, 試験坑, 斜坑
●	水平ボーリング孔	┌─┐└─┘	施工検討調査トレンチ
○	斜めボーリング孔	[-----]	基礎掘削面
□	表土はぎ	—	断層(B-2以外)(EL-4.7m)
▬	トレンチ	—	B-2(EL-4.7m)
○	岩盤調査坑	—	B-2が認められた箇所を赤で着色

B-2端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	2号機基礎掘削面	北端の止め
南端	1号機基礎掘削面	南端の止め

	延長	走向/傾斜
B-2	50m	N12° E / 60° NW*

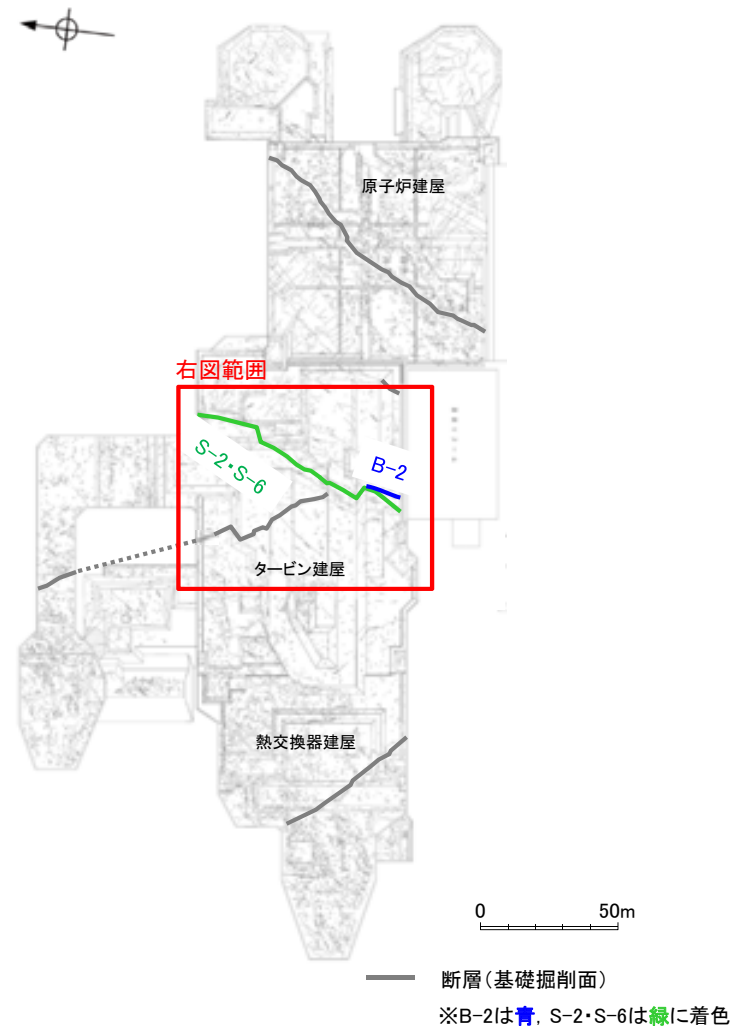
\* 走向は一般走向  
傾斜は基礎掘削面の値

# B-2端部の評価 —北端:2号機基礎掘削面—

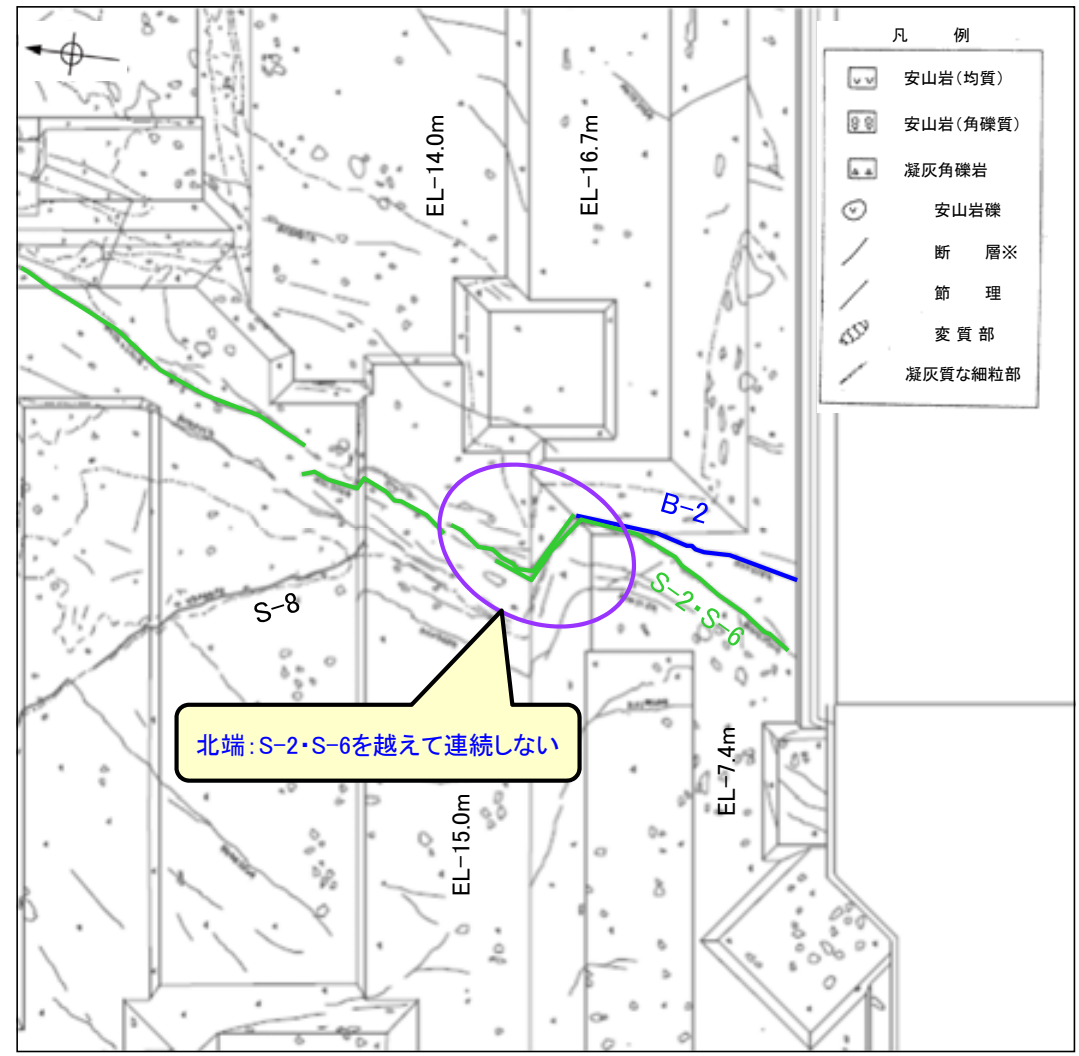
■B-2北端の調査結果を以下に示す。

**【B-2北端の評価】**  
2号機基礎掘削面において、B-2はS-2・S-6を越えて連続しないことを確認。

※B-2は青、S-2・S-6は緑に着色



2号機基礎掘削面

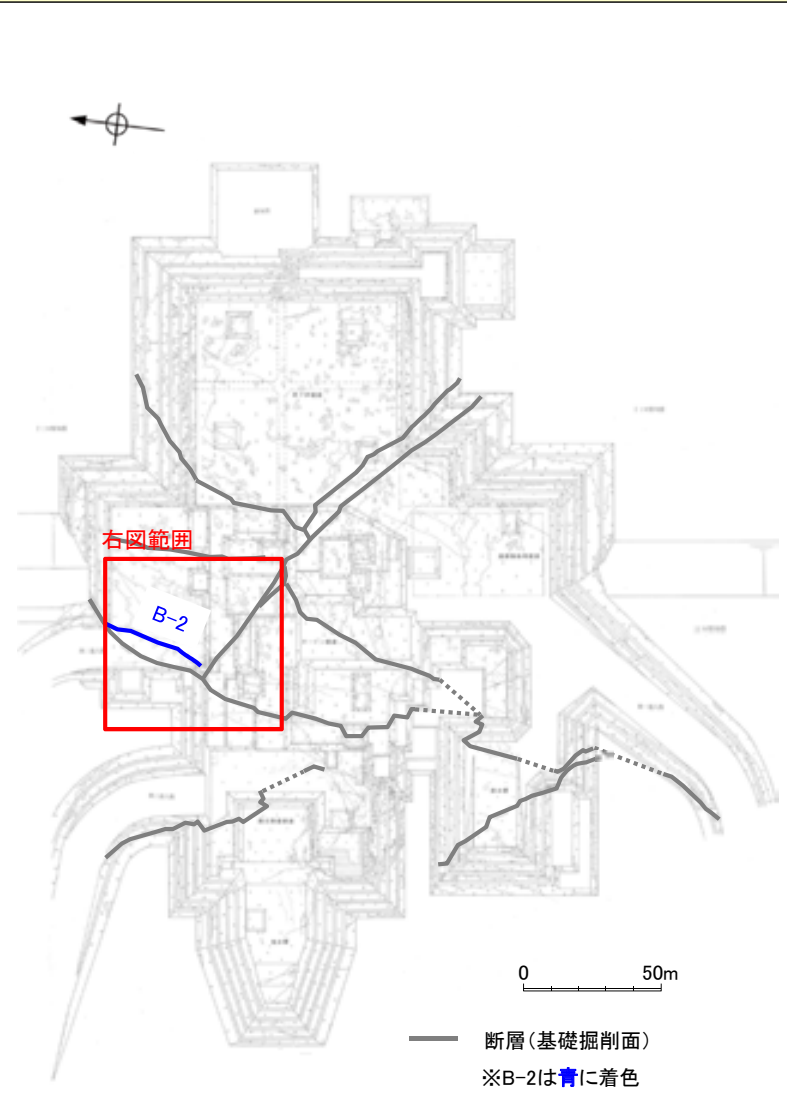


拡大スケッチ

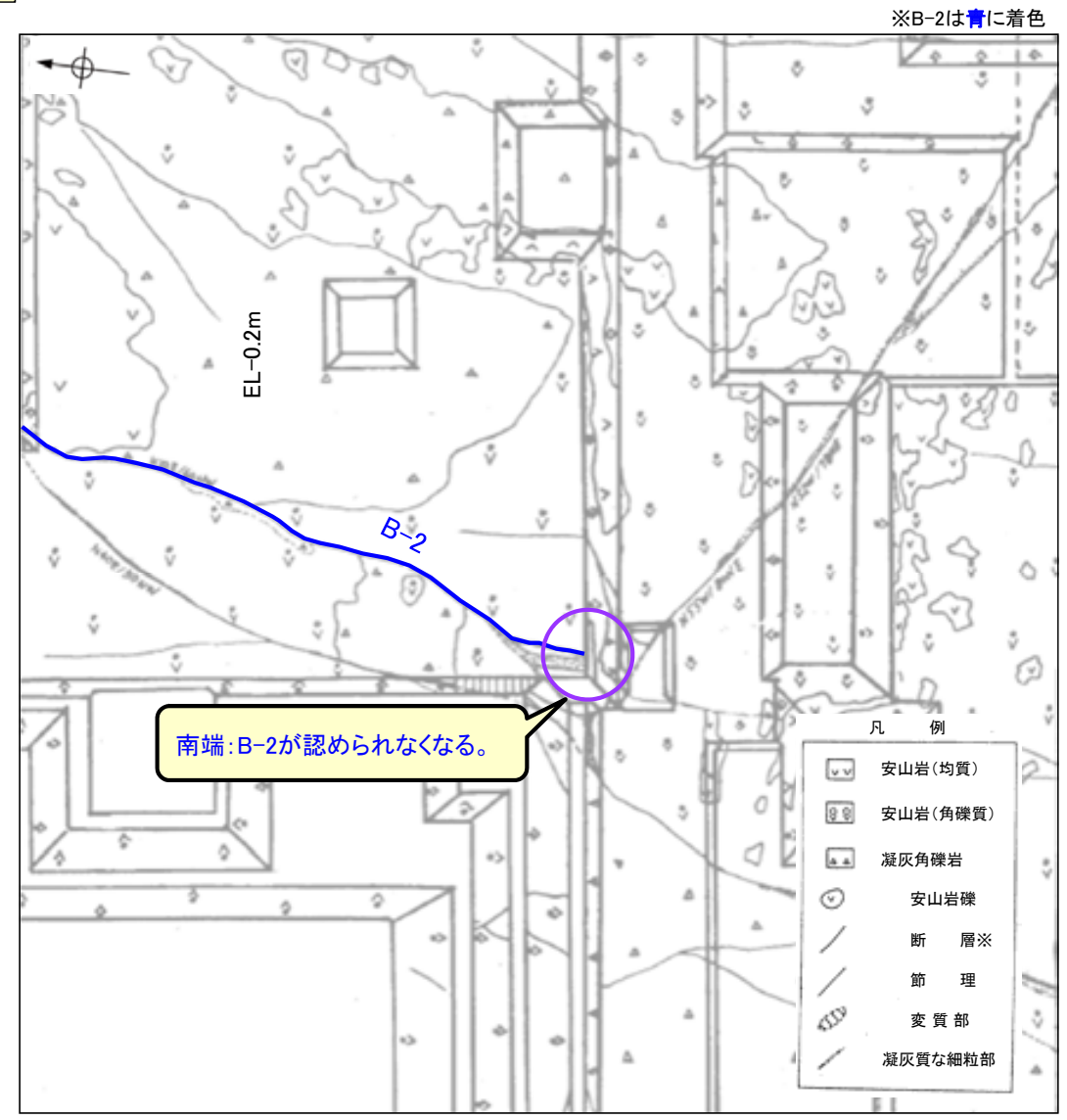
# B-2端部の評価 —南端: 1号機基礎掘削面—

■B-2南端の評価を以下に示す。

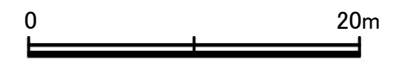
**【B-2南端の評価】**  
1号機基礎掘削面において、B-2が認められなくなることを確認。



1号機基礎掘削面



拡大スケッチ



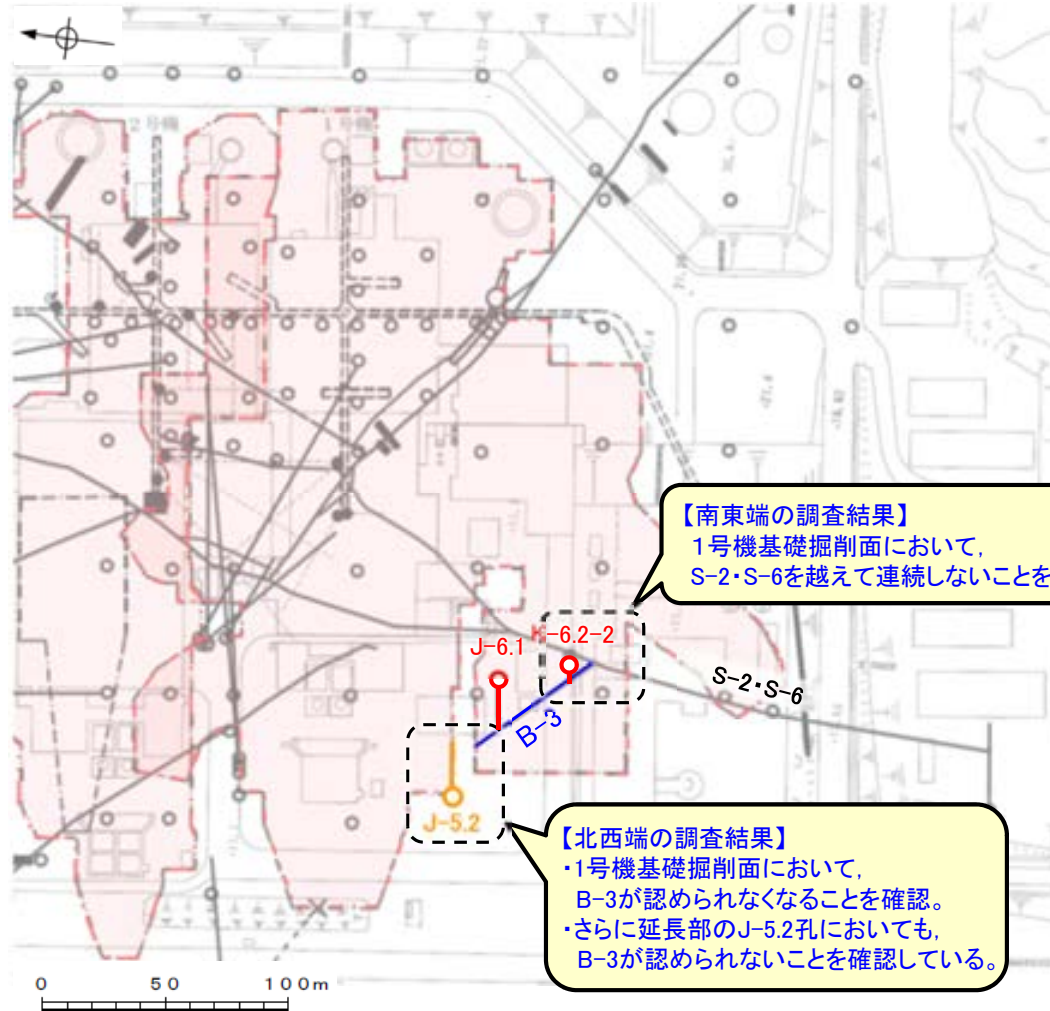


---

## (10) B-3端部の調査結果

# B-3端部の調査結果 一概要

■B-3端部の調査結果の概要を以下に示す。



調査位置図

凡 例

- 鉛直ボーリング孔
- 水平ボーリング孔
- 斜めボーリング孔
- 表土はぎ
- トレンチ
- ⌘ 岩盤調査坑
- [- - -] 試掘坑, 試験坑, 斜坑
- [- - -] 施工検討調査トレンチ
- 基礎掘削面
- 断層(B-3以外)(EL-4.7m)
- B-3(EL-4.7m)
- B-3が認められた箇所を赤で着色
- B-3端部においてB-3が認められない箇所を橙で着色

B-3端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北西端	1号機基礎掘削面	北西端の止め
	J-5.2孔	さらに延長部の止め
南東端	1号機基礎掘削面	南東端の止め

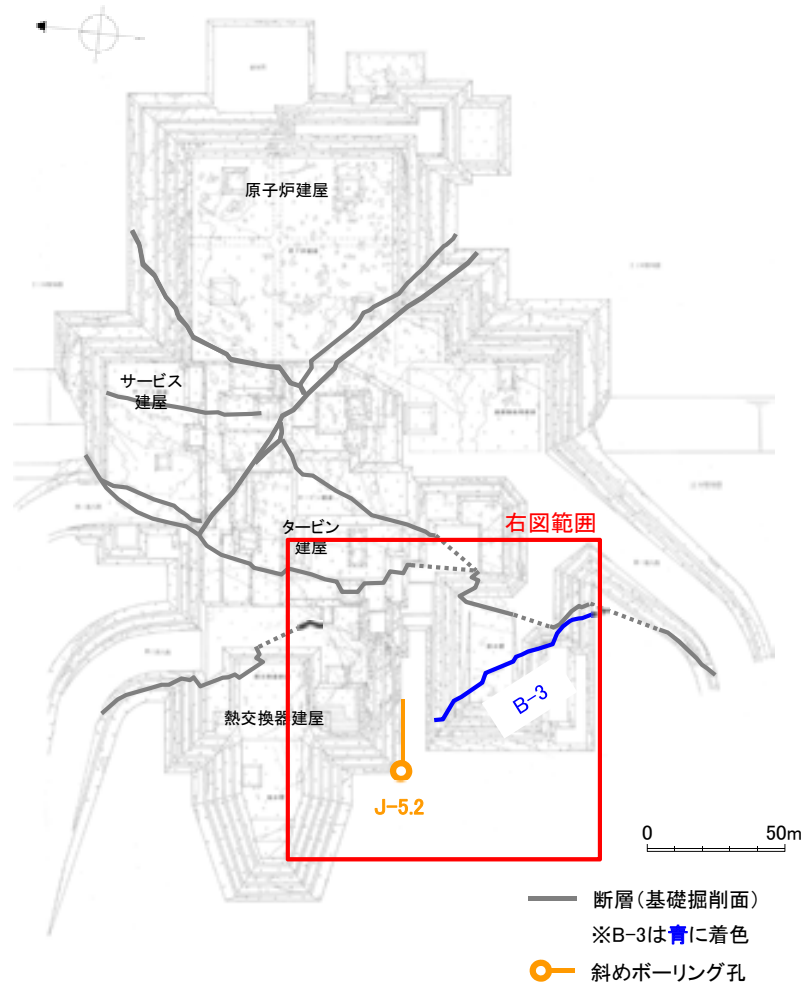
	長さ	走向/傾斜
B-3	60m	N42°W/82°NE*

\* 走向は一般走向  
傾斜は基礎掘削面の値

■B-3北西端の調査結果を以下に示す。

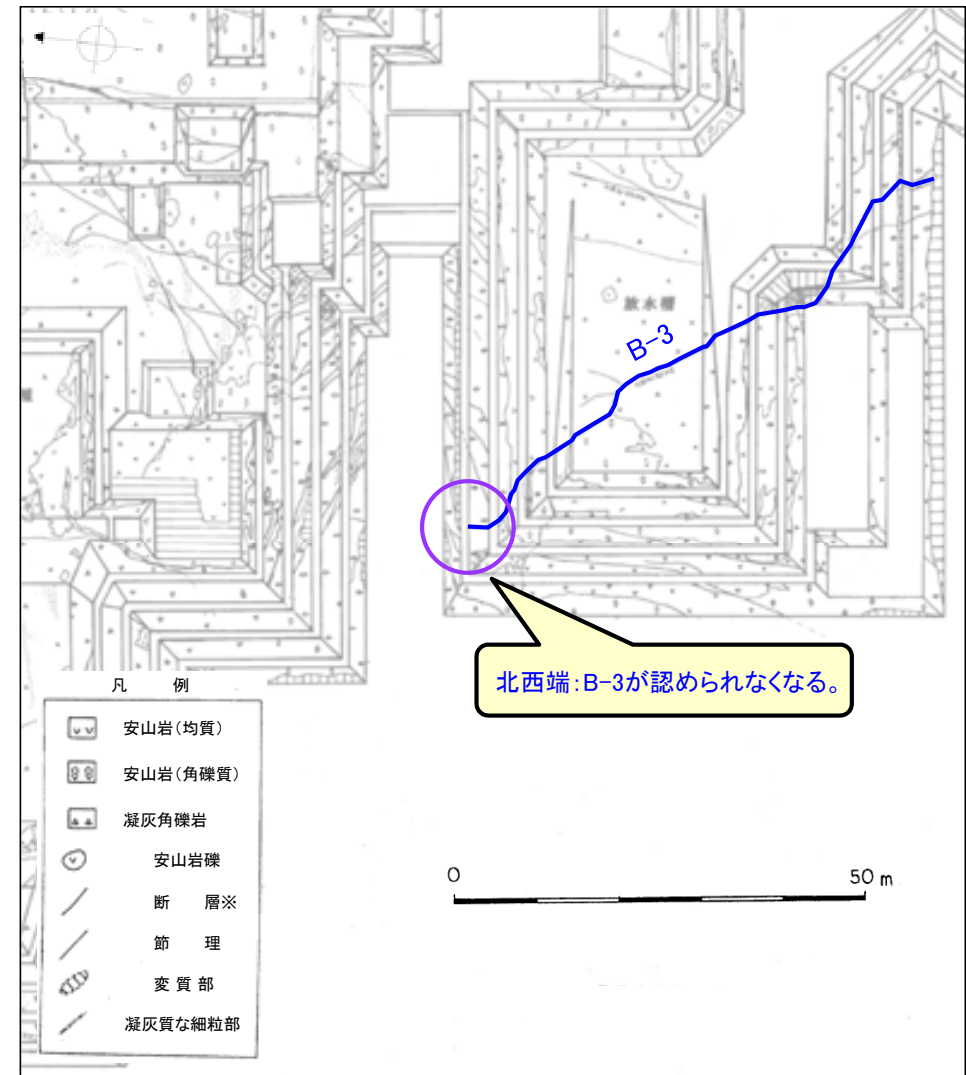
### 【B-3北西端の調査結果】

- ・1号機基礎掘削面において、B-3が認められなくなることを確認。
- ・さらに延長部のJ-5.2孔においても、B-3が認められないことを確認している。



1号機基礎掘削面

※B-3は青に着色

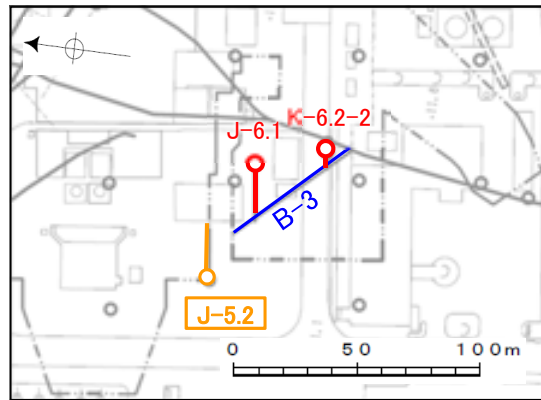


拡大スケッチ

○北西端延長部のJ-5.2孔の調査結果を以降に示す。

### 【J-5.2孔の調査結果】

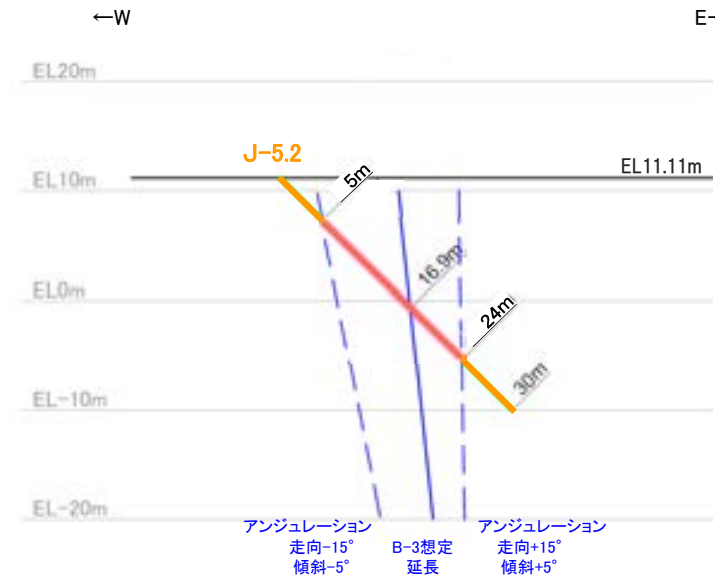
- ・右の断面図に示すとおり、B-3の想定延長範囲は、深度5～24mとなる。
- ・想定延長範囲において、B-3は認められない。
- （想定延長範囲のコア写真は次頁参照）



調査位置図

— B-3(EL-4.7m)

赤: B-3が認められる箇所  
 橙: B-3端部においてB-3が認められない箇所



— B-3の想定延長範囲

J-5.2孔断面図  
(掘進方向)

・B-3想定延長範囲(深度5~24m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集1

J-5.2孔(孔口標高11.11m, 掘進長30m, 傾斜45°)



コア写真(深度5~24m)

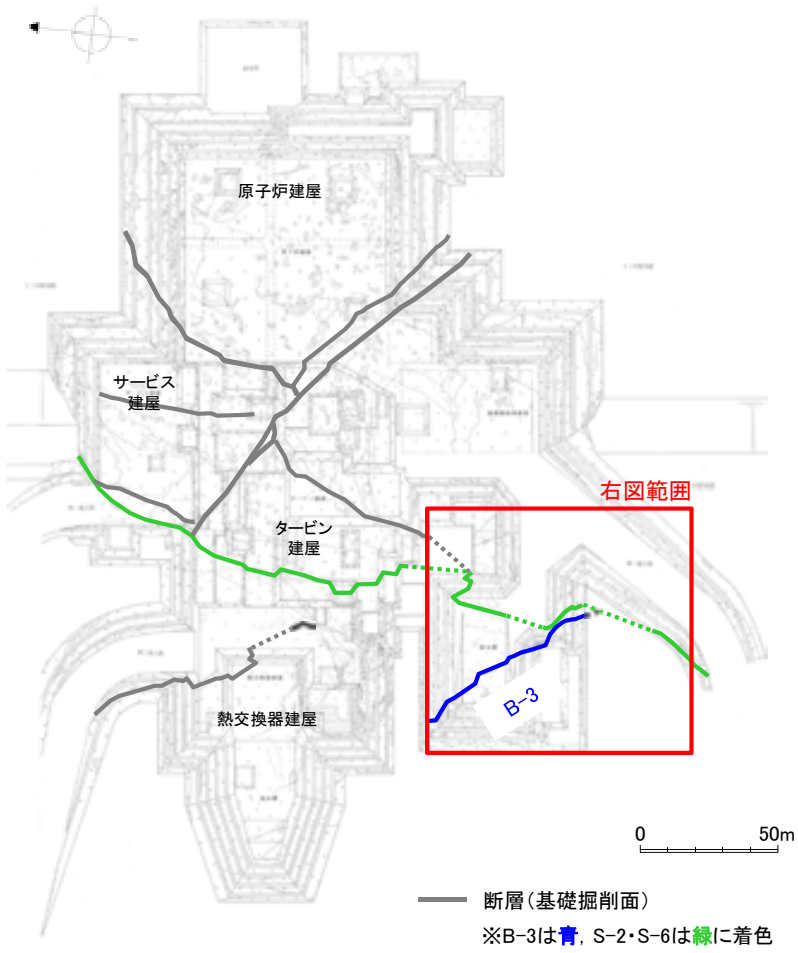
J-5.2孔において、B-3の想定延長範囲(深度5~24m)にB-3は認められない。

# B-3端部の調査結果 —南東端:1号機基礎掘削面—

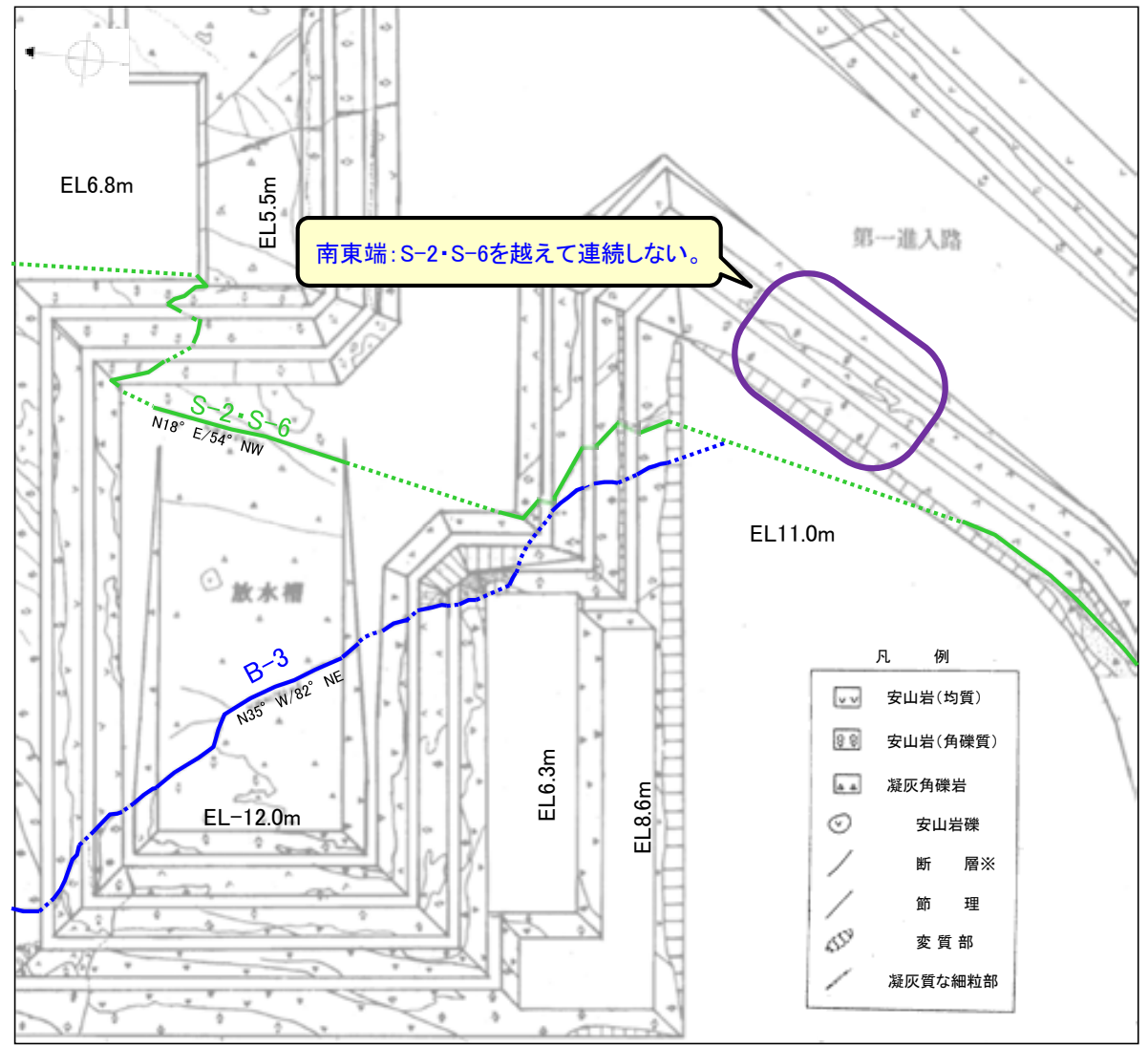
■B-3南東端の調査結果を以下に示す。

**【B-3南東端の調査結果】**  
1号機基礎掘削面において、B-3はS-2・S-6を越えて連続しないことを確認。

※B-3は青, S-2・S-6は緑に着色



1号機基礎掘削面



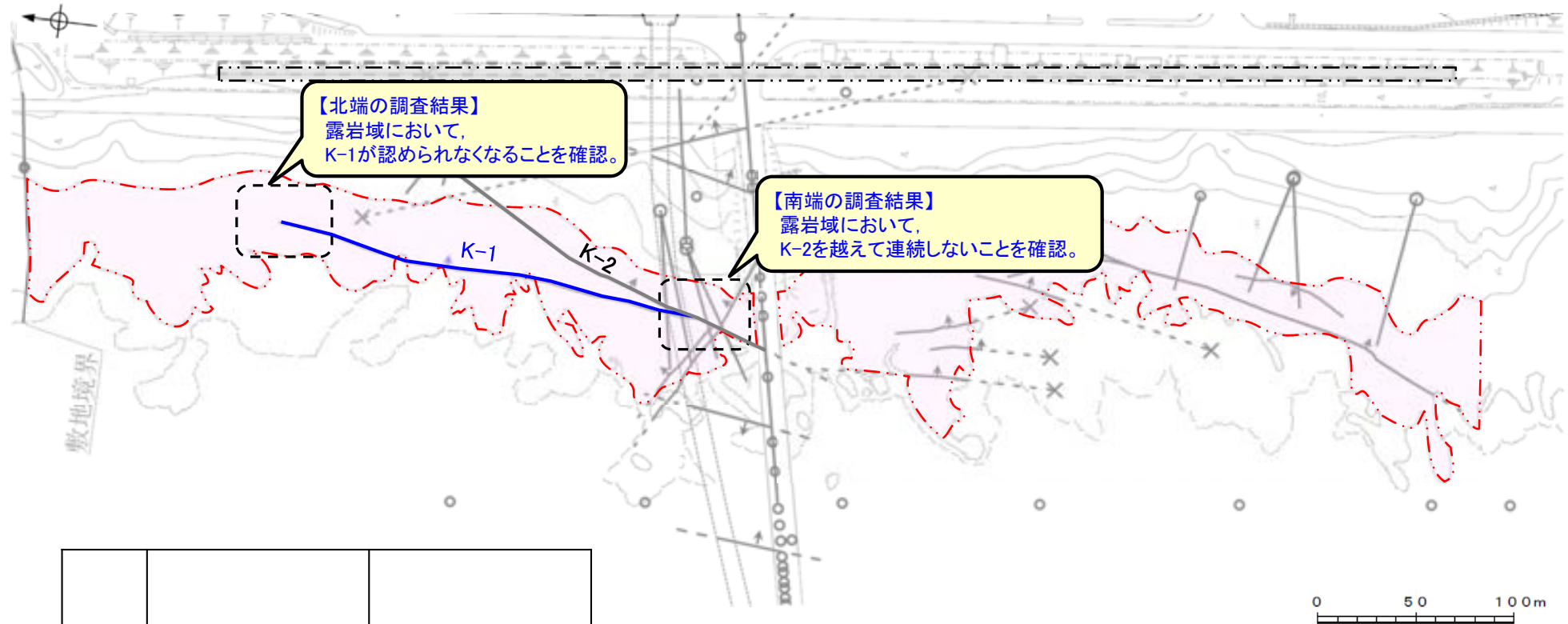
拡大スケッチ



---

## (11) K-1端部の調査結果

■K-1端部の調査結果の概要を以下に示す。

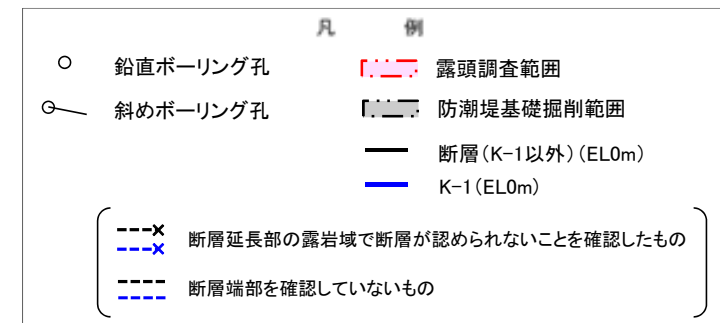


調査位置図

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-1	205m	N4° E / 58° SE*

\* 走向は一般走向  
傾斜は海岸部露頭の値

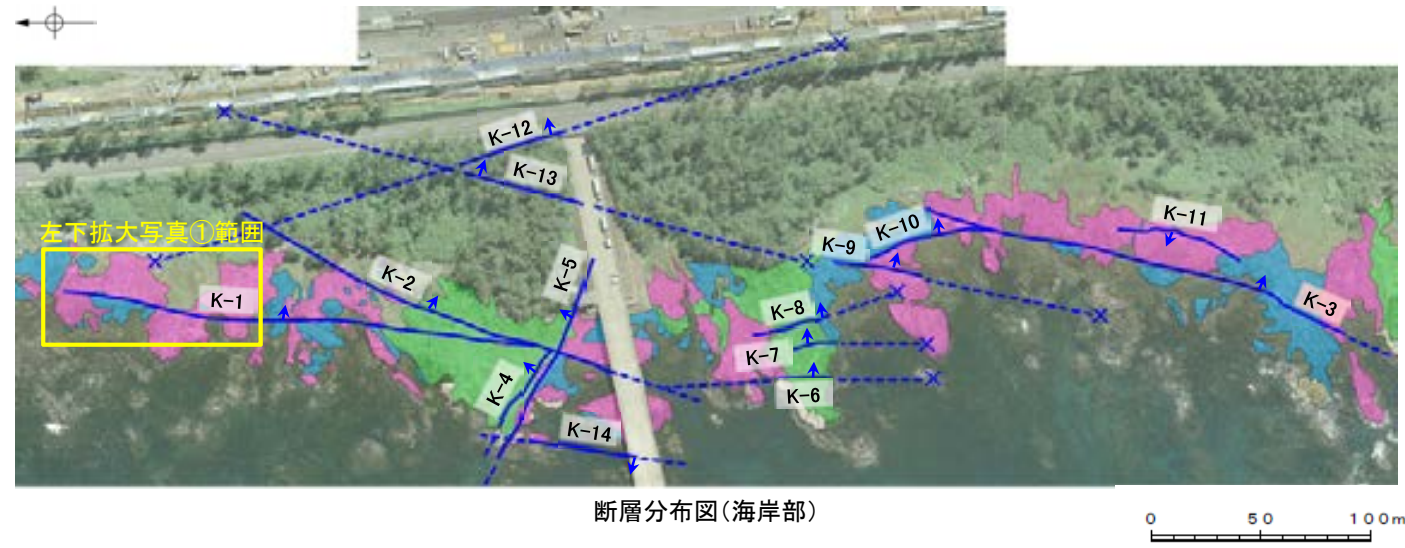




# K-1端部の調査結果 ー北端：露岩域ー

■K-1北端の調査結果を以下に示す。

**【K-1北端の調査結果】**  
露岩域において、K-1が認められなくなることを確認。



拡大写真①  
K-1の北方付近

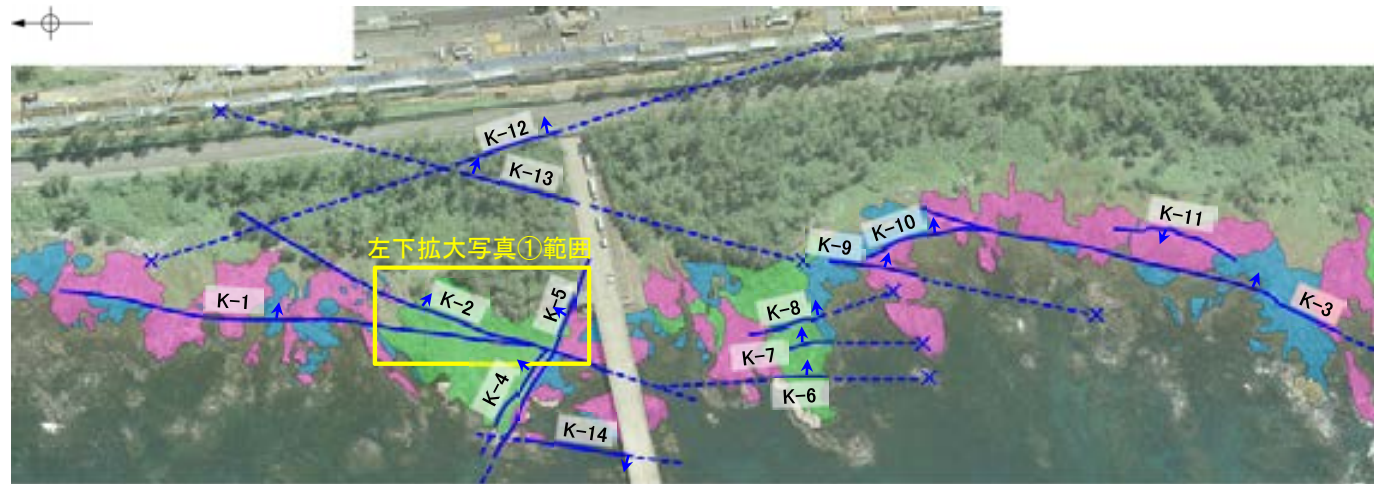


拡大写真②  
K-1の北方延長

■K-1南端の調査結果を以下に示す。

**【K-1南端の調査結果】**

露岩域において、K-1はK-2を越えて連続しないことを確認。

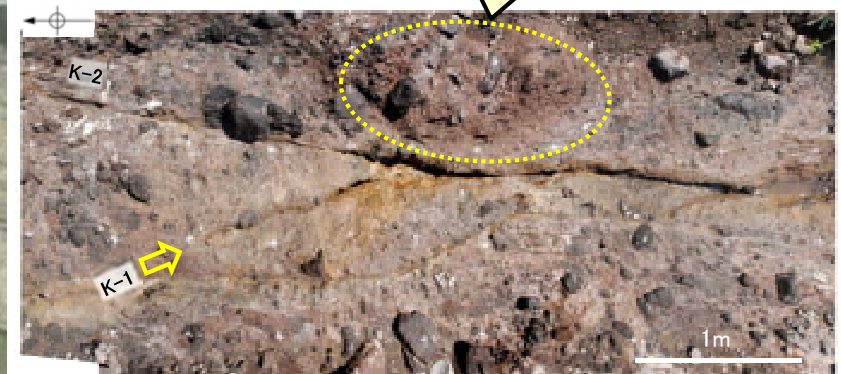


断層分布図(海岸部)

- 凡例
- 別所岳安山岩類 安山岩(均質)
  - 別所岳安山岩類 安山岩(角礫質)
  - 別所岳安山岩類 凝灰岩礫岩
  - 断層(地表面)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
  - - - X 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したものの矢印(●)の向きは断層の傾斜方向を示す



拡大写真①  
K-1の南方付近

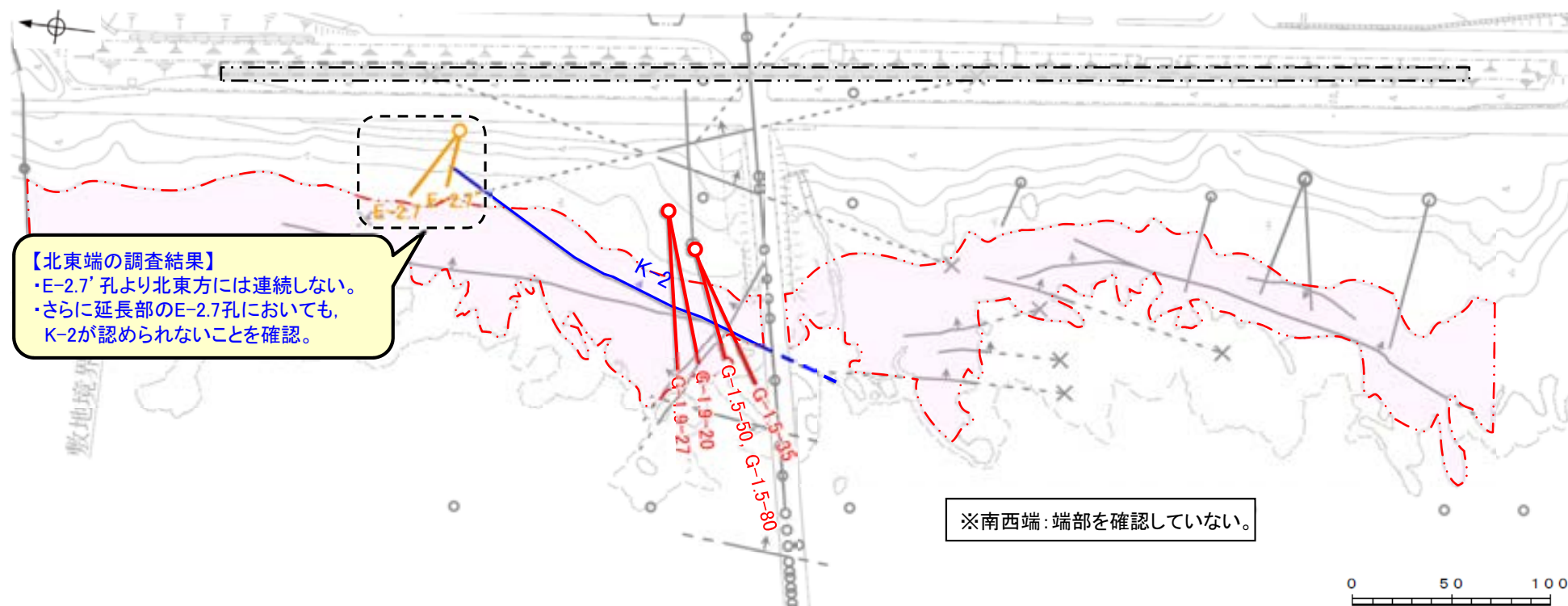


拡大写真②  
K-1とK-2の会合部

---

## (12) K-2端部の調査結果

■K-2端部の調査結果の概要を以下に示す。



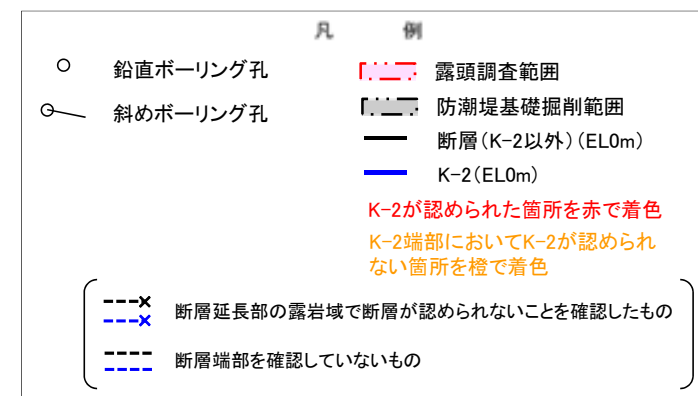
K-2端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北東端	E-2.7' 孔	北東端の止め
	E-2.7孔	さらに延長部の止め

	延長	走向/傾斜
K-2	180m以上	N19°E/72°SE*

\* 走向は一般走向  
傾斜は海岸部露頭の値

調査位置図



矢印(♯)の向きは断層の傾斜方向を示す

# K-2端部の調査結果 —北東端:E-2.7' 孔①—

■ K-2北東端の調査結果を以下に示す。

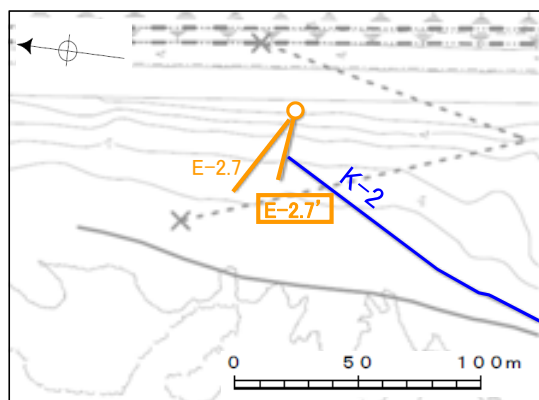
## 【K-2北東端の調査結果】

- ・K-2は、露岩域において北東方に連続する。
- ・露岩域の北東端で確認したK-2の位置、走向・傾斜を考慮して、北東方への想定延長範囲を設定。
- ・**E-2.7' 孔の想定延長範囲内に、K-2が認められないため、K-2はこれ以上連続しない。**
- ・さらに、延長部のE-2.7'孔においても、K-2が認められないことを確認している。

○北東端の止めとしているE-2.7' 孔の調査結果を以降に示す。

## 【E-2.7' 孔の調査結果】

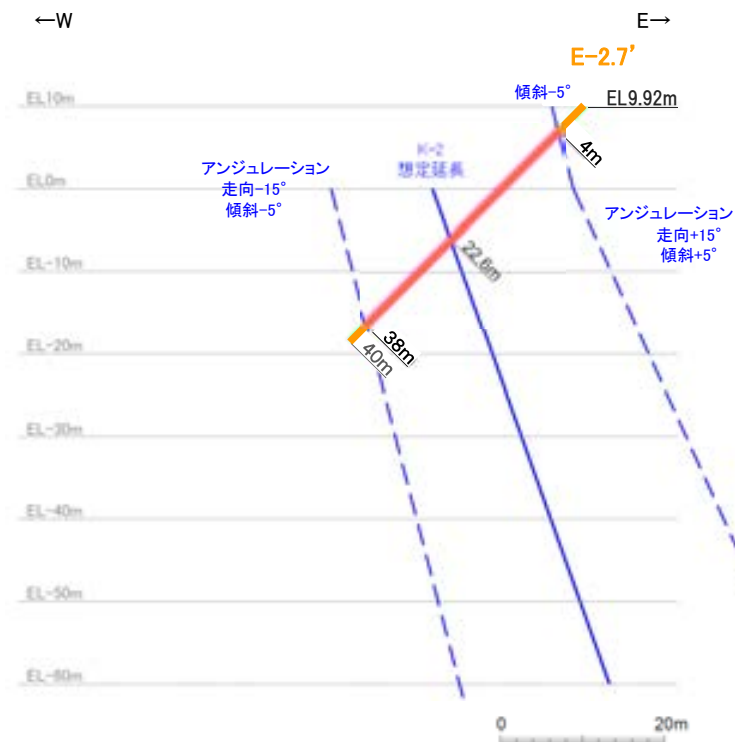
- ・右の断面図に示すとおり、K-2の想定延長範囲は、深度4～38mとなる。
- ・想定延長範囲において、K-2は認められない。
- （想定延長範囲のコア写真は次頁参照）



調査位置図

— K-2 (EL0m)

橙: K-2端部においてK-2が認められない箇所



— K-2の想定延長範囲

E-2.7' 孔断面図(掘進方向)

・K-2想定延長範囲(深度4~38m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集1

E-2.7' 孔(孔口標高9.92m, 掘進長40m, 傾斜45°)



← K-2  
想定延長位置  
(22.6m付近)

コア写真(深度4~38m)

【想定延長範囲に認められた破砕部について】

コア写真(深度24.0~24.4m付近)

- ・深度 : 24.10~24.20m
- ・走向傾斜 : N8° W/74° NE
- ・記事 : 厚さ8.0~10cmの固結した破砕部及び厚さ0.1cmの明褐~褐色の粘土状破砕部からなる。

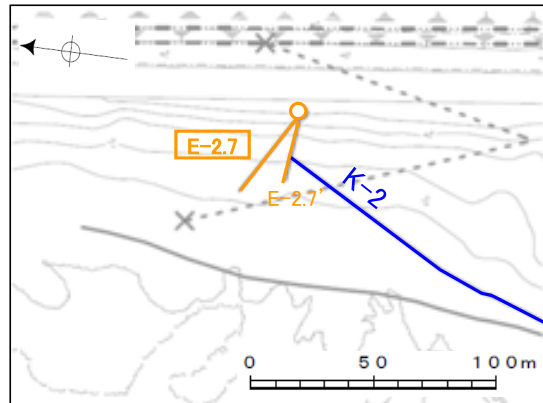
⇒ 走向傾斜がK-2 (一般走向傾斜N19° E/72° SE, 直近露頭の走向傾斜N24° E/70° SE)と異なることから, K-2ではないと判断。

E-2.7' 孔において, K-2の想定延長範囲(深度4~38m)にK-2は認められない。

○北東端延長部の調査結果を以降に示す。

## 【E-2.7孔の調査結果】

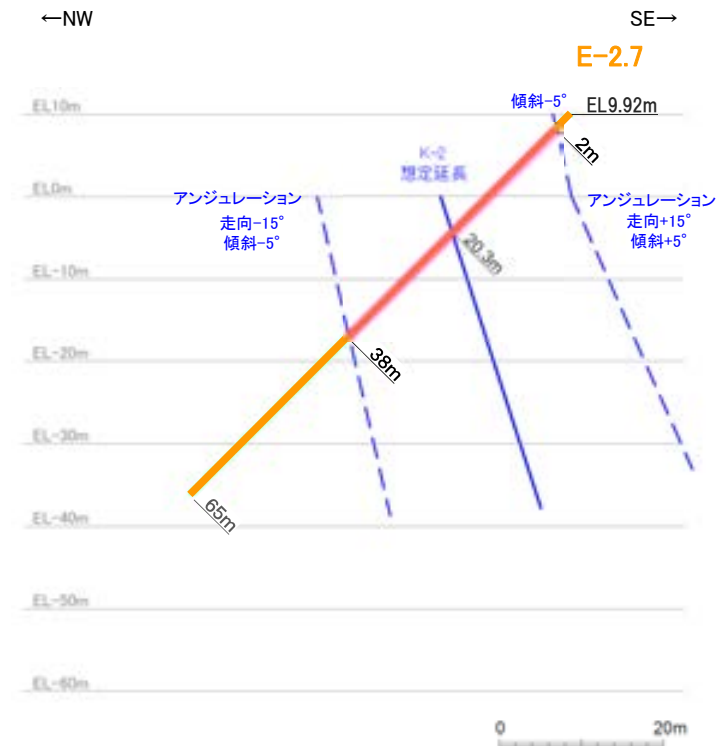
- ・右の断面図に示すとおり、K-2の想定延長範囲は、深度2m～38mとなる。
- ・想定延長範囲において、K-2は認められない。  
(想定延長範囲のコア写真は次頁参照)



調査位置図

— K-2 (EL0m)

橙: K-2端部においてK-2が認められない箇所



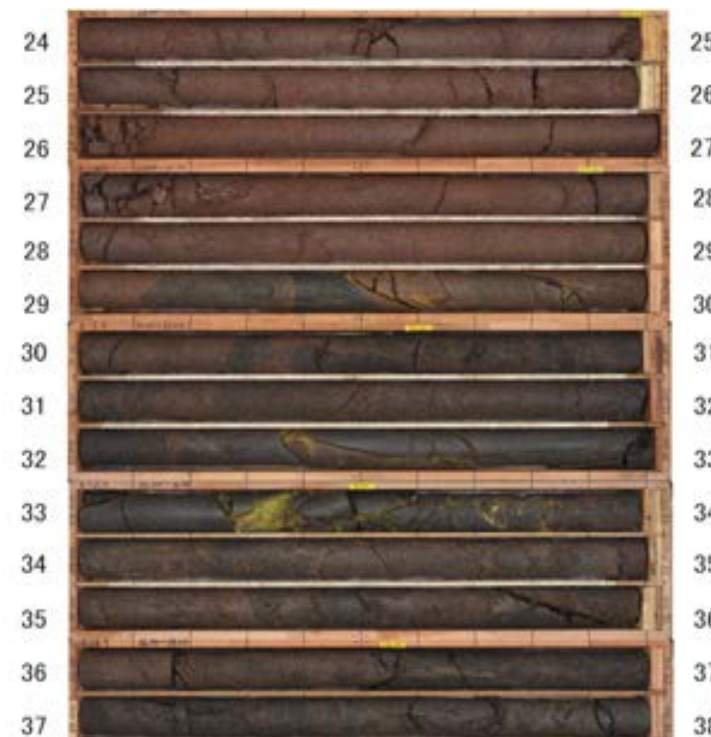
■ K-2の想定延長範囲

E-2.7孔断面図  
(掘進方向)

・K-2想定延長範囲(深度2~38m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集1

E-2.7孔(孔口標高9.92m, 掘進長65m, 傾斜45°)



K-2  
想定延長位置  
(20.3m付近)

コア写真(深度2~38m)

【想定延長範囲に認められた破砕部について】

29.4                      29.5                      29.6                      29.7                      29.8



コア写真(深度29.4~29.8m付近)

- ・深度 : 29.50~29.74m
- ・走向傾斜 : N28° W/83° NE
- ・記事 : 厚さ12cmの固結した破砕部及び厚さ0.1cmの黄褐色の粘土状破砕部からなる。

⇒走向傾斜がK-2(一般走向傾斜N19° E/72° SE, 直近露頭の走向傾斜N24° E/70° SE)と異なることから, K-2ではないと判断。

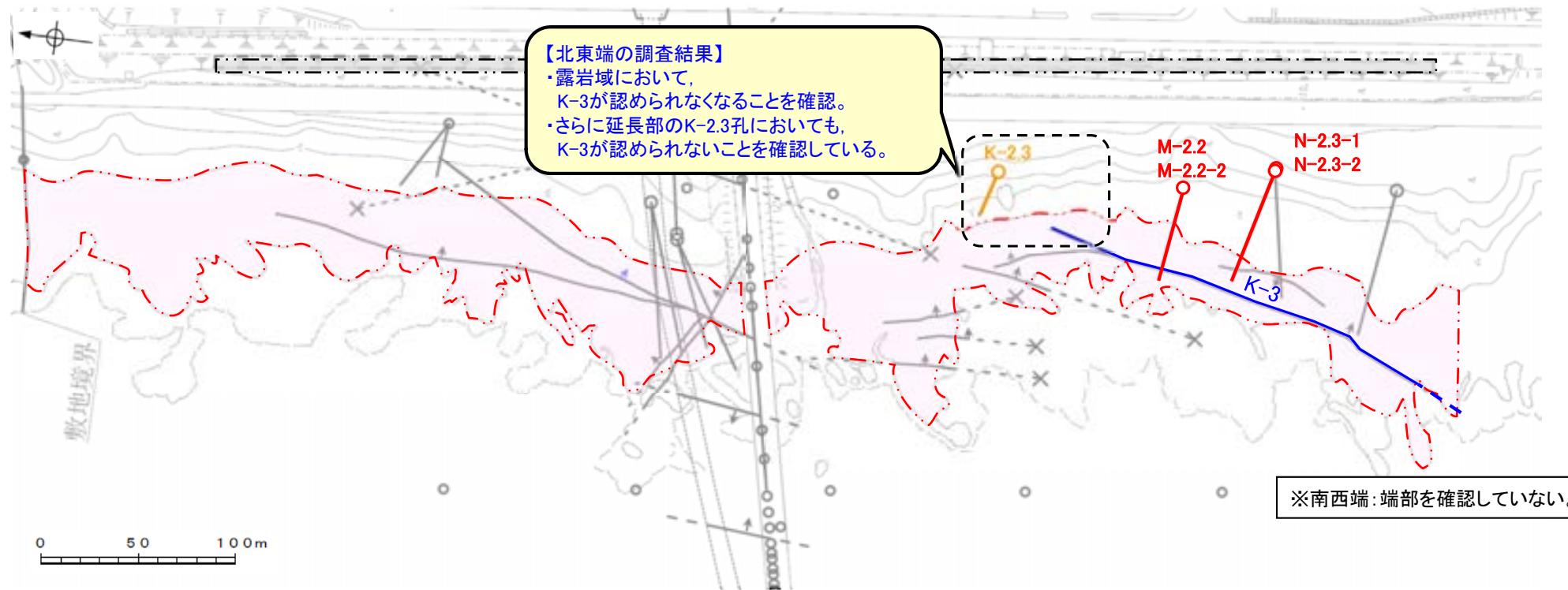
E-2.7孔において, K-2の想定延長範囲(深度2~38m)にK-2は認められない。



---

## (13) K-3端部の調査結果

■K-3端部の調査結果の概要を以下に示す。



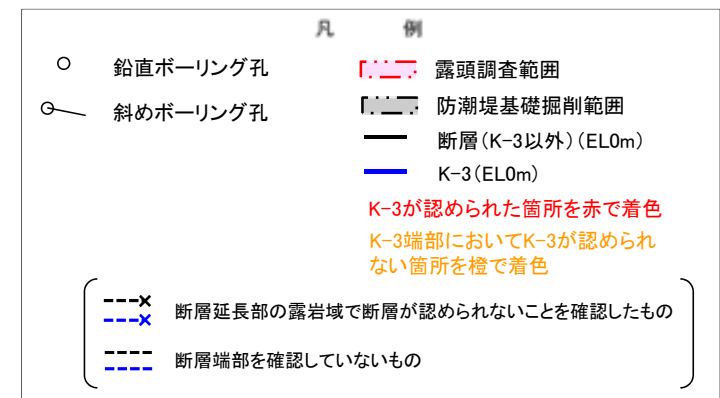
K-3端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北東端	露岩域	北東端の止め
	K-2.3孔	さらに延長部の止め

	延長	走向/傾斜
K-3	200m以上	N16°E/70°SE*

\* 走向は一般走向  
傾斜は海岸部露頭の値

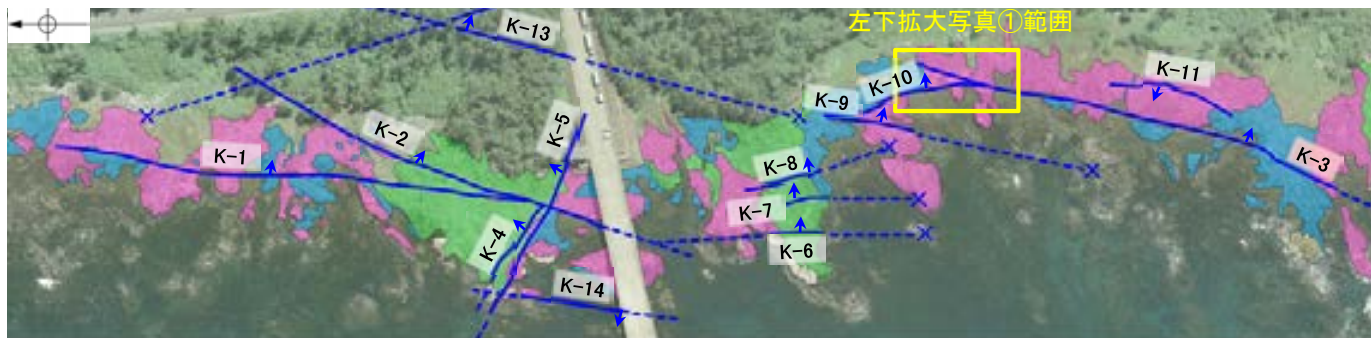
調査位置図



矢印(★)の向きは断層の傾斜方向を示す

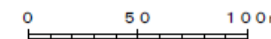
■K-3北東端の調査結果を以下に示す。

**【K-3北東端の調査結果】**  
 ・露岩域において、K-3が認められなくなることを確認。  
 ・さらに、延長部の K-2.3孔においても、K-3が認められないことを確認している。

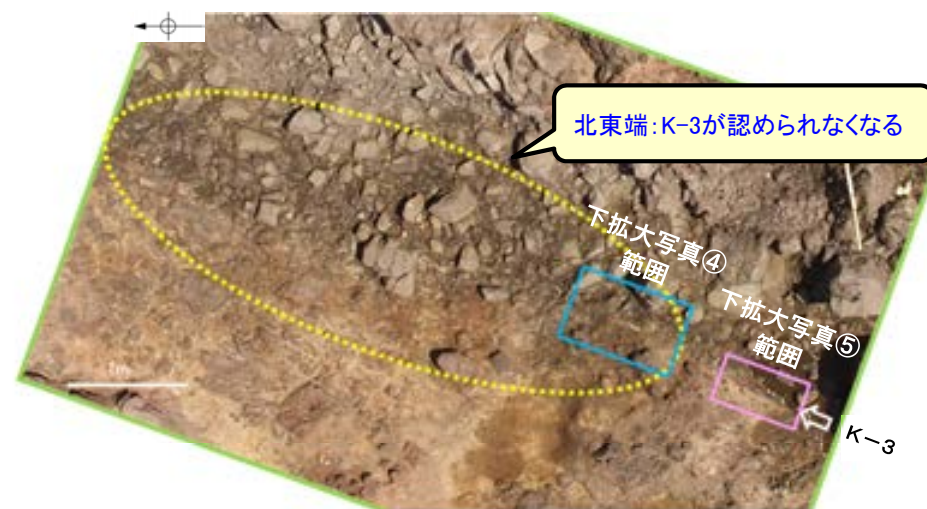


断層分布図(海岸部)

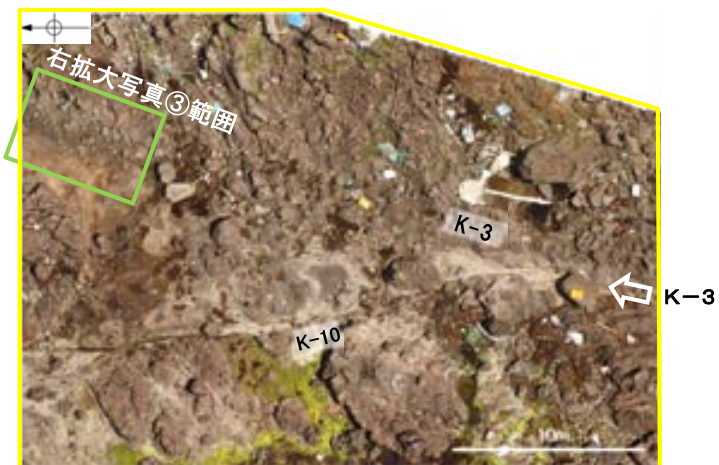
- 凡例
- 別所岳安山岩類 安山岩(内翼)
  - 別所岳安山岩類 安山岩(外翼)
  - 別所岳安山岩類 凝灰角礫岩
  - 断層(地表面)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
  - 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したものを矢印(➡)の向きは断層の傾斜方向を示す



拡大写真①  
K-10の北東方付近



拡大写真③



拡大写真②



拡大写真④

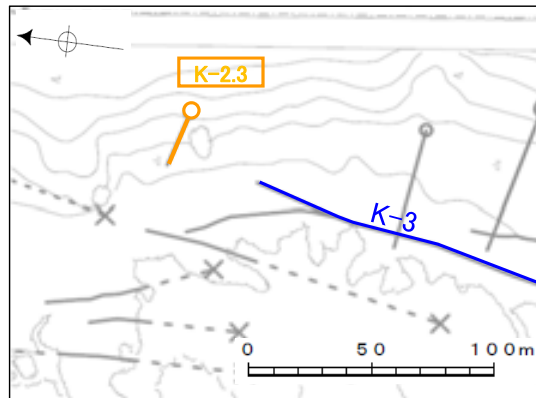


拡大写真⑤

○北東端延長部の調査結果を以降に示す。

### 【K-2.3孔の調査結果】

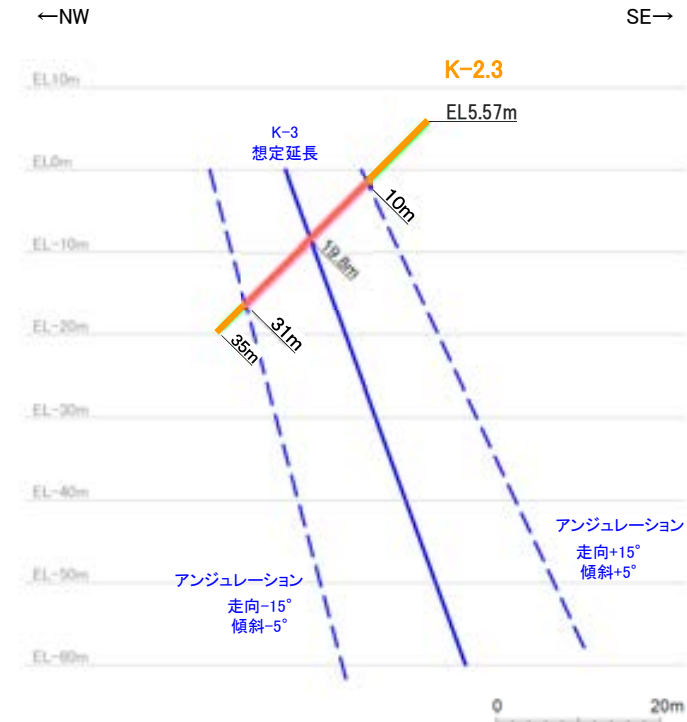
- ・右の断面図に示すとおり、K-3の想定延長範囲は、深度10m～31mとなる。
- ・想定延長範囲において、K-3は認められない。  
(想定延長範囲のコア写真は次頁参照)



調査位置図

— K-3(EL0m)

橙: K-3端部においてK-3が認められない箇所



— K-3の想定延長範囲

K-2.3断面図  
(掘進方向)

・K-3想定延長範囲(深度10~31m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集1

K-2.3孔(孔口標高5.57m, 掘進長35m, 傾斜45°)



コア写真(深度10~31m)

【想定延長範囲に認められた破砕部について】

12.6 12.7 12.8 12.9 13.0



コア写真(深度12.6~13.0m付近)

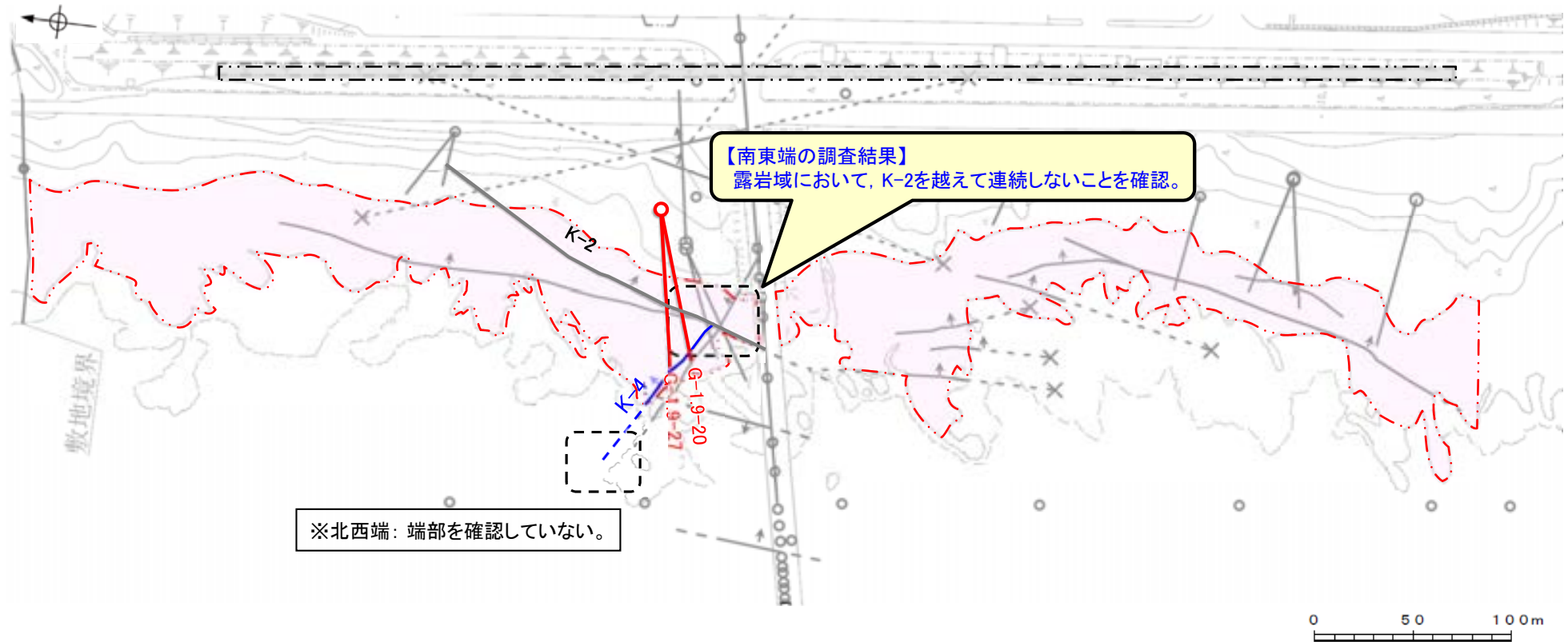
- ・深度 : 12.77~12.83m
- ・走向傾斜 : N28° E/89° NW
- ・記事 : 厚さ4.2~5.0cmの固結した破砕部からなる。  
⇒走向傾斜がK-3(一般走向傾斜N16° E/70° SE, 直近露頭の走向傾斜N12° E/74° SE)と異なることから, K-3ではないと判断。

K-2.3孔において, K-3の想定延長範囲(深度10~31m)にK-3は認められない。

---

## (14) K-4端部の調査結果

■K-4端部の調査結果の概要を以下に示す。



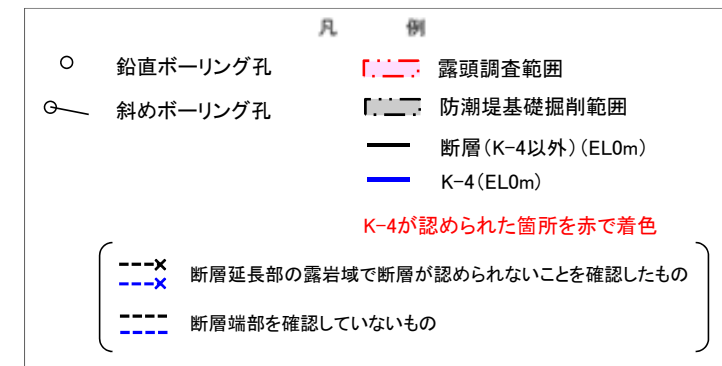
調査位置図

K-4端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
南東端	露岩域	南東端の止め

	延長	走向/傾斜
K-4	45m以上	N56° W / 85° NE

\* 走向は一般走向  
傾斜は海岸部露頭の値



矢印(➡)の向きは断層の傾斜方向を示す

■K-4南東端の調査結果を以下に示す。

**【K-4南東端の調査結果】**  
露岩域において、K-4はK-2を越えて連続しないことを確認。



- 凡例
- 別所岳安山岩類 安山岩(均質)
  - 別所岳安山岩類 安山岩(角礫質)
  - 別所岳安山岩類 凝灰角礫岩
  - 断層(地表面)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
  - 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したものの矢印(●)の向きは断層の傾斜方向を示す



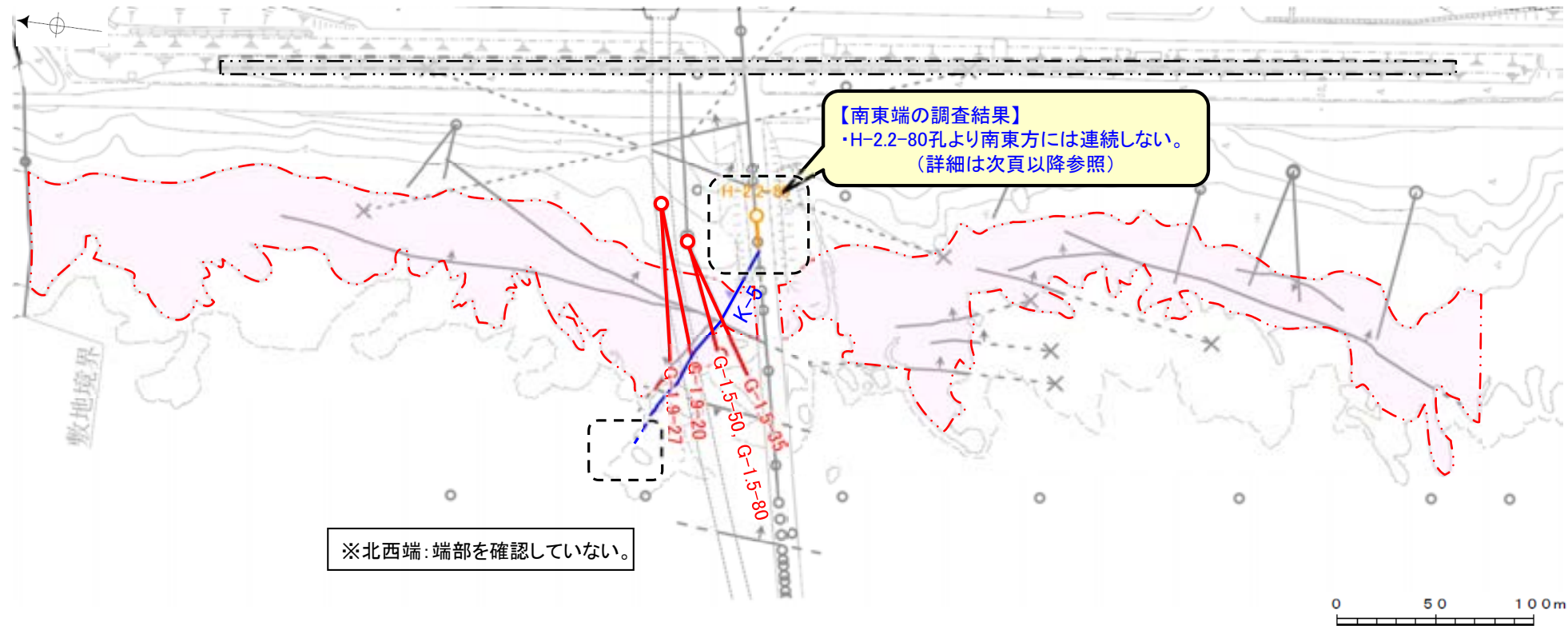
南東端:K-2を越えて連続しない



---

## (15) K-5端部の調査結果

■K-5端部の調査結果の概要を以下に示す。



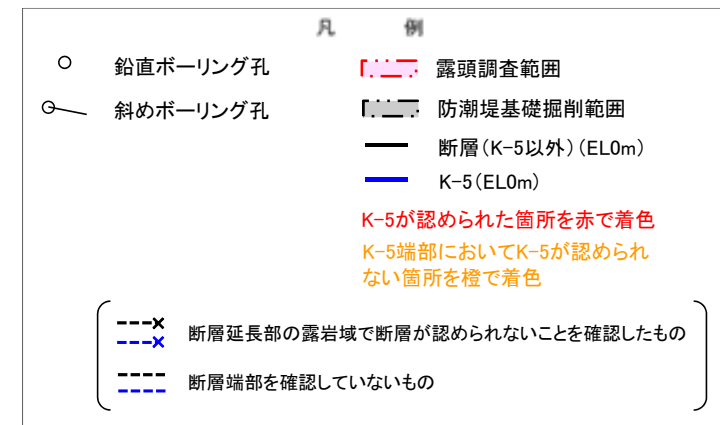
調査位置図

K-5端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
南東端	H-2.2-80孔	南東端の止め

	延長	走向/傾斜
K-5	75m以上	N63° W / 64° NE

\* 走向は一般走向  
傾斜は海岸部露頭の値



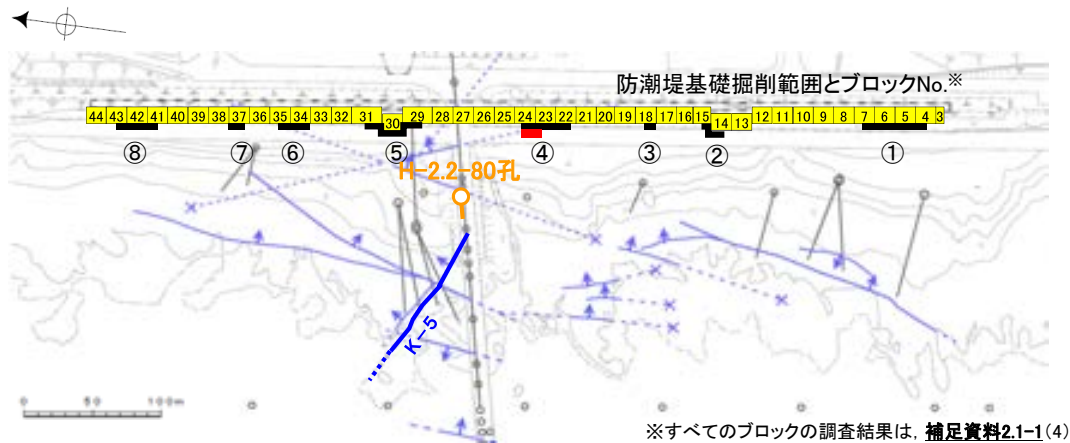
矢印(※)の向きは断層の補斜方向を示す

# K-5端部の調査結果 ー南東端:概要ー

■K-5南東端の調査結果を以下に示す。

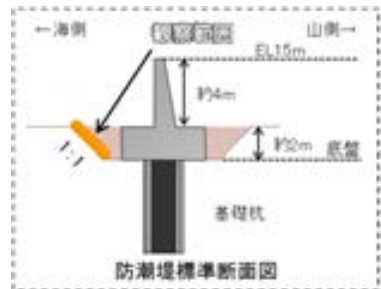
## 【K-5南東端の調査結果】

- ・K-5は、露岩域において南東方に連続する。
- ・**H-2.2-80孔の想定延長範囲内に、K-5は認められないため、K-5はこれ以上連続しない。**
- ・さらに、H-2.2-80孔より南東方に位置する防潮堤24ブロックの節理の深部延長位置において、更なる追加掘削を実施し、節理が深部に連続しないことを確認している(補足資料2.3-4(15) P.2.3-4-121, 2.3-4-122)。また、23・24ブロックの防潮堤設置時の法面写真について、継ぎ目のない結合前のデータを確認した結果、当該箇所には断層は認められない(補足資料2.3-4(15) P.2.3-4-123)。



— 第553回審査会合で説明した再掘削箇所  
(○数字はトレンチNo.)

— 追加掘削した箇所



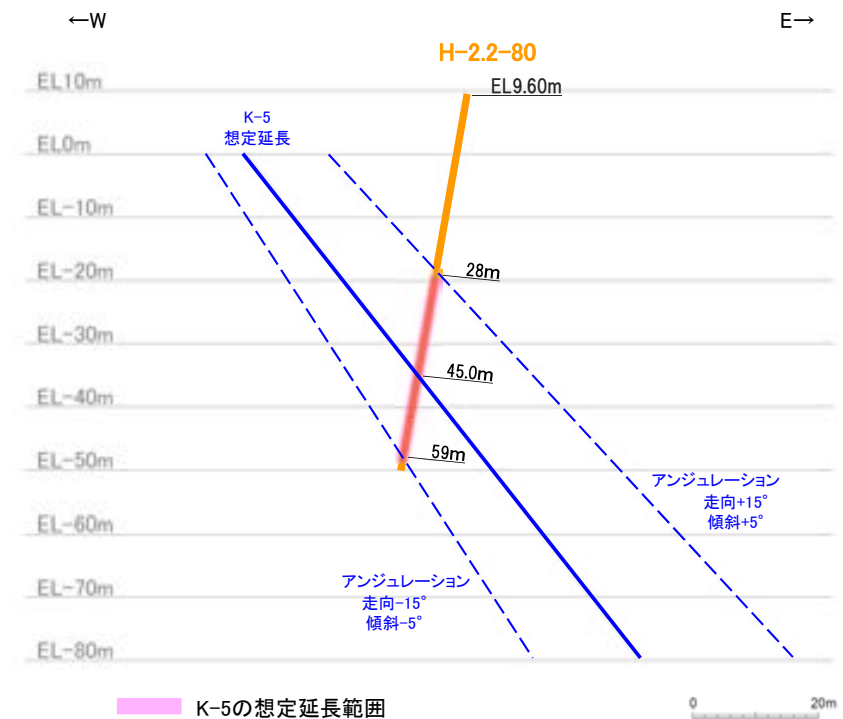
- 新層(破線はさらに延長する可能性のある層)
- x 新層延長部の露岩域で新層が認められないことを確認したもの
- 新層端部を確認していないもの
- K-O (海岸部 EL.0m)

- 凡例
- 鉛直ボーリング孔
  - ➡ 斜めボーリング孔

橙: 想定延長範囲にK-5が認められないボーリング

## 【H-2.2-80孔の調査結果】

- ・下の断面図に示すとおり、K-5の想定延長範囲は、深度28~59mとなる。
- ・想定延長範囲において、K-5は認められない。  
(想定延長範囲のコア写真は次頁)



H-2.2-80孔断面図(掘進方向)

【 K-5南東方に関するボーリング調査結果】

柱状図はデータ集1

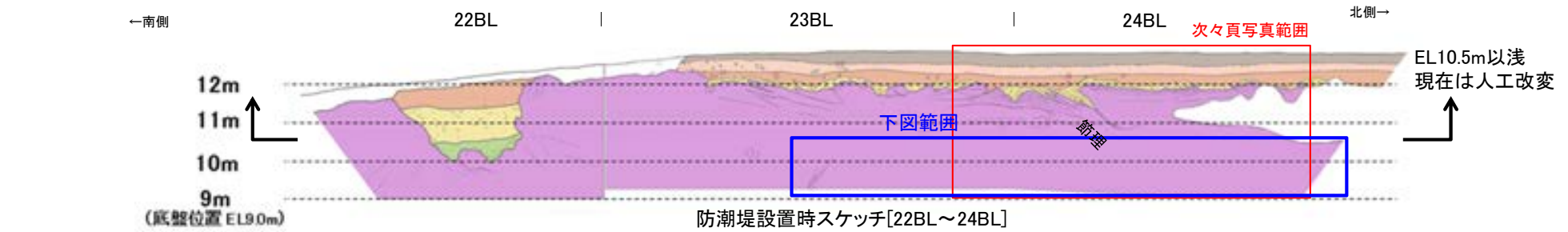
H-2.2-80孔(孔口標高9.60m, 掘進長60m, 傾斜80°)



コア写真(深度28~59m)

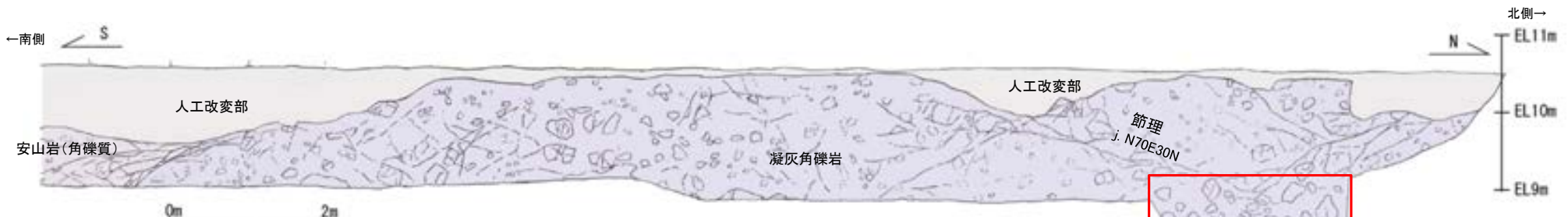
- H-2.2-80孔において, K-5の想定延長範囲(深度28~59m)にK-5は認められない。

【 防潮堤基礎部24ブロックのスケッチ・写真(追加掘削後) 】



凡例

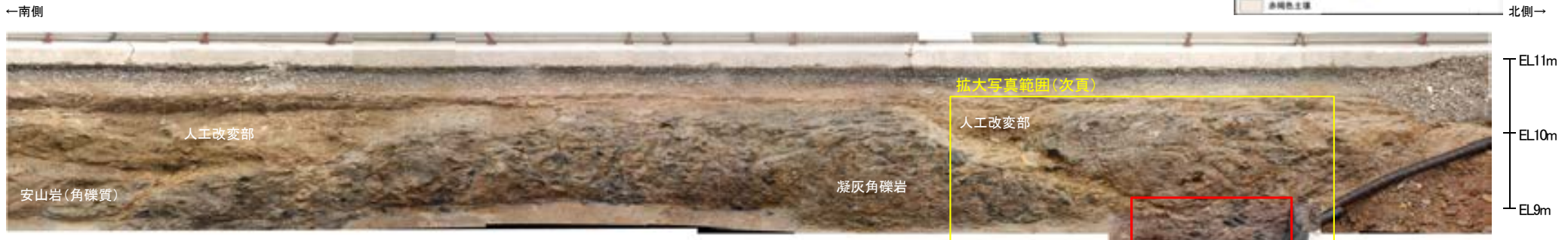
埋土	腐植質シルト～シルト層	暗褐色土壌	礫層③(安山岩の歪円～角礫を含み、基質は黄褐色～明褐色シルトでやや土壌化)	岩盤
人工構造物	シルト～砂質シルト層	明褐色土壌	礫層②(安山岩の円～歪角礫を含み、基質は黄褐色～黄白色シルト～粘土でギブサイトを多く含む)	筋理
		赤褐色土壌	礫層①(安山岩の円～歪角礫を含み、基質は黄褐色砂質シルトで全体に固結)	



④トレンチ スケッチ(追加掘削後)

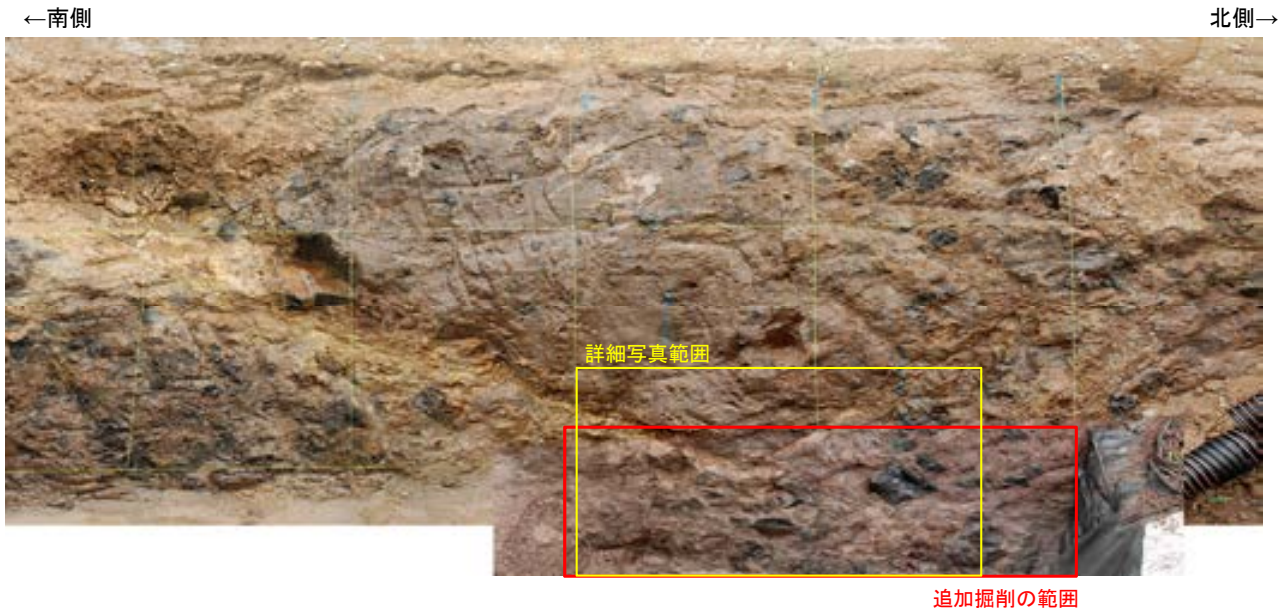
凡例

人工改変部	シルト層
腐植質シルト層	砂層
シルト質礫層	砂礫層
暗褐色土壌	別所岳安山岩類 安山岩(角礫質)
明褐色土壌	別所岳安山岩類 凝灰角礫岩
赤褐色土壌	



④トレンチ 写真(追加掘削後)

追加掘削の範囲



拡大写真(全景)

・節理は、岩盤中で消滅し、深部に連続しないことを確認した。



詳細写真



詳細写真(節理を加筆)

— : 節理

【 防潮堤基礎部23・24ブロックの防潮堤設置時の法面写真 】



・防潮堤基礎[24BL]には、断層は認められない。

防潮堤設置時写真[23BL, 24BL]



上記赤枠で示した範囲の結合前の写真

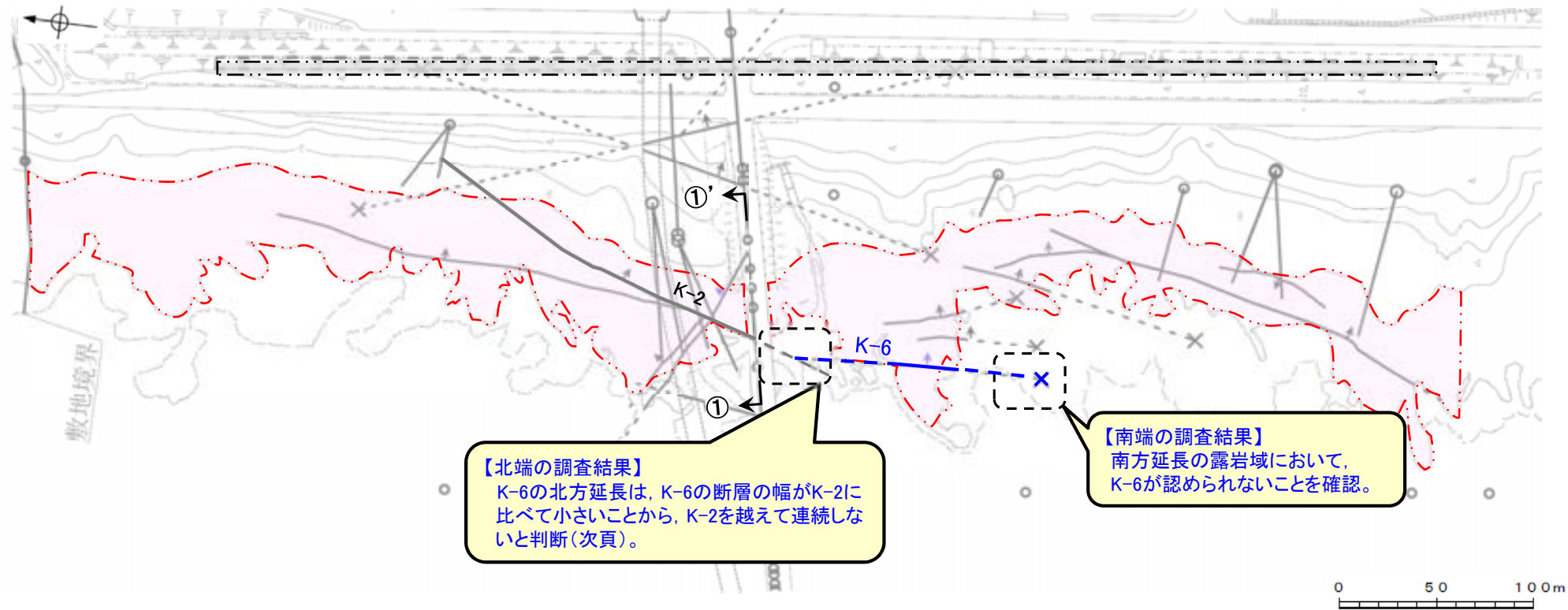
---

## (16) K-6端部の調査結果



# K-6端部の調査結果 一概要一

■K-6端部の調査結果の概要を以下に示す。



**【北端の調査結果】**  
K-6の北方延長は、K-6の断層の幅がK-2に比べて小さいことから、K-2を越えて連続しないと判断(次頁)。

**【南端の調査結果】**  
南方延長の露岩域において、K-6が認められないことを確認。

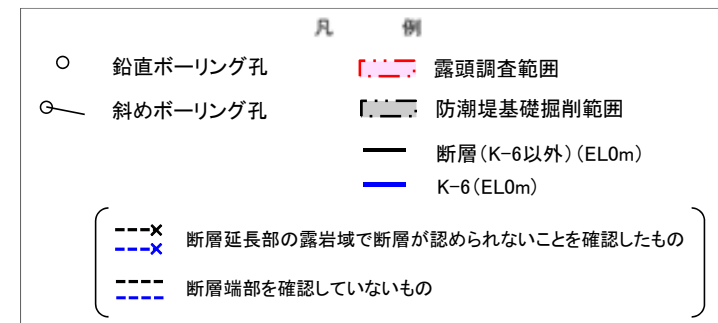
調査位置図

K-6端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	取水路沿いの調査	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-6	25m以上 130m以下	N2° W / 60° NE

\* 走向は一般走向  
傾斜は海岸部露頭の値

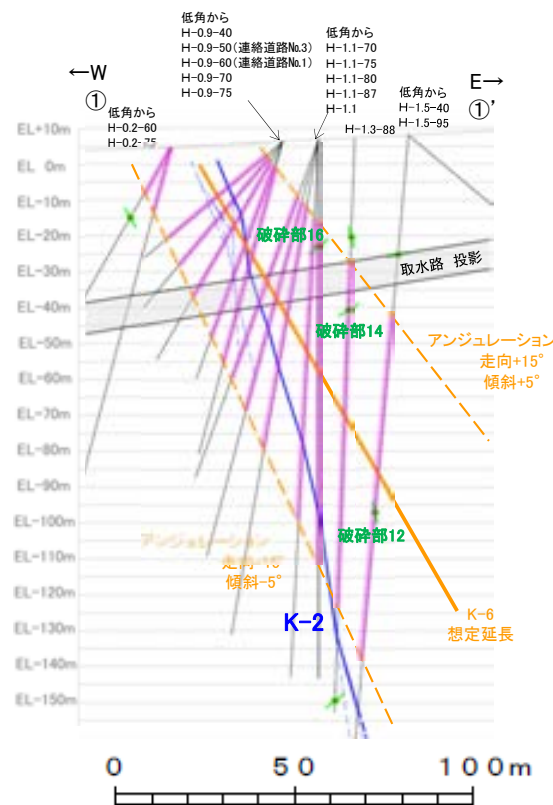
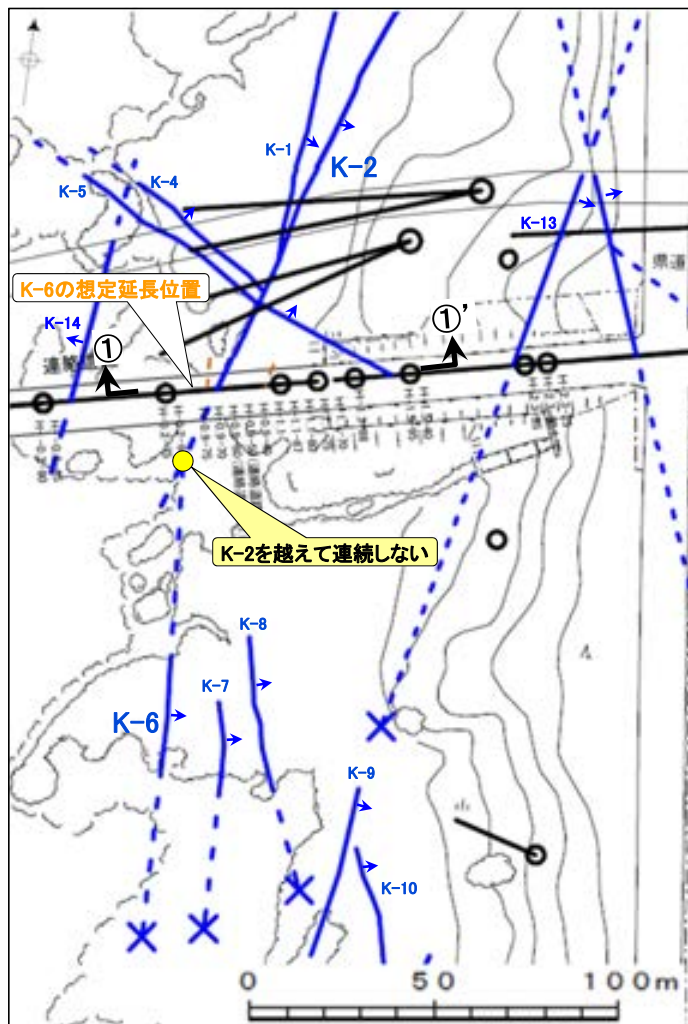


矢印(●)の向きは断層の傾斜方向を示す

■K-6北端の調査結果を以下に示す。

### 【K-6北端の調査結果】

①-①'断面において、K-6の想定延長範囲で確認された破砕部(K-2を除く)は、隣接孔に連続しない破砕部のみでK-6とは対応しない。これに加え、K-6は破砕部の幅がK-2に比べて小さいことから、K-2を越えて連続しない断層と判断した。



①-①'断面図

- 連続性が乏しい破砕部 (3cm以上)  
(両側の線は傾斜方向(走向を考慮した偽傾斜))
- / K-2(主線を太線で表記)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
- / K-6 想定延長位置  
(破線はアンジュレーション範囲)
- / K-6の想定延長範囲

①-①'断面におけるK-6の想定延長範囲

孔名	想定延長深度(m)			想定延長範囲に認められる幅3cm以上の破砕部(K-2を除く)
	上端	中央	下端	
H-0.2-60	-	-	15	なし
H-0.2-75	-	-	19	なし
H-0.9-40	5	23.4	43	なし
H-0.9-50	5	24.5	45	なし
H-0.9-60	6	26.6	50	なし
H-0.9-70	6	30.1	58	なし
H-0.9-75	7	32.6	64	なし
H-1.1-70	16	41.7	71	なし
H-1.1-75	17	45.2	78	なし
H-1.1-80	18	49.7	87	なし
H-1.1-87	21	58.6	107	なし
H-1.1	22	63.9	119	破砕部16(N48° E/56° NW, 幅7cm)が認められるものの、隣接孔に連続しない。
H-1.3-88	34	77.1	131	破砕部14(N64° E/69° NW, 幅3cm)が認められるものの、隣接孔に連続しない。
H-1.5-95	50	94.4	147	破砕部12(N35° W/79° NE, 幅5cm)が認められるものの、隣接孔に連続しない。

・それぞれのボーリング柱状図等は、データ集1, 2, 3

K-2, K-6の破砕部の性状

断層名	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅*
K-2	N19° E/72° SE	28cm (94cm)
K-6	N2° W/60° NE	7cm (9cm)

\*:すべての破砕部の平均値  
(下段括弧内は最大値)。

矢印(➡)の向きは断層の傾斜方向を示す

平面図

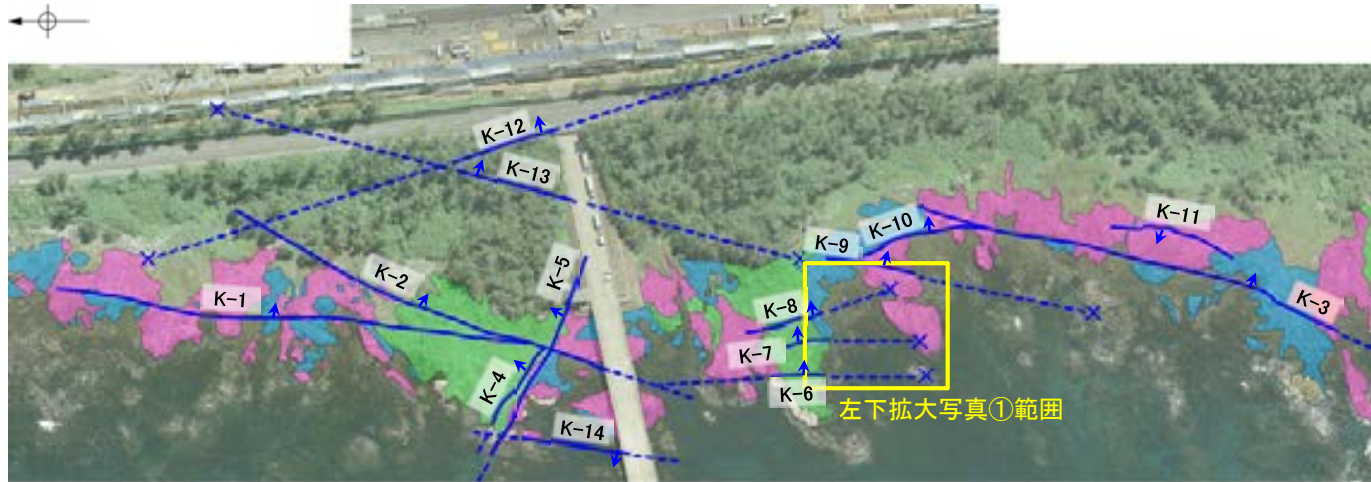
凡例

- 鉛直ボーリング孔
- 斜めボーリング孔
- / 断層(EL.0m)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)

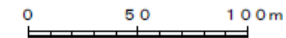
■K-6南端の調査結果を以下に示す。

**【K-6南端の調査結果】**

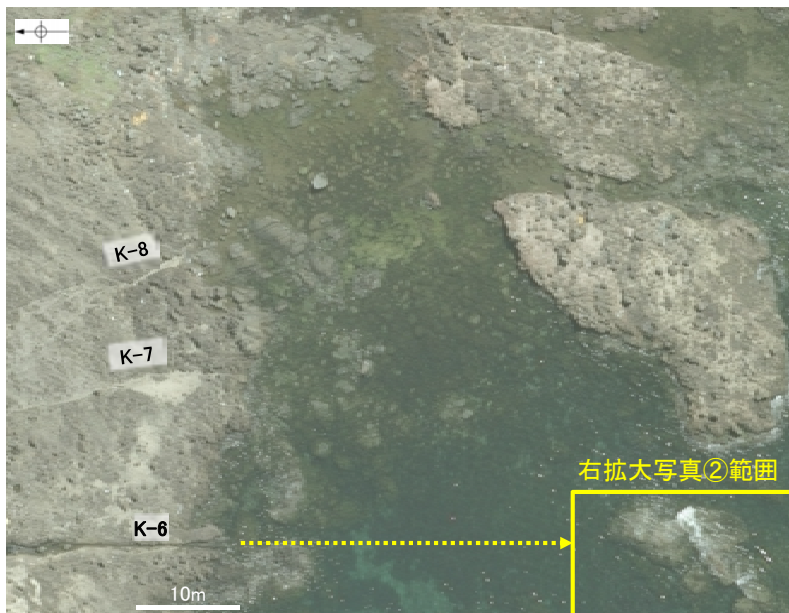
南方延長の露岩域において、K-6が認められないことを確認。



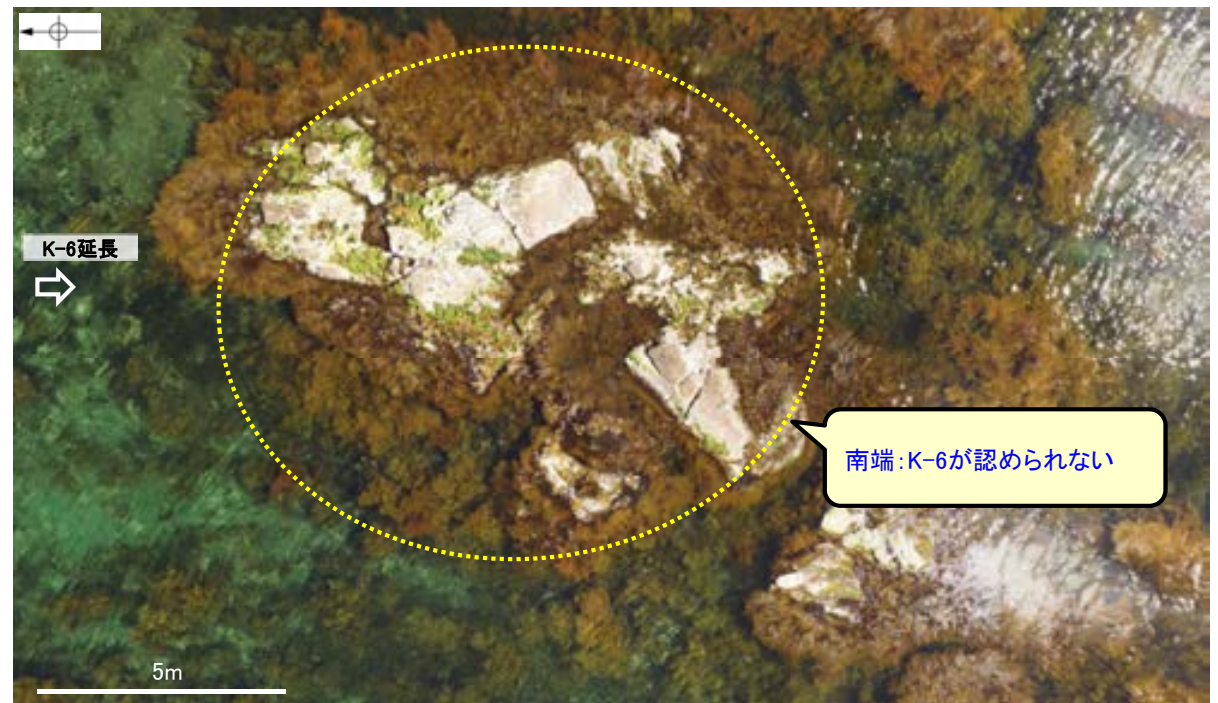
断層分布図(海岸部)



- 凡例
- 別所岳安山岩類 安山岩(均質)
  - 別所岳安山岩類 安山岩(角礫質)
  - 別所岳安山岩類 凝灰角礫岩
  - 断層(地表面)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
  - 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの  
矢印(♣)の向きは断層の傾斜方向を示す



拡大写真①  
K-6の南方延長付近

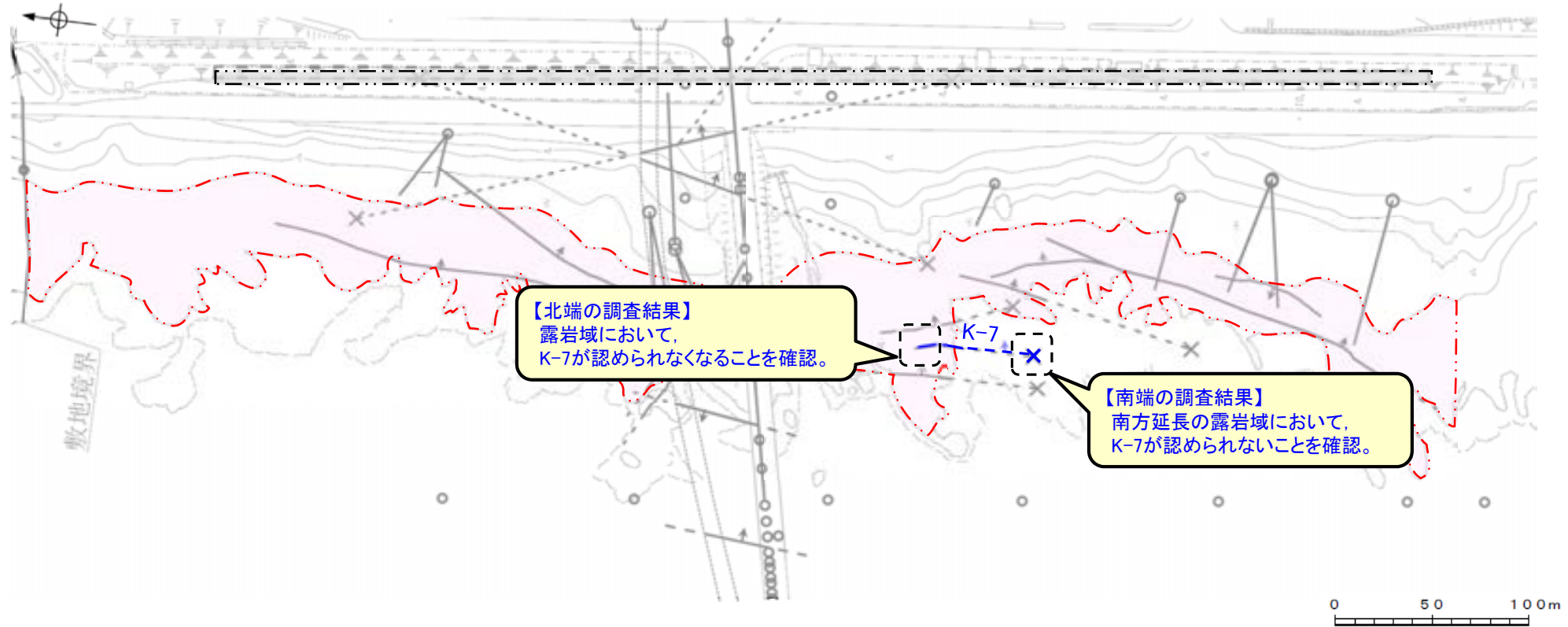


拡大写真②

---

## (17) K-7端部の調査結果

■K-7端部の調査結果の概要を以下に示す。



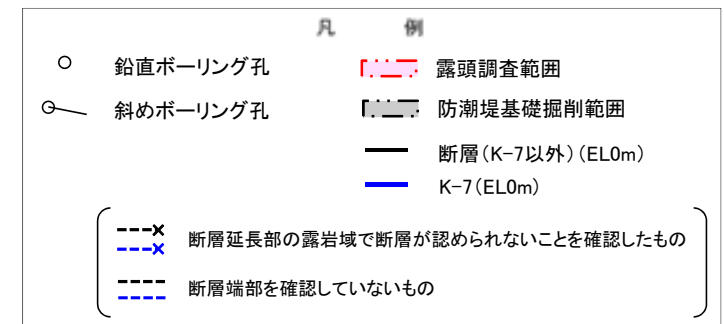
調査位置図

K-7端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-7	20m以上 55m以下	N8° W / 88° NE

\* 走向は一般走向  
傾斜は海岸部露頭の値

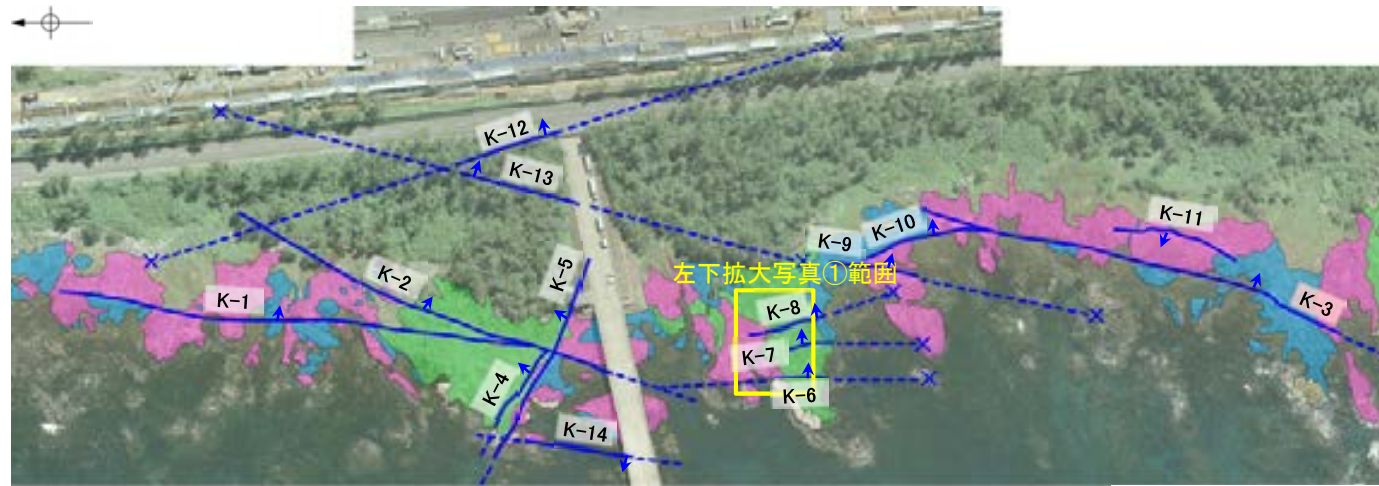


矢印(●)の向きは断層の傾斜方向を示す

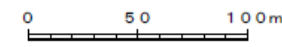
■K-7北端の調査結果を以下に示す。

**【K-7北端の調査結果】**

露岩域において、K-7が認められなくなることを確認。



断層分布図(海岸部)



- 凡例
- 別所岳安山岩類 安山岩(均質)
  - 別所岳安山岩類 安山岩(角礫質)
  - 別所岳安山岩類 凝灰角礫岩
  - 断層(地表面)  
(断層はさらに延長する可能性のある箇所)
  - 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したものの矢印( )の向きは断層の補斜方向を示す



北端:K-7が認められなくなる

拡大写真①  
K-7の北方付近

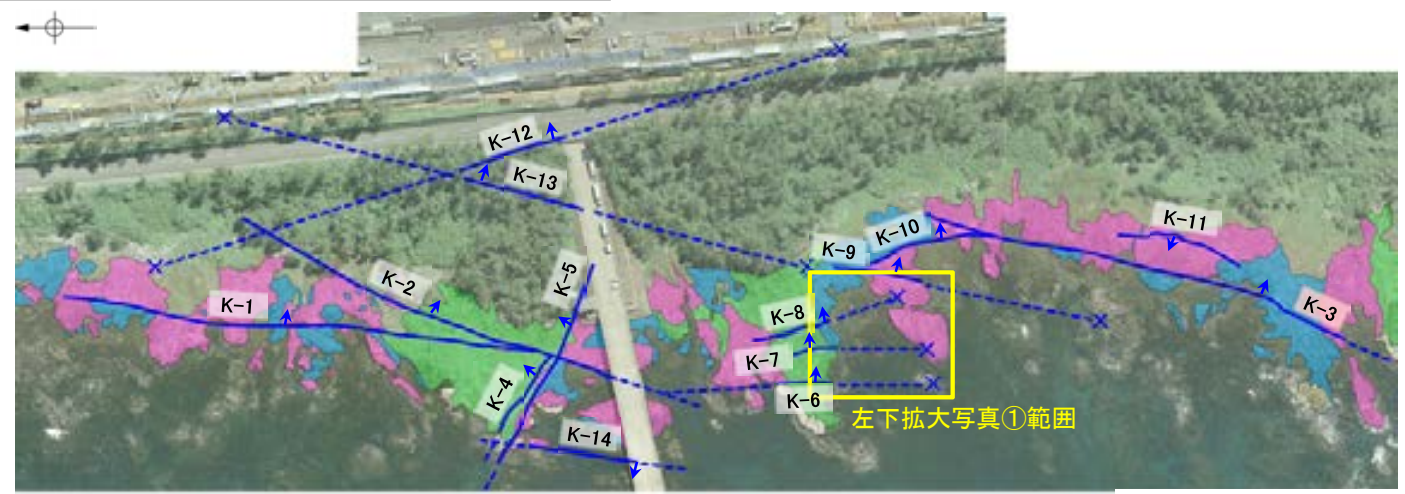


拡大写真②  
K-7の北方延長

# K-7端部の調査結果 ー南端:露岩域ー

■K-7南端の調査結果を以下に示す。

**【K-7南端の調査結果】**  
南方延長の露岩域において、K-7が認められないことを確認。

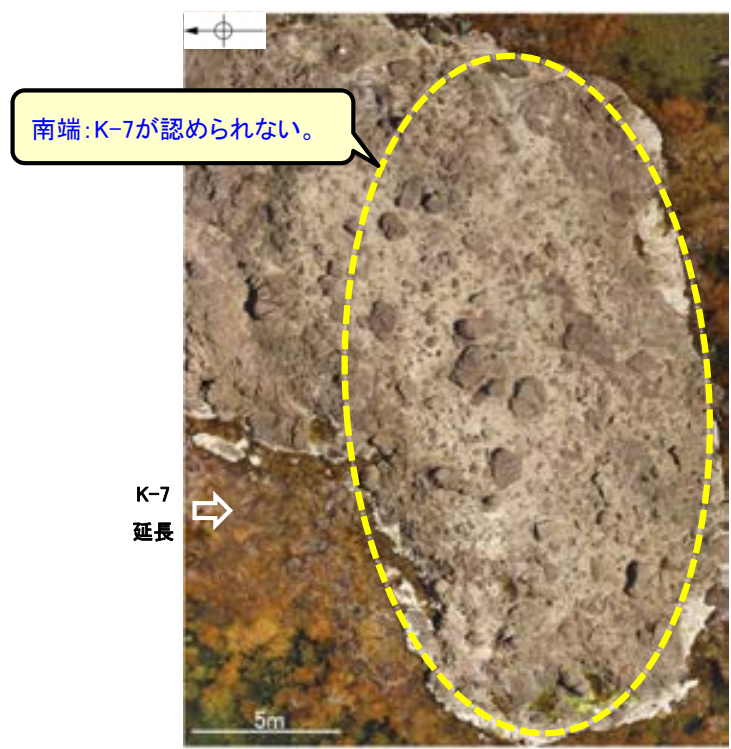


- 凡例**
- 別所岳安山岩類 安山岩(均質)
  - 別所岳安山岩類 安山岩(角礫質)
  - 別所岳安山岩類 凝灰角礫岩
  - 断層(地表面)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
  - 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したものを矢印(➡)の向きは断層の傾斜方向を示す

断層分布図(海岸部)



拡大写真①  
K-7の南方延長付近



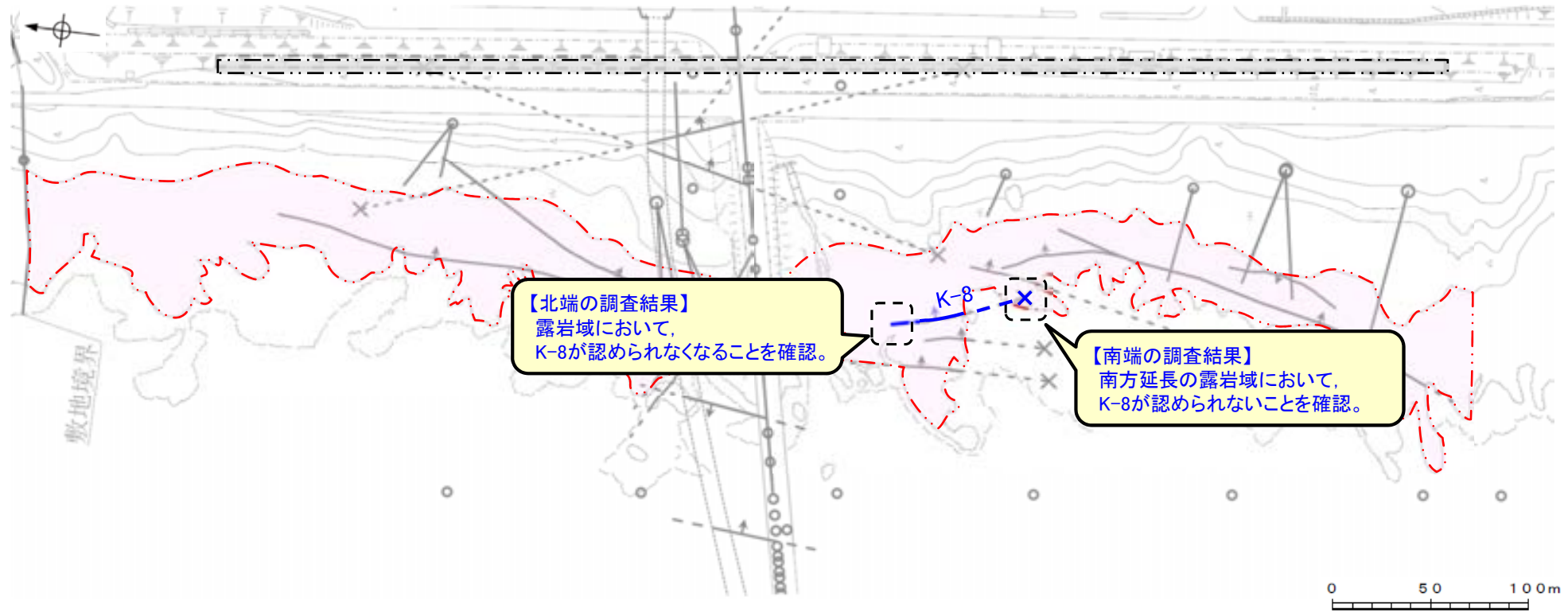
拡大写真②

---

## (18) K-8端部の調査結果



■K-8端部の調査結果の概要を以下に示す。



調査位置図

K-8端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-8	35m以上 70m以下	N15° W / 80° NE

\* 走向は一般走向  
傾斜は海岸部露頭の値

凡 例

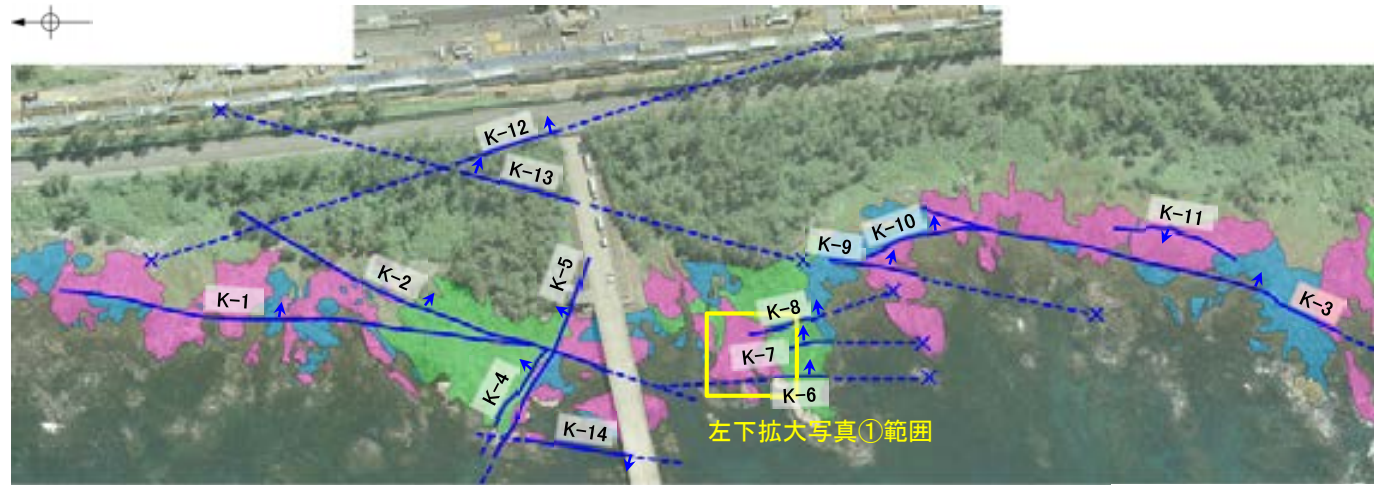
- 鉛直ボーリング孔
- 斜めボーリング孔
- ⋯ 露頭調査範囲
- 防潮堤基礎掘削範囲
- 断層 (K-8以外) (EL0m)
- K-8 (EL0m)
- x 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- x 断層端部を確認していないもの

矢印(※)の向きは断層の傾斜方向を示す

■K-8北端の調査結果を以下に示す。

**【K-8北端の調査結果】**

露岩域において、K-8が認められなくなることを確認。



断層分布図(海岸部)



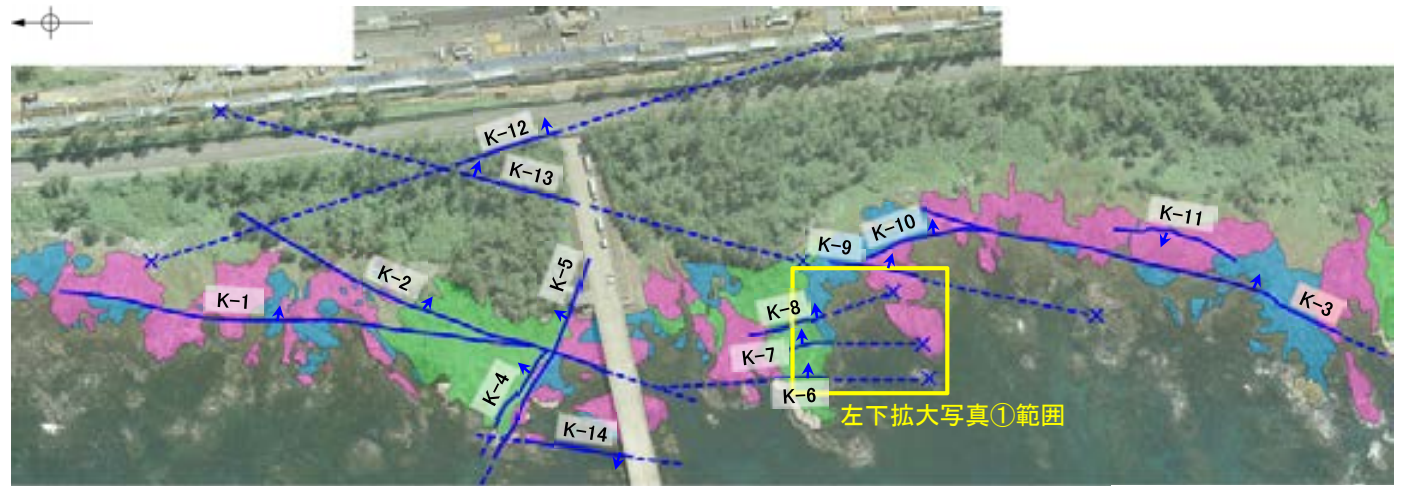
拡大写真①  
K-8の北方付近



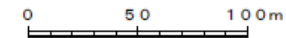
拡大写真②  
K-8の北方延長

■K-8南端の調査結果を以下に示す。

**【K-8南端の調査結果】**  
南方延長の露岩域において、K-8が認められないことを確認。



断層分布図(海岸部)



拡大写真①  
K-8の南方延長付近

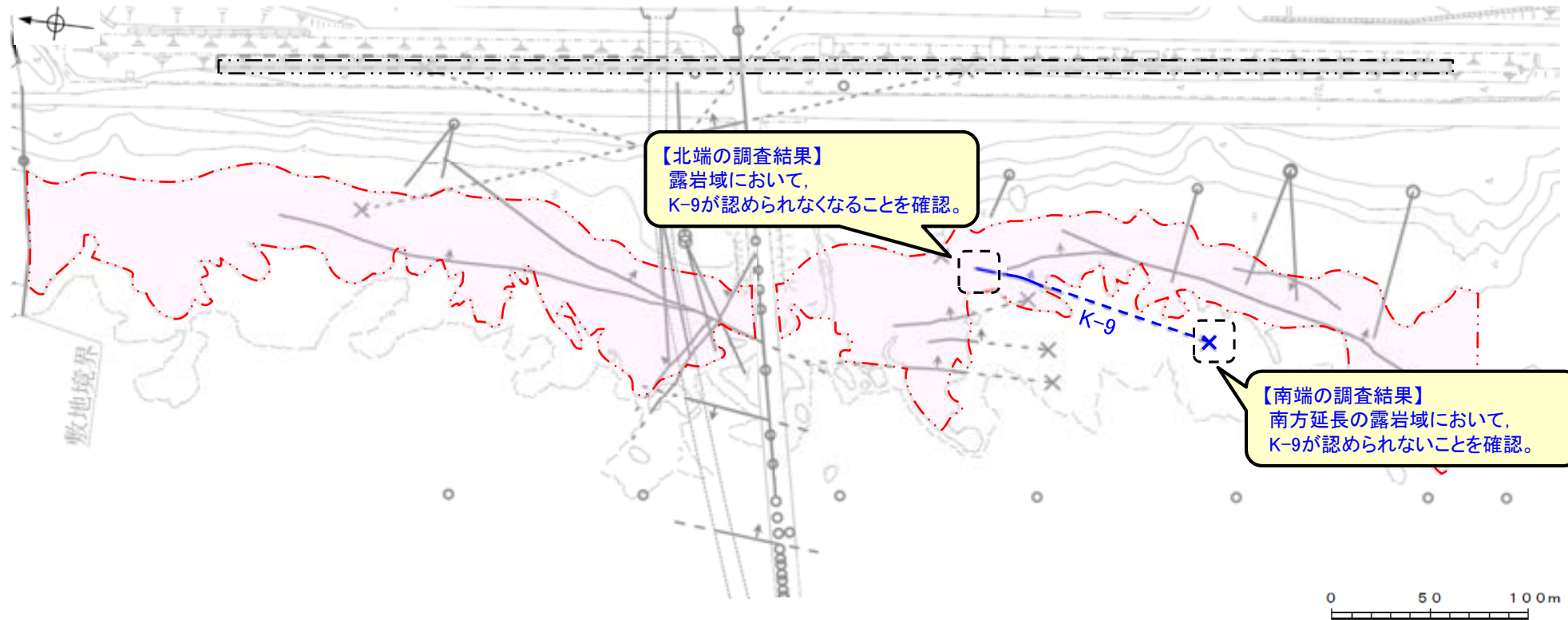


拡大写真②

---

## (19) K-9端部の調査結果

■K-9端部の調査結果の概要を以下に示す。



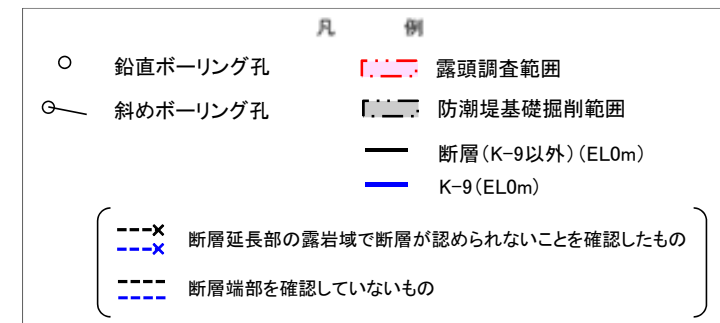
調査位置図

K-9端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-9	40m以上 120m以下	N10° E / 88° SE

\* 走向は一般走向  
傾斜は海岸部露頭の値

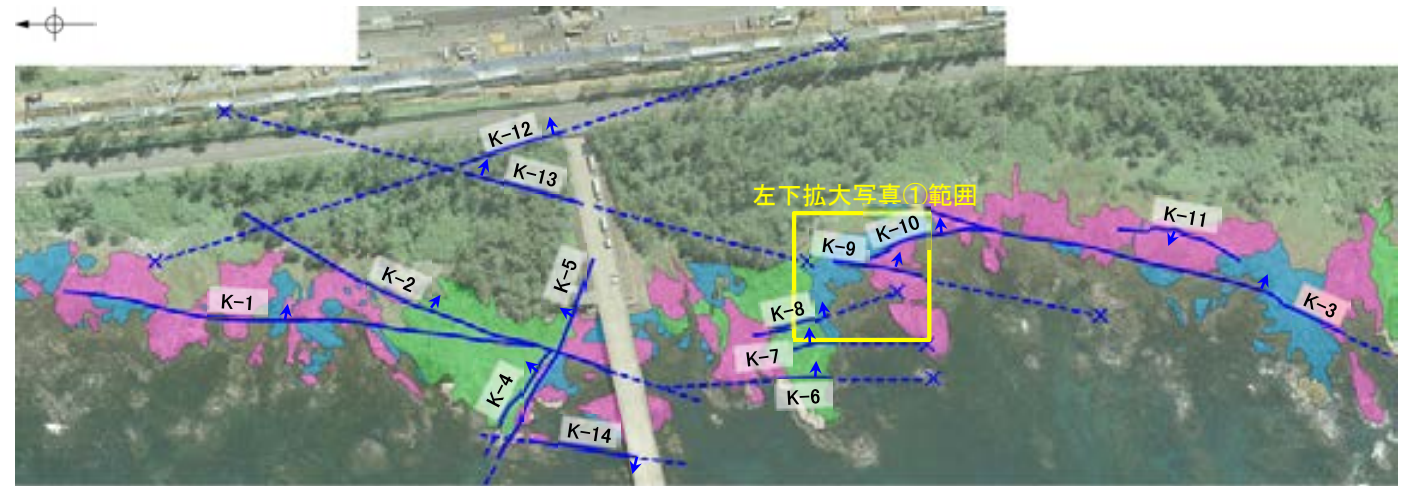


矢印(※)の向きは断層の傾斜方向を示す

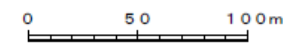
# K-9端部の調査結果 ー北端：露岩域ー

■K-9北端の調査結果を以下に示す。

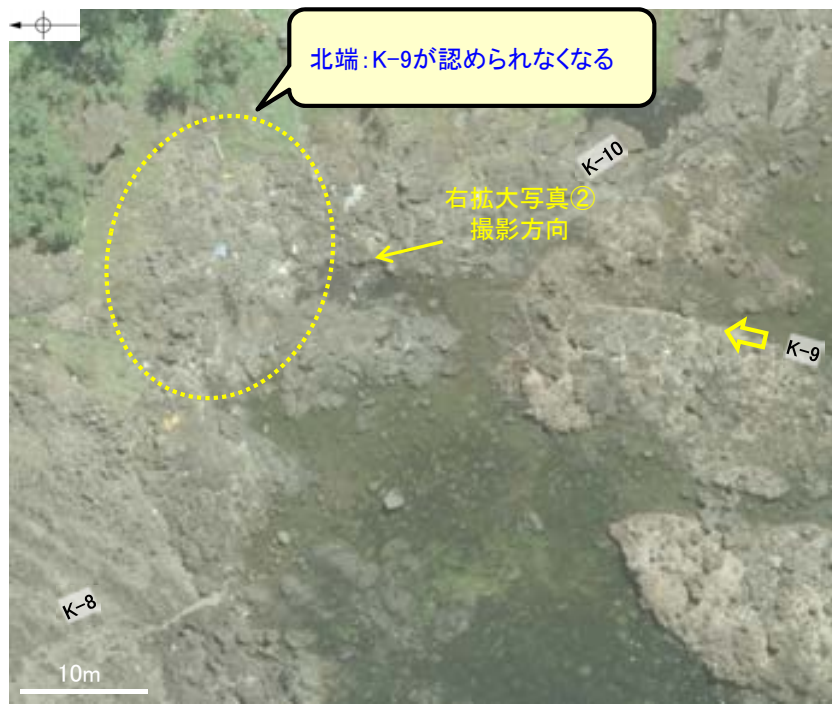
**【K-9北端の調査結果】**  
露岩域において、K-9が認められなくなることを確認。



断層分布図(海岸部)



- 凡例
- 別所岳安山岩類 安山岩(均質)
  - 別所岳安山岩類 安山岩(角礫質)
  - 別所岳安山岩類 凝灰角礫岩
  - 断層(地表型)  
(断層はさらに延長する可能性のある箇所)
  - 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したものの矢印(➡)の向きは断層の傾斜方向を示す



拡大写真①  
K-9の北方付近

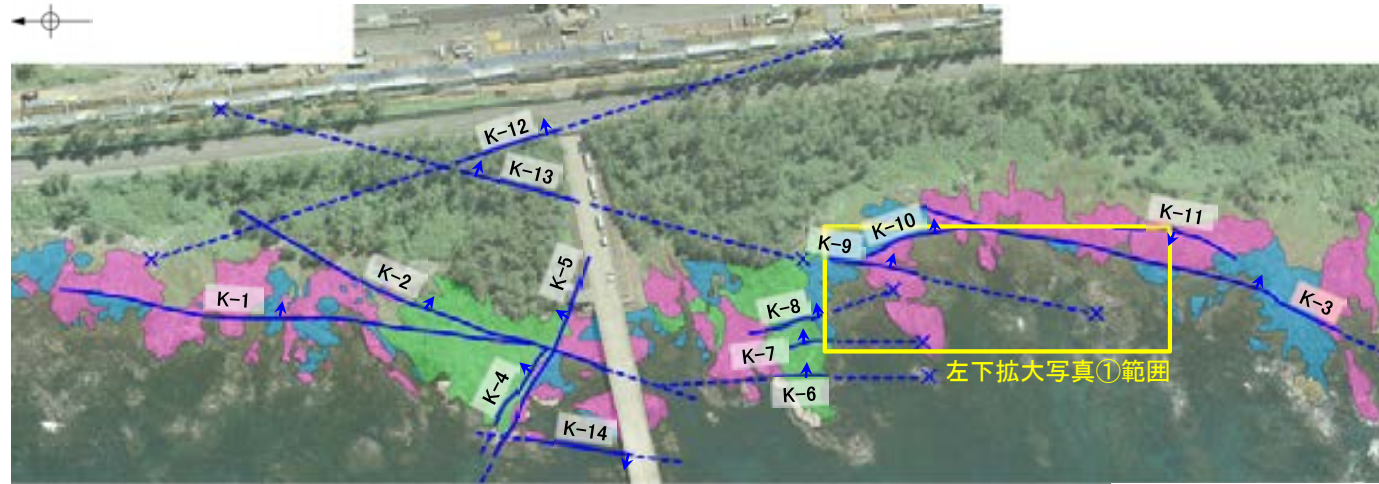


拡大写真②  
K-9の北方延長

■K-9南端の調査結果を以下に示す。

**【K-9南端の調査結果】**

南方延長の露岩域において、K-9が認められないことを確認。



断層分布図(海岸部)



拡大写真①  
K-9の南方延長付近



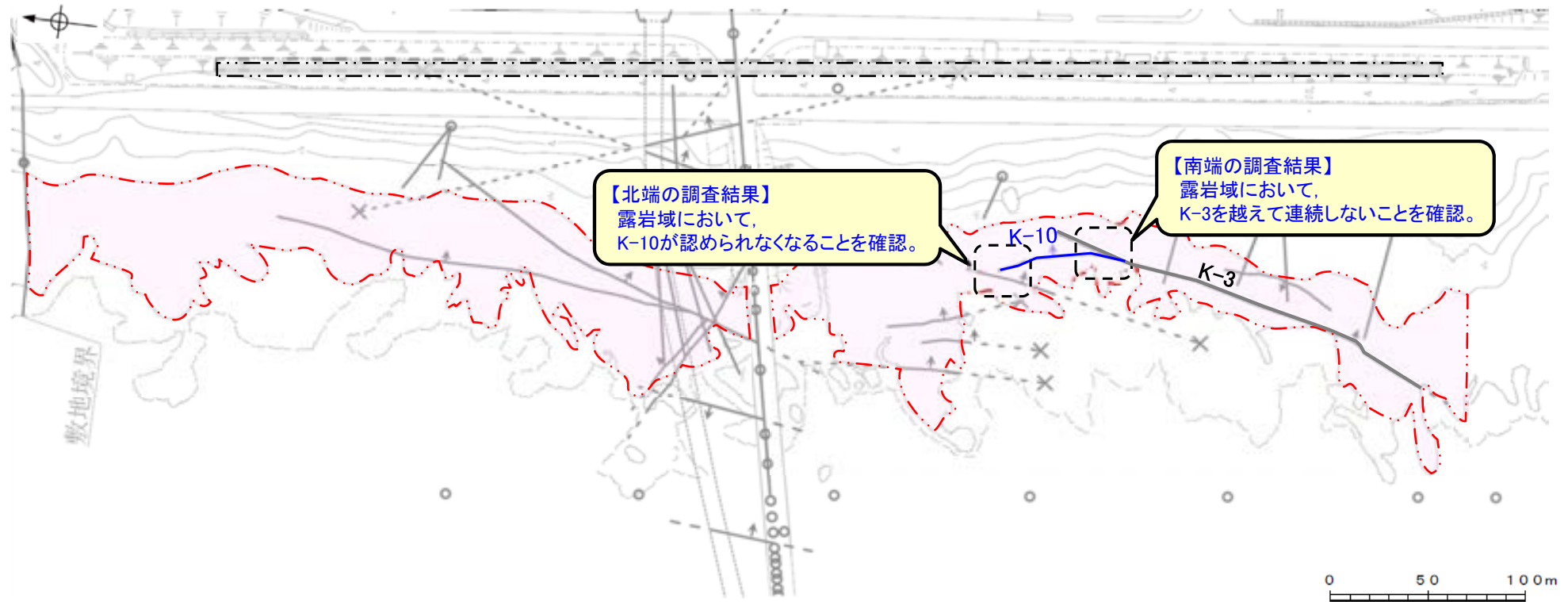
拡大写真②

---

## (20) K-10端部の調査結果



■K-10端部の調査結果の概要を以下に示す。



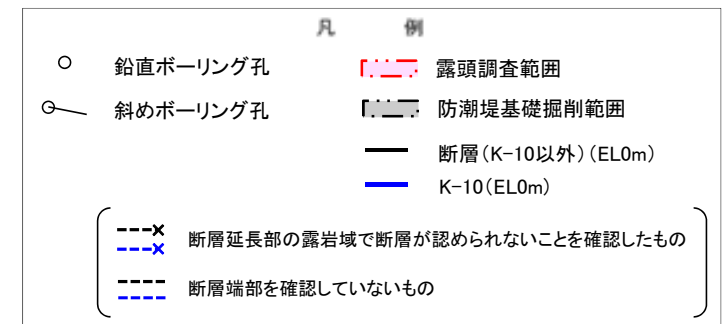
調査位置図

K-10端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-10	60m	N16° W / 62° NE

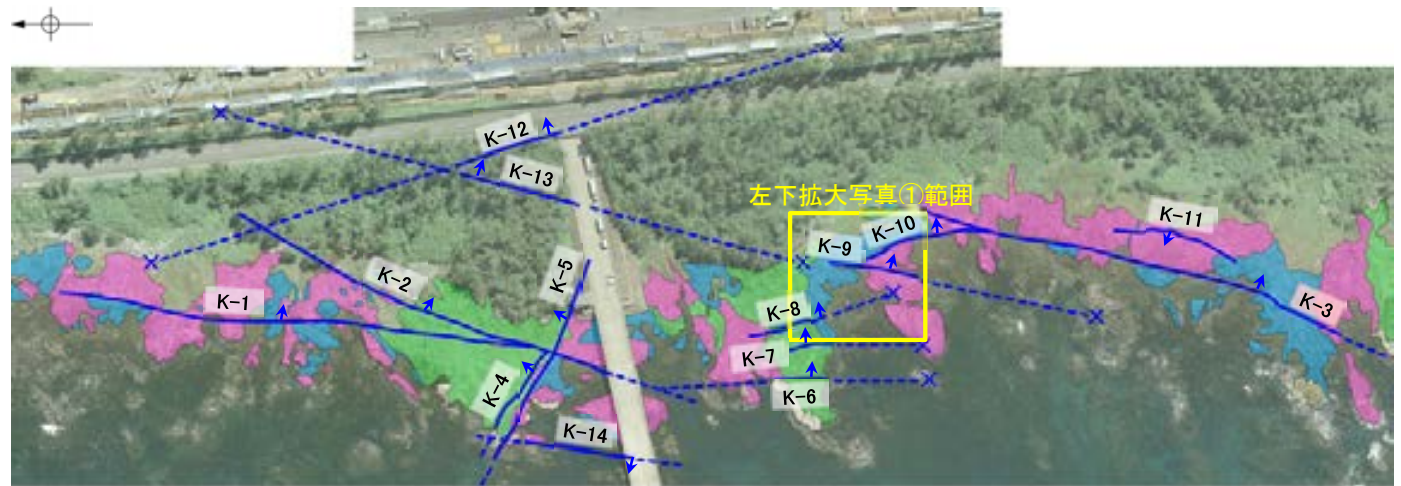
\* 走向は一般走向  
傾斜は海岸部露頭の値



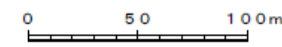
矢印(●)の向きは断層の傾斜方向を示す

■K-10北端の調査結果を以下に示す。

**【K-10北端の調査結果】**  
露岩域において、K-10が認められなくなることを確認。



- 凡例
- 別所岳安山岩類 安山岩(均質)
  - 別所岳安山岩類 安山岩(角礫質)
  - 別所岳安山岩類 凝灰角礫岩
  - 断層(地表型)  
(断層はさらに延長する可能性のある箇所)
  - 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの  
矢印(➡)の向きは断層の補斜方向を示す



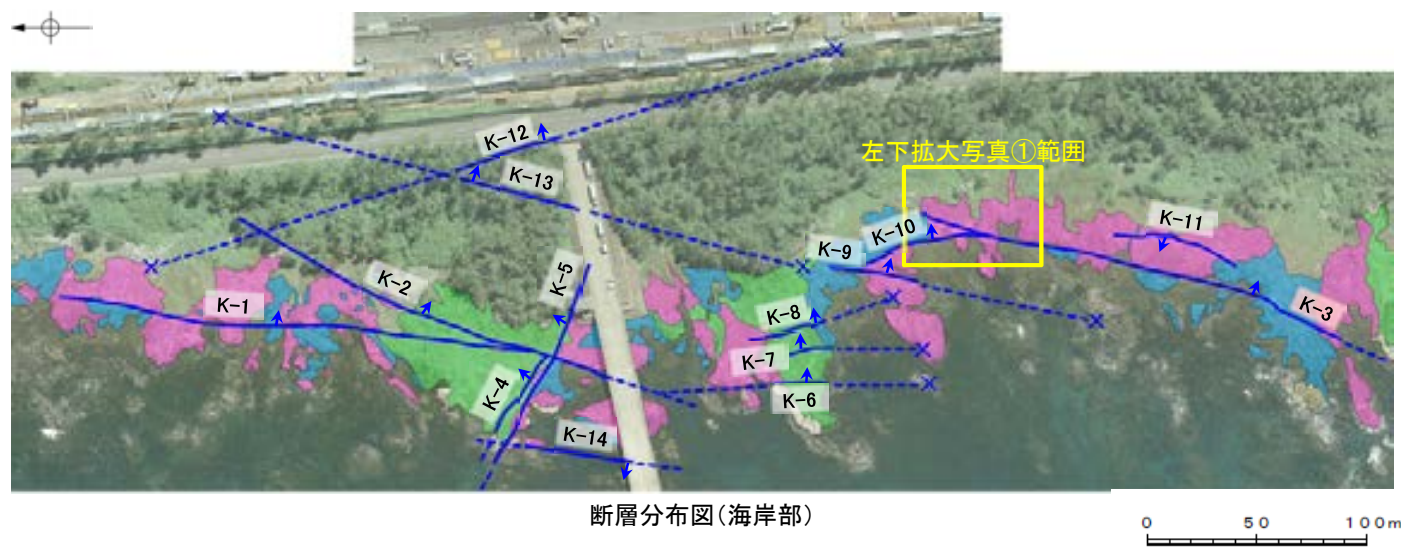
拡大写真①  
K-10の北方付近



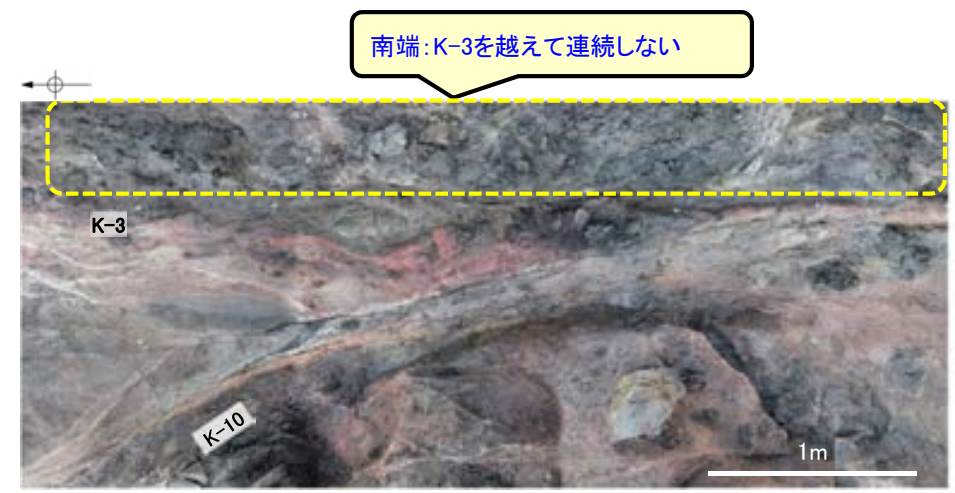
拡大写真②  
K-10の北方延長

■K-10南端の調査結果を以下に示す。

**【K-10南端の調査結果】**  
露岩域において、K-10はK-3を越えて連続しないことを確認。



拡大写真①  
K-10の南方付近

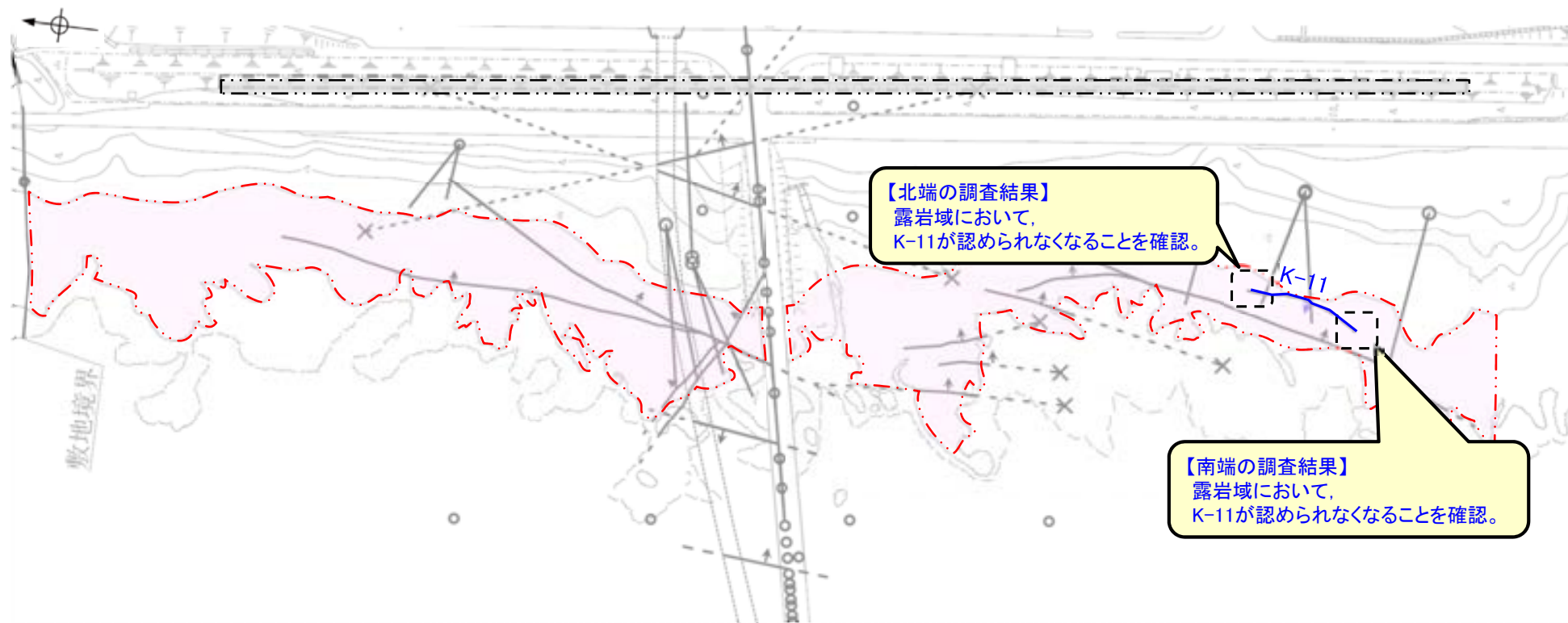


拡大写真②  
K-10とK-3の会合部

---

## (21) K-11端部の調査結果

■K-11端部の調査結果の概要を以下に示す。



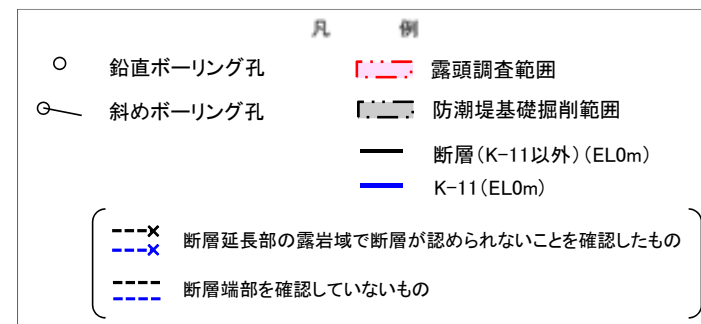
調査位置図

K-11端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-11	60m	N14° E / 70° NW

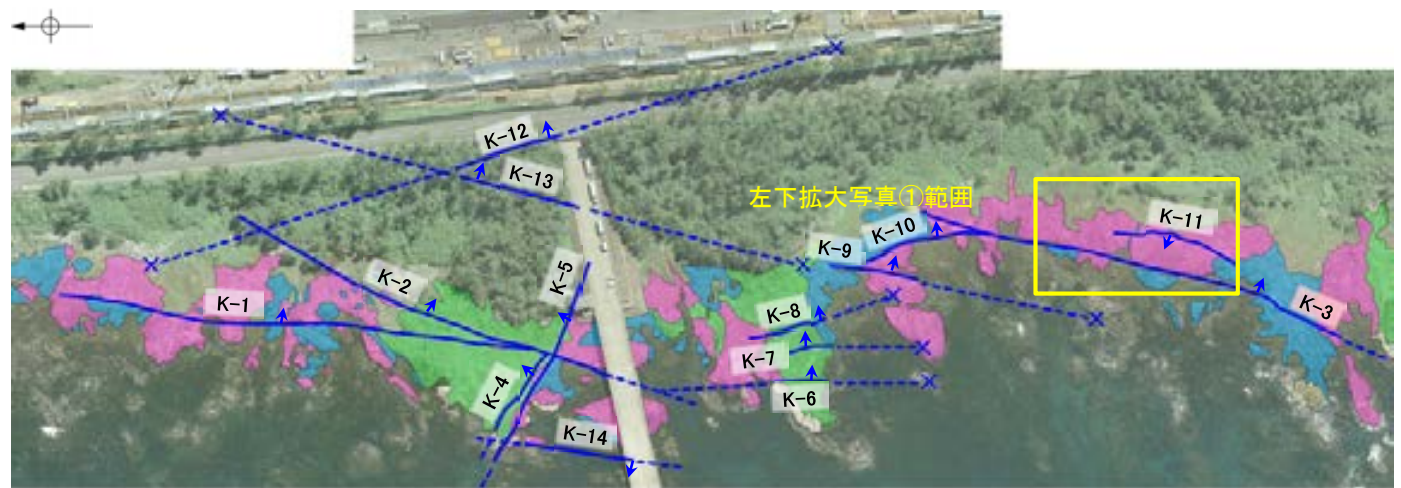
\* 走向は一般走向  
傾斜は海岸部露頭の値



矢印(●)の向きは断層の傾斜方向を示す

■K-11北端の調査結果を以下に示す。

**【K-11北端の調査結果】**  
露岩域において、K-11が認められなくなることを確認。



断層分布図(海岸部)

0 50 100m



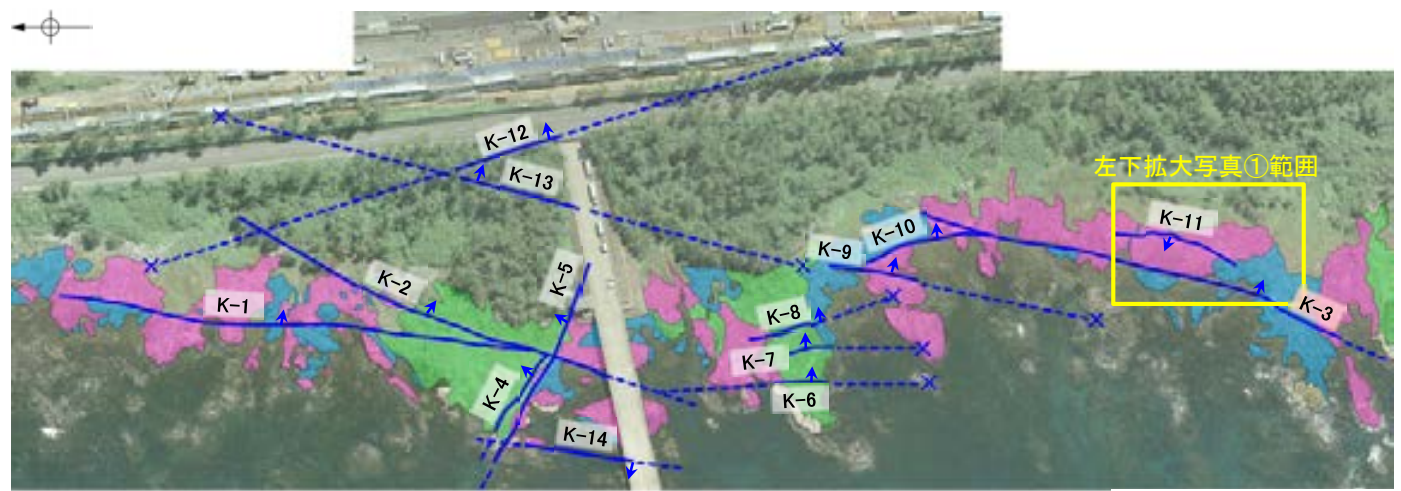
拡大写真①  
K-11の北方付近



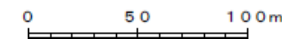
拡大写真②  
K-11の北方延長

■K-11南端の調査結果を以下に示す。

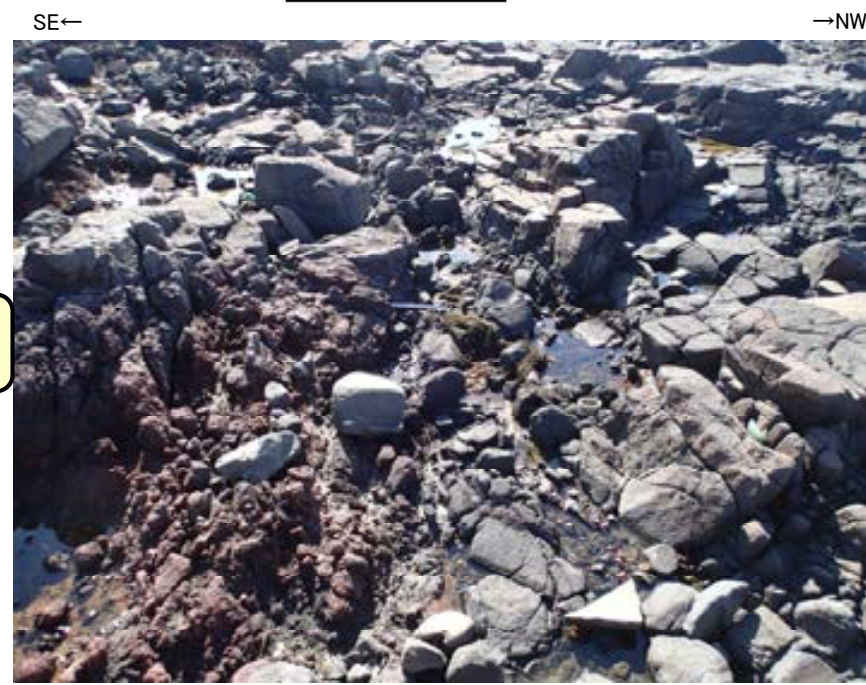
**【K-11南端の調査結果】**  
露岩域において、K-11が認められなくなることを確認。



断層分布図(海岸部)



拡大写真①  
K-11の南方付近



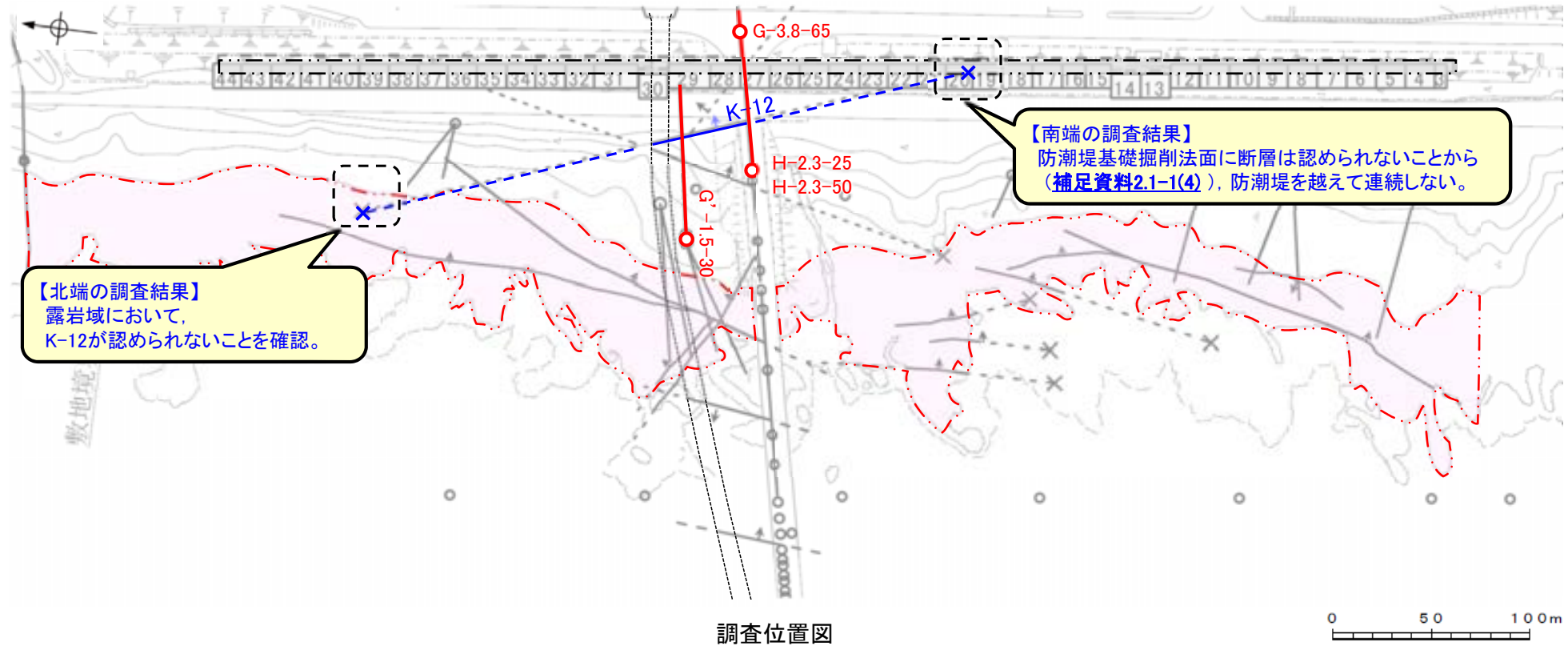
拡大写真②  
K-11の南方延長

---

## (22) K-12端部の調査結果



■K-12端部の調査結果の概要を以下に示す。



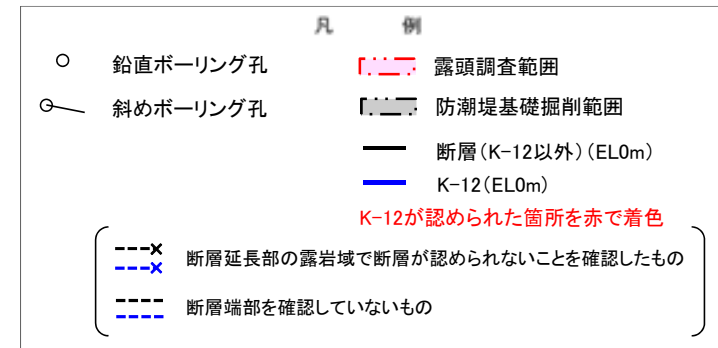
調査位置図

K-12端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	防潮堤	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-12	50m以上 310m以下	N21° W / 72° NE

\* 走向は、一般走向  
傾斜は、ボーリングで確認したすべての破砕部のベクトル平均値

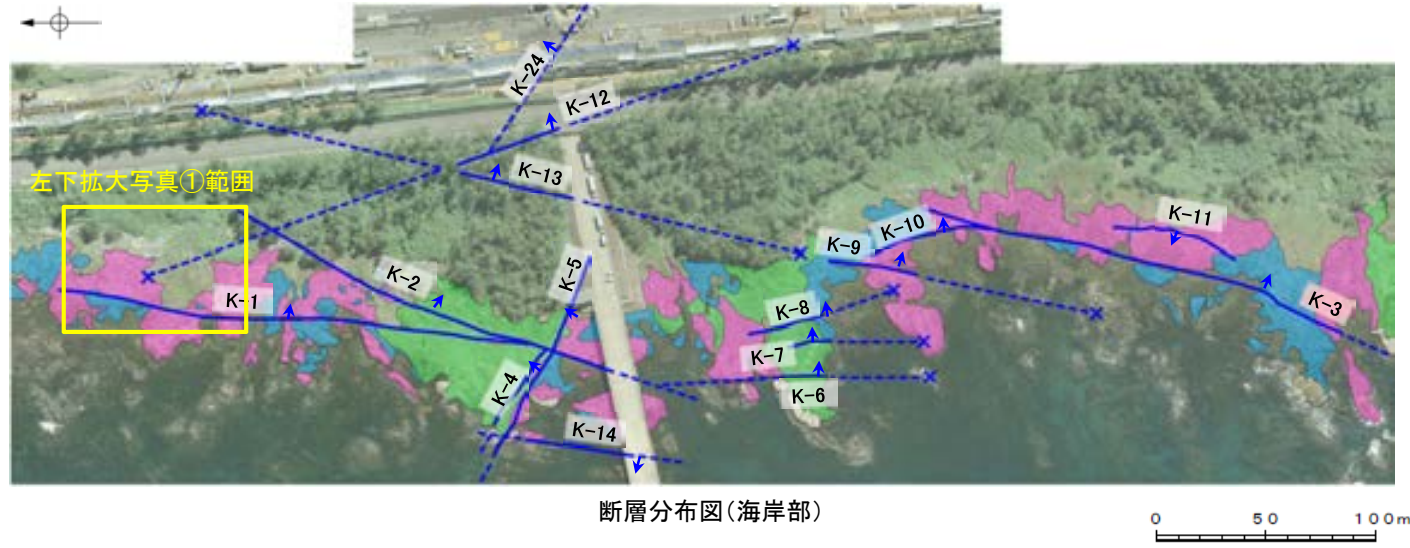


矢印(●)の向きは断層の傾斜方向を示す

# K-12端部の調査結果 —北端:露岩域—

■K-12北端の調査結果を以下に示す。

**【K-12北端の調査結果】**  
露岩域において、K-12が認められないことを確認。



- 凡例
- 別所岳安山岩類 安山岩(均質)
  - 別所岳安山岩類 安山岩(角礫質)
  - 別所岳安山岩類 凝灰角礫岩
  - 断層(地表面)  
(断層はさらに延長する可能性がある箇所)
  - 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したものの矢印(●)の向きは断層の傾斜方向を示す



拡大写真①  
K-12の北方付近

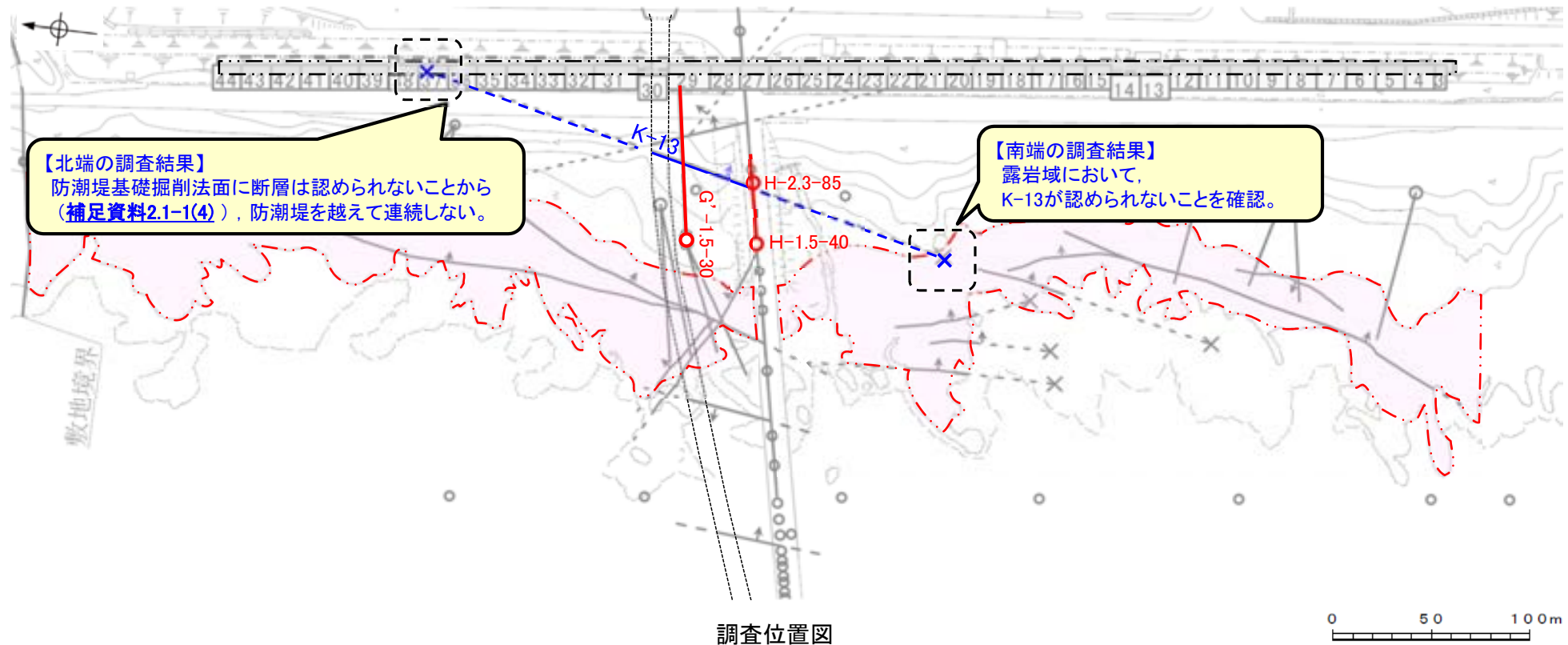


拡大写真②  
K-12の北方延長

---

## (23) K-13端部の調査結果

■K-13端部の調査結果の概要を以下に示す。

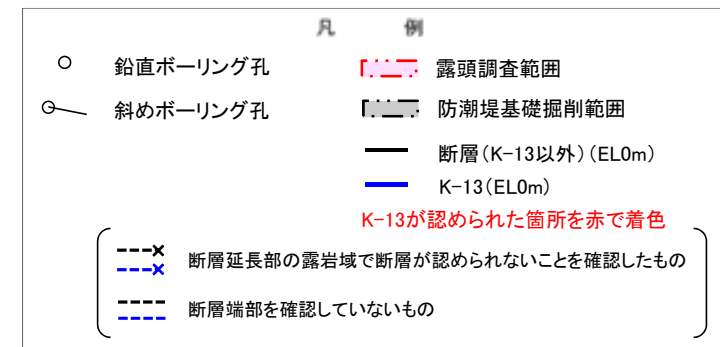


K-13端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	防潮堤	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-13	55m以上 300m以下	N12° E / 74° SE

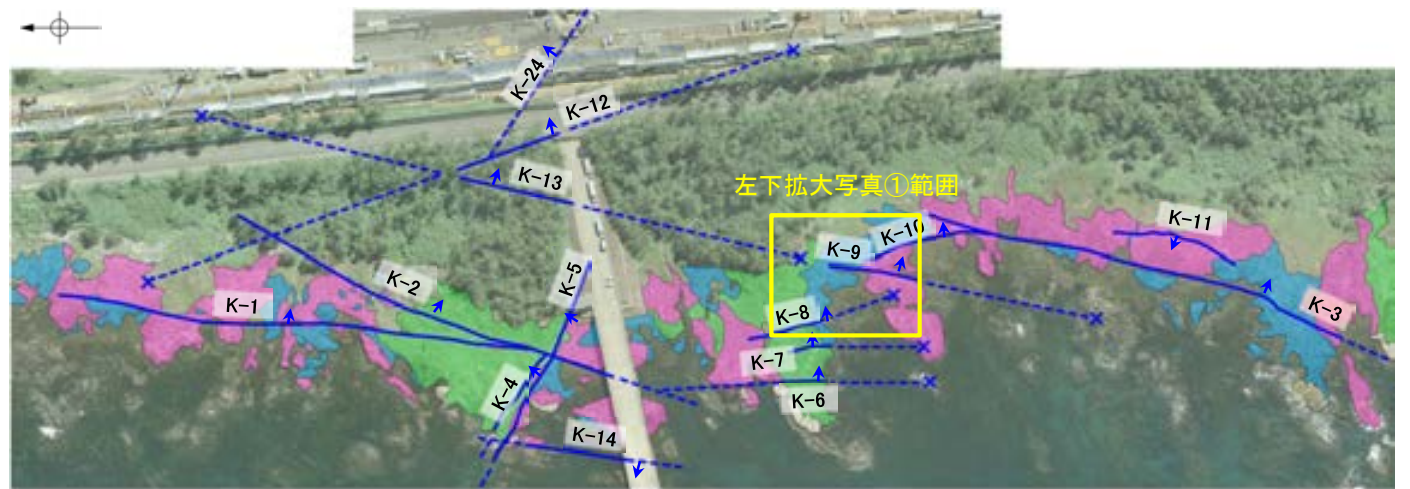
\* 走向は、一般走向  
傾斜は、ボーリングで確認したすべての破砕部のベクトル平均値



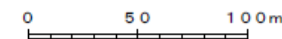
矢印(※)の向きは断層の補綴方向を示す

■K-13南端の調査結果を以下に示す。

**【K-13南端の調査結果】**  
露岩域において、K-13が認められないことを確認。



断層分布図(海岸部)

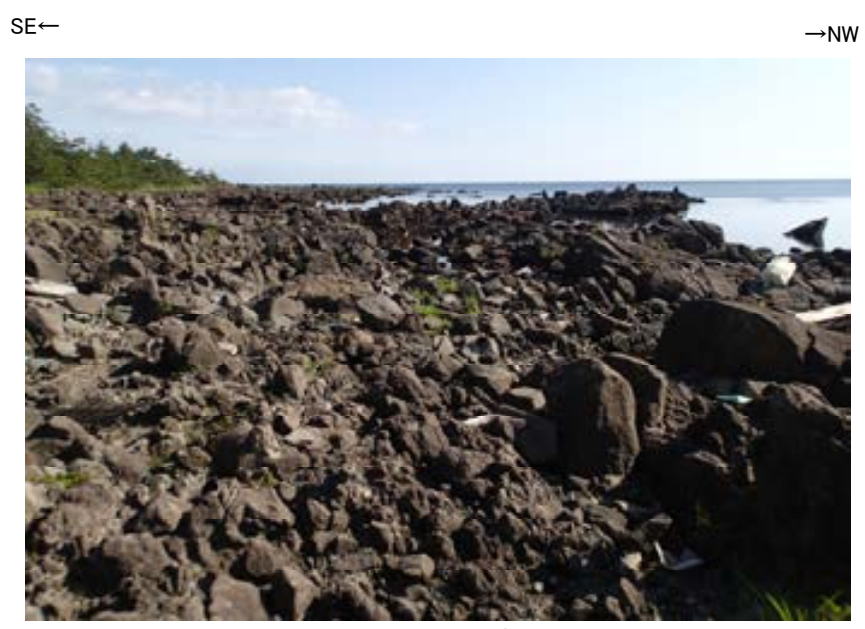


- 凡例
- 別所岳安山岩類 安山岩(均質)
  - 別所岳安山岩類 安山岩(角礫質)
  - 別所岳安山岩類 凝灰角礫岩
  - 断層(地表面)  
(断層はさらに延長する可能性がある箇所)
  - 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したものの矢印(●)の向きは断層の傾斜方向を示す



南端:K-13が認められない。

拡大写真①  
K-13の南方付近

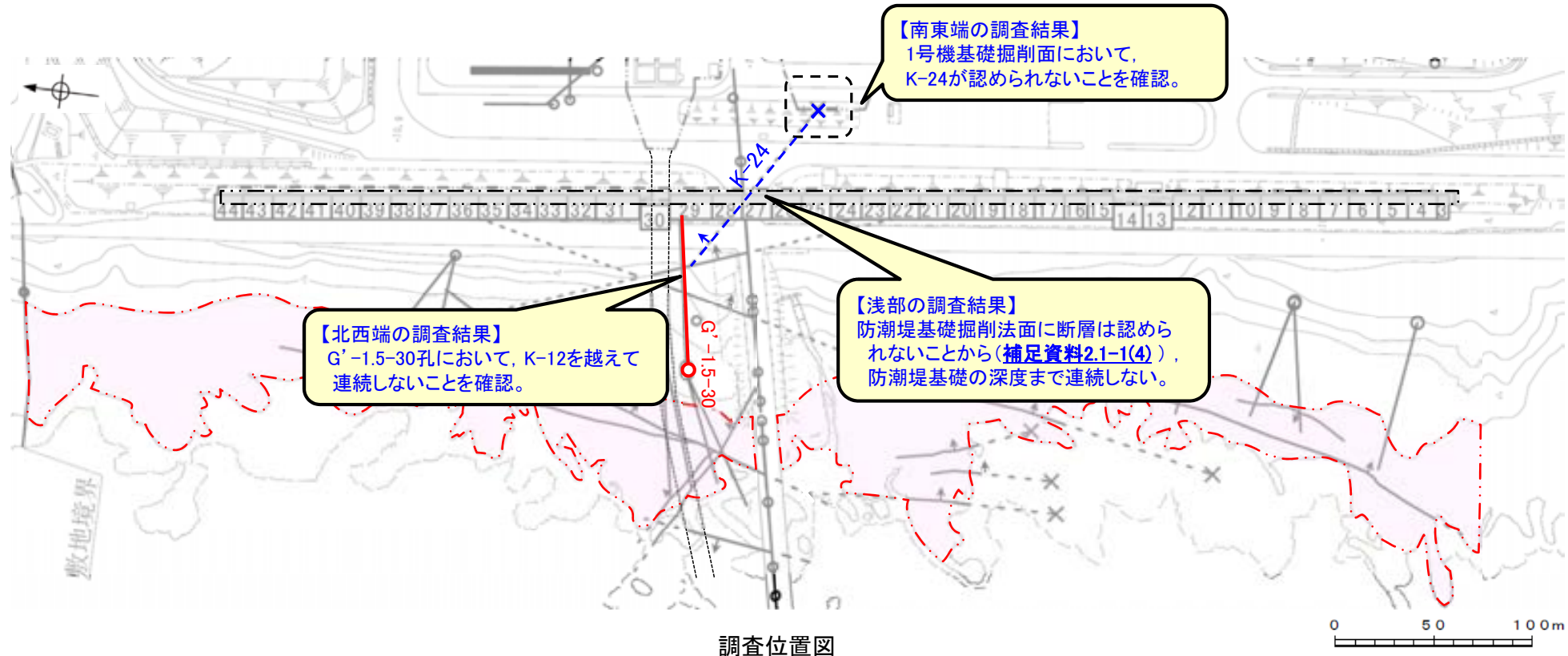


拡大写真②  
K-13の南方延長

---

## (24) K-24端部の調査結果

■K-24端部の調査結果の概要を以下に示す。

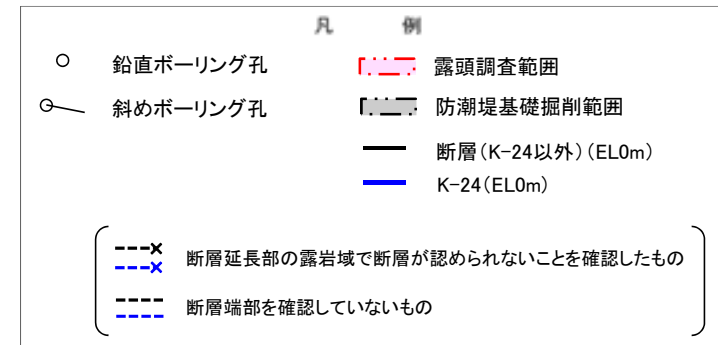


調査位置図

K-24端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北西端	G'-1.5-30孔	北西端の止め
南東端	1号機基礎掘削面	南東端の止め
浅部	防潮堤基礎	浅部の止め

	延長	走向/傾斜
K-24	105m以下	N58° W/89° NE



矢印(▲)の向きは断層の補斜方向を示す

• 走向・傾斜は、ボーリングで確認したすべての破砕部のベクトル平均値

■K-24北西端の調査結果を以下に示す。

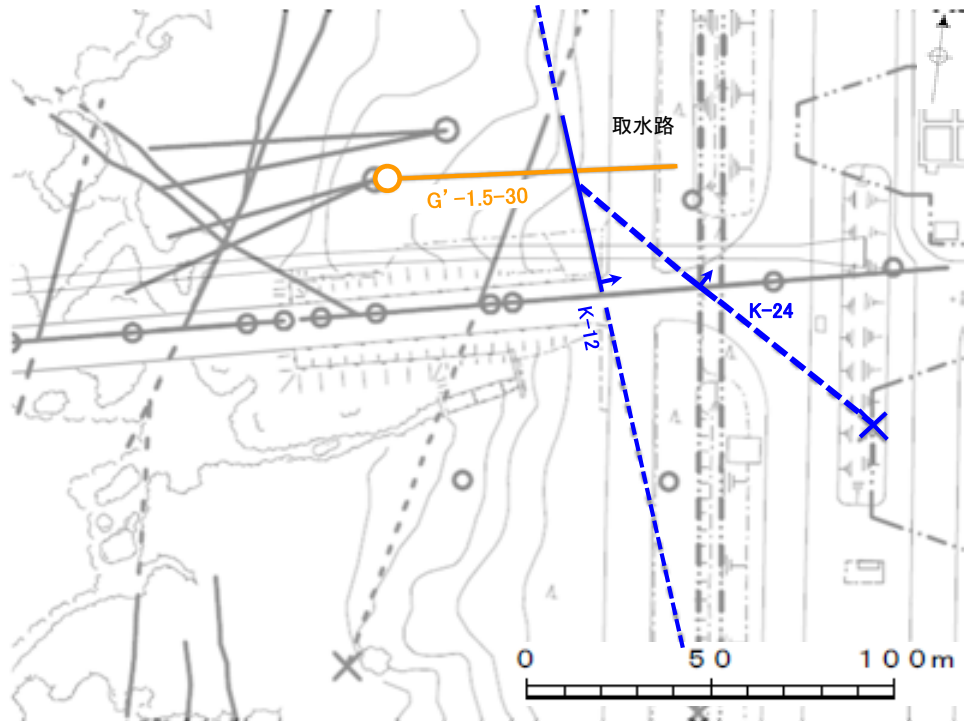
### 【K-24北西端の調査結果】

G'-1.5-30孔において、K-24はK-12を越えて連続しないことを確認。

○北西端の止めとしているG'-1.5-30孔の調査結果を以降に示す。

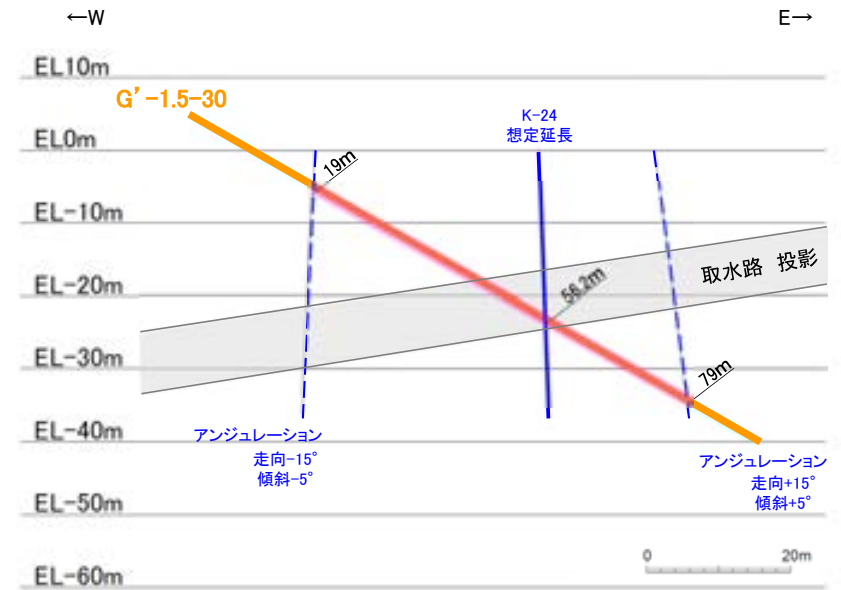
### 【G'-1.5-30孔の調査結果】

- ・右の断面図に示すとおり、K-24の想定延長は、深度19m以深となる。
- ・想定延長範囲において、K-24は認められない。  
(想定延長範囲のコア写真は次頁参照)



矢印(➡)の向きは断層の傾斜方向を示す

調査位置図



■ K-24の想定延長範囲

G'-1.5-30孔断面図(掘進方向)

橙: 想定延長範囲にK-24が認められないボーリング

- K-12, K-24 (EL-20m)
- K-12, K-24以外の断層 (EL 0m)

(破線はさらに延長する可能性のある箇所)

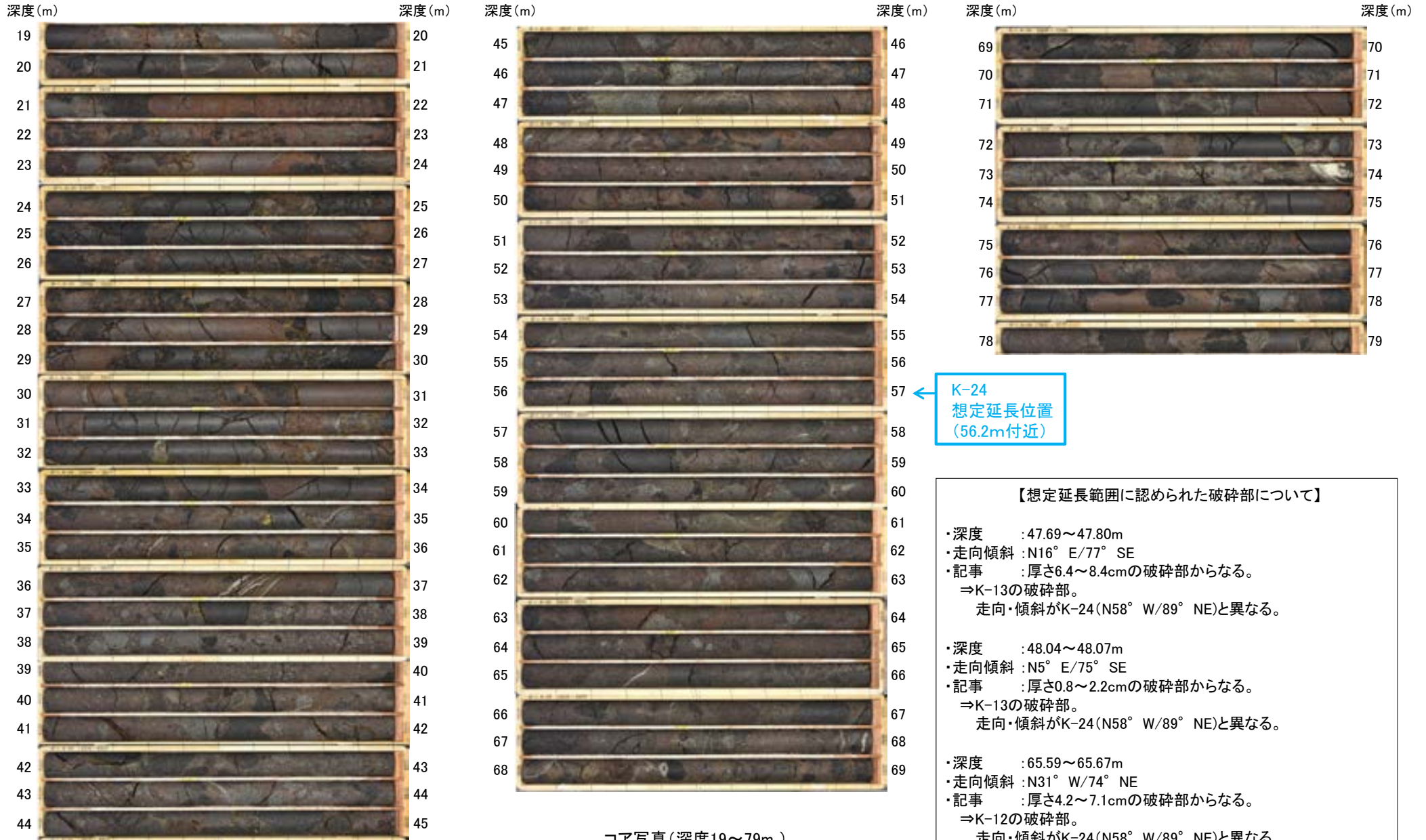
- × 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- 断層端部を確認していないもの



・K-24想定延長範囲(深度19~79m)のコア写真を以下に示す。

G'-1.5-30孔(孔口標高4.65m, 掘進長90m, 傾斜30°)

柱状図はデータ集1



コア写真(深度19~79m)

K-24  
想定延長位置  
(56.2m付近)

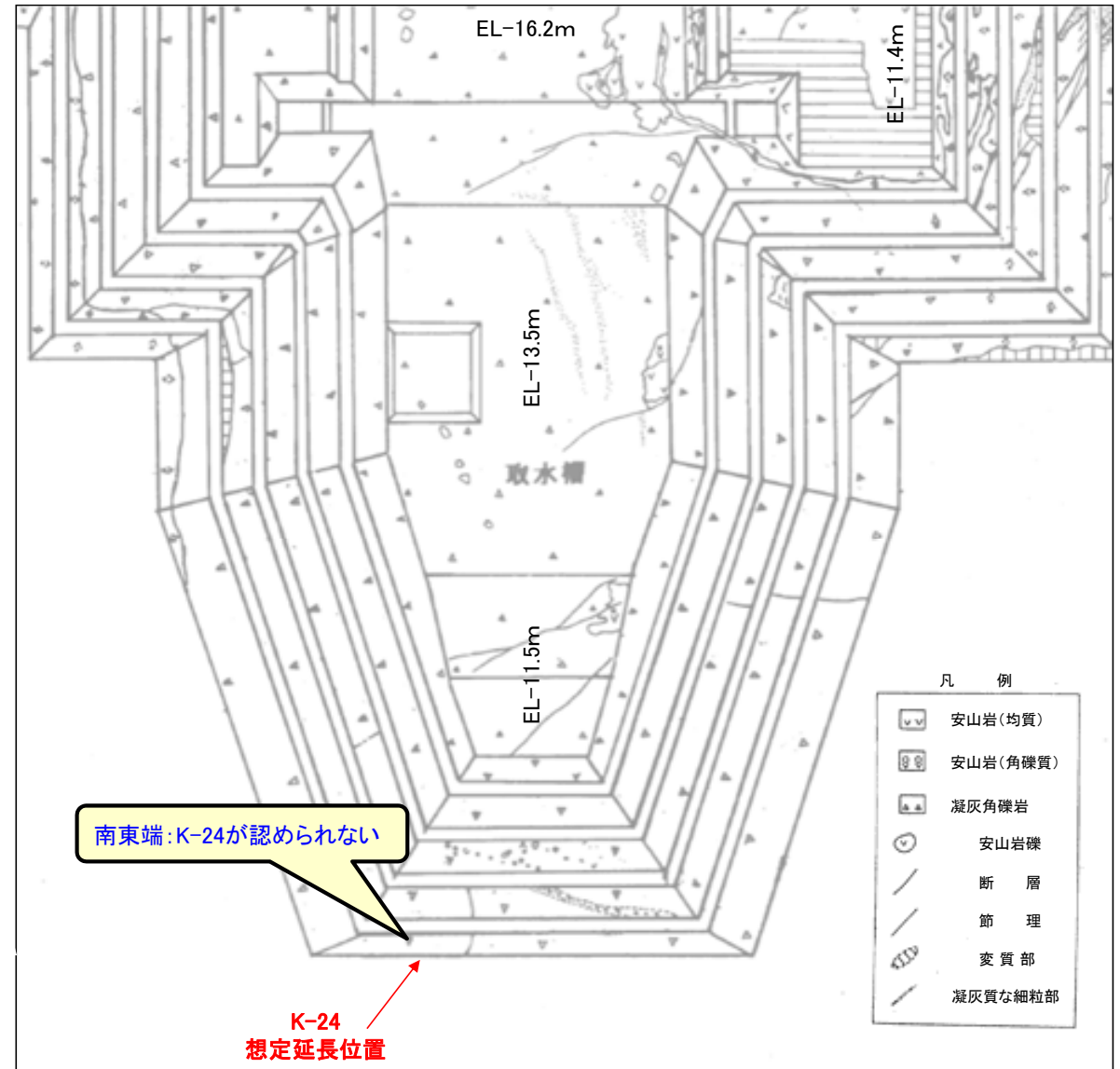
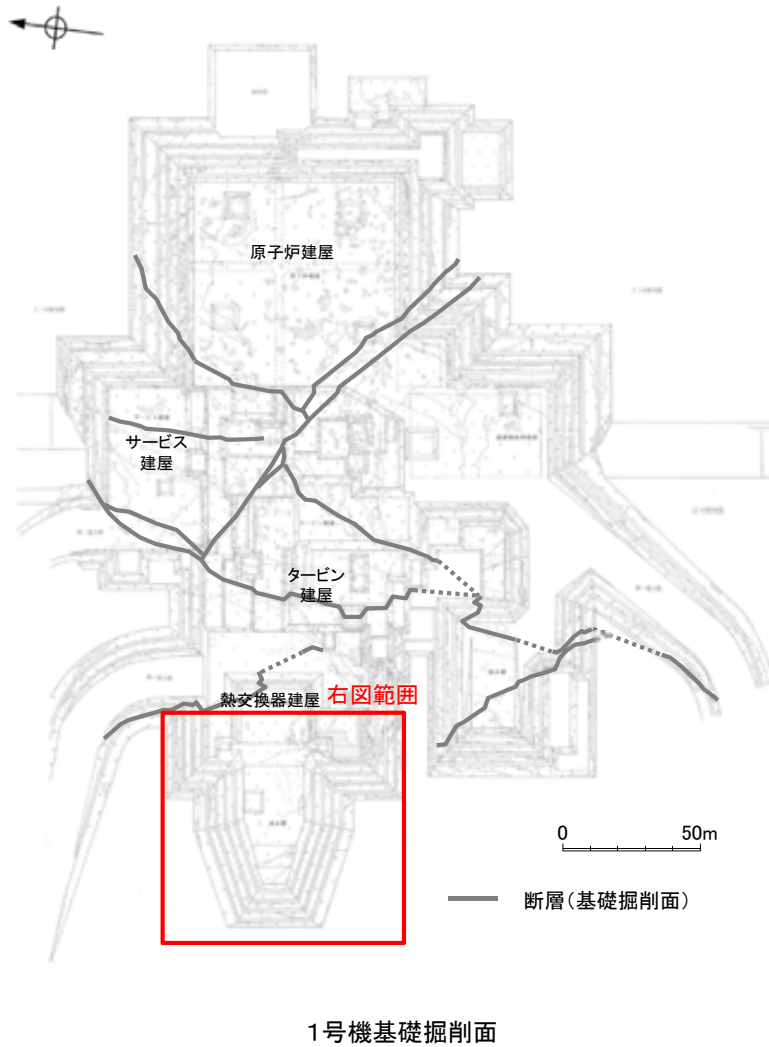
【想定延長範囲に認められた破砕部について】

- ・深度 : 47.69~47.80m
- ・走向傾斜 : N16° E/77° SE
- ・記事 : 厚さ6.4~8.4cmの破砕部からなる。  
⇒K-13の破砕部。  
走向・傾斜がK-24(N58° W/89° NE)と異なる。
- ・深度 : 48.04~48.07m
- ・走向傾斜 : N5° E/75° SE
- ・記事 : 厚さ0.8~2.2cmの破砕部からなる。  
⇒K-13の破砕部。  
走向・傾斜がK-24(N58° W/89° NE)と異なる。
- ・深度 : 65.59~65.67m
- ・走向傾斜 : N31° W/74° NE
- ・記事 : 厚さ4.2~7.1cmの破砕部からなる。  
⇒K-12の破砕部。  
走向・傾斜がK-24(N58° W/89° NE)と異なる。

・G'-1.5-30孔において、K-24の想定延長範囲(深度19~79m)にK-24は認められない。

■K-24南東端の調査結果を以下に示す。

**【K-24南東端の調査結果】**  
1号機基礎掘削面において、K-24が認められないことを確認。



拡大スケッチ



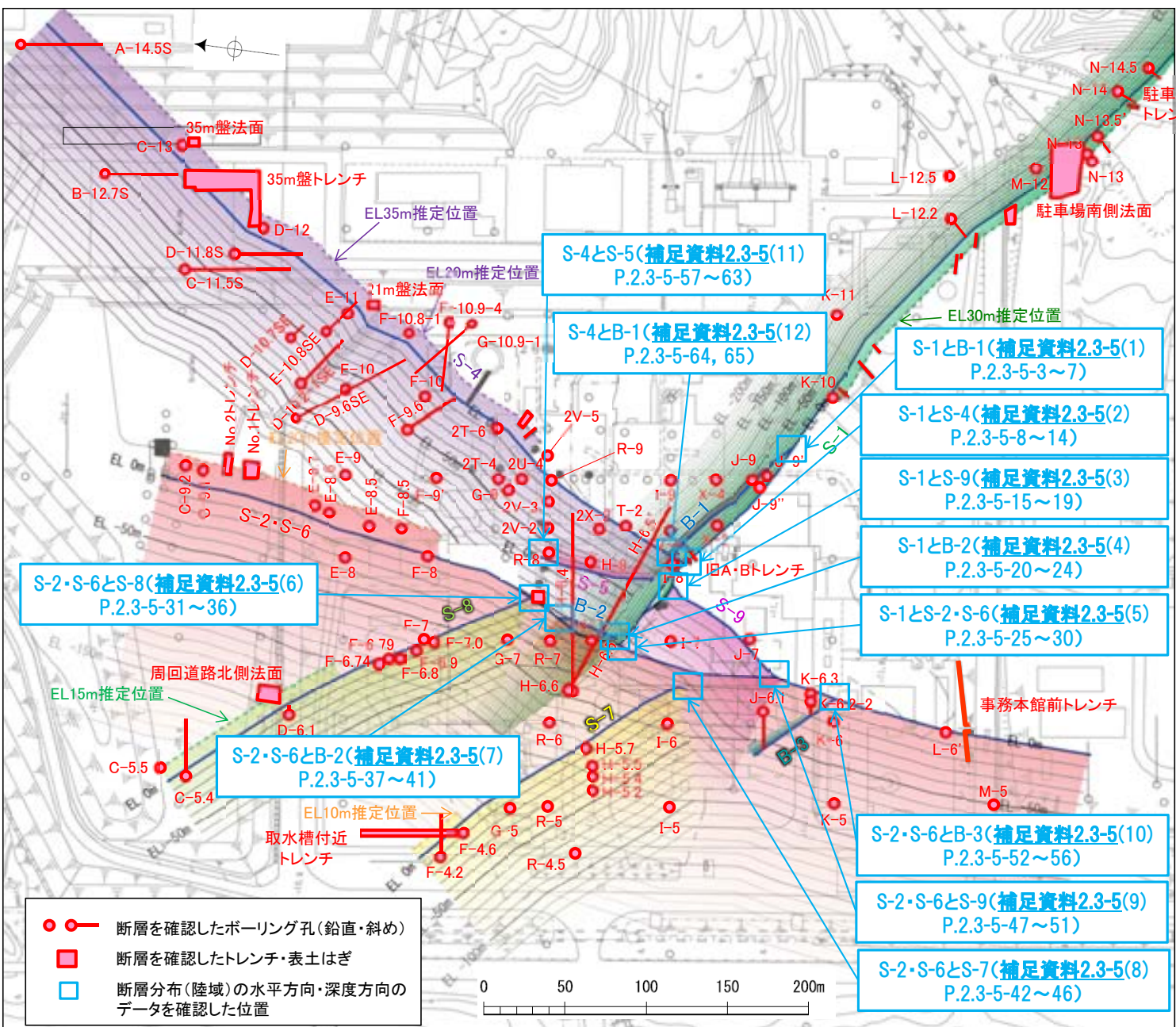
---

## 補足資料2. 3-5

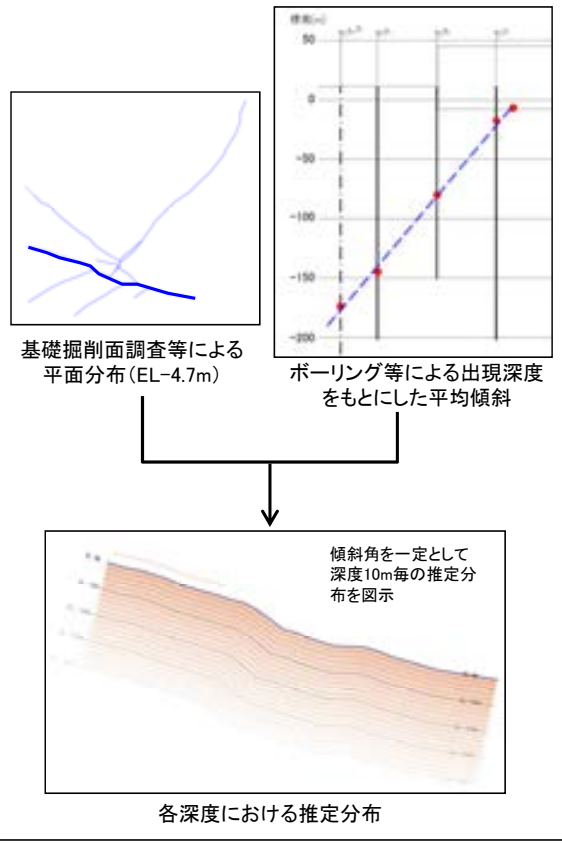
断層分布(陸域)の水平方向・深度方向のデータ

# 断層分布(陸域)の水平方向・深度方向のデータ -位置図-

■断層分布(陸域)の水平方向・深度方向のデータを確認した位置(下図□)について、以下に示す。



(作図方法)  
 ・この図は、2号機の基礎掘削面深度EL-4.7mを基準とした断層トレースをもとに、断層の傾斜角を一定として、EL0m以深の断層の推定分布を深度10m毎に図示したものである。  
 ・各深度における断層分布の推定には、各ボーリング孔における出現深度をもとに求めた断層の平均的な傾斜角を用いた。  
 ・このため、実際のボーリングコアでの断層出現標高とは異なる場合がある。



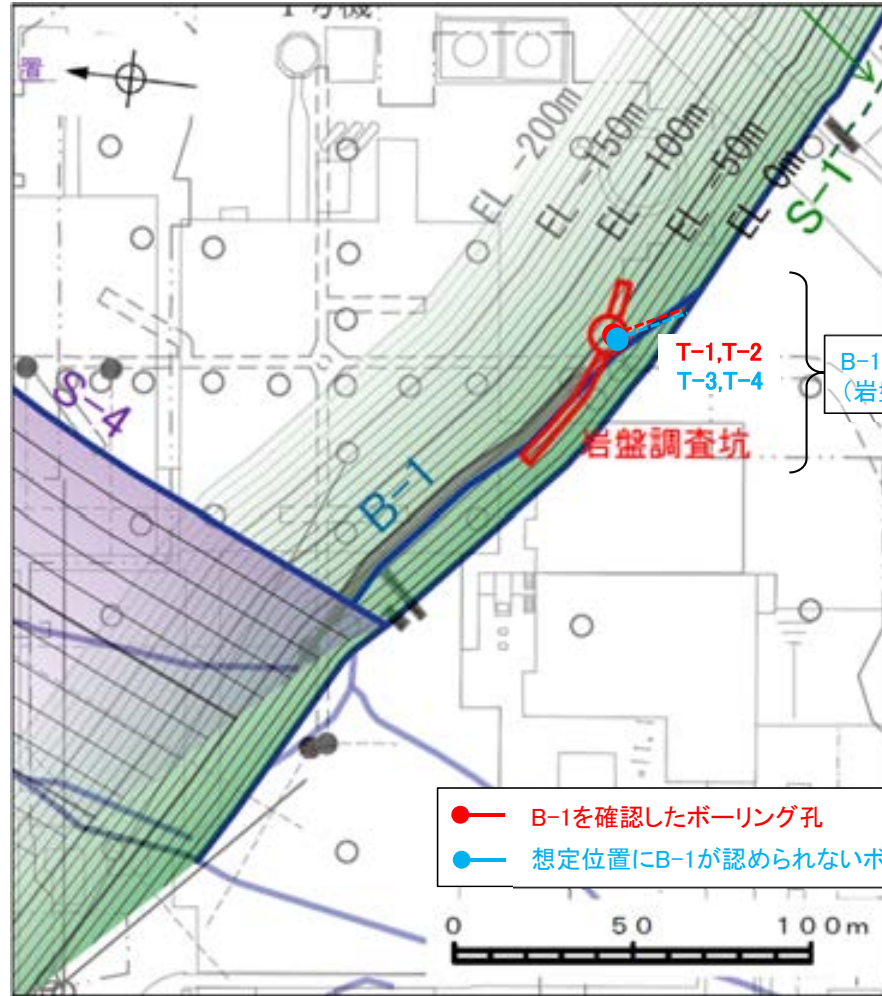
位置図  
(陸域の断層の3次元的な分布)

---

(1) S-1とB-1の水平方向・深度方向のデータ

# S-1とB-1の水平方向・深度方向のデータ

OB-1は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない。



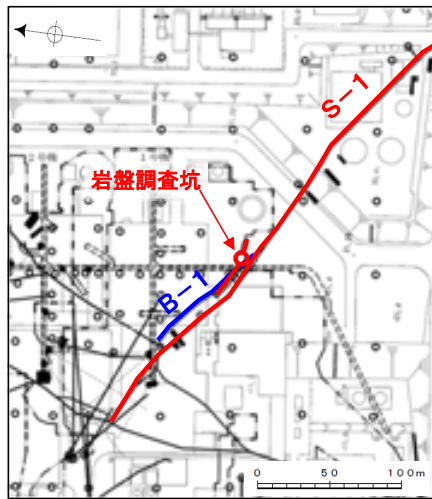
B-1は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない  
(岩盤調査坑及びボーリング断面 補足資料2.3-5(1) P.2.3-5-5~7)



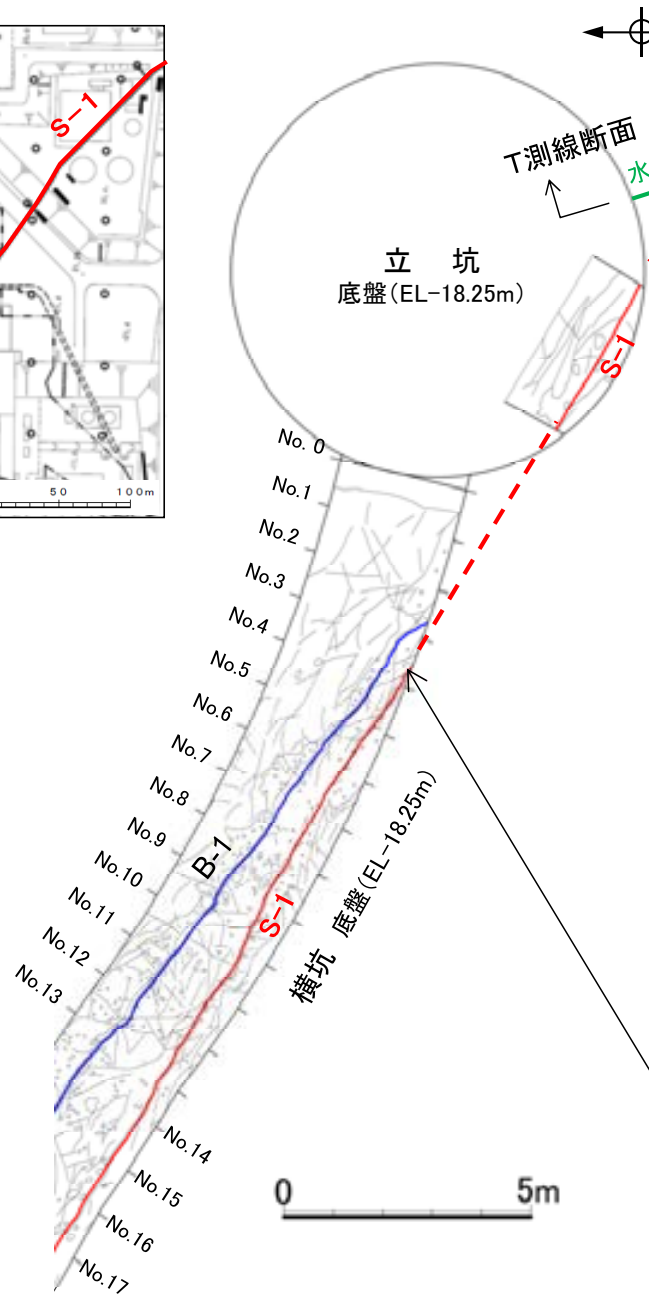
位置図

S-1とB-1の関係

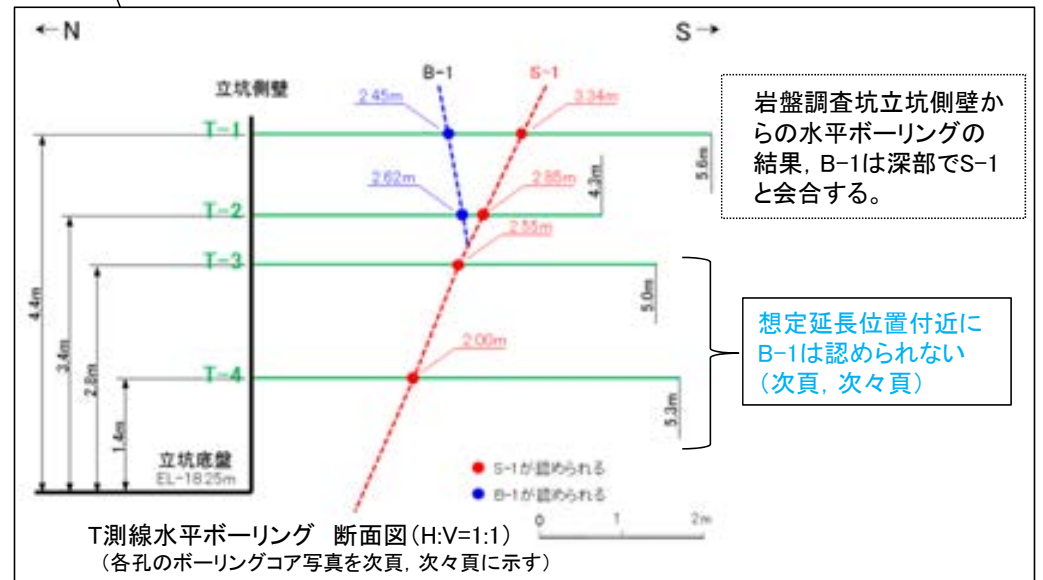
○岩盤調査坑及びボーリング断面において、B-1は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない。



位置図



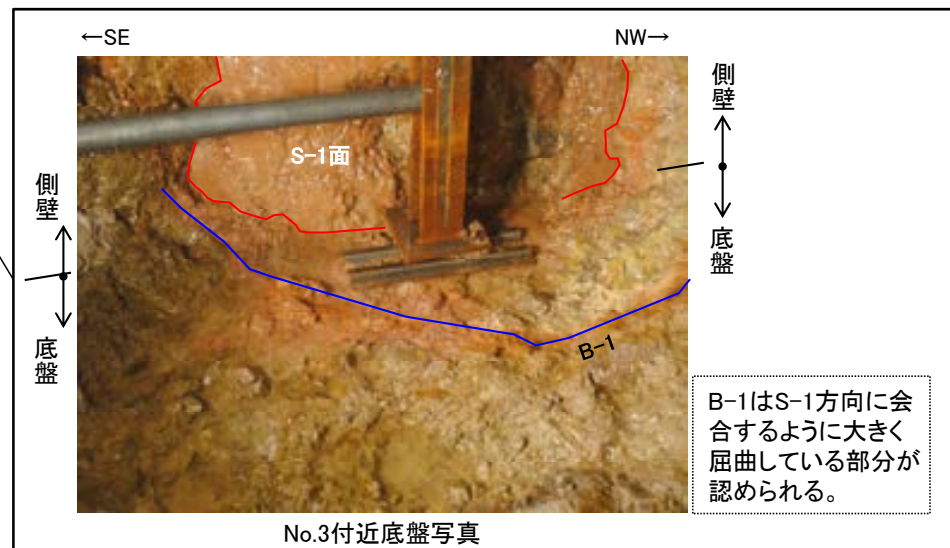
岩盤調査坑  
ボーリング調査位置図



T測線水平ボーリング 断面図 (H:V=1:1)  
(各孔のボーリングコア写真を次頁、次々頁に示す)

岩盤調査坑立坑側壁からの水平ボーリングの結果、B-1は深部でS-1と会合する。

想定延長位置付近にB-1は認められない(次頁、次々頁)

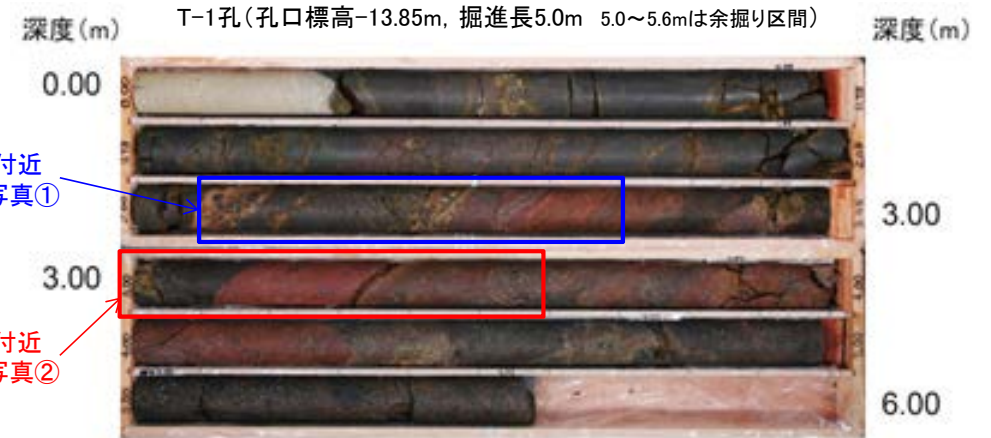
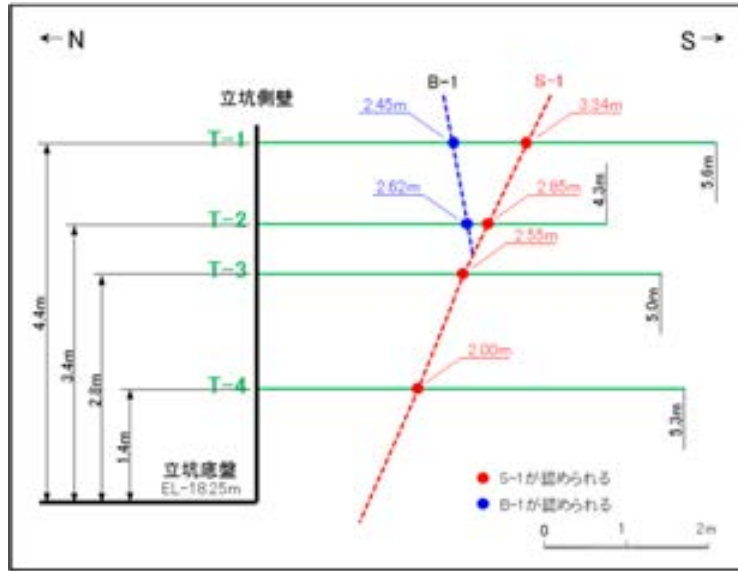


No.3付近底盤写真

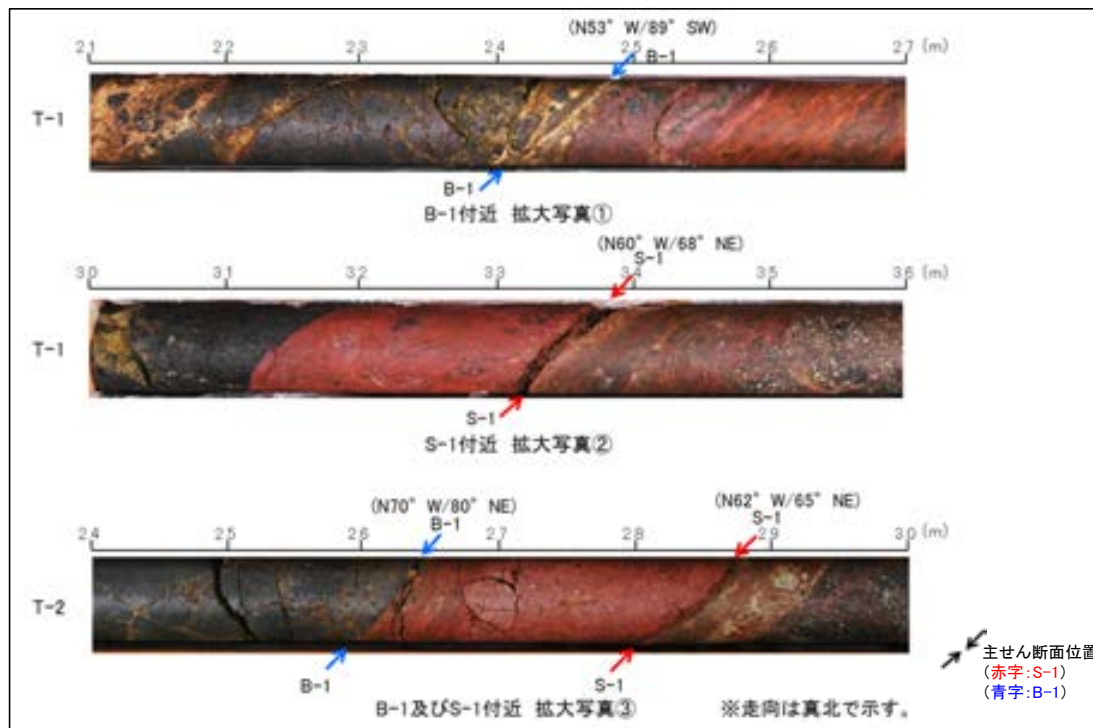
B-1はS-1方向に会合するように大きく屈曲している部分が認められる。

水平ボーリング(T-1孔, T-2孔) コア写真

柱状図はデータ集1



コア写真(T-1孔)



コア写真(T-2孔)

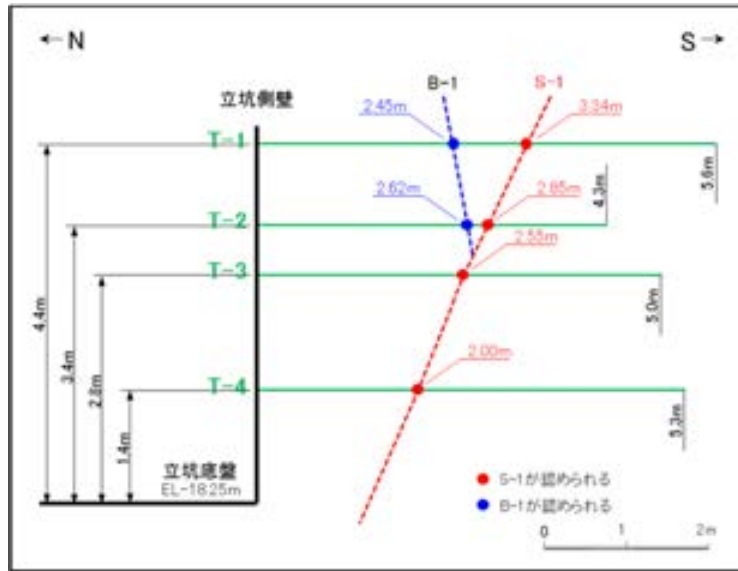
B-1及びS-1付近  
拡大写真③

T-1, T-2孔においてS-1とその上盤側にB-1が認められる。

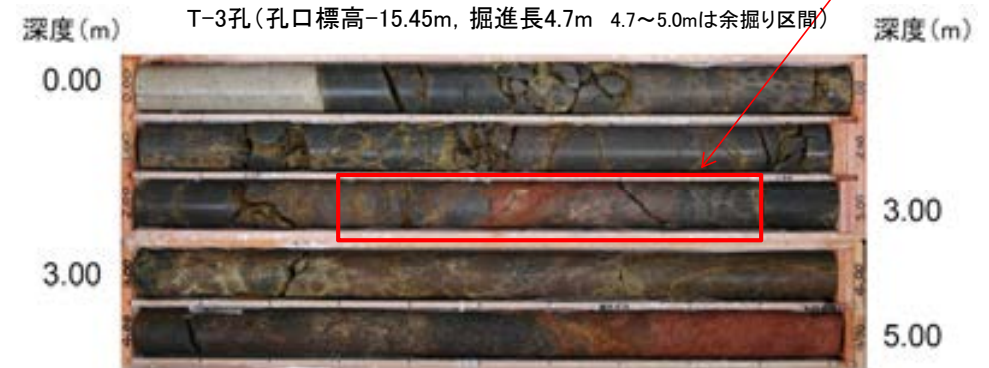


水平ボーリング(T-3孔, T-4孔) コア写真

柱状図はデータ集1

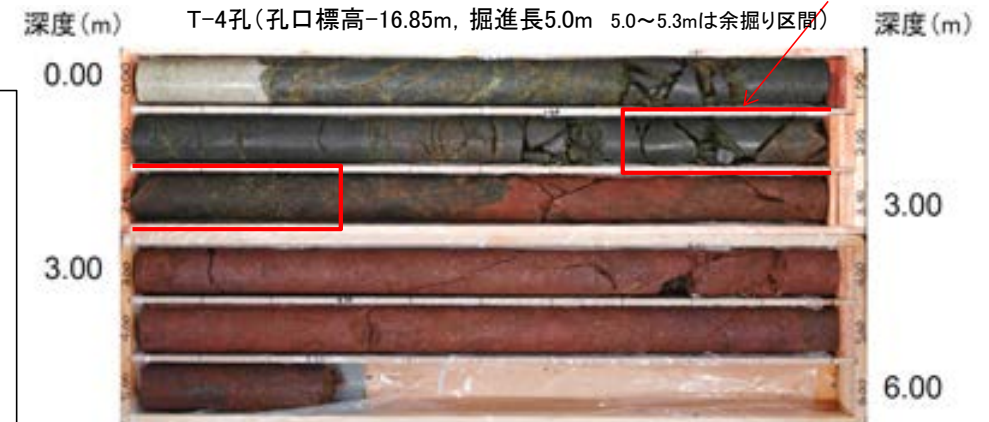


S-1付近  
拡大写真④

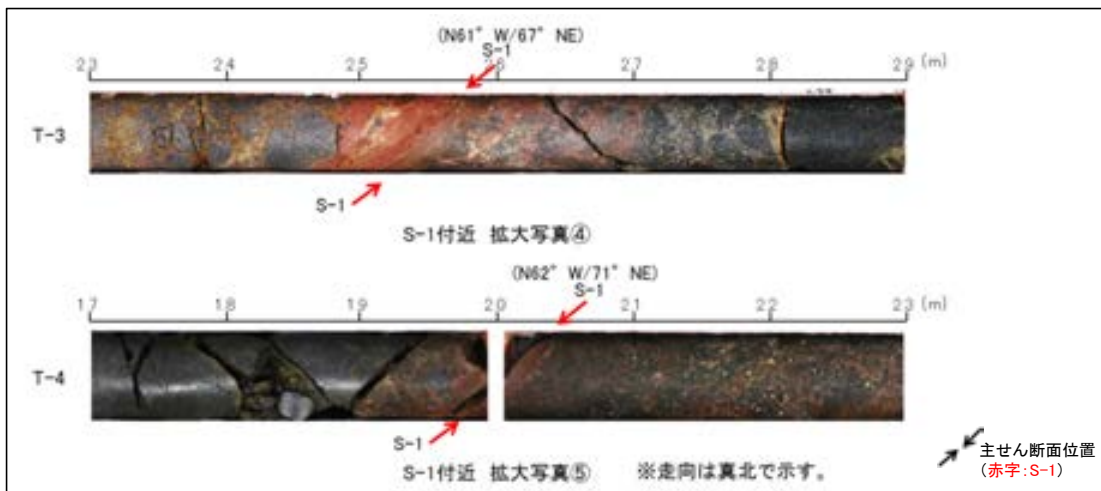


コア写真(T-3孔)

S-1付近  
拡大写真⑤



コア写真(T-4孔)



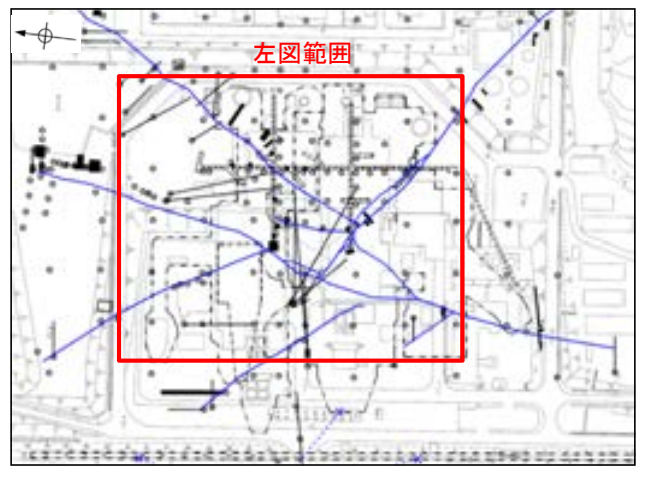
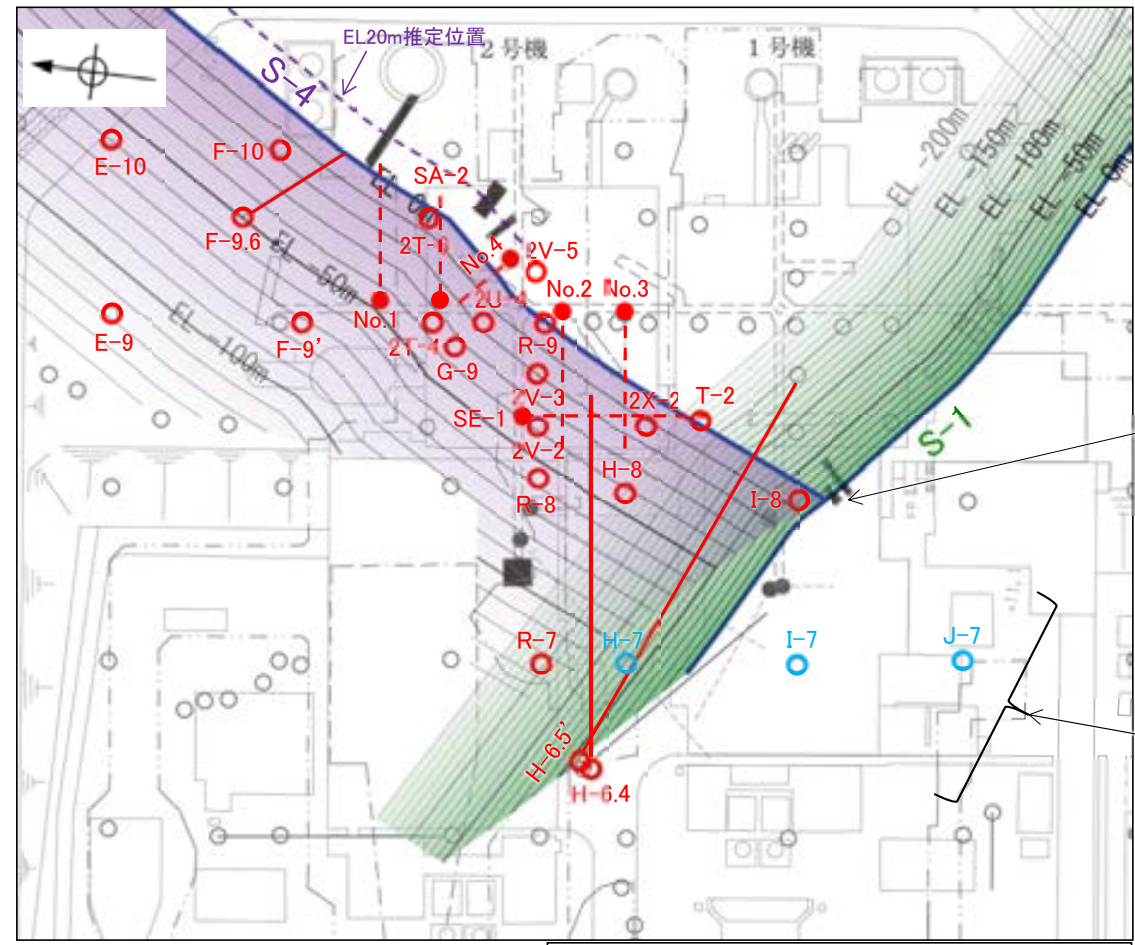
T-3, T-4孔においてS-1が認められるものの、その下盤側にB-1は認められない。

---

(2) S-1とS-4の水平方向・深度方向のデータ

# S-1とS-4の水平方向・深度方向のデータ

OS-4は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない。



位置図

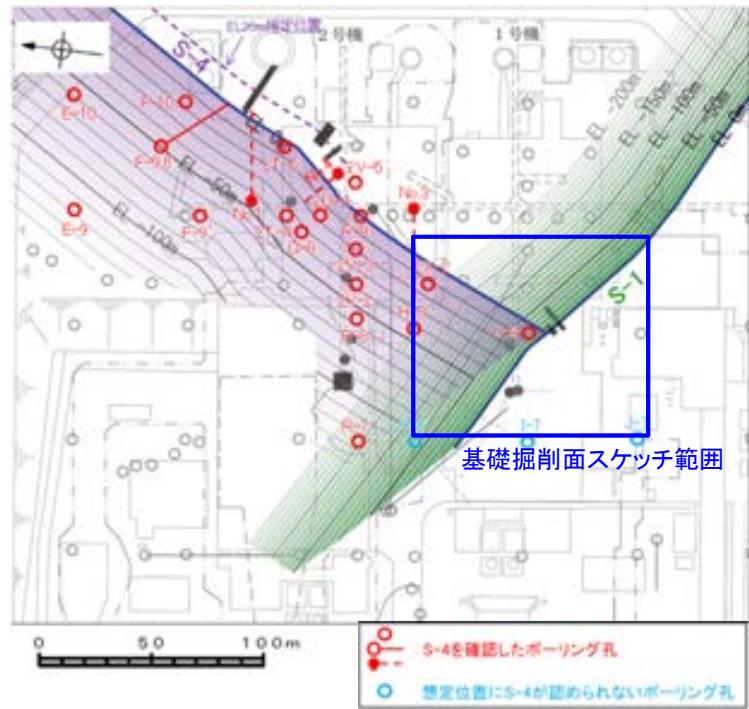
S-4は、水平方向にS-1を越えて連続しない  
(基礎掘削面 次頁)

S-4は、深度方向にS-1を越えて連続しない  
(ボーリング断面 補足資料2.3-5(2) P.2.3-5-11~14)

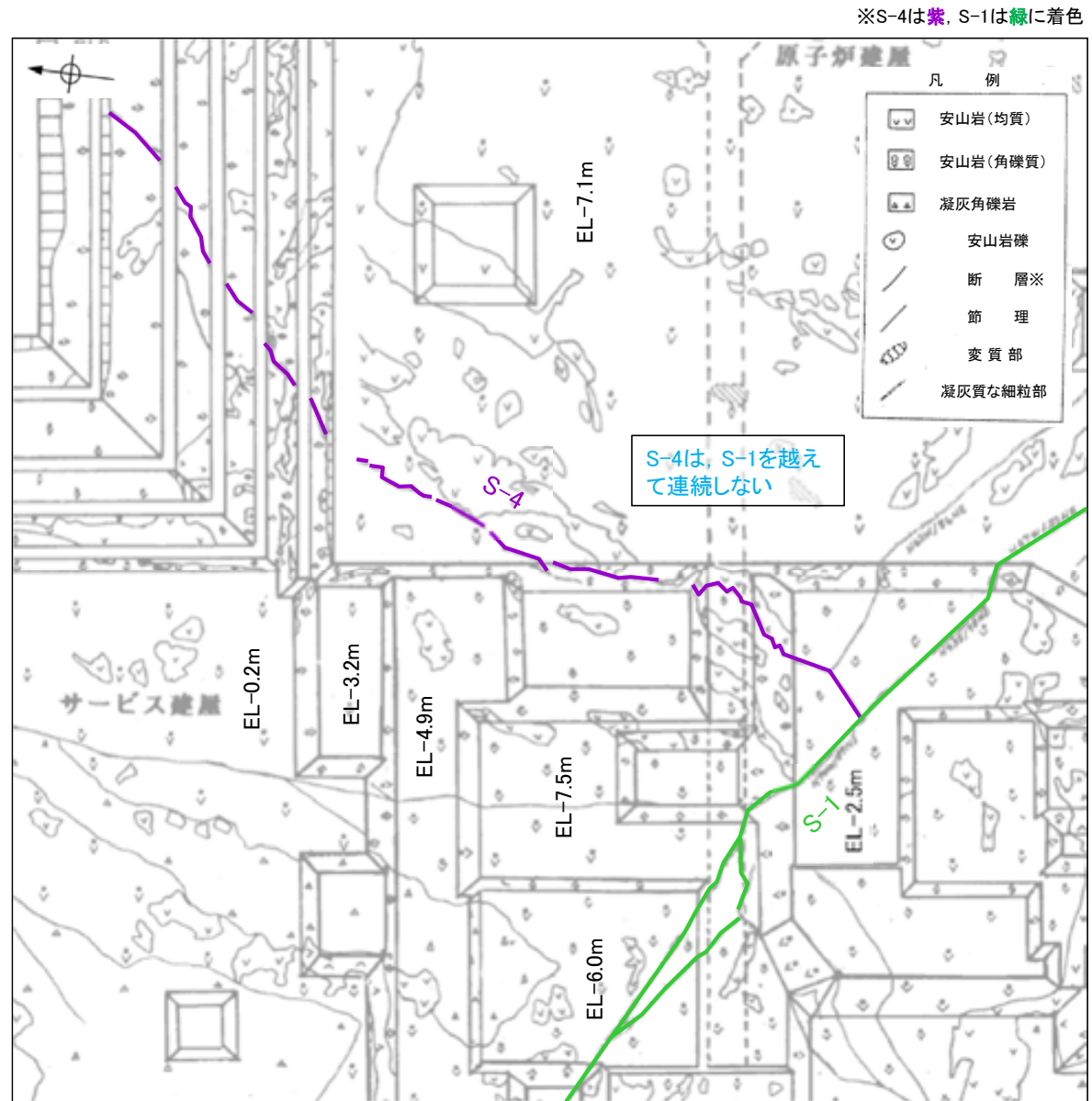
- S-4を確認したボーリング孔
- 想定位置にS-4が認められないボーリング孔

S-1とS-4の関係

○基礎掘削面において、S-4は、水平方向にS-1を越えて連続しない。



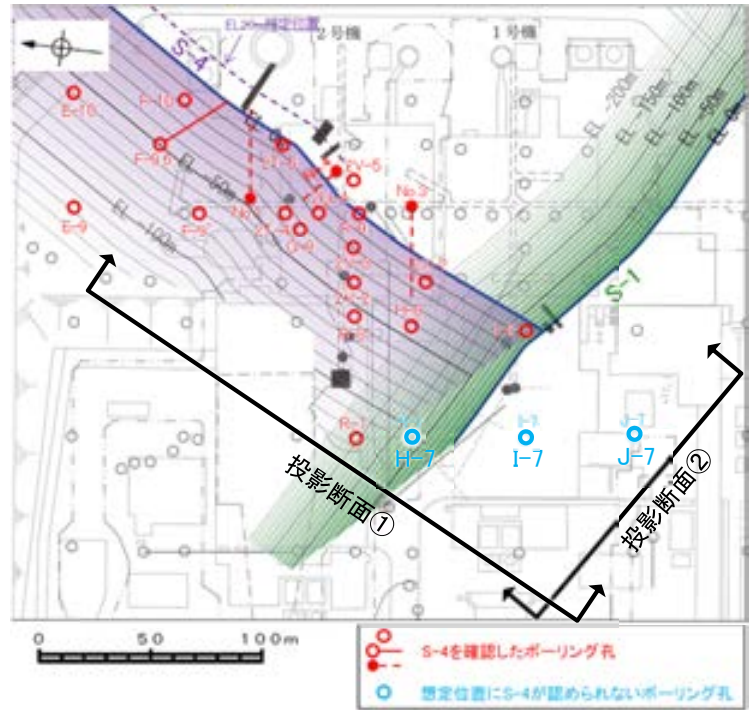
位置図



基礎掘削面スケッチ

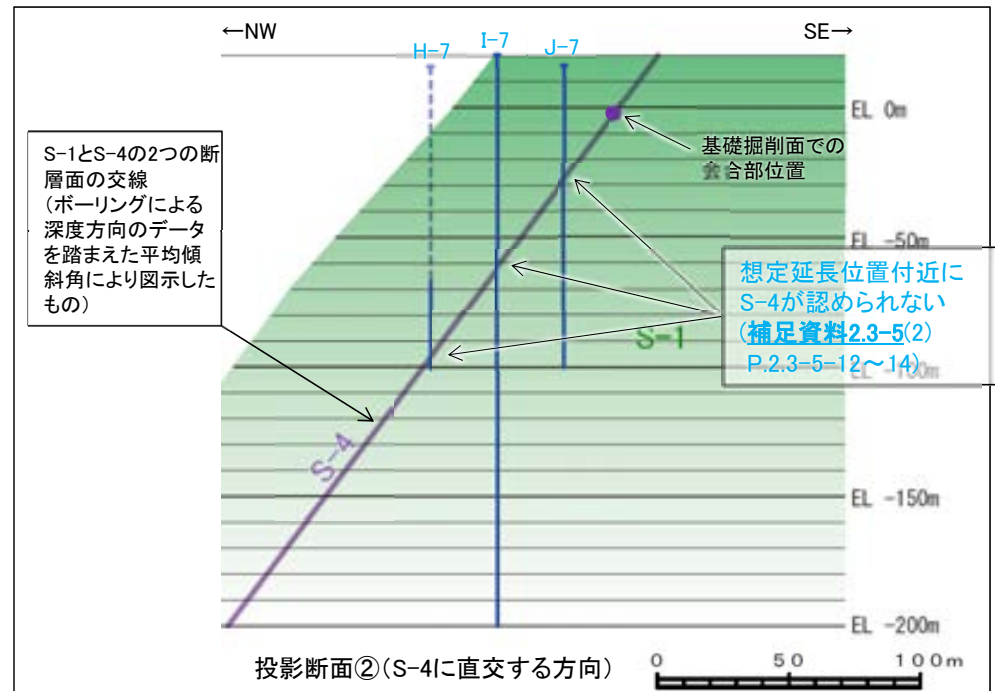
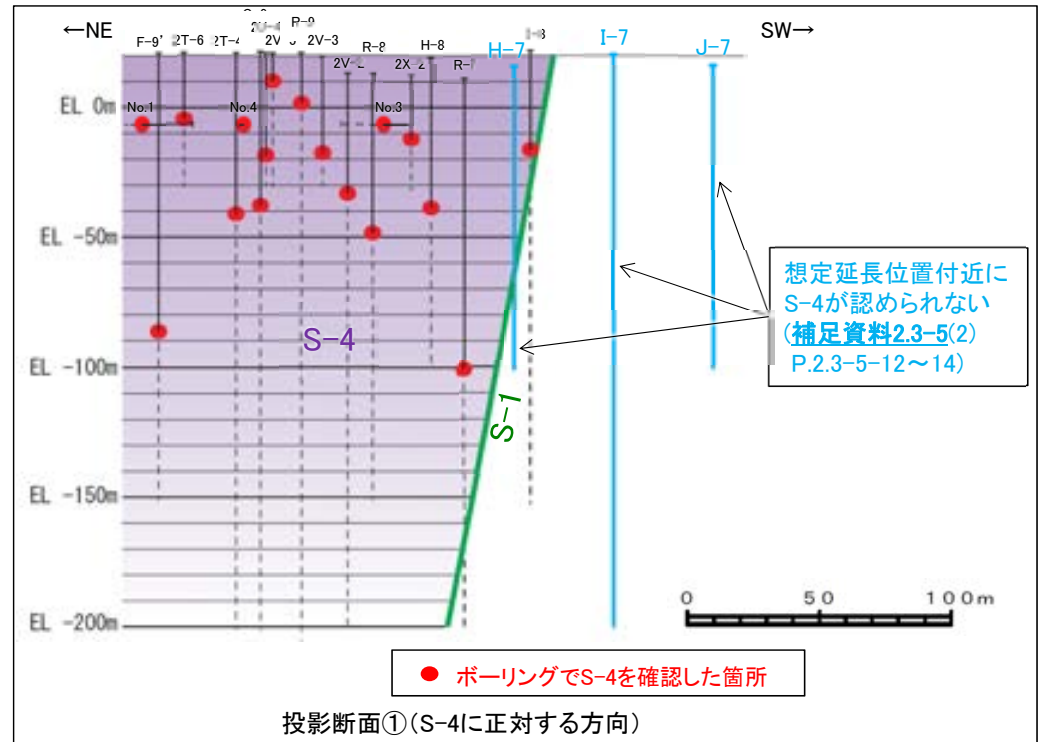


○ボーリング断面において、S-4は、S-1を越えて連続しない。



位置図

S-4は、S-1断層面より南西側のボーリングH-7孔、I-7孔及びJ-7孔において想定延長位置付近に認められず、S-1断層面より北東側にのみ認められる。



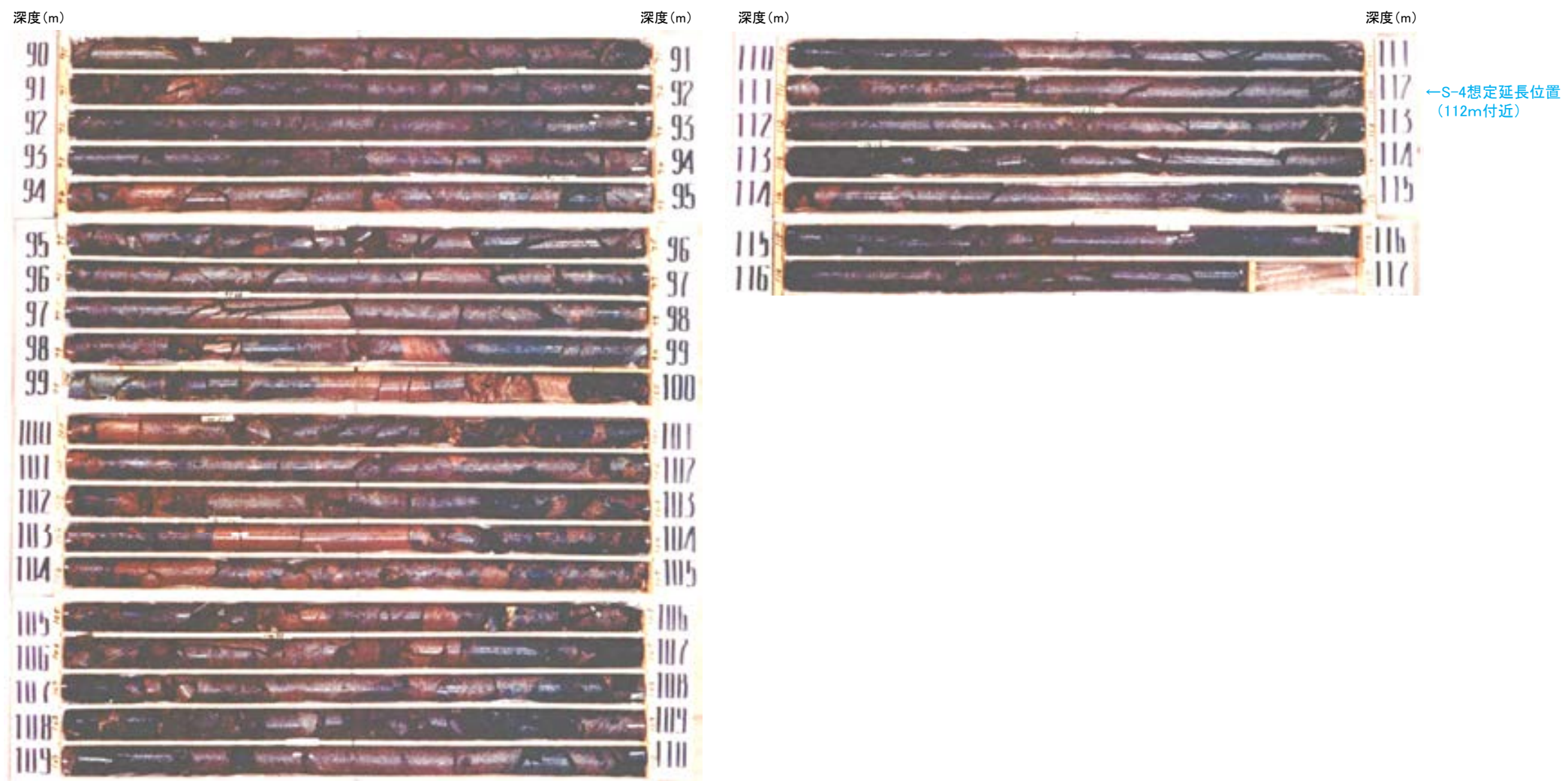
# S-1とS-4の水平方向・深度方向のデータ ーボーリング断面②ー

■H-7孔のS-4の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

H-7孔(孔口標高15.92m, 掘進長116.80m, 鉛直)



コア写真(深度90~116.8m)

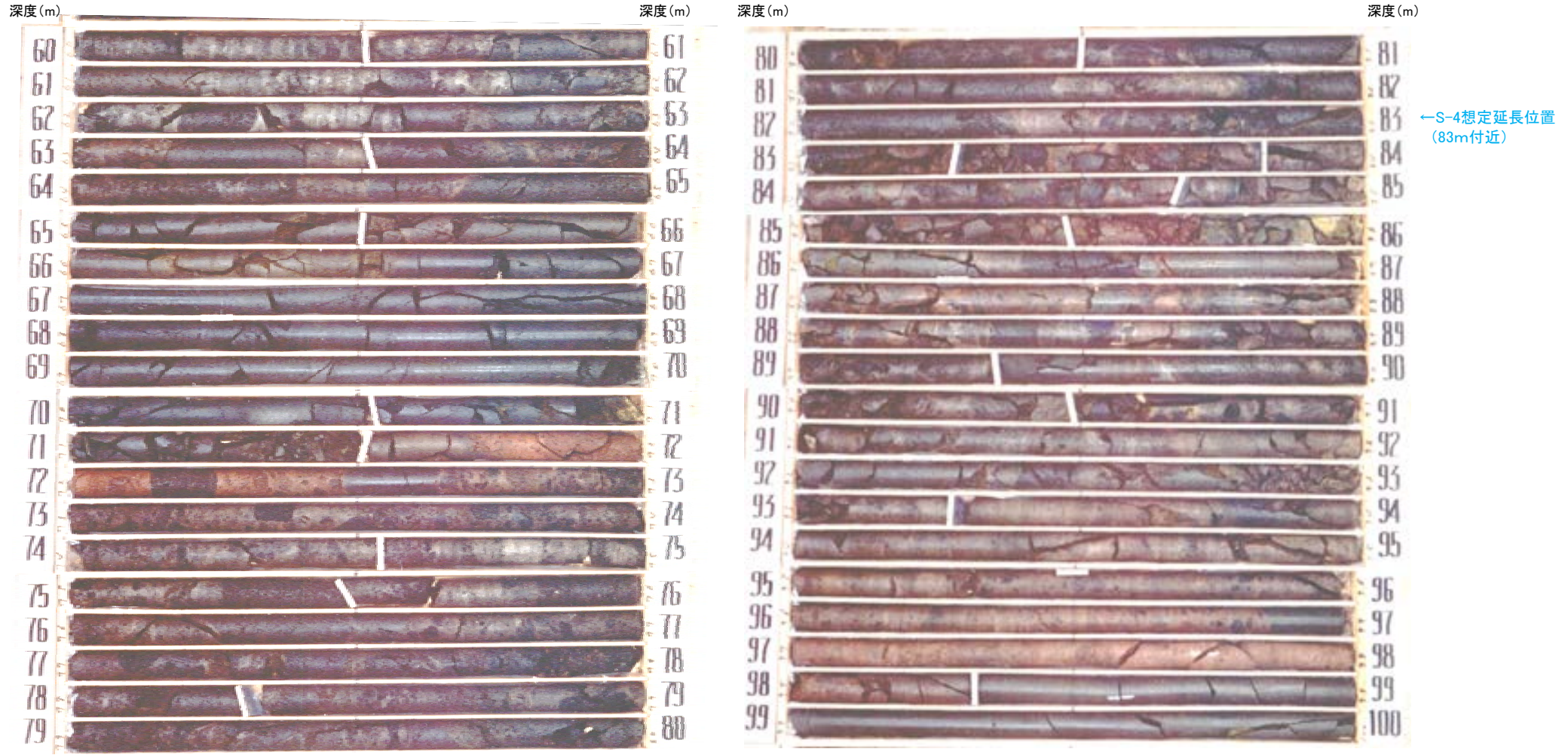
H-7孔において、想定延長位置付近にS-4は認められない。

■I-7孔のS-4の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

I-7孔(孔口標高20.47m, 掘進長220.68m, 鉛直)



コア写真(深度60~100m)

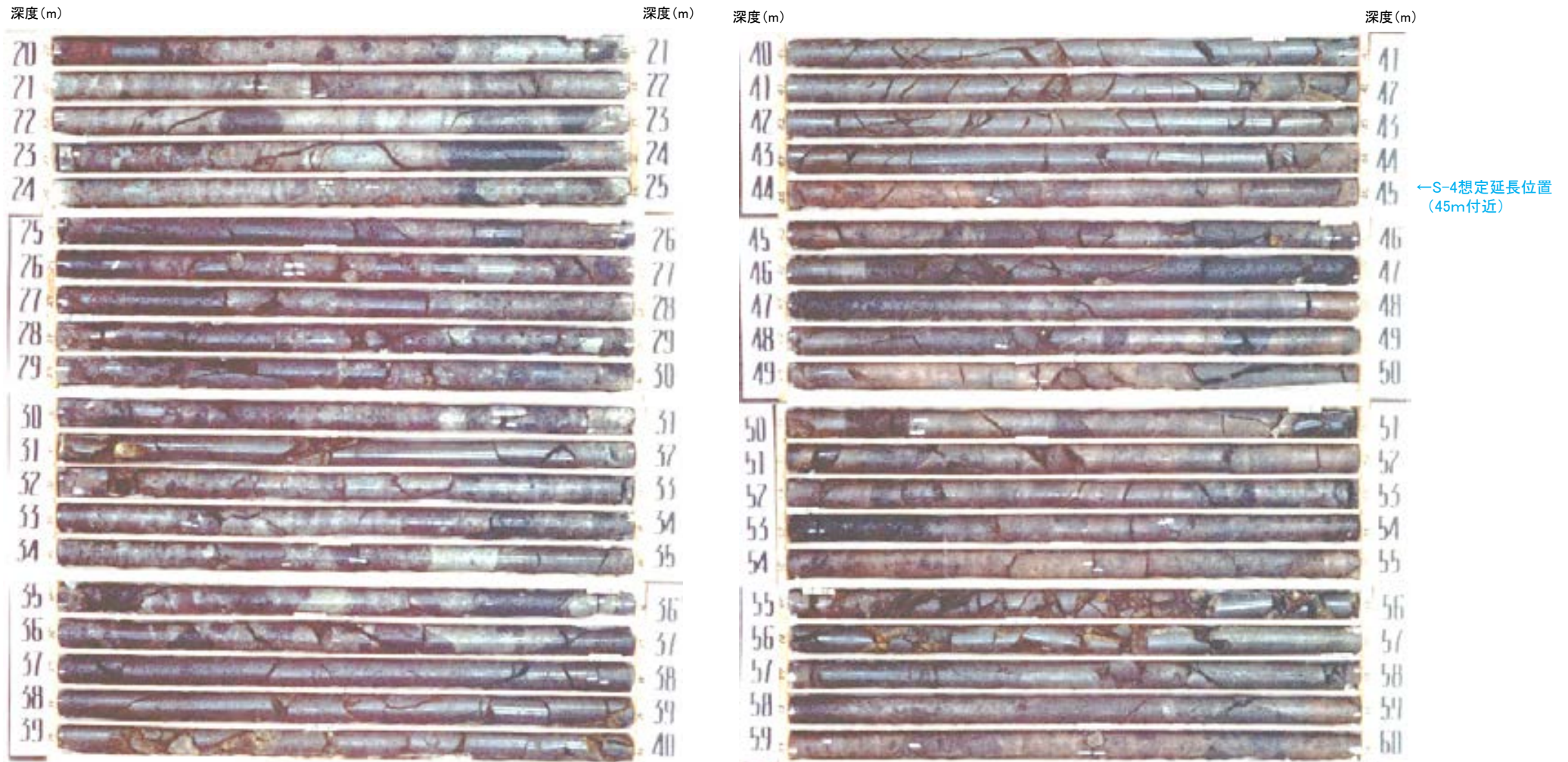
I-7孔において、想定延長位置付近にS-4は認められない。

■ J-7孔のS-4の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

J-7孔(孔口標高16.48m, 掘進長116.55m, 鉛直)



コア写真(深度20~60m)

J-7孔において、想定延長位置付近にS-4は認められない。



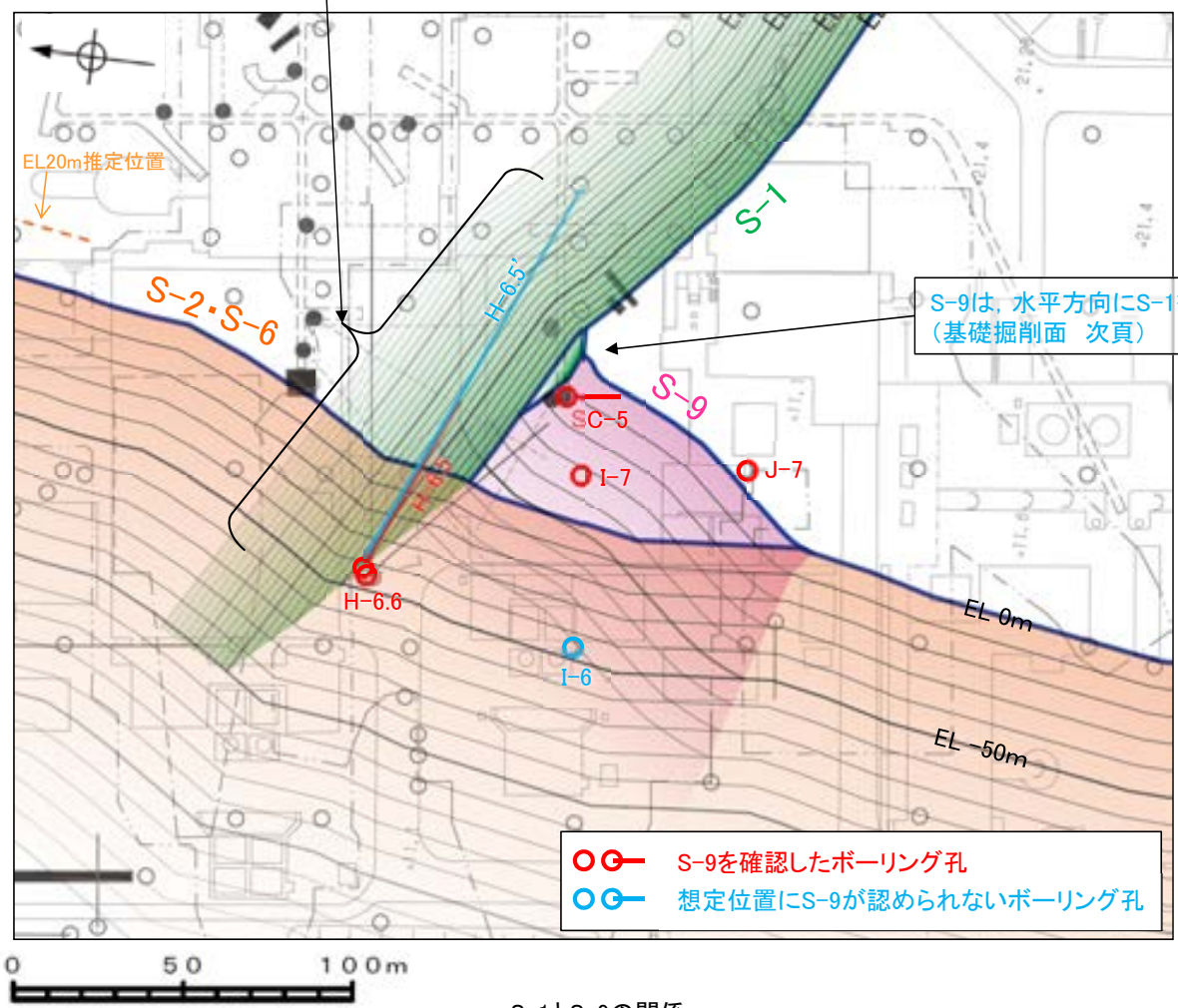
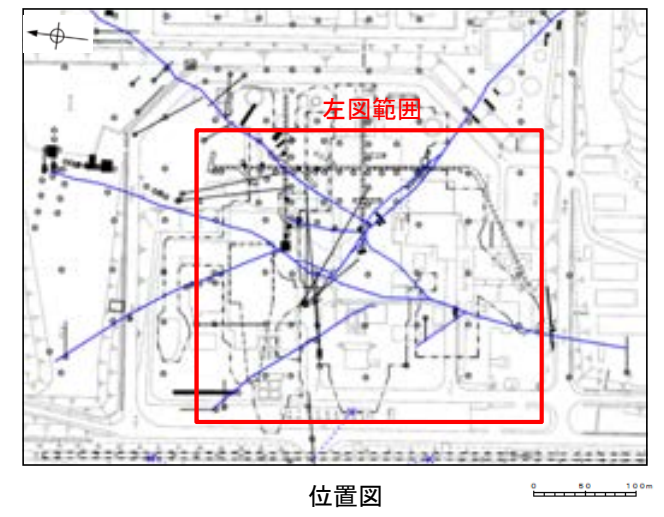
---

(3) S-1とS-9の水平方向・深度方向のデータ

# S-1とS-9の水平方向・深度方向のデータ

OS-9は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない。

S-9は、深度方向にS-1を越えて連続しない  
(ボーリング断面 補足資料2.3-5(3)P.2.3-5-18・19)



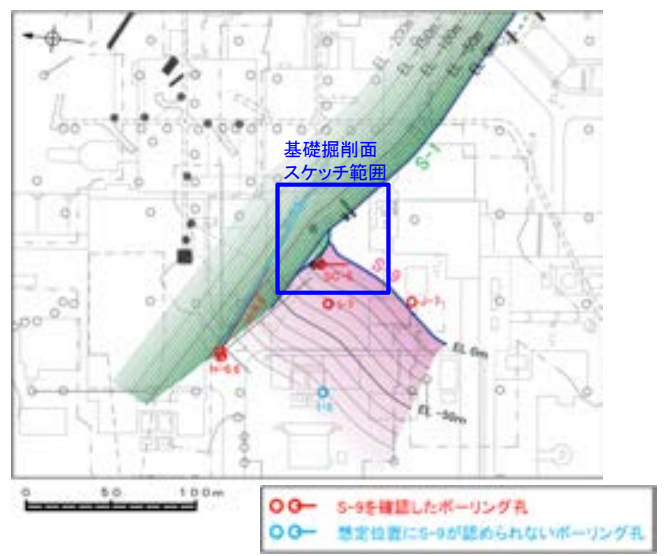
S-9は、水平方向にS-1を越えて連続しない  
(基礎掘削面 次頁)

- S-9を確認したボーリング孔
- 想定位置にS-9が認められないボーリング孔

S-1とS-9の関係

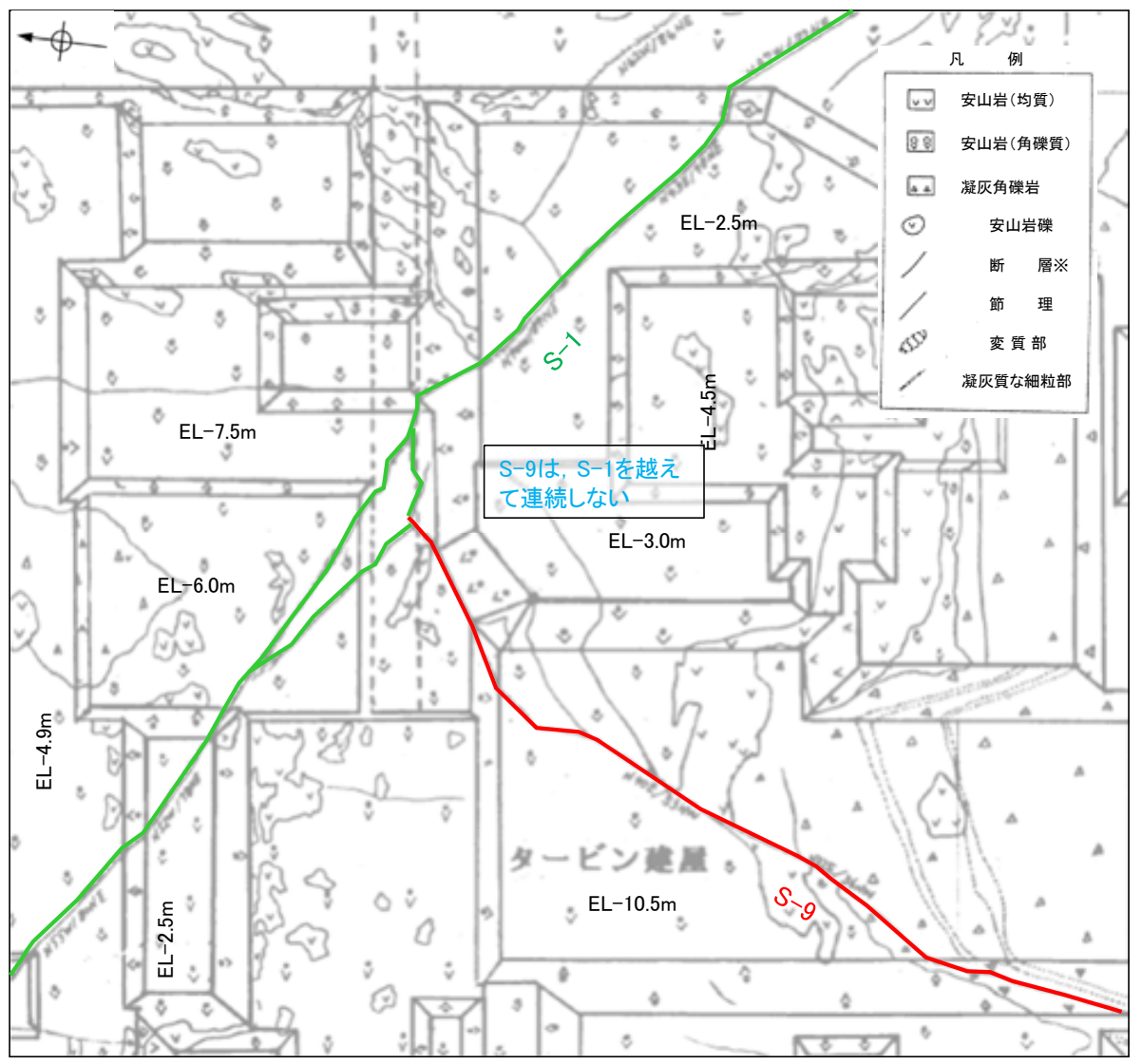
# S-1とS-9の水平方向・深度方向のデータ ー基礎掘削面ー

○基礎掘削面において、S-9は、水平方向にS-1を越えて連続しない。

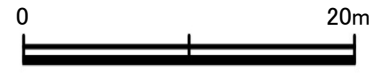


位置図

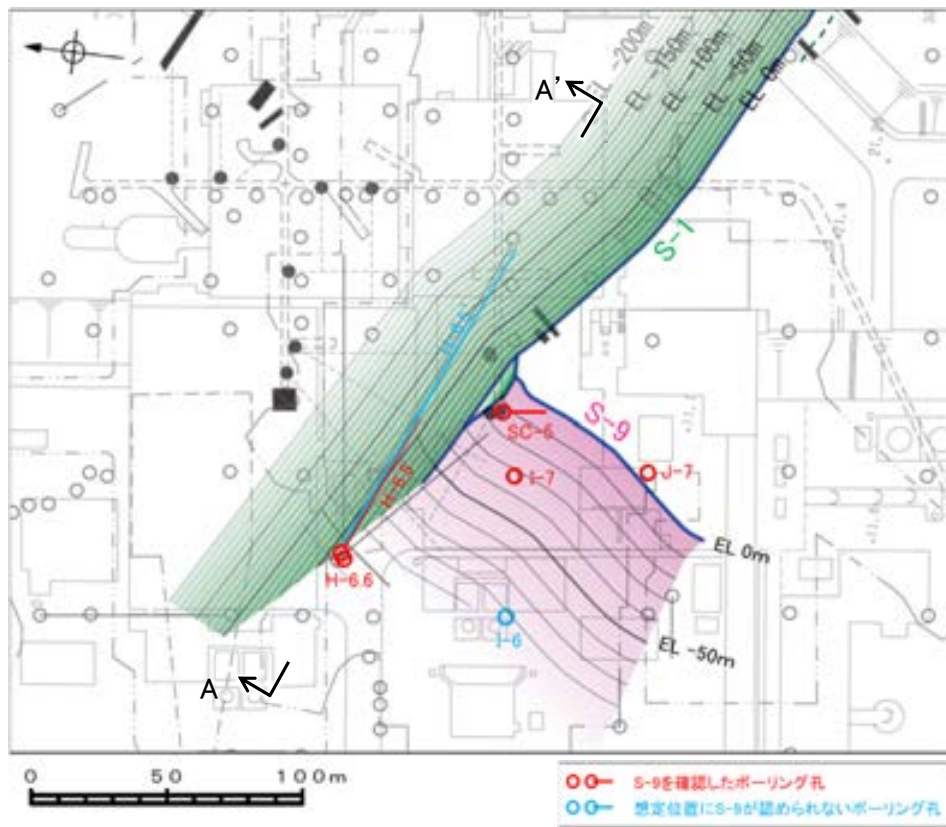
※S-9は赤、S-1は緑に着色



基礎掘削面スケッチ

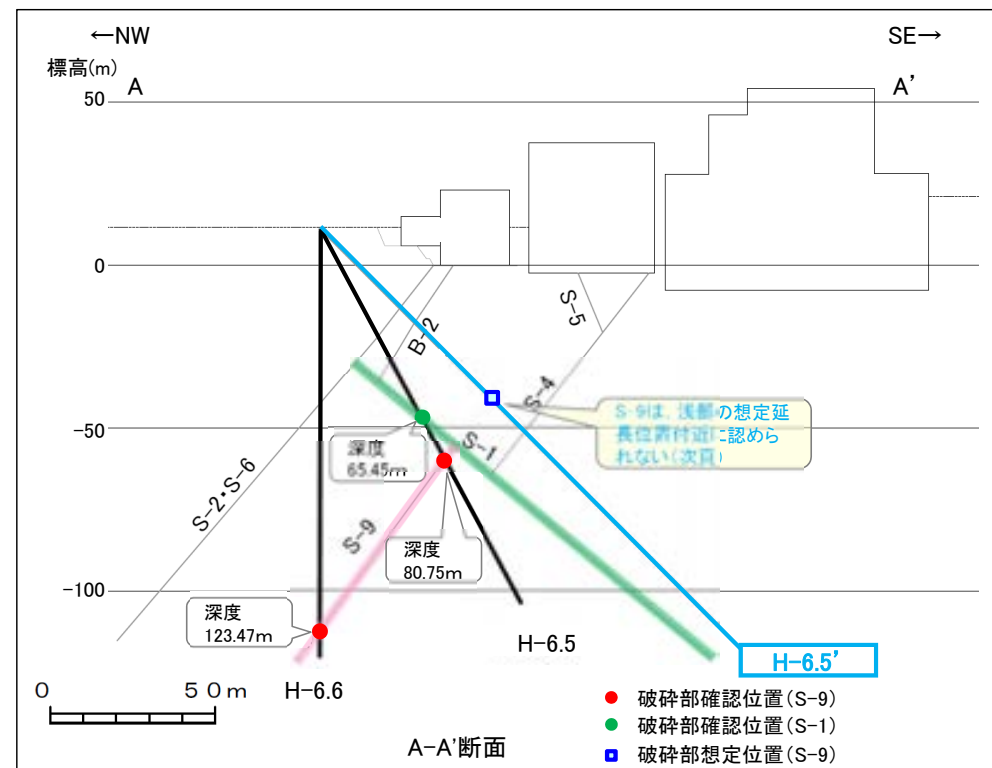


○ボーリング断面において、S-9は、S-1を越えて連続しない。



断面位置

位置図

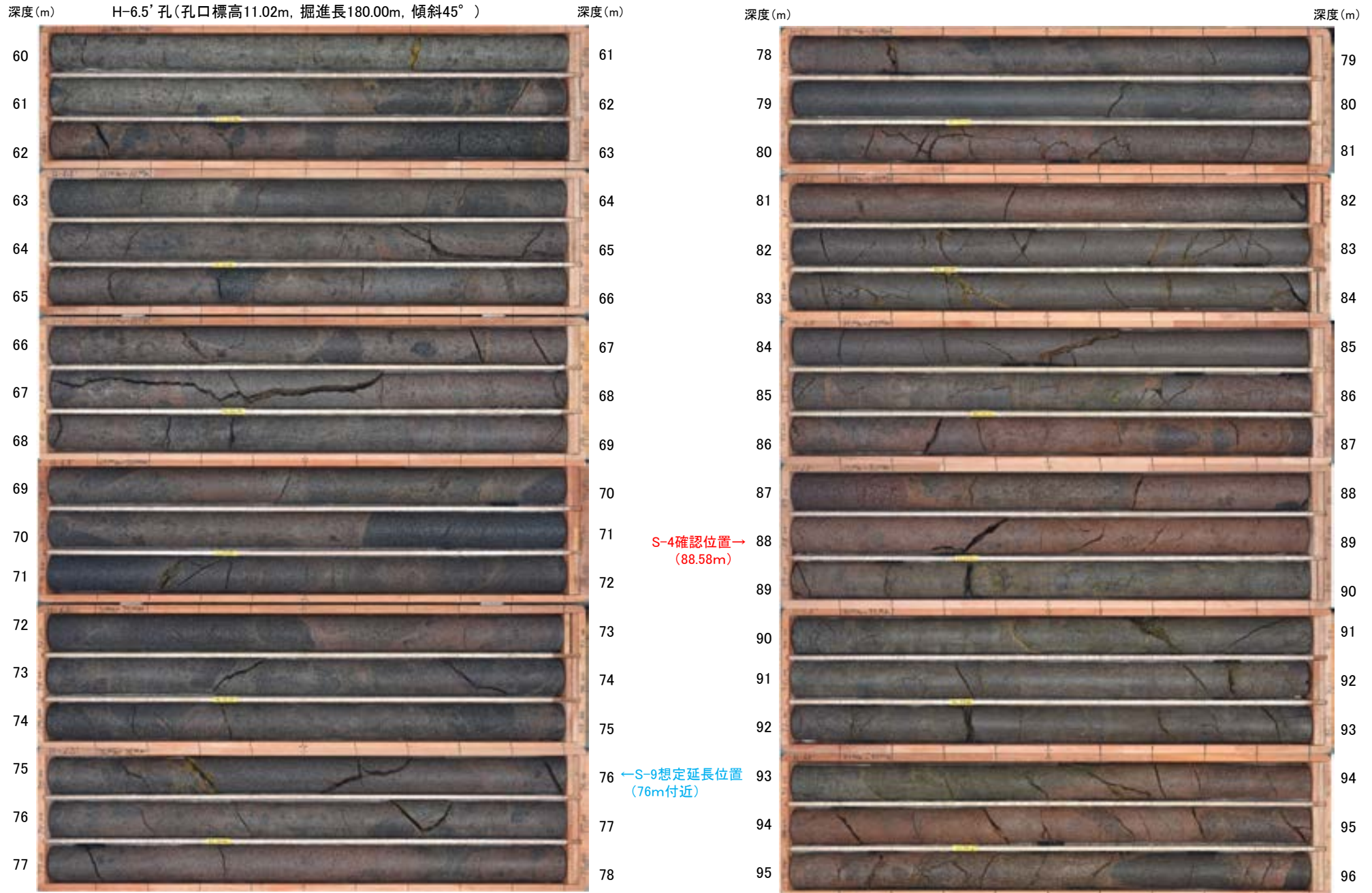


この図の断層線は、周辺ボーリングでの出現位置を基に直線的に描いている。

S-9は、S-1断層面より北東側のボーリングH-6.5'孔において想定延長位置付近に認められず、S-1断層面より南西側にのみ認められる。

■H-6.5'孔のS-9の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1



コア写真(深度60~96m)

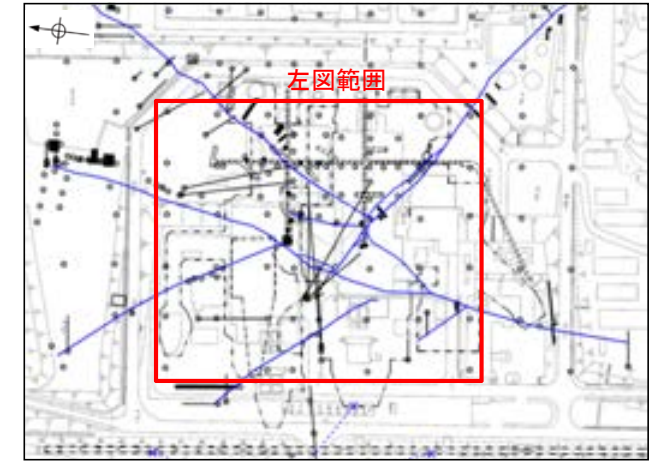
H-6.5'孔において、想定延長位置付近にS-9は認められない。

---

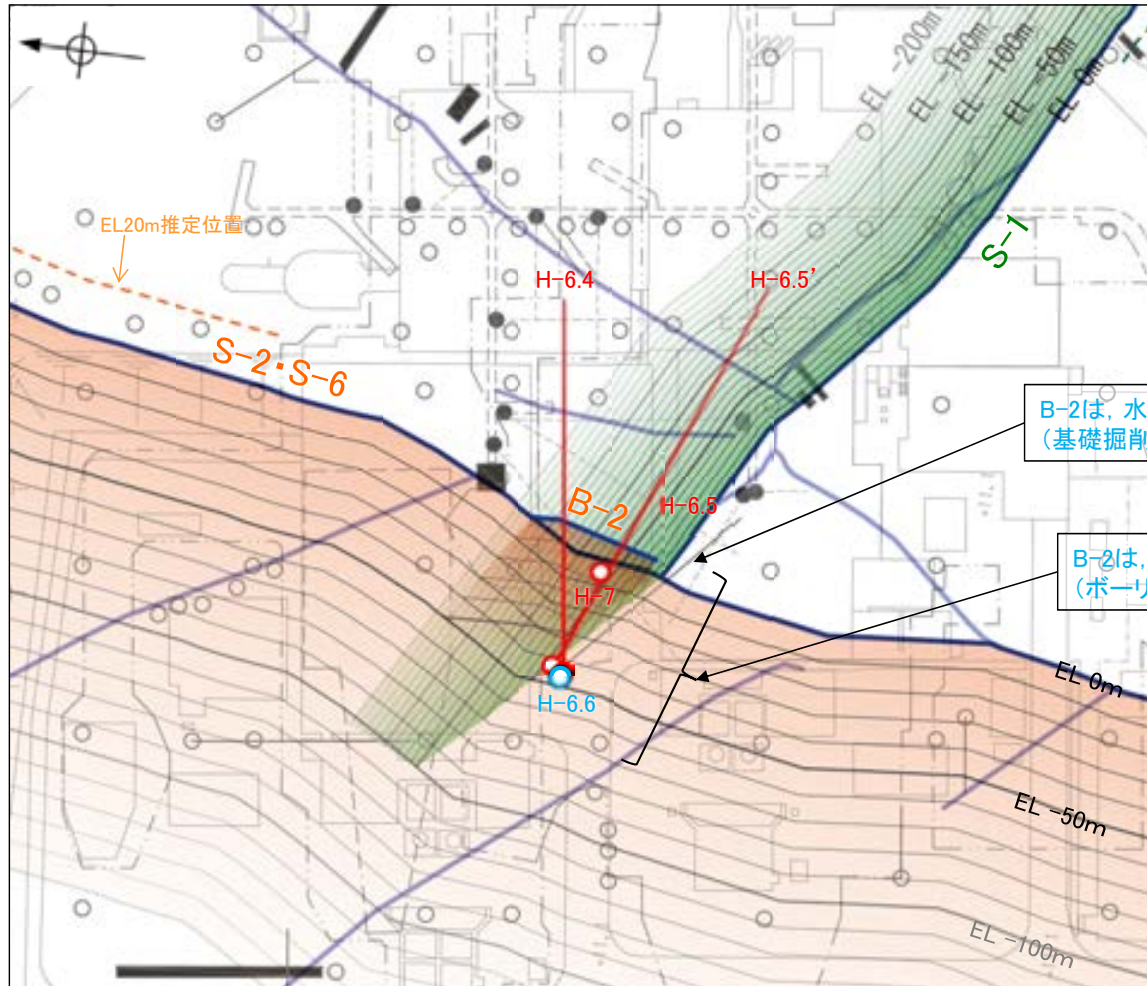
#### (4) S-1とB-2の水平方向・深度方向のデータ

# S-1とB-2の水平方向・深度方向のデータ

OB-2は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない。



位置図



B-2は、水平方向にS-1を越えて連続しない  
(基礎掘削面 次頁)

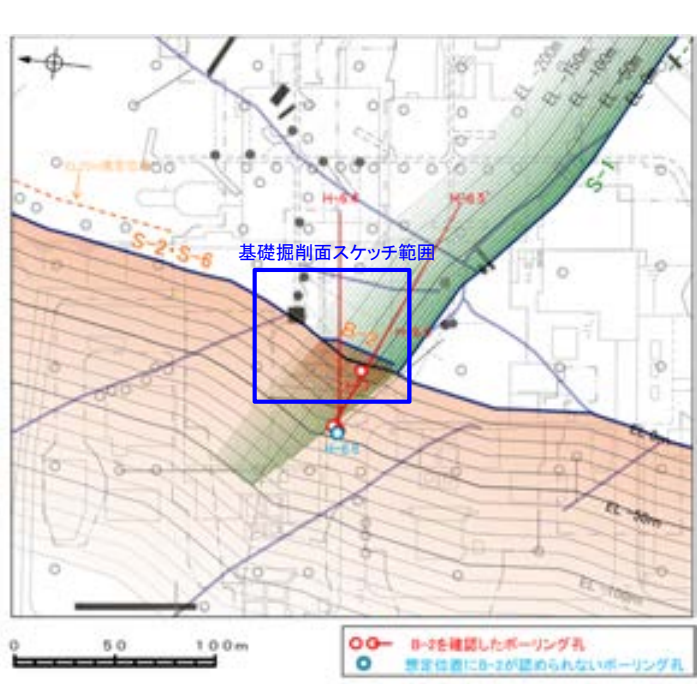
B-2は、深度方向にS-1を越えて連続しない  
(ボーリング断面 補足資料2.3-5(4) P.2.3-5-23, 24)

○● B-2を確認したボーリング孔  
● 想定位置にB-2が認められないボーリング孔

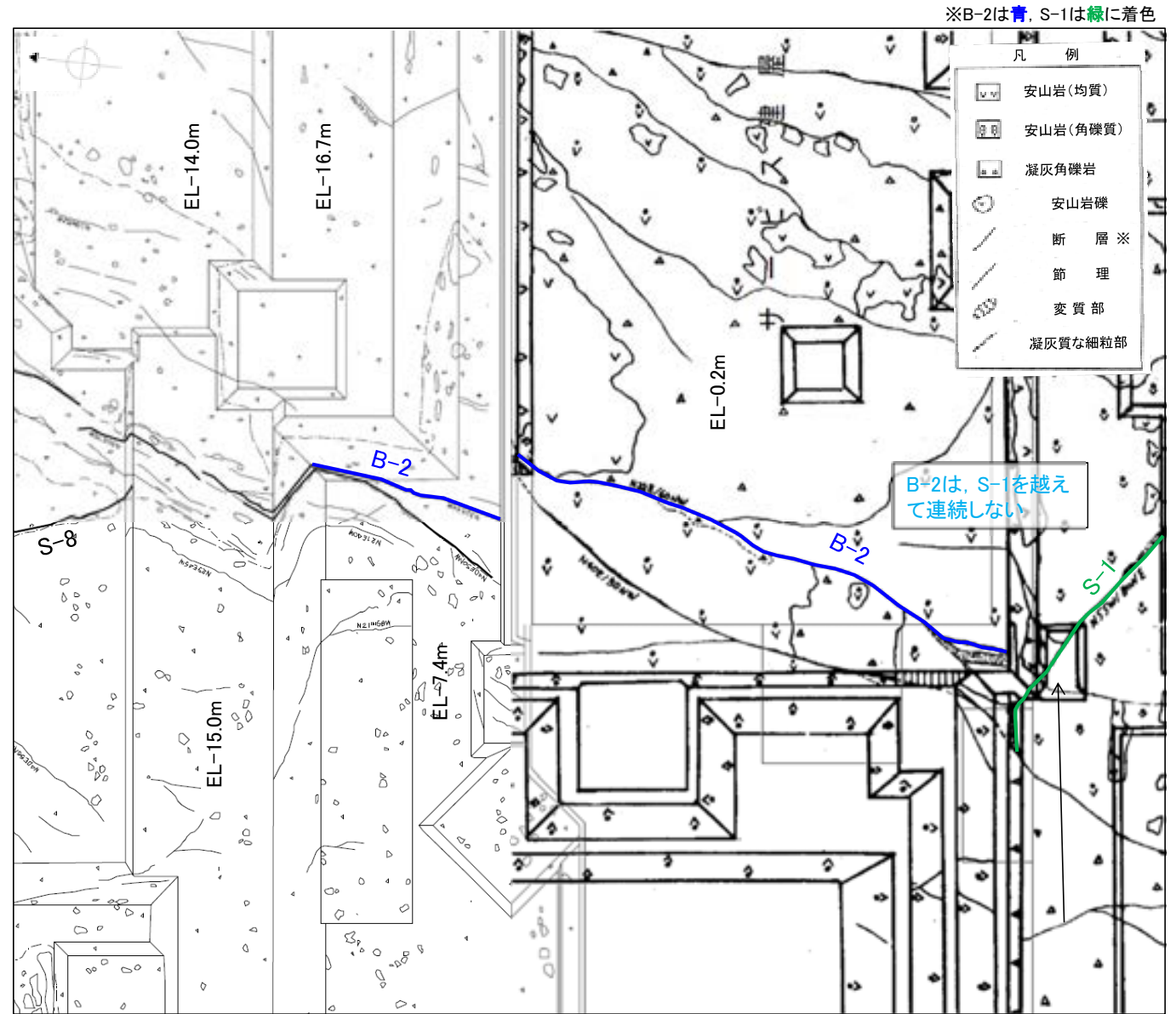
S-1とB-2の関係

# S-1とB-2の水平方向・深度方向のデータ –基礎掘削面–

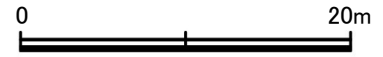
○基礎掘削面において、B-2は、水平方向にS-1を越えて連続しない。



位置図



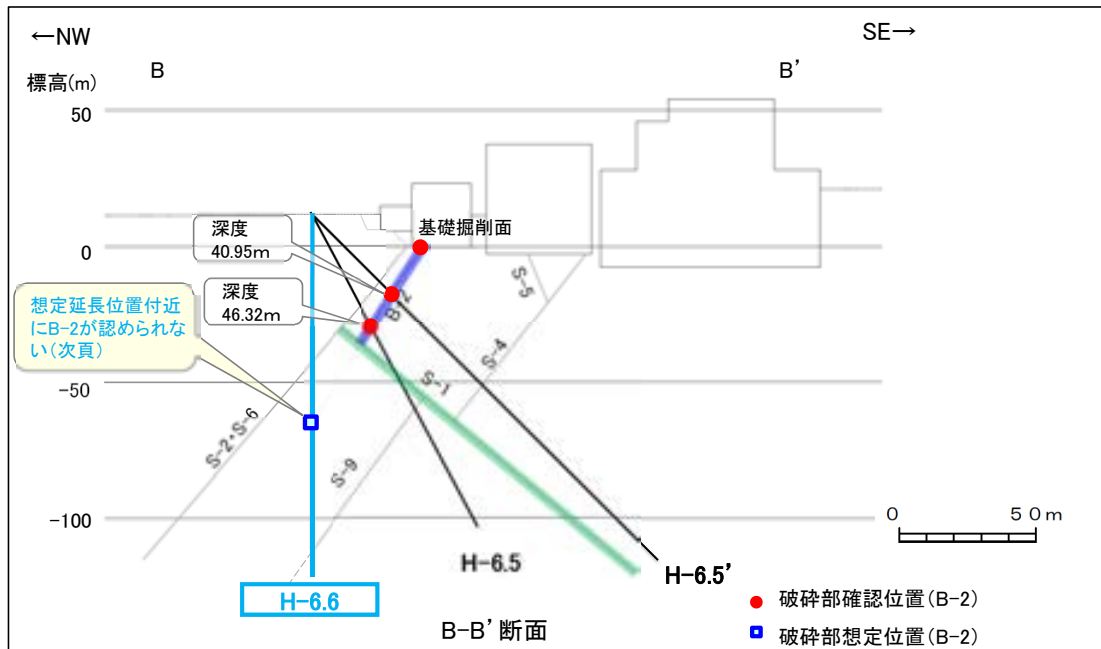
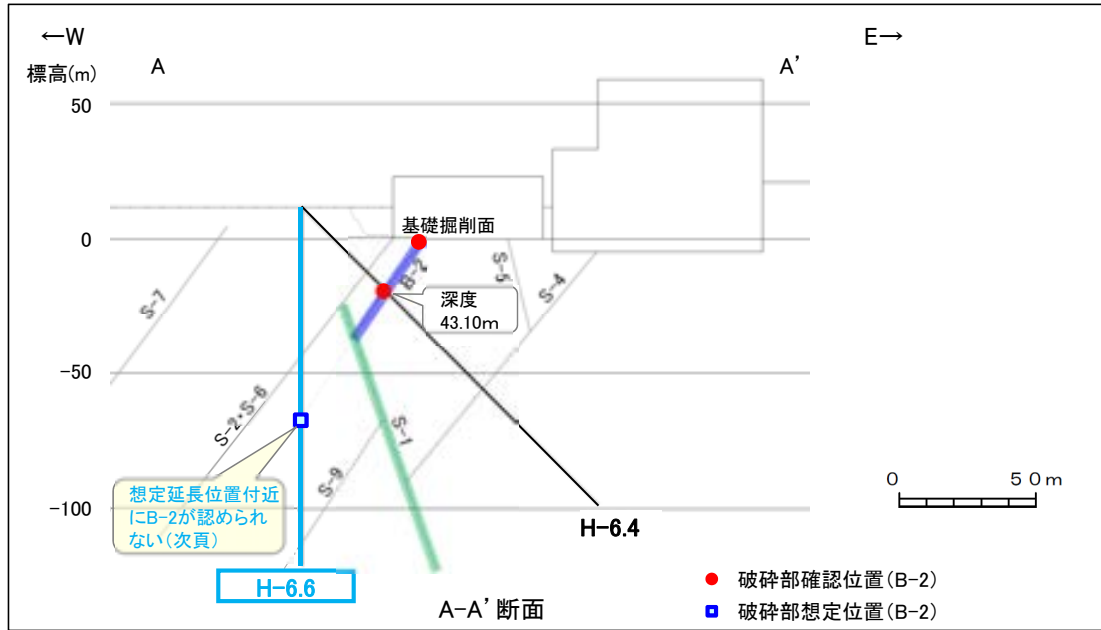
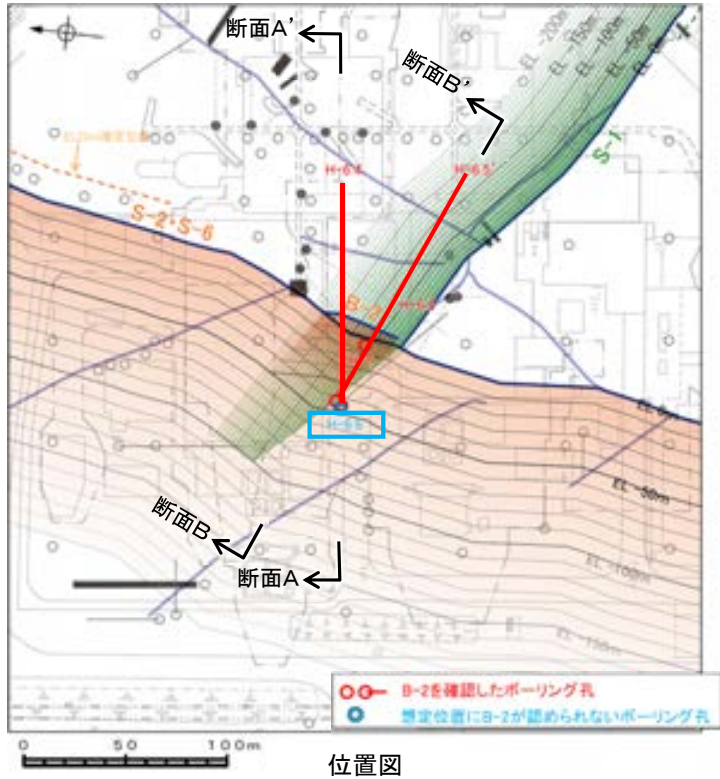
基礎掘削面スケッチ(左:2号機, 右:1号機)





○ボーリング断面において、B-2は、S-1を越えて連続しない。

この図の断層線は、周辺ボーリングでの出現位置を基に直線的に描いている。

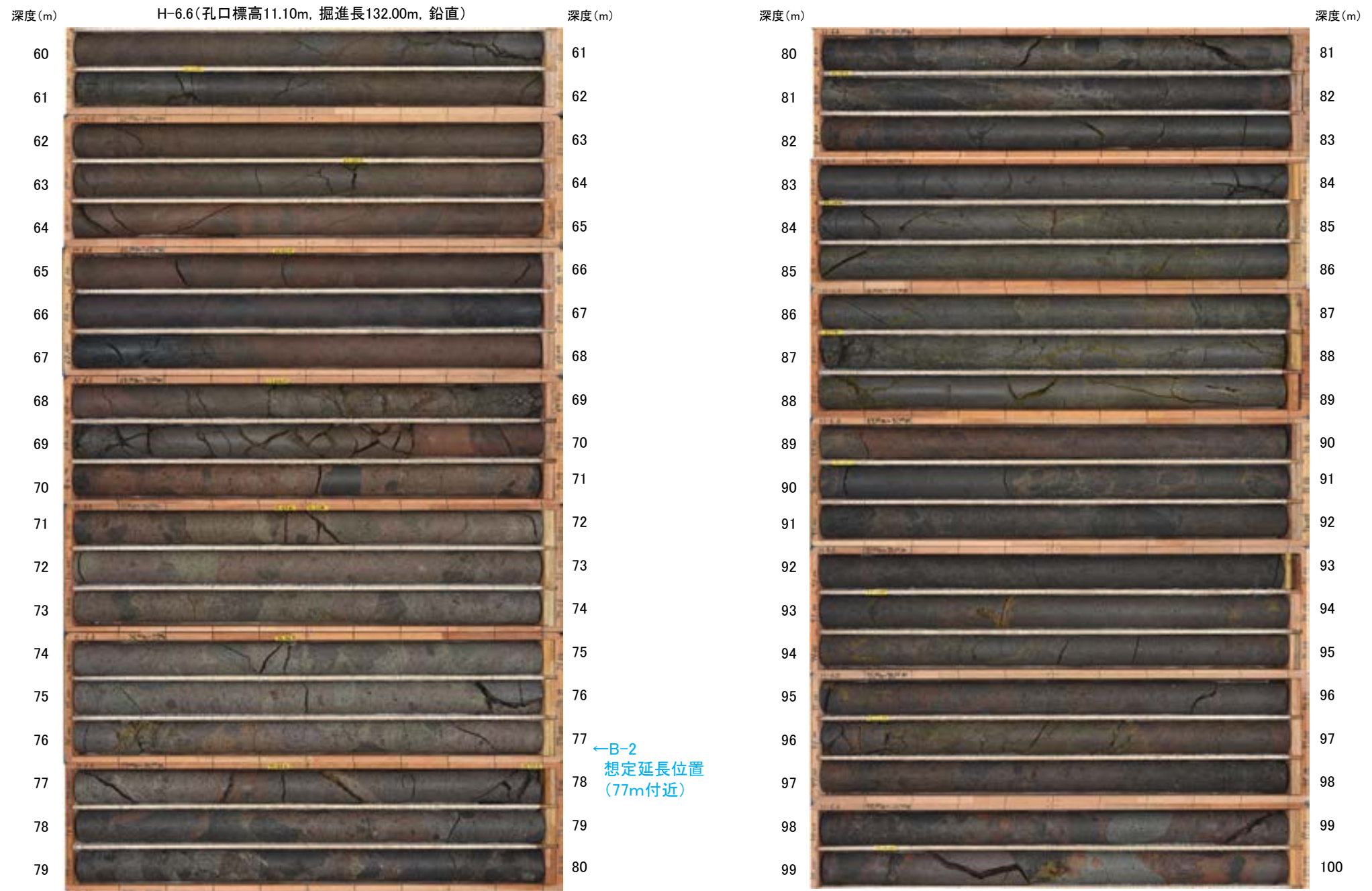


・B-2は、H-6.6孔において想定延長位置付近に認められない。  
・北東傾斜であるS-1と北西傾斜であるB-2は、深部で会合する関係にあり、B-2はS-1を越えて連続しない。

# S-1とB-2の水平方向・深度方向のデータ -ボーリング断面②-

■H-6.6孔のB-2の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1



※深度77.60m付近に見られる割れ目は、その付近で変形構造は見られず、破碎部ではない。なお、走向傾斜はN33° E/59° SEであり、B-2と対応しない。

コア写真(深度60~100m)

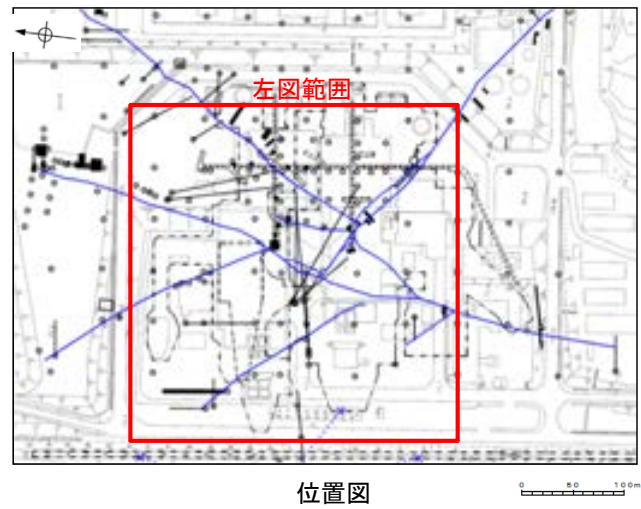
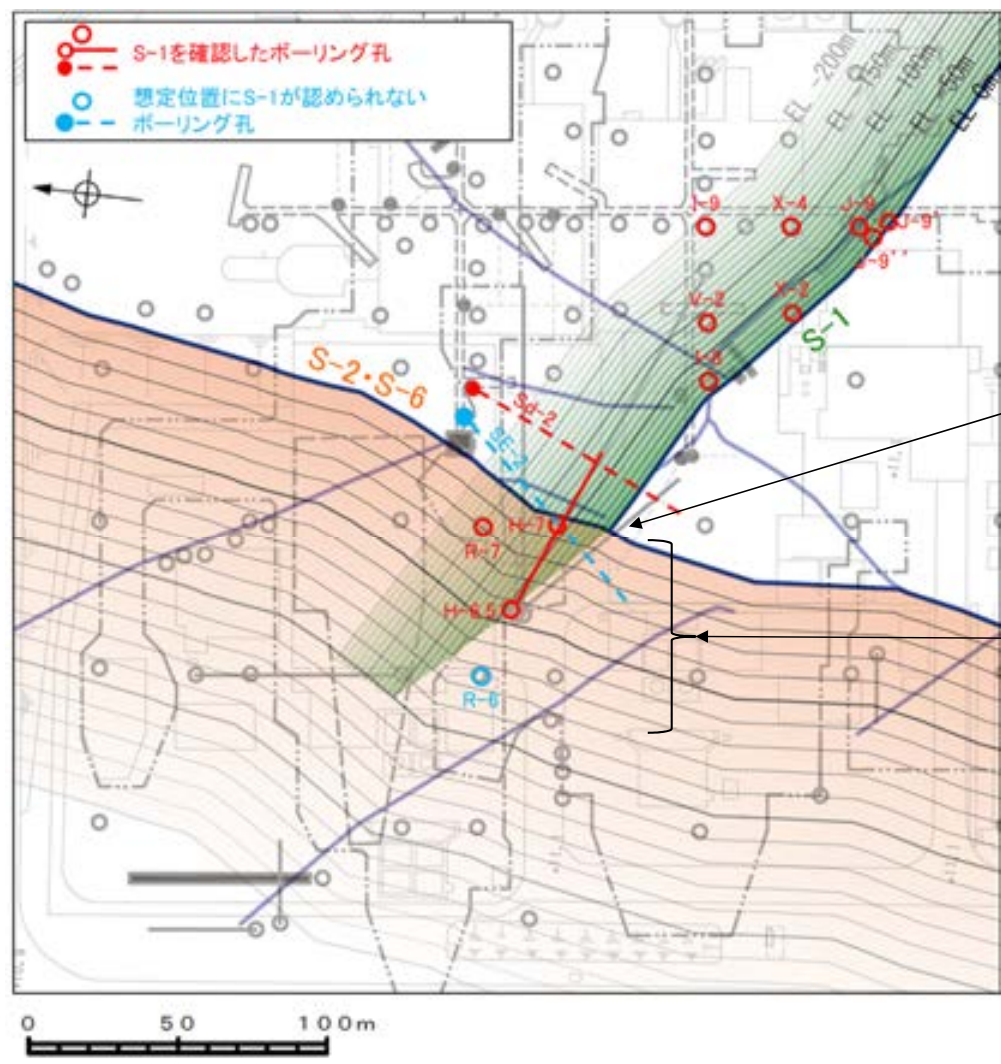
H-6.6孔において、想定延長位置付近にB-2は認められない。

---

(5) S-1とS-2・S-6の水平方向・深度方向のデータ

# S-1とS-2・S-6の水平方向・深度方向のデータ

OS-1は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。

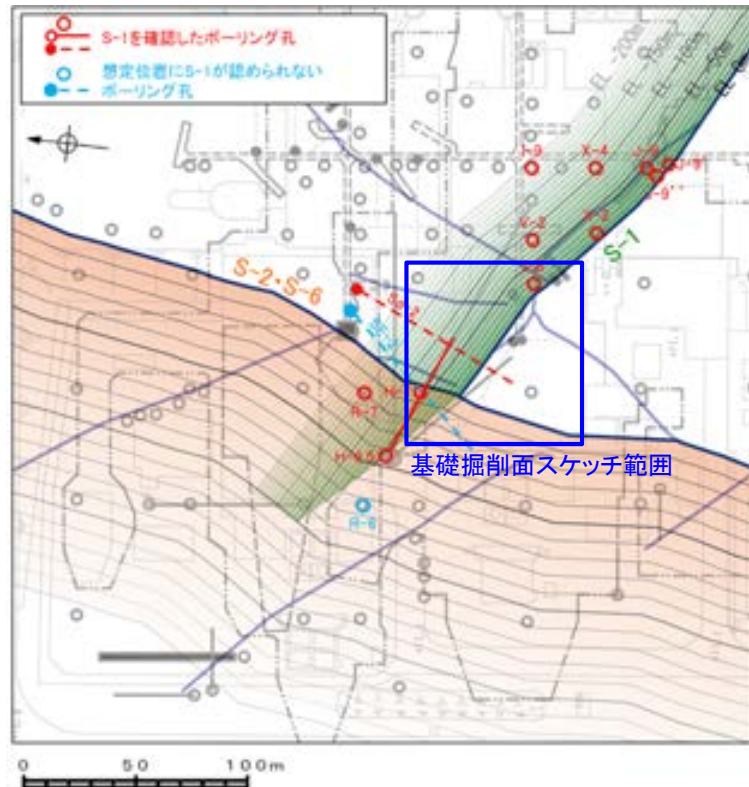


S-1は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない  
(基礎掘削面 次頁)

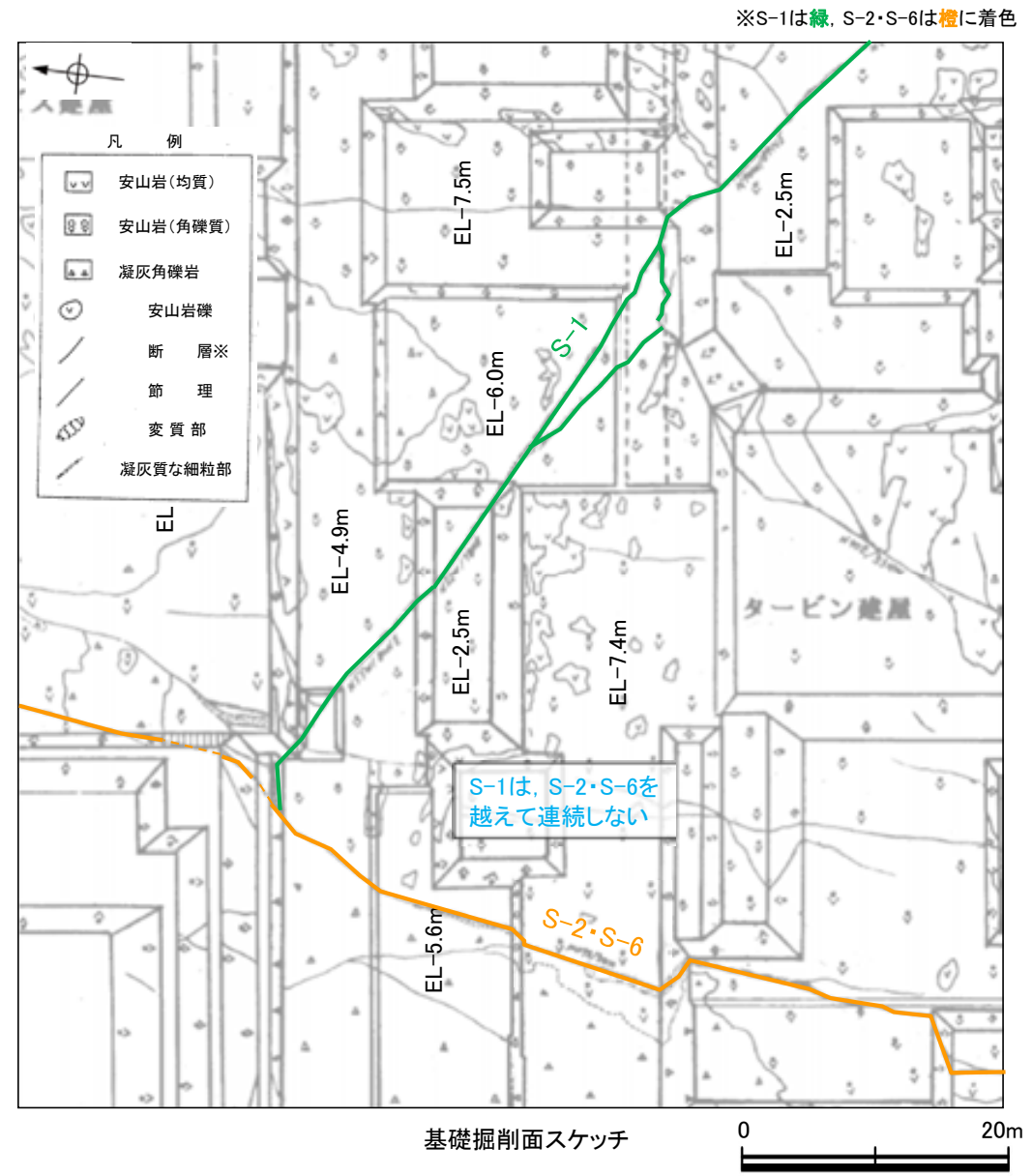
S-1は、深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない(ボー  
リング断面 補足資料2.3-5(5) P.2.3-5-28~30)

S-1とS-2・S-6の関係

○基礎掘削面において、S-1は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



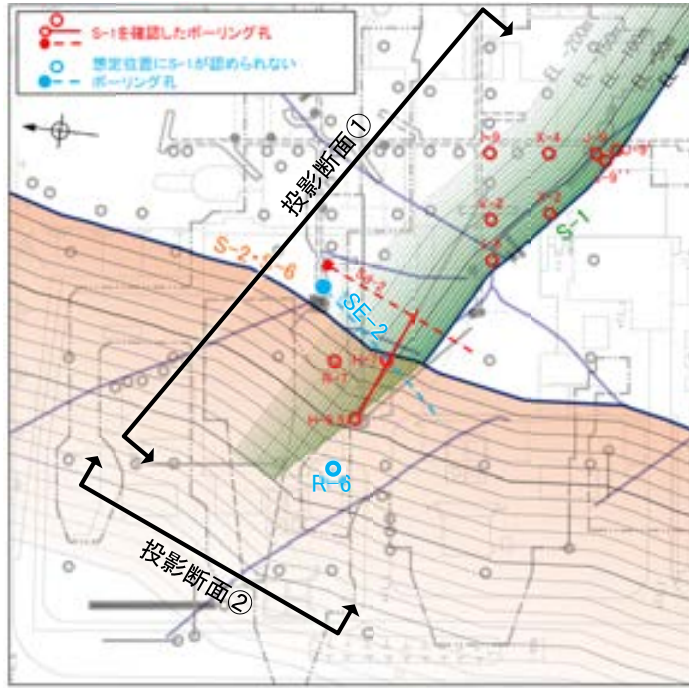
位置図



※S-1は緑, S-2・S-6は橙に着色

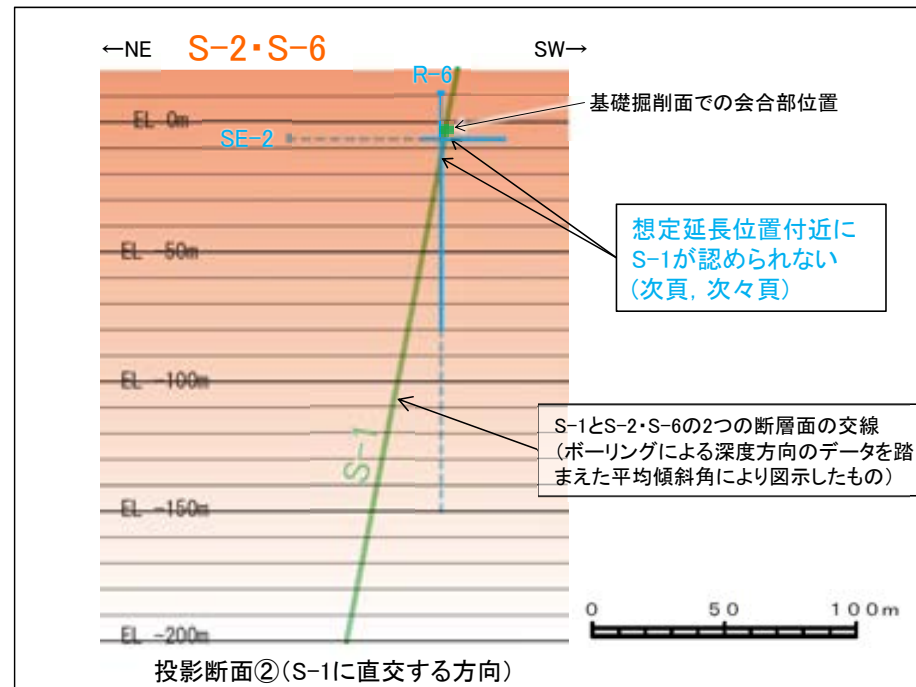
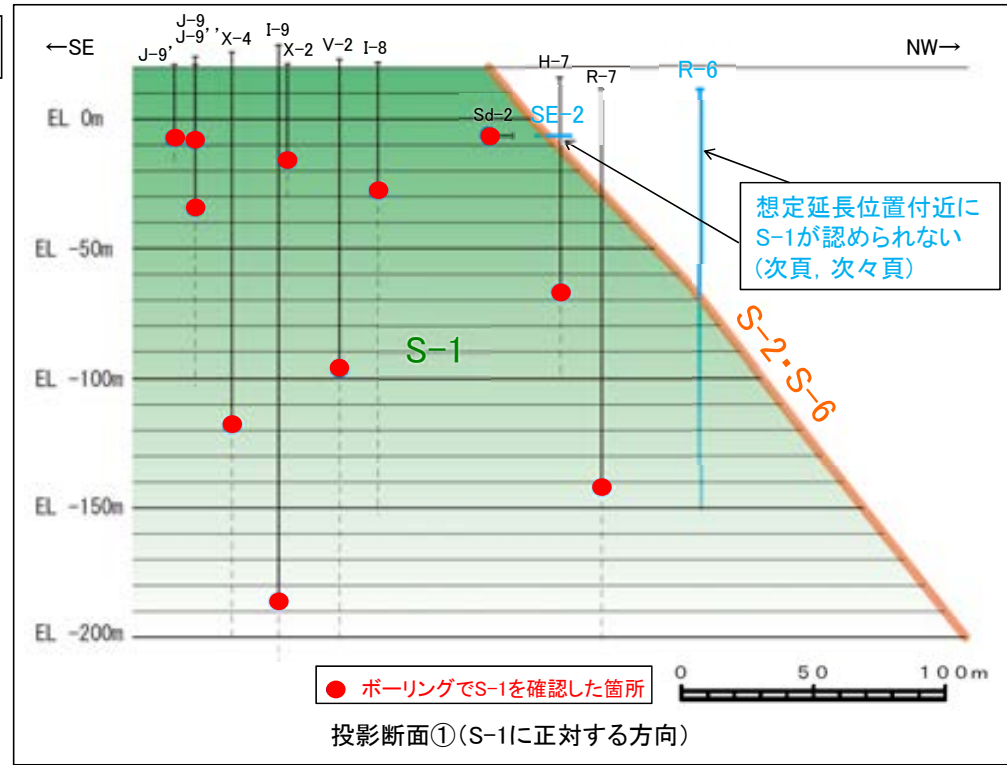
S-1は、S-2・S-6を越えて連続しない

○ボーリング断面において、S-1は、S-2・S-6を越えて連続しない。



位置図

S-1は、S-2・S-6断層面より北西側のSE-2孔及びR-6孔において想定延長位置付近に認められず、S-2・S-6断層面より南東側へのみ認められる。



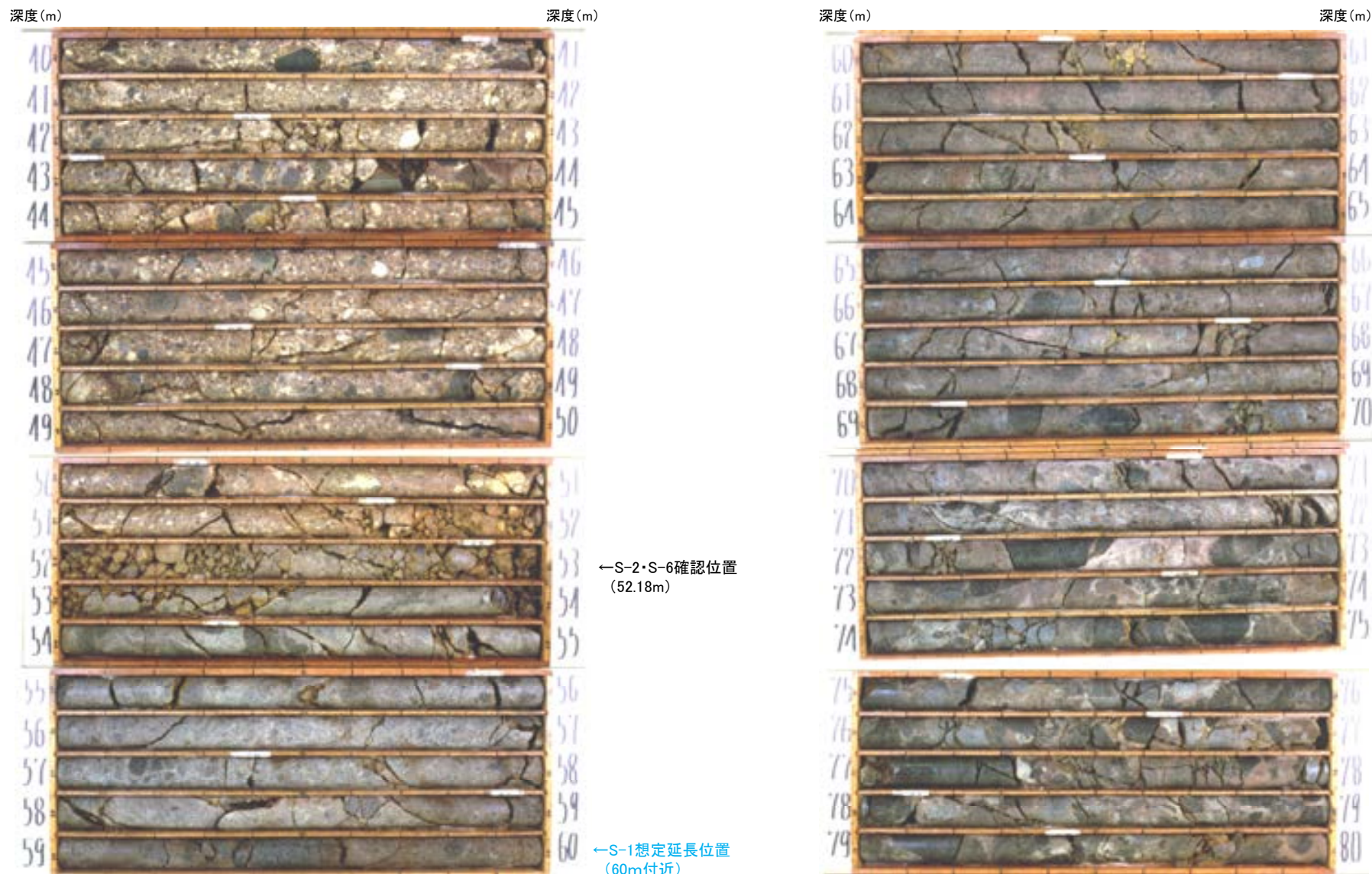
# S-1とS-2・S-6の水平方向・深度方向のデータ ーボーリング断面②ー

■SE-2孔のS-1の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

SE-2孔(孔口標高-6.46m, 掘進長85.00m, 水平)



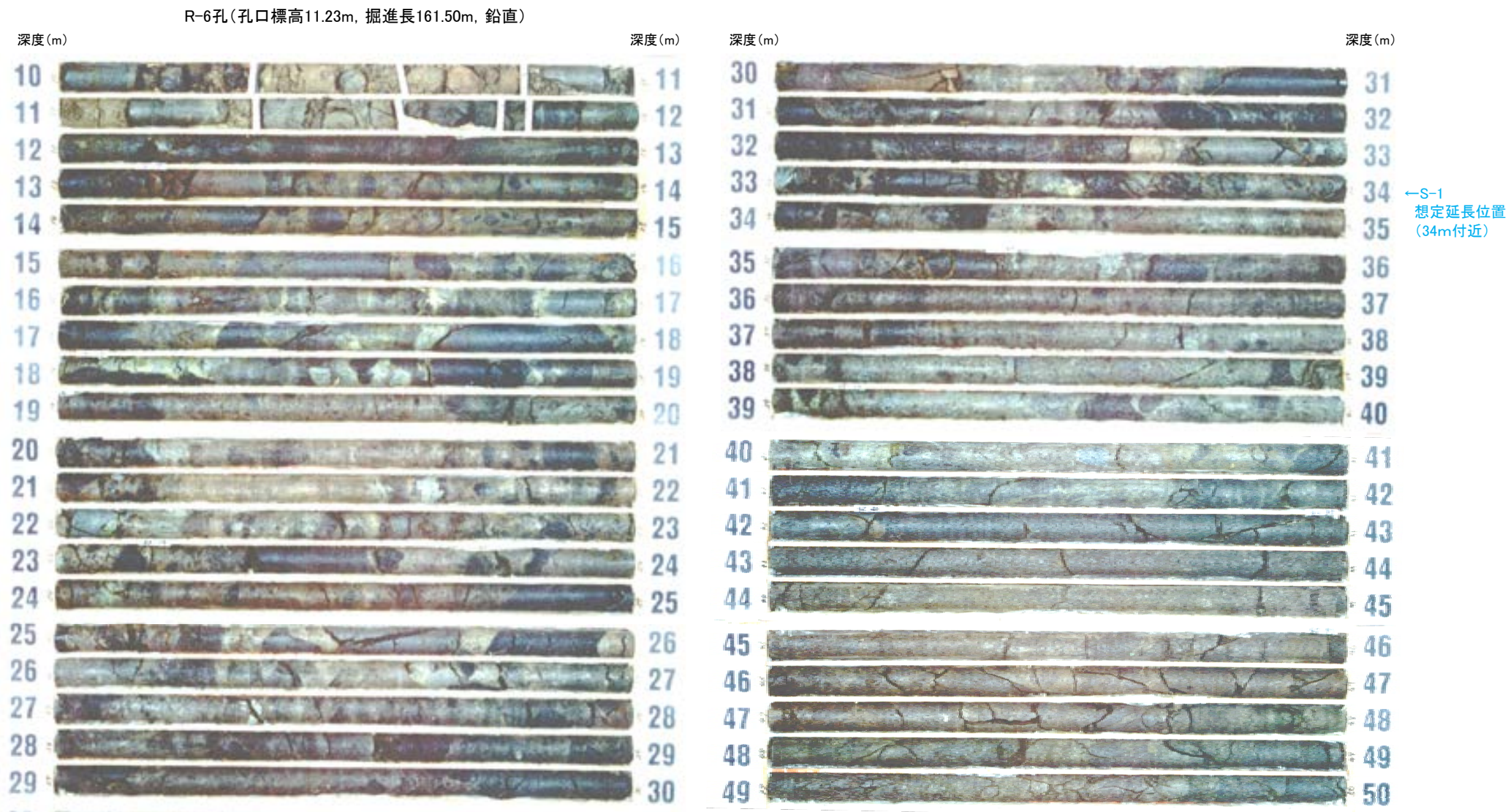
コア写真(深度40~80m)

SE-2孔において、想定延長位置付近にS-1は認められない。

■R-6孔のS-1の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整



コア写真(深度10~50m)

R-6孔において、想定延長位置付近にS-1は認められない。

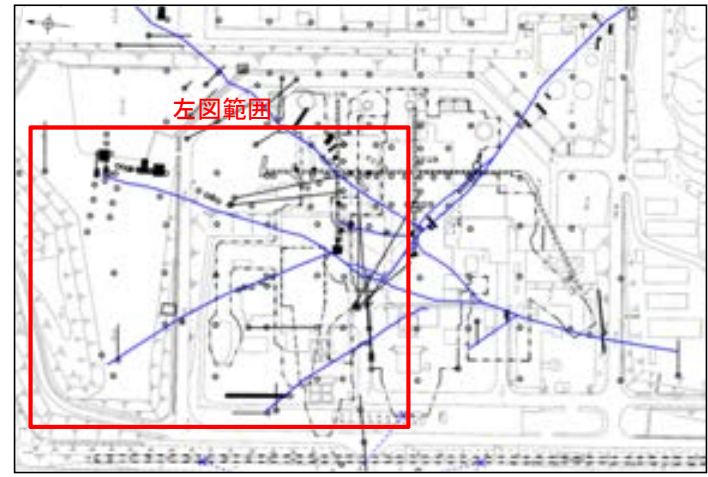
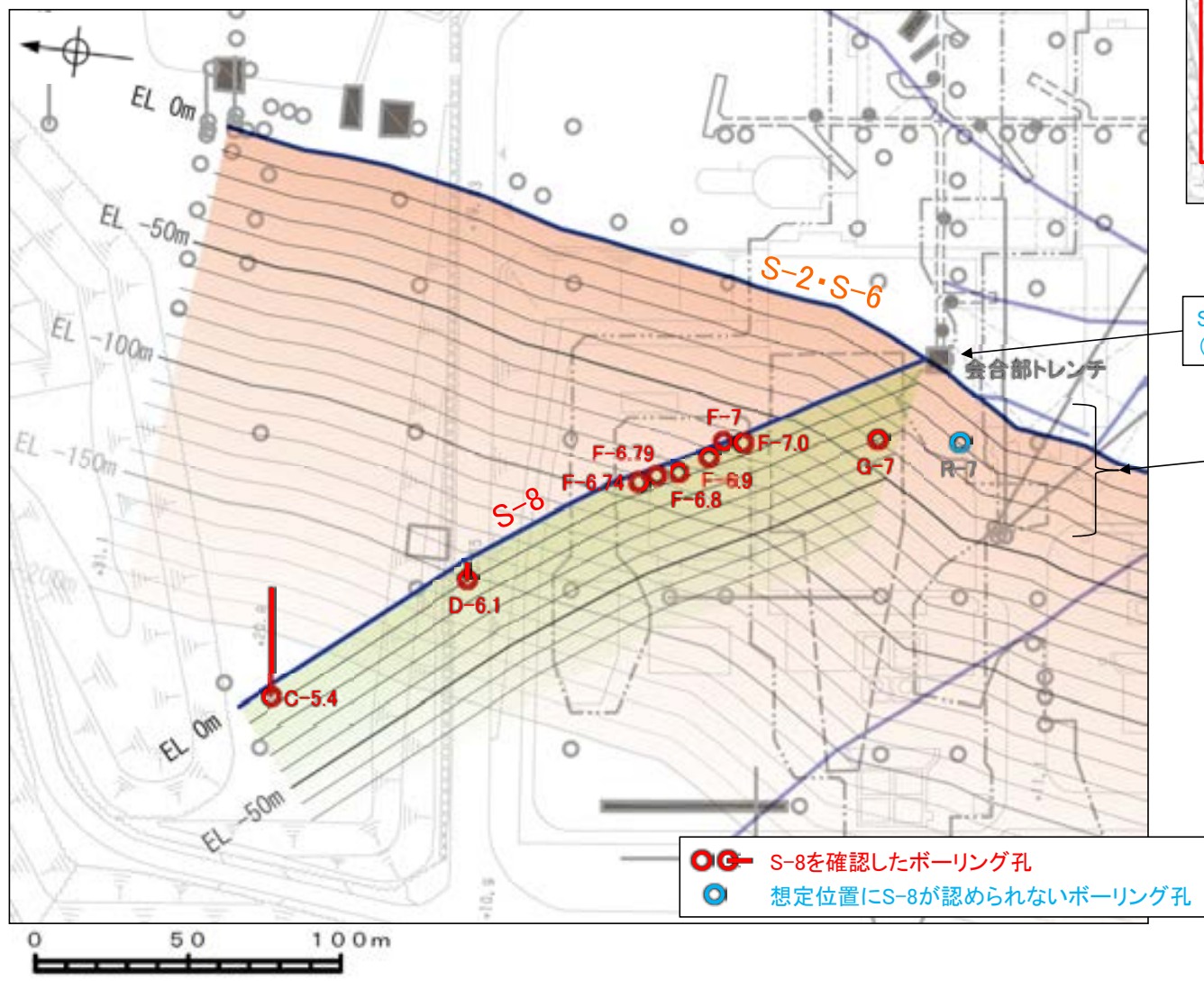


---

(6) S-2・S-6とS-8の水平方向・深度方向のデータ

# S-2・S-6とS-8の水平方向・深度方向のデータ

OS-8は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。

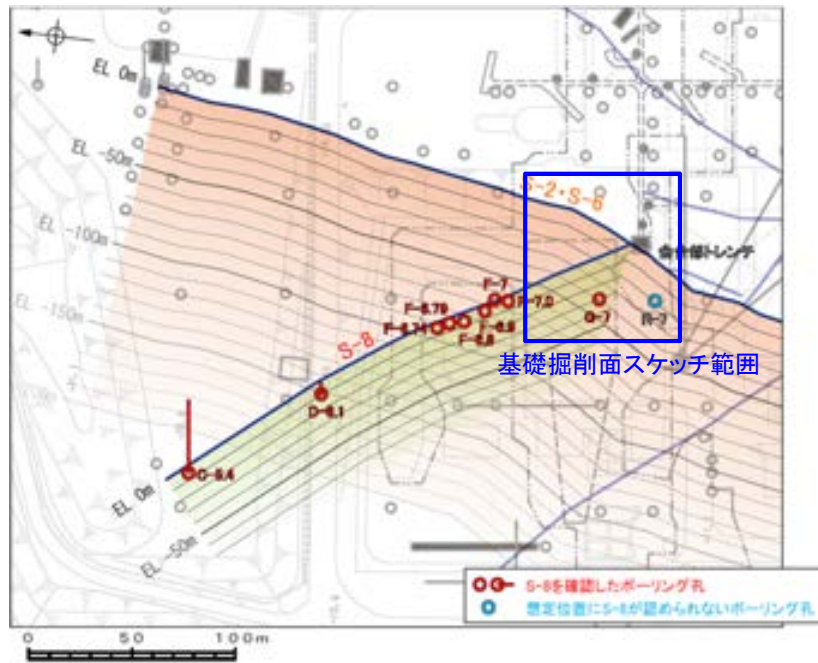


S-8は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない  
(基礎掘削面 次頁, 会合部トレンチ 次々頁)

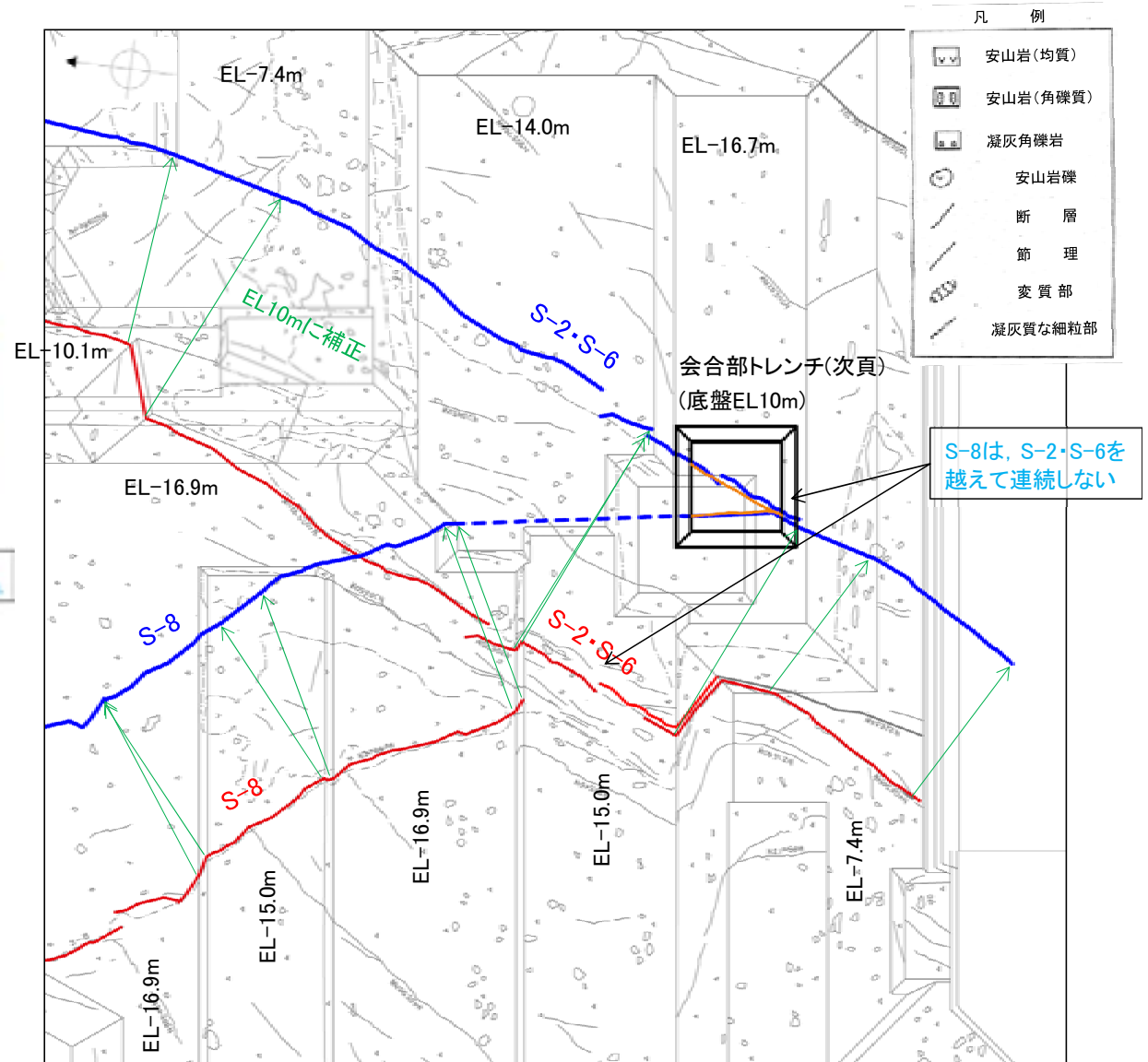
S-8は、深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない  
(ボーリング断面 補足資料2.3-5(6) P.2.3-5-35, 36)

S-2・S-6とS-8の関係

○基礎掘削面において、S-8は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



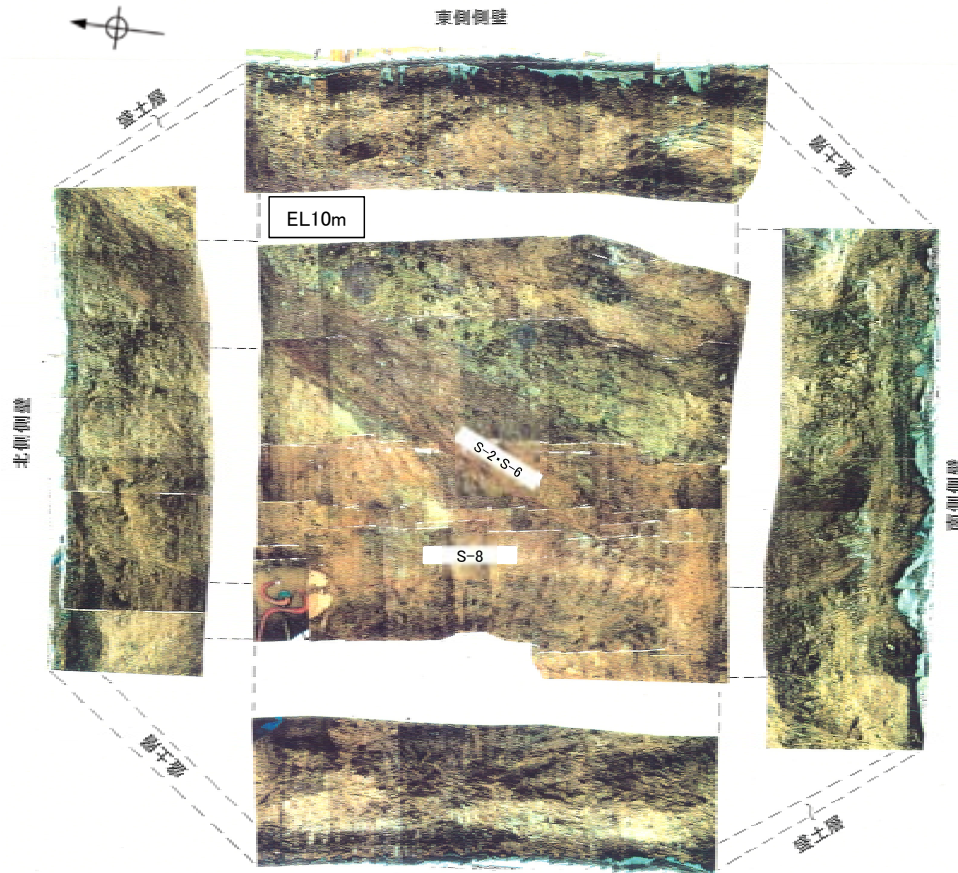
位置図



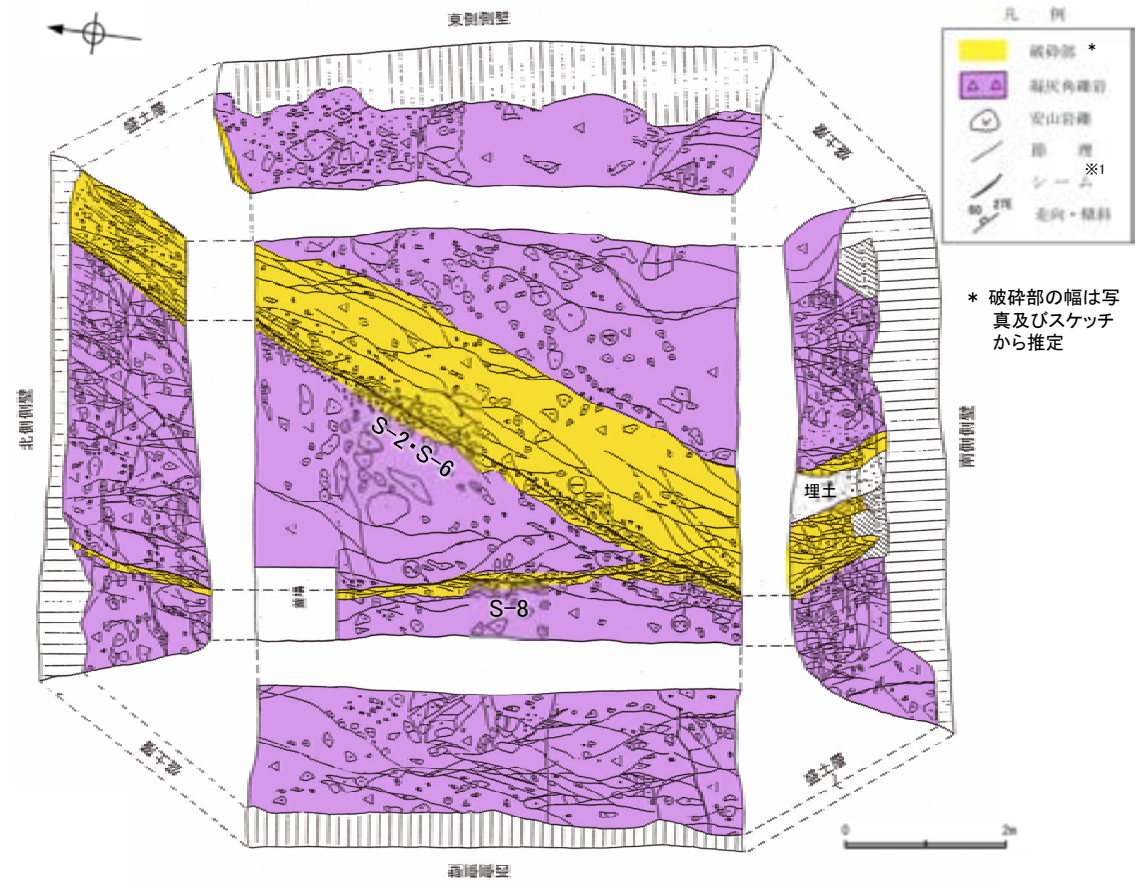
— 断層(EL10m盤トレース(投影))      基礎掘削面スケッチ  
— 断層(トレンチ底盤)  
— 断層(基礎掘削面レベル)



○会合部トレンチにおいて、S-8は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



トレンチ写真(展開図)



凡例

黄色	破砕部 *
紫	凝灰角礫岩
○	安山岩層
—	節理
—	シーム ※1
↖ ↗	走向・傾斜

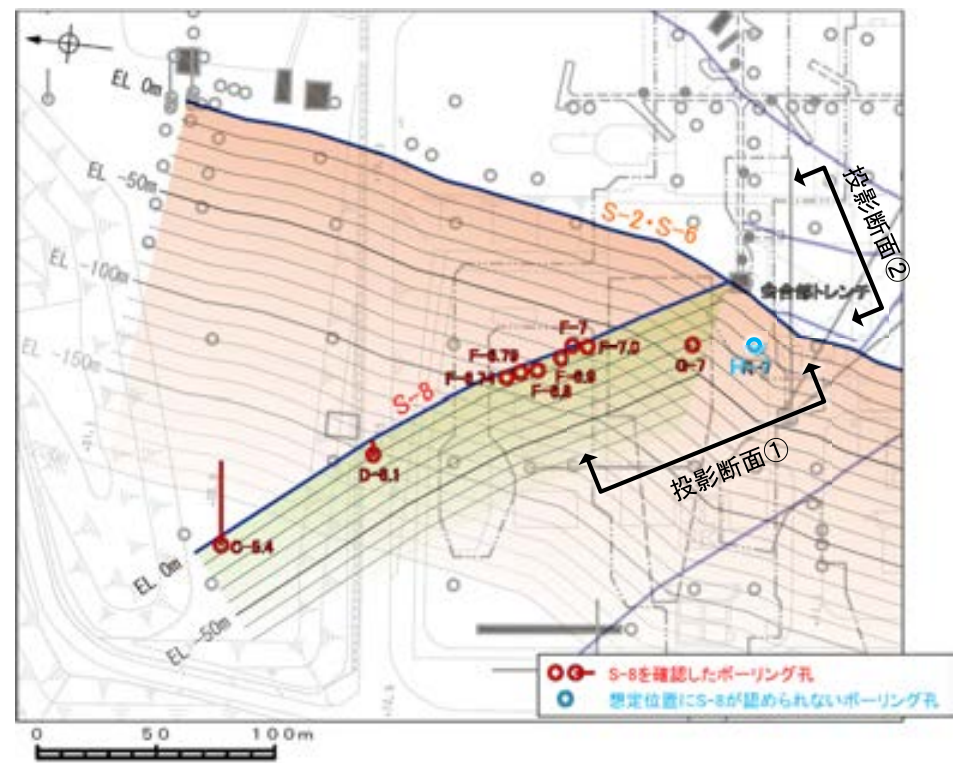
\* 破砕部の幅は写真及びスケッチから推定

- ① S-2・S-6  
厚さ0.5~5cmの赤褐色ないし黄褐色岩片混じり粘土からなり、シーム※1に接する面の一部には鏡肌・条線が認められる。  
走向・傾斜 N27° E/60° NW※2  
(※2: N19° E/60° NW(真北補正))  
比較的明瞭な面が直線的に連続している。
- ② S-8  
厚さ0.5~1cmの暗赤褐色ないし黄褐色岩片混じり粘土からなり、シーム※1に接する面の一部には鏡肌・条線が認められる。  
走向・傾斜 N2° E~N6° W/70° ~80° W※3  
(※3: N6° W~N14° W/70° ~80° W(真北補正))
- ③ S-2・S-6とS-8の会合部  
S-8はS-2・S-6に近づくにつれて、その走向方向がS-2・S-6の方向に近似するようになり、やがてはS-2・S-6に収束する。
- ④ 凝灰角礫岩  
硬質礫の分布は少なく、全体的にやや軟質である。構成礫径は5~10cm大のものが多く、シーム※1に沿って幅1m程で全体に赤褐色を帯び、シーム※1にほぼ平行な節理が認められやや軟質である。部分的に黄白色礫が認められる。

※1 スケッチ時の記載用語。  
「粘土状破砕部」に対応する。

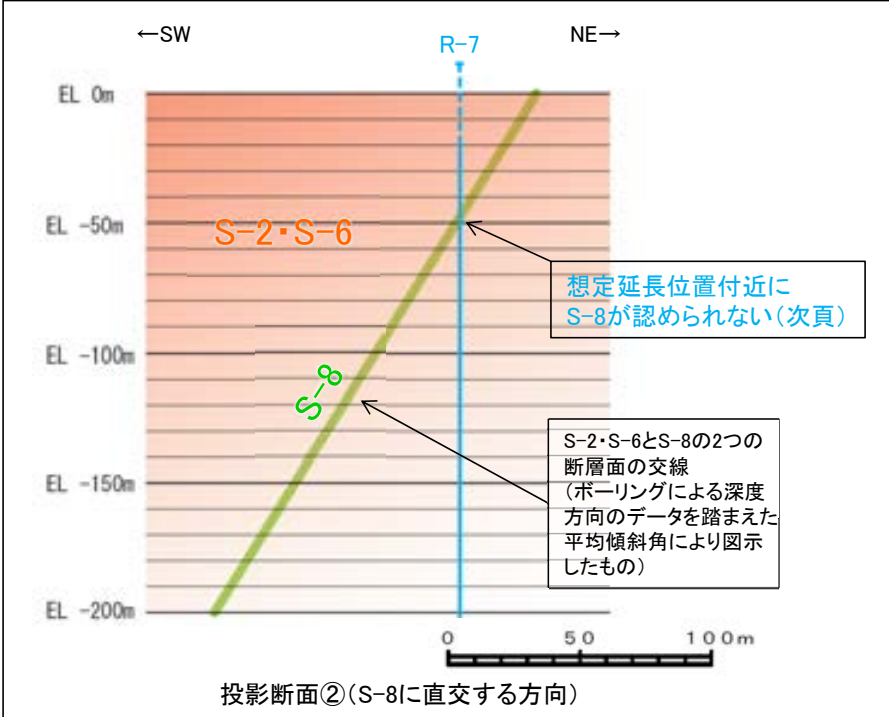
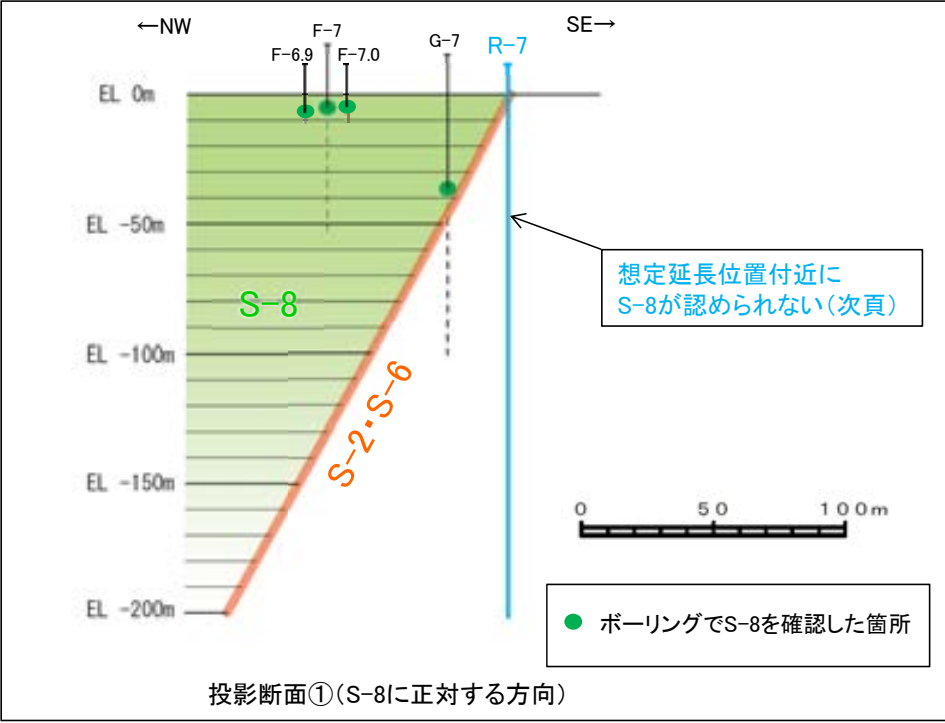
トレンチスケッチ(展開図)  
S-2・S-6とS-8の会合部の状況

○ボーリング断面において、S-8は、S-2・S-6を越えて連続しない。



位置図

S-8は、S-2・S-6断層面より南東側のR-7孔において想定延長位置付近に認められず、S-2・S-6断層面より北西側にのみ認められる。

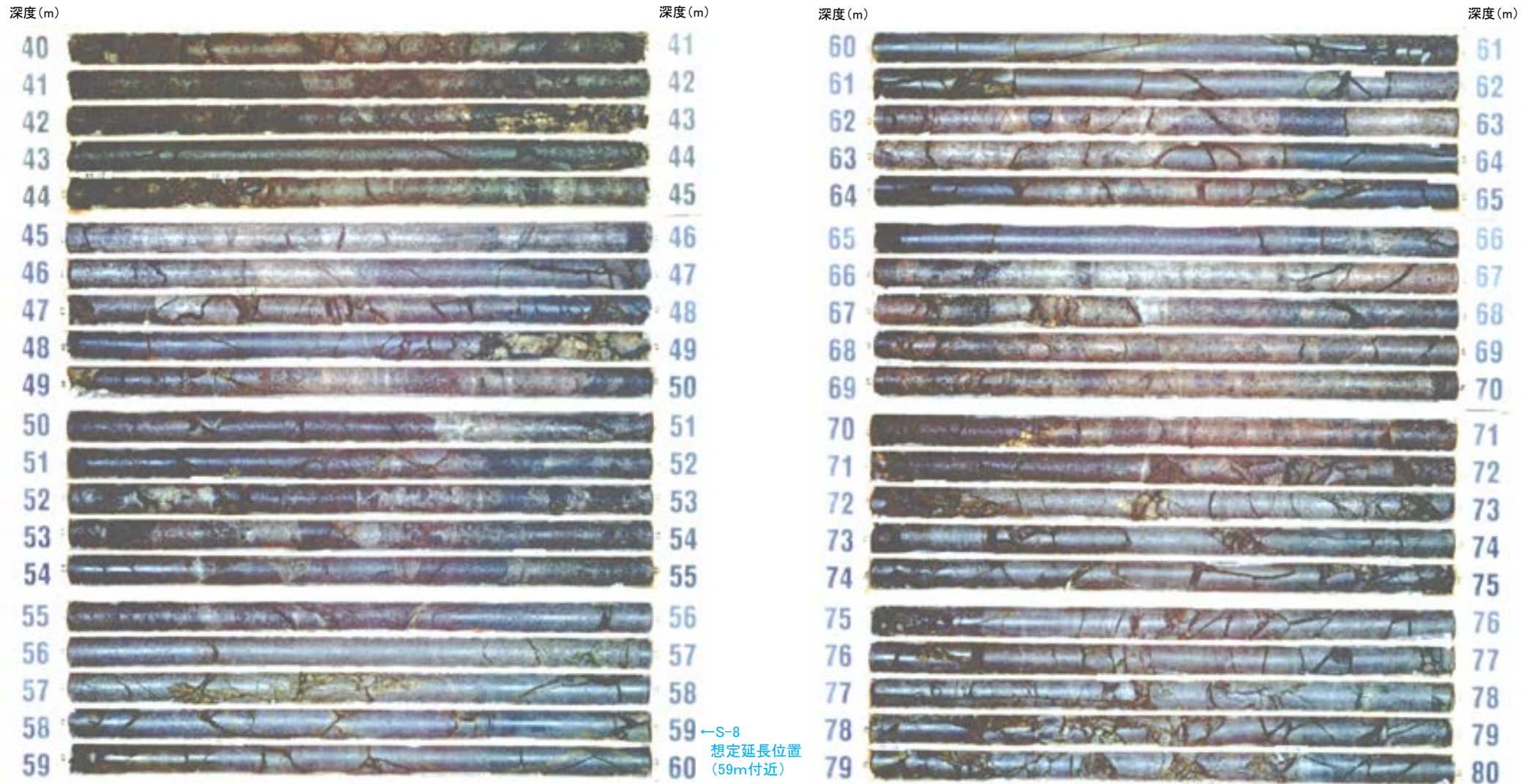


ボーリング(R-7孔) S-8想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集1

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

R-7孔(孔口標高11.28m, 掘進長213.00m, 鉛直)



コア写真(深度40~80m)

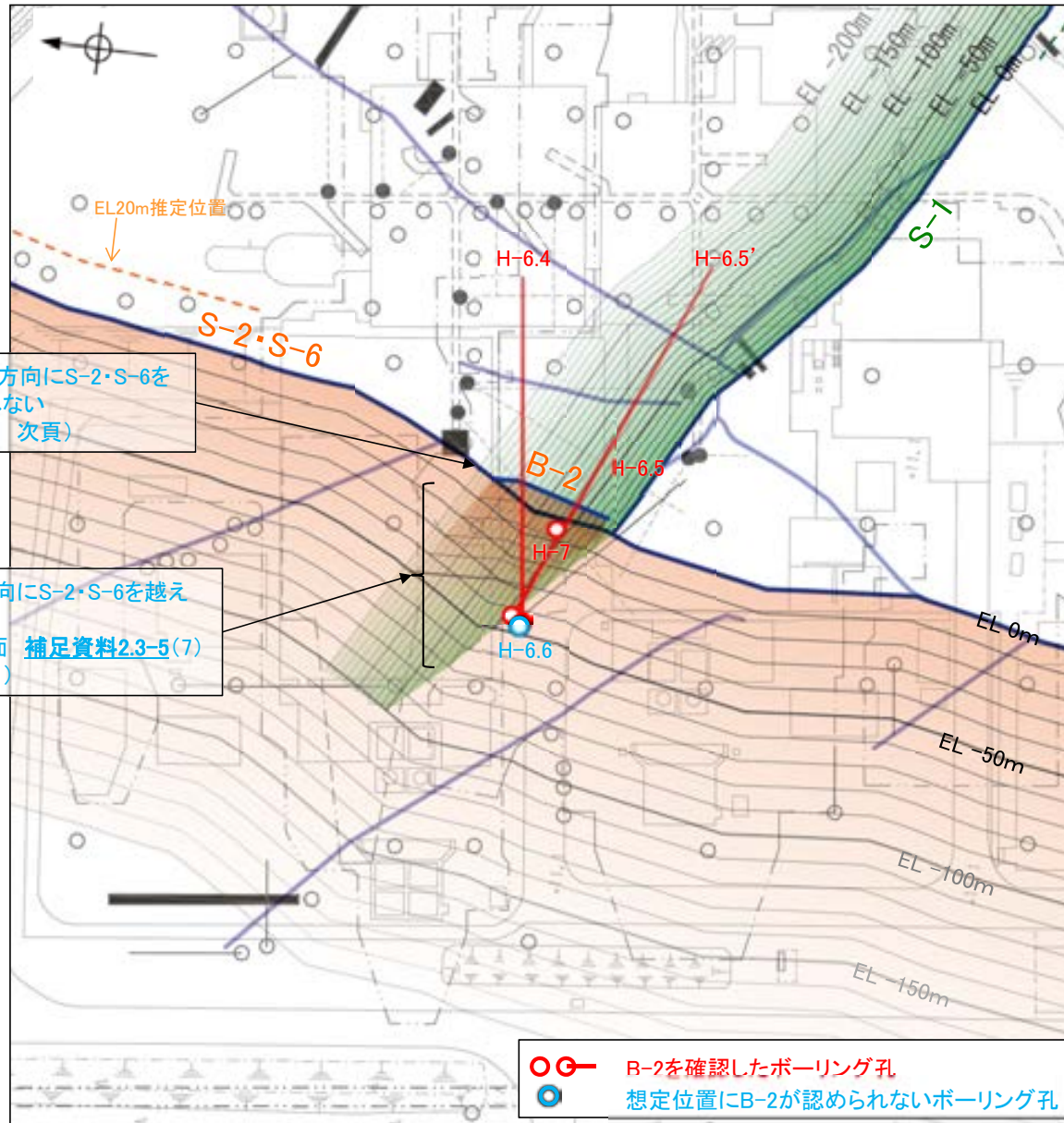
R-7孔において、想定延長位置付近にS-8は認められない。

---

(7) S-2・S-6とB-2の水平方向・深度方向のデータ

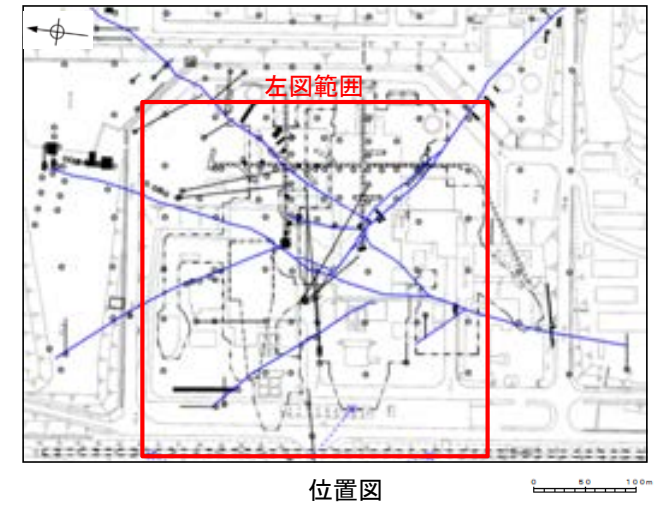
# S-2・S-6とB-2の水平方向・深度方向のデータ

OB-2は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



B-2は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない  
(基礎掘削面 次頁)

B-2は、深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない  
(ボーリング断面 補足資料2.3-5(7) P.2.3-5-40・41)

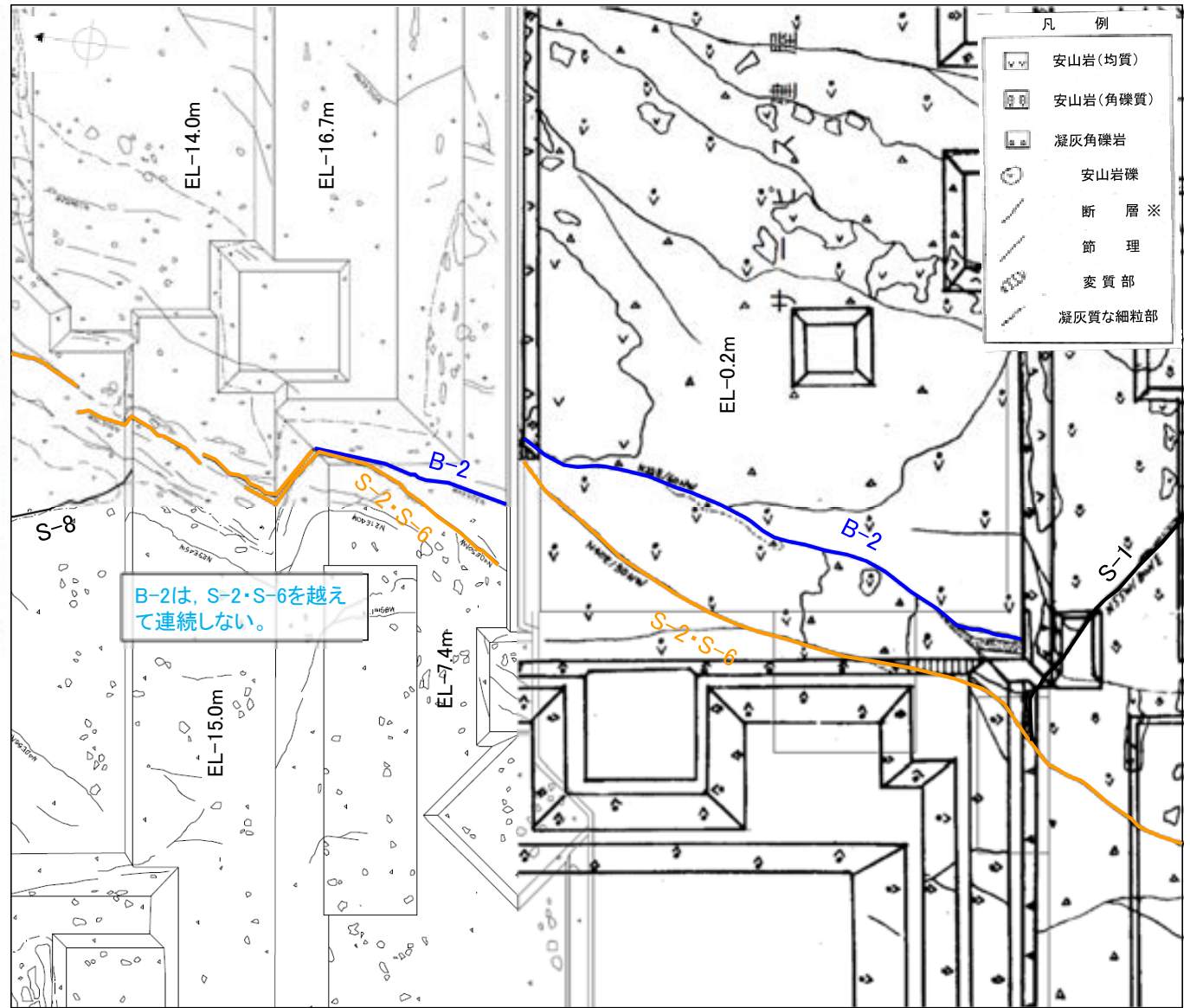
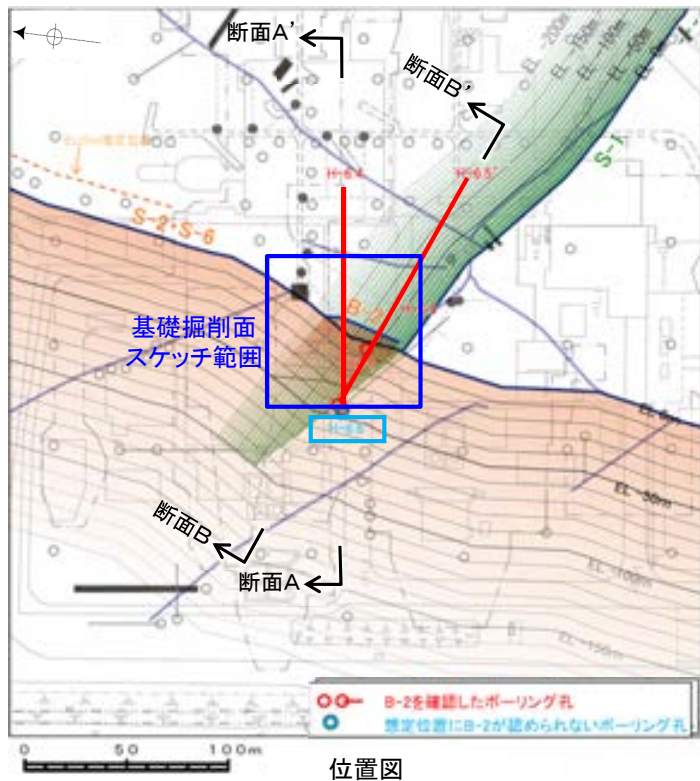


位置図

S-2・S-6とB-2の関係



○基礎掘削面において、B-2は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。

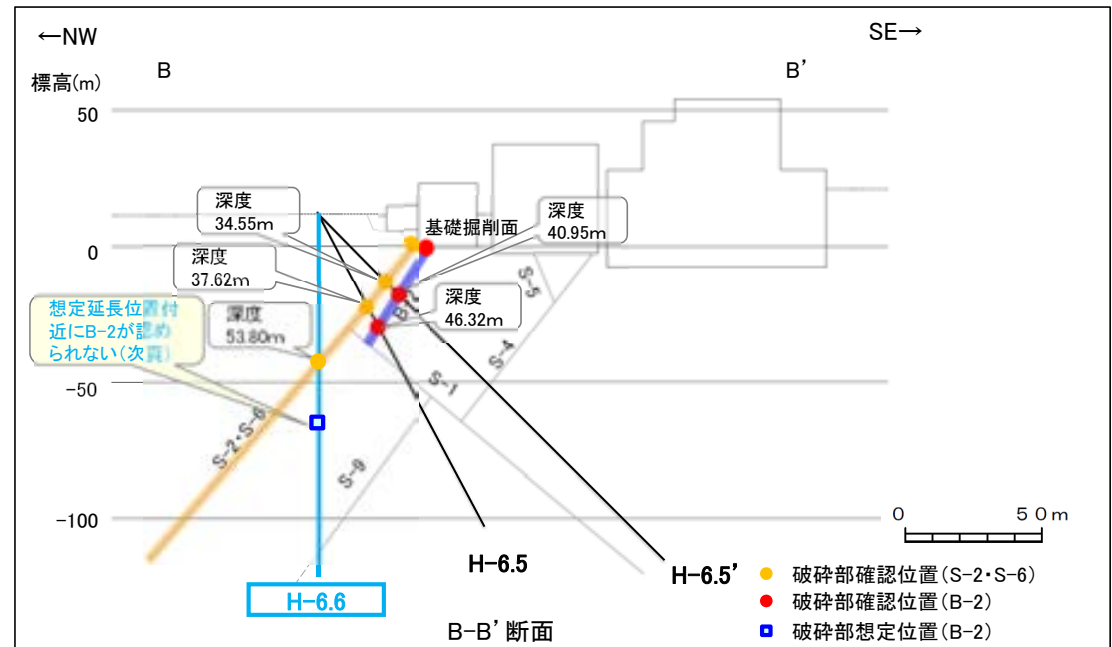
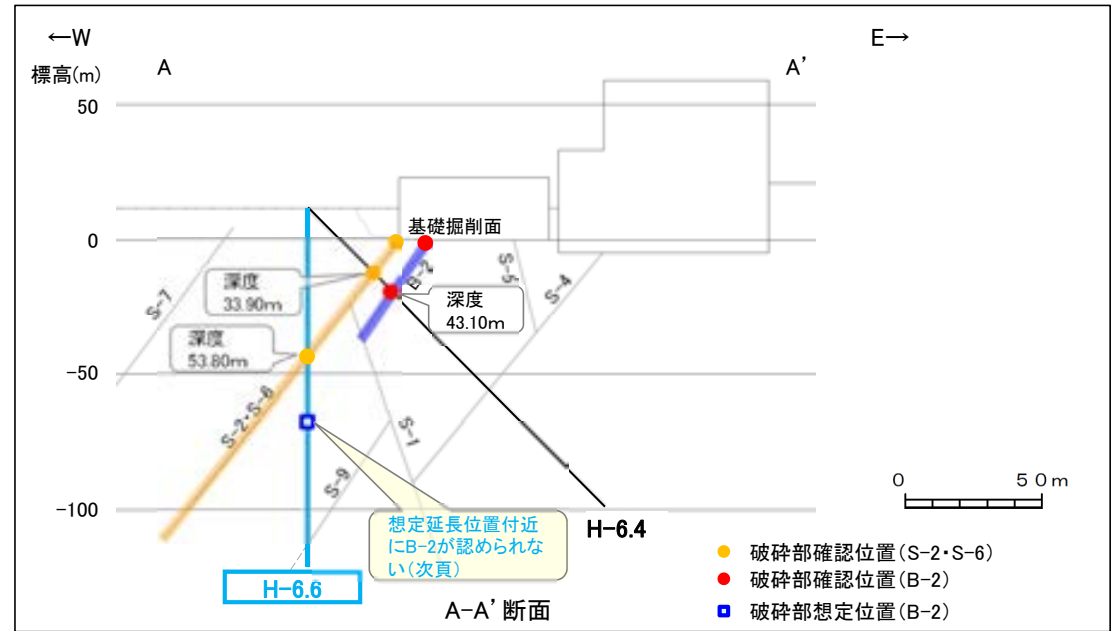
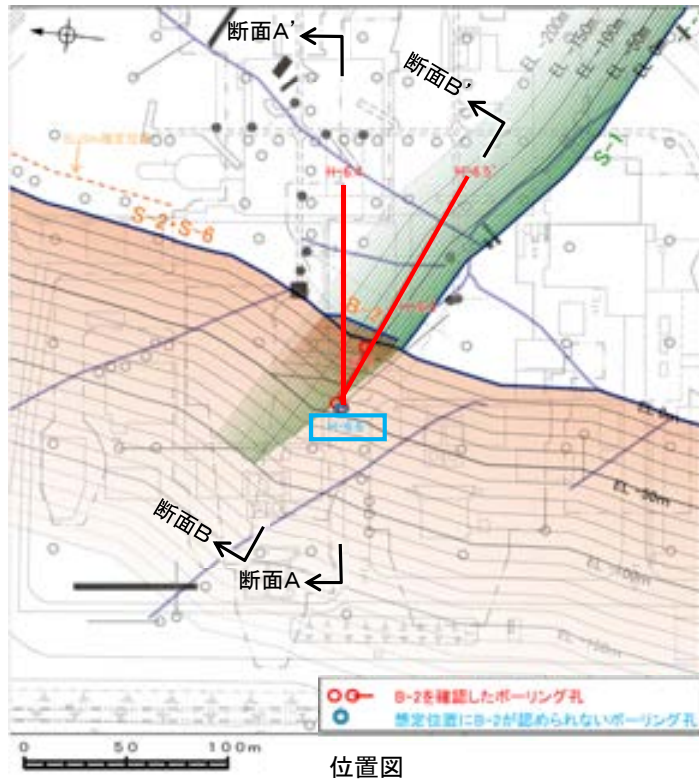


基礎掘削面スケッチ(左:2号機, 右:1号機)



○ボーリング断面において、B-2は、S-2・S-6を越えて連続しない。

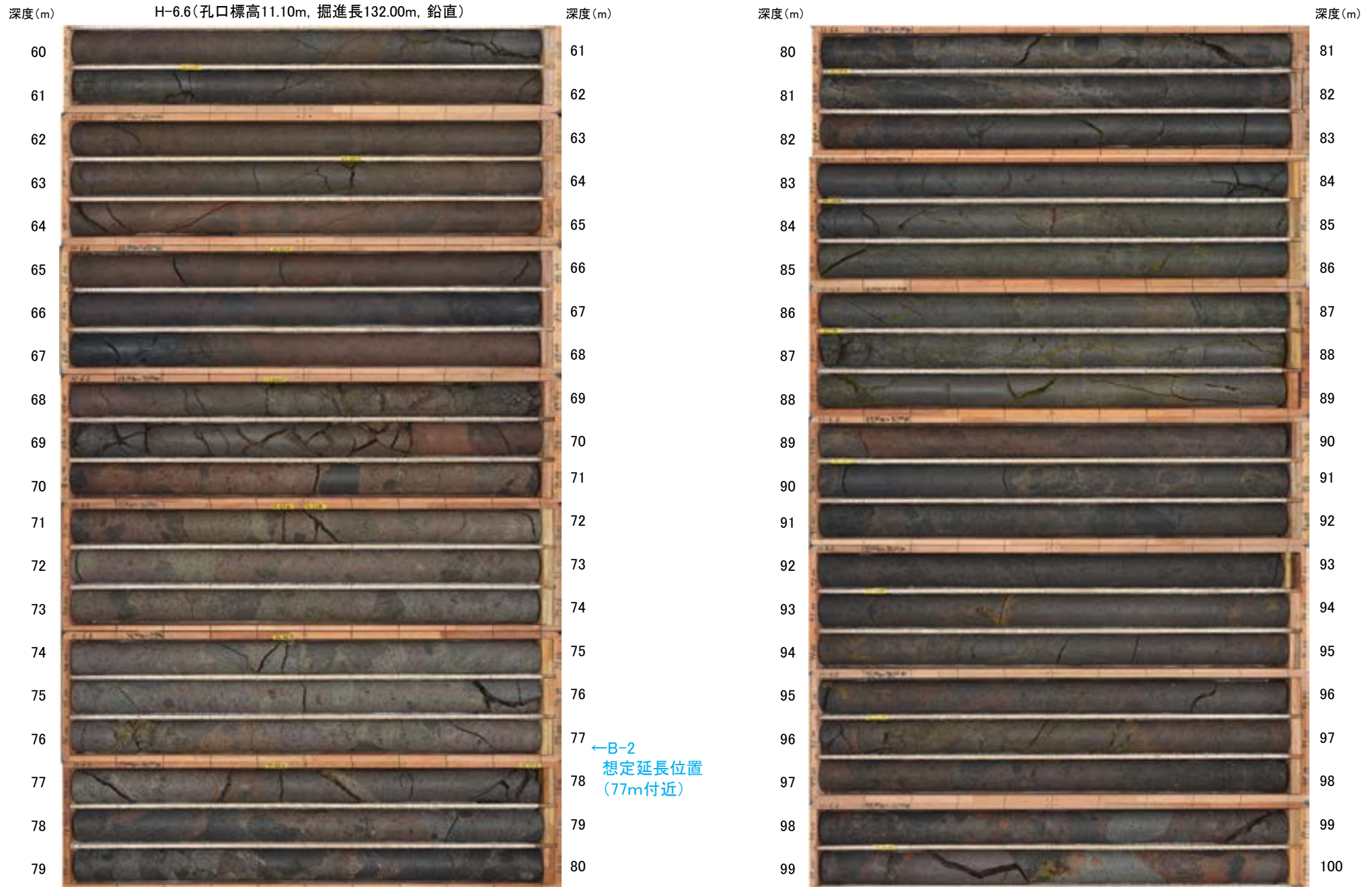
この図の断層線は、周辺ボーリングでの出現位置を基に直線的に描いている。



B-2は、ボーリングH-6.6孔において想定延長位置付近に認められず、S-2・S-6断層面より南東側のみ認められる。

ボーリング(H-6.6孔) B-2想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集1



※深度77.60m付近に見られる割れ目は、その付近で変形構造は見られず、破砕部ではない。なお、走向傾斜はN33° E/59° SEであり、B-2と対応しない。

コア写真(深度60~100m)

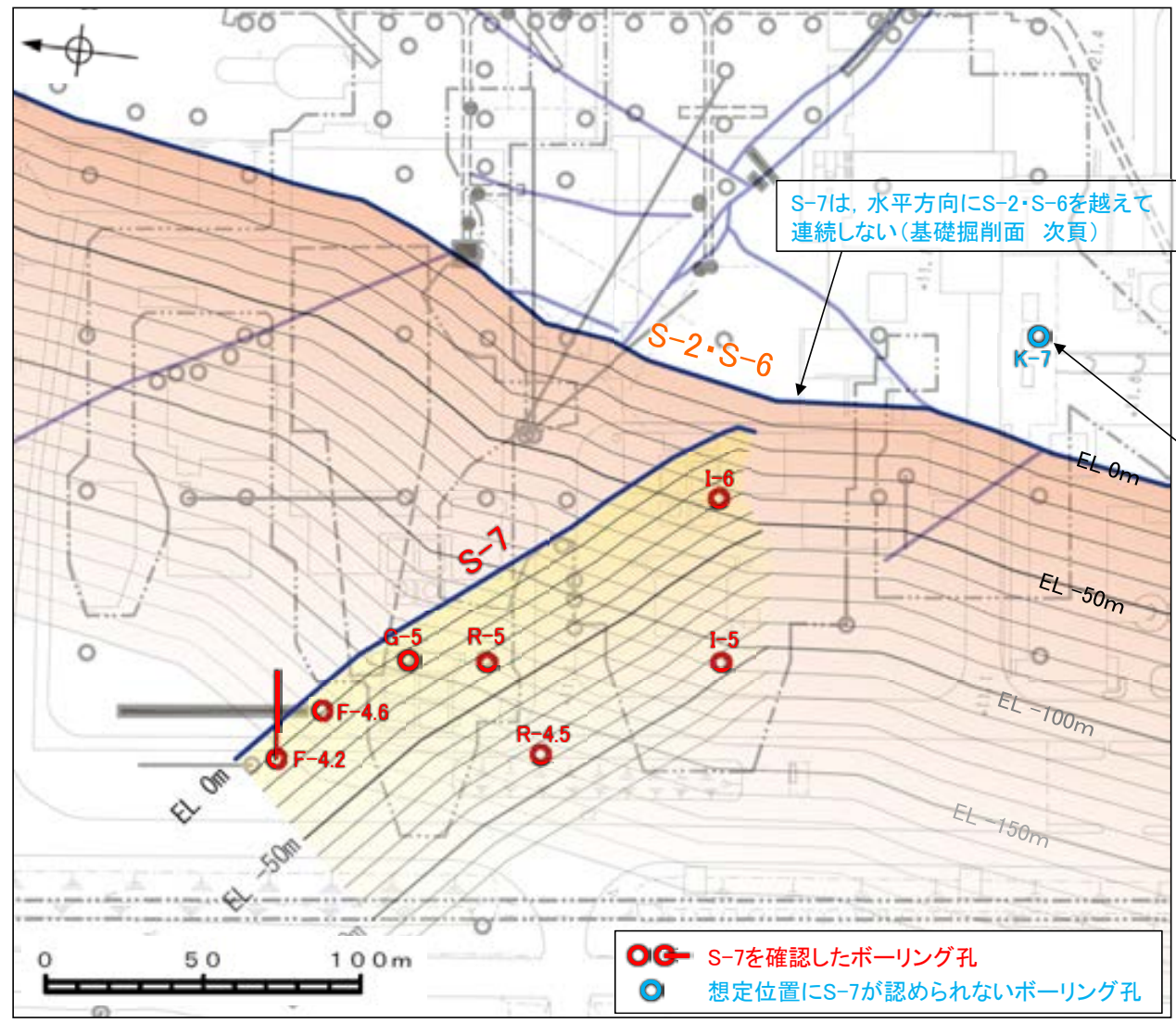
H-6.6孔において、想定延長位置付近にB-2は認められない。

---

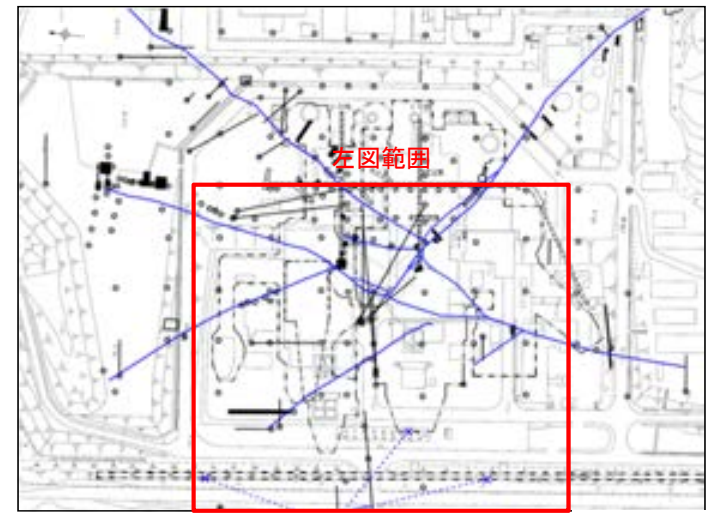
(8) S-2・S-6とS-7の水平方向・深度方向のデータ

# S-2・S-6とS-7の水平方向・深度方向のデータ

OS-7は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



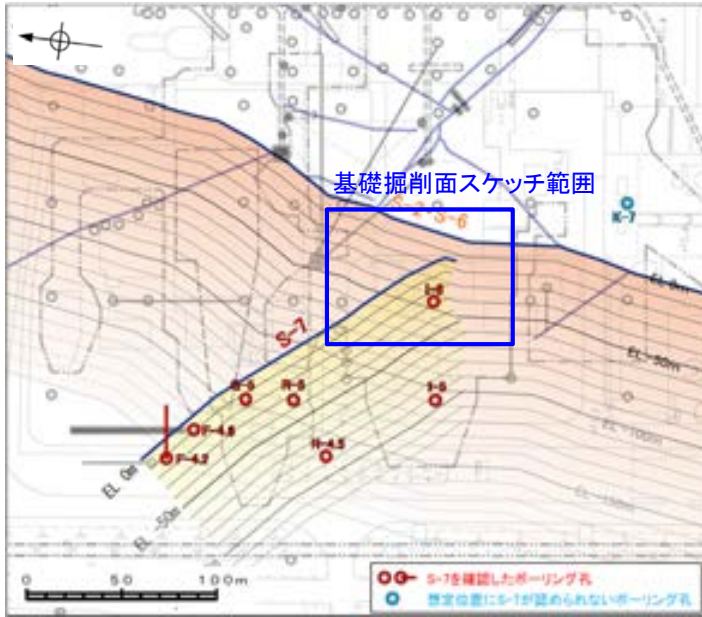
S-7は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない(基礎掘削面 次頁)



S-7は、深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない  
(ボーリング断面 補足資料2.3-5(8) P.2.3-5-45, 46)

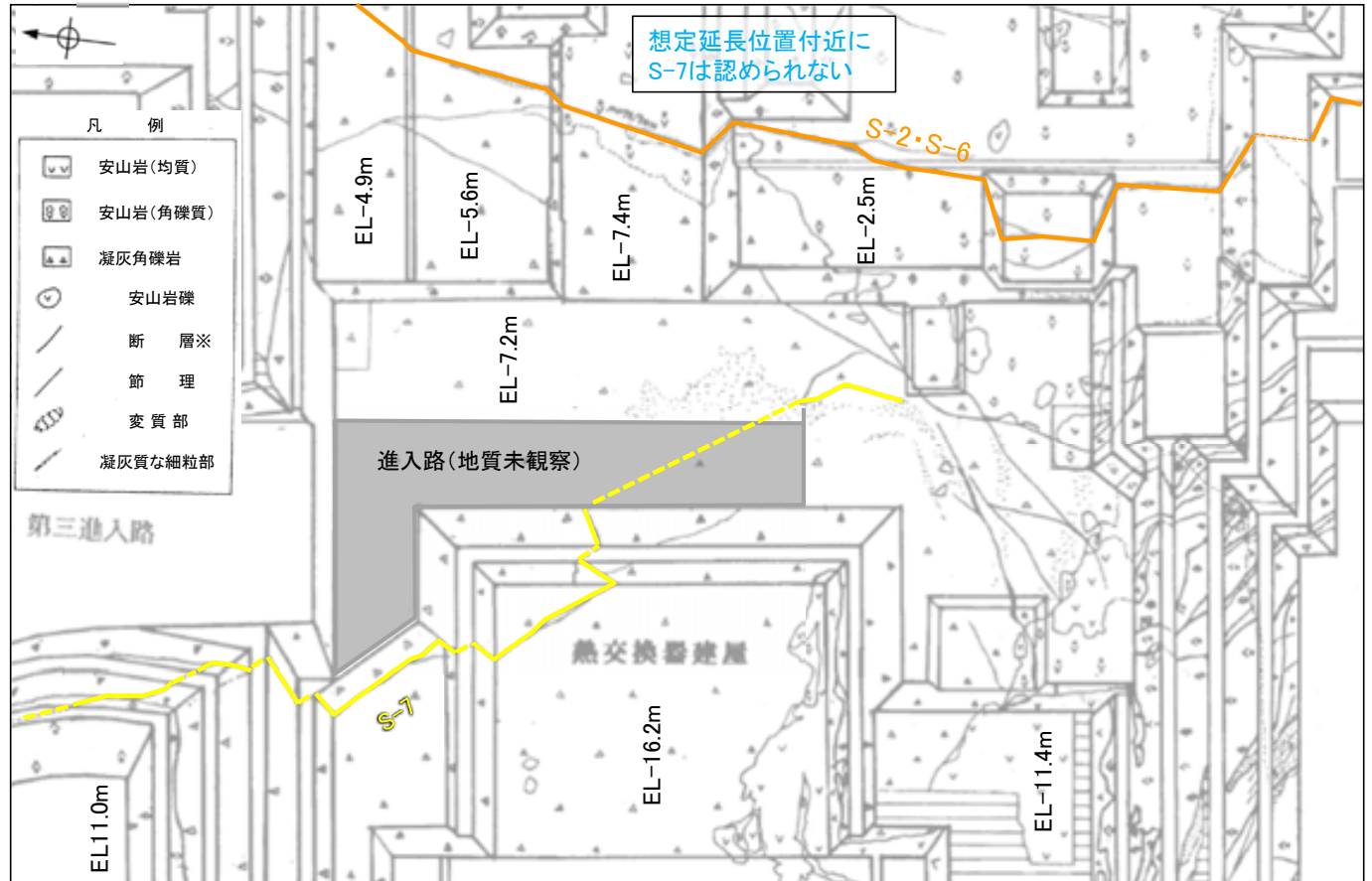
S-2・S-6とS-7の関係

○基礎掘削面において、S-7は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



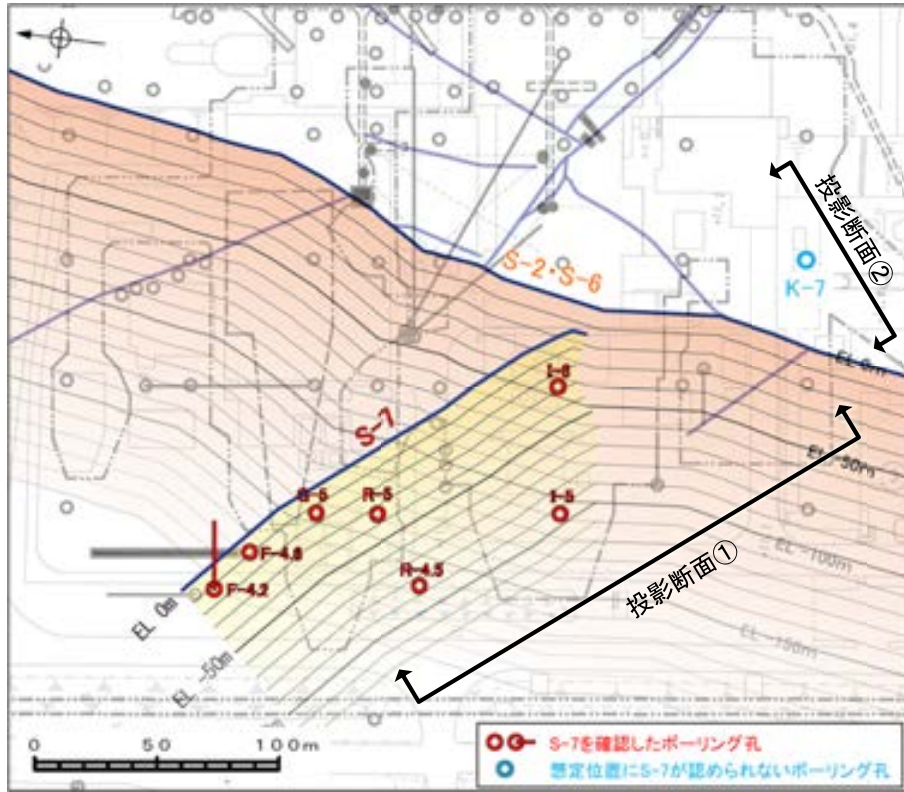
位置図

※S-7は黄, S-2・S-6は橙に着色



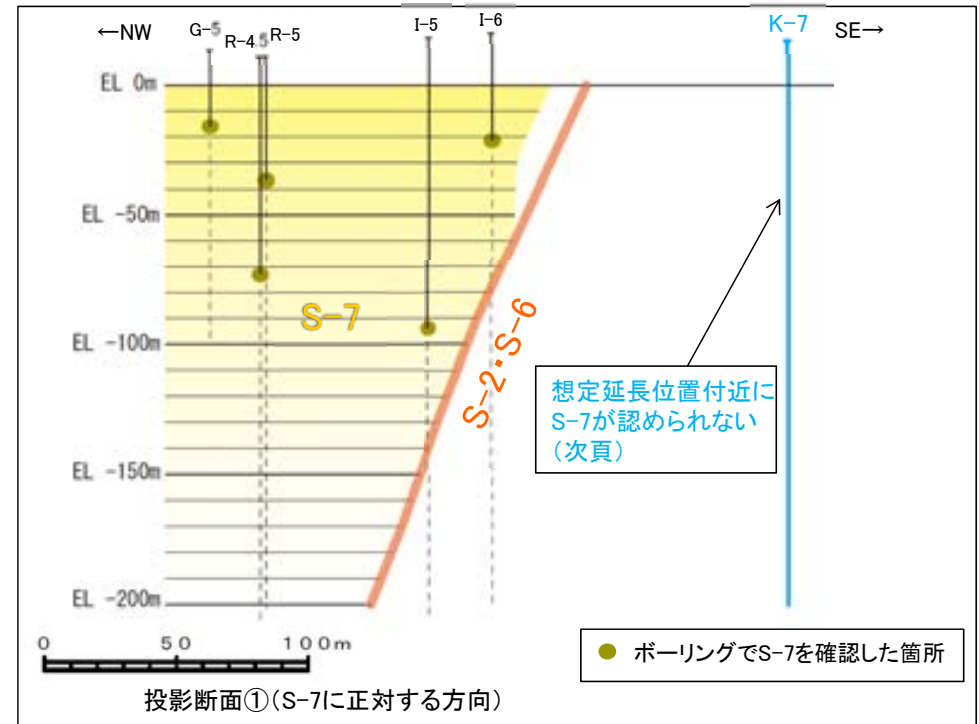
基礎掘削面スケッチ

○ボーリング断面において、S-7は、S-2・S-6を越えて連続しない。

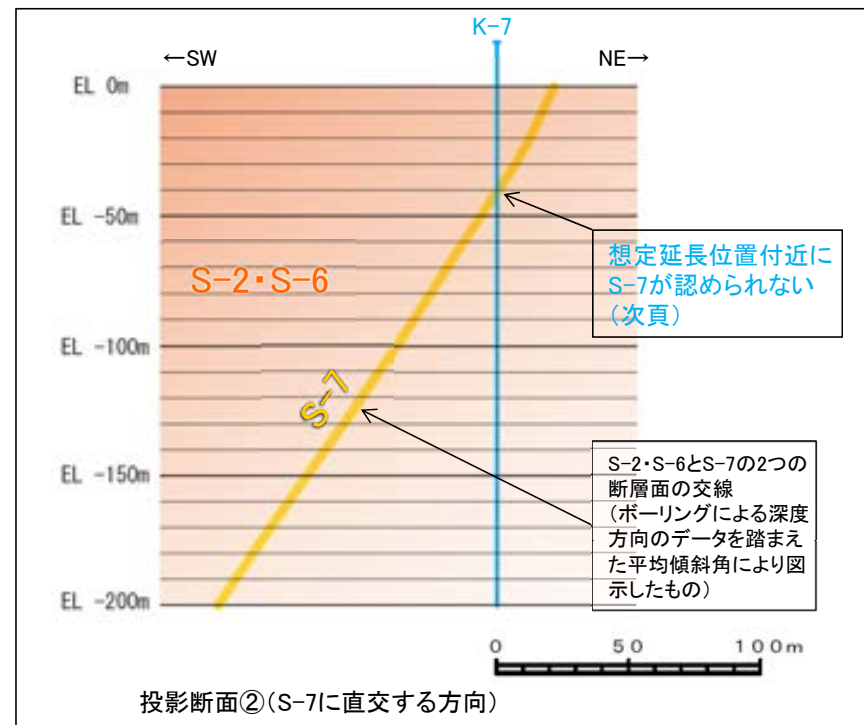


位置図

S-7は、S-2・S-6断層面より南東側のK-7孔において想定延長位置付近に認められず、S-2・S-6断層面より北西側にのみ認められる。



投影断面①(S-7に正対する方向)

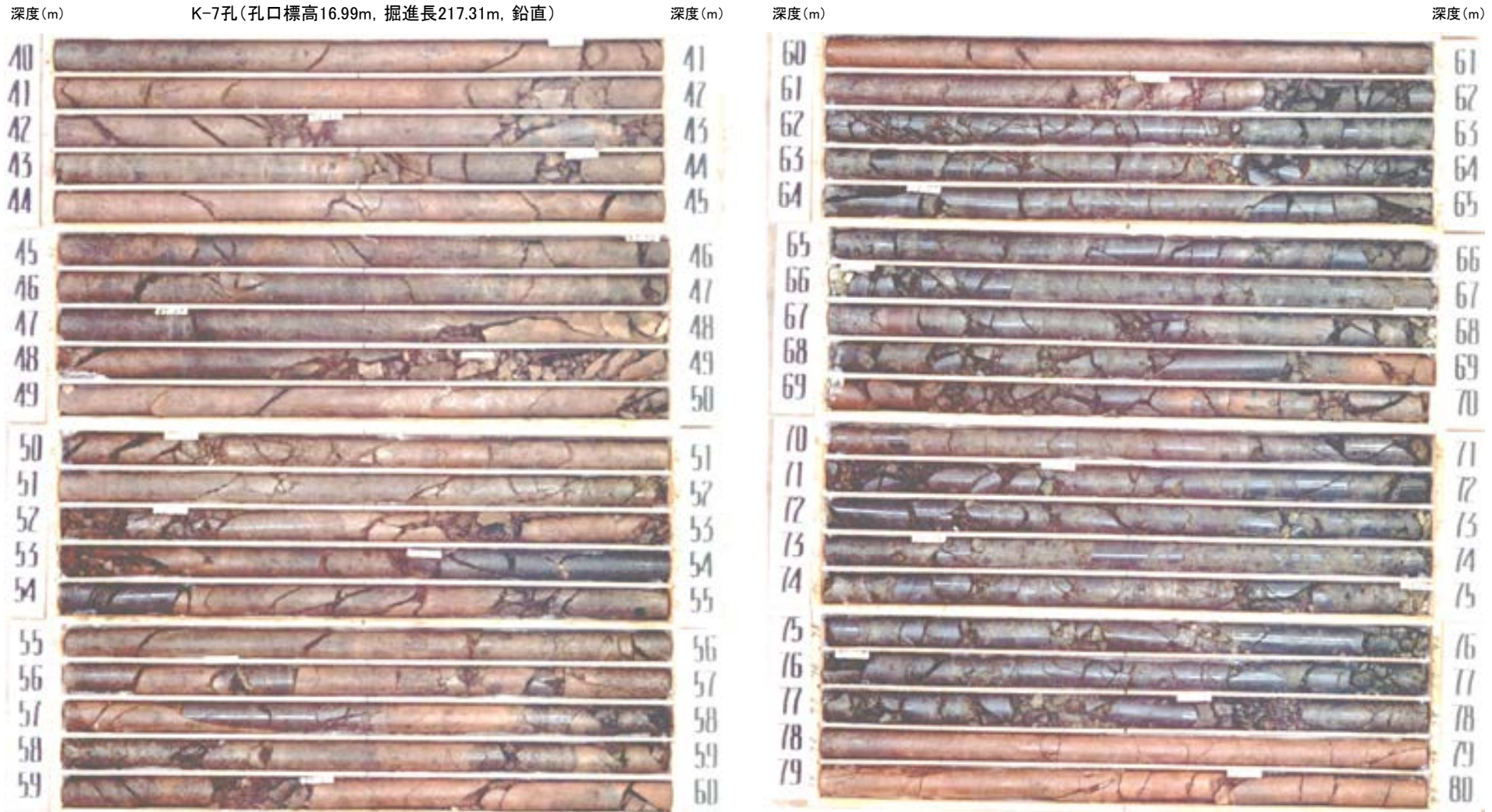


投影断面②(S-7に直交する方向)

ボーリング(K-7孔) S-7想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集1

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整



コア写真(深度40~80m)

※ 61.7m付近に岩種境界が認められるが、その境界を含め、想定延長位置付近には破碎部は認められない。

K-7孔において、想定延長位置付近にS-7は認められない。

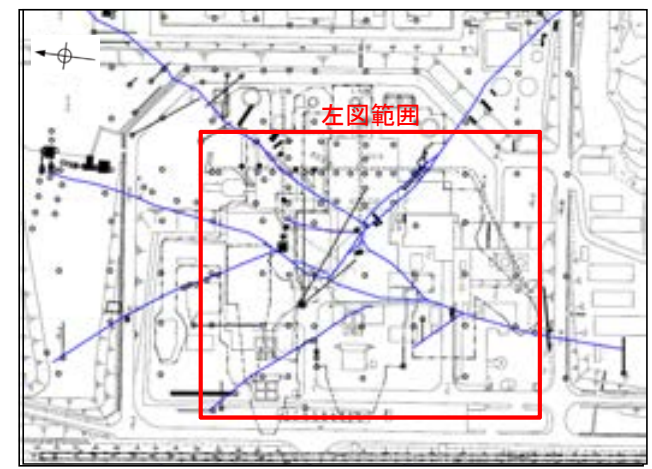


---

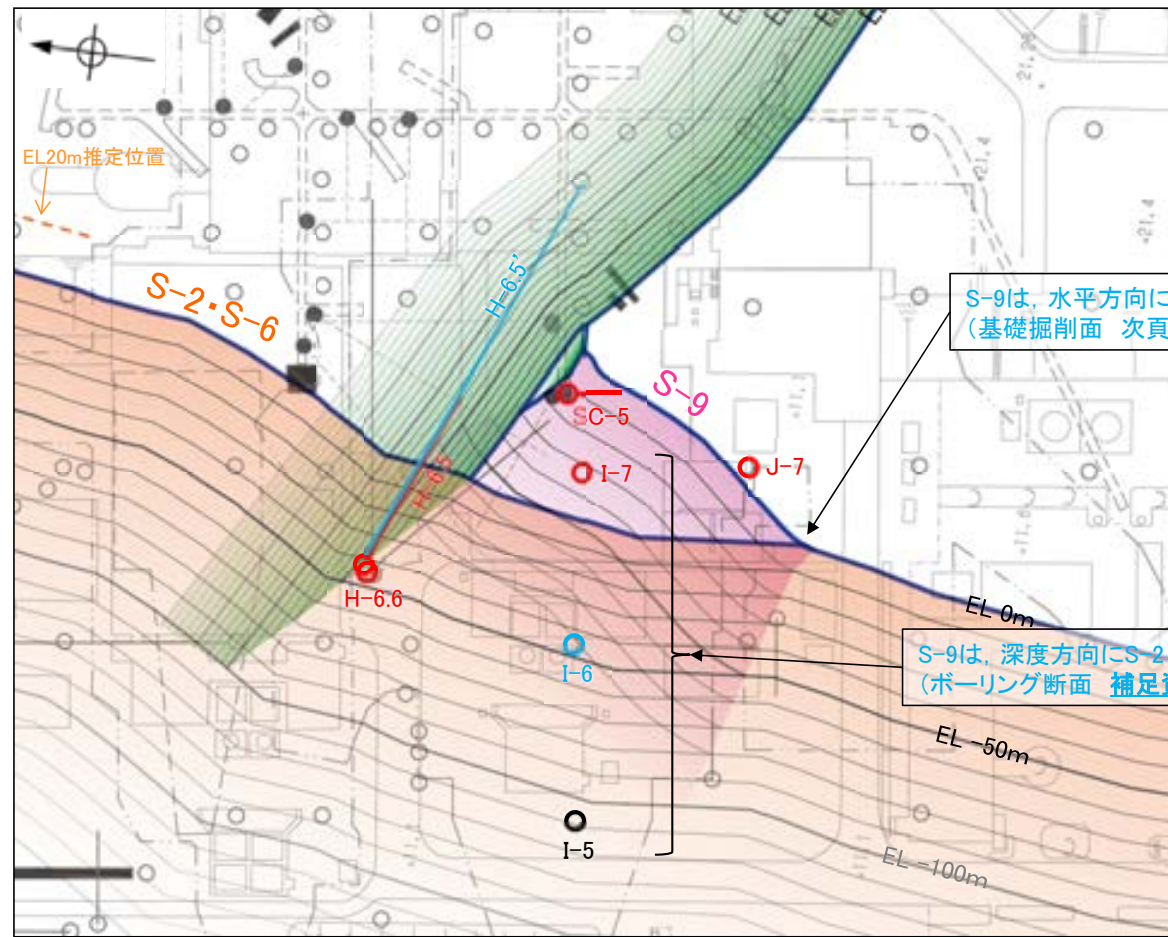
(9) S-2・S-6とS-9の水平方向・深度方向のデータ

# S-2・S-6とS-9の水平方向・深度方向のデータ

OS-9は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



位置図



S-9は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない  
(基礎掘削面 次頁)

S-9は、深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない  
(ボーリング断面 補足資料2.3-5(9) P.2.3-5-50, 51)

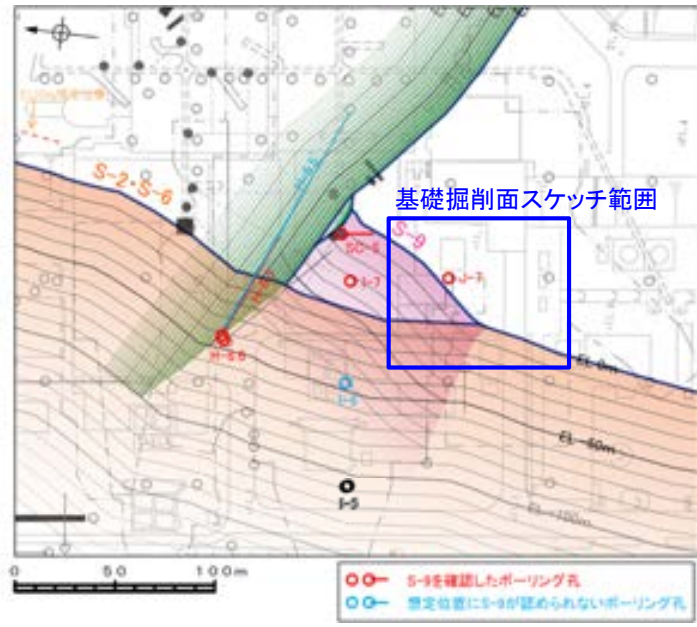
- S-9を確認したボーリング孔
- 想定位置にS-9が認められないボーリング孔

S-2・S-6とS-9の関係

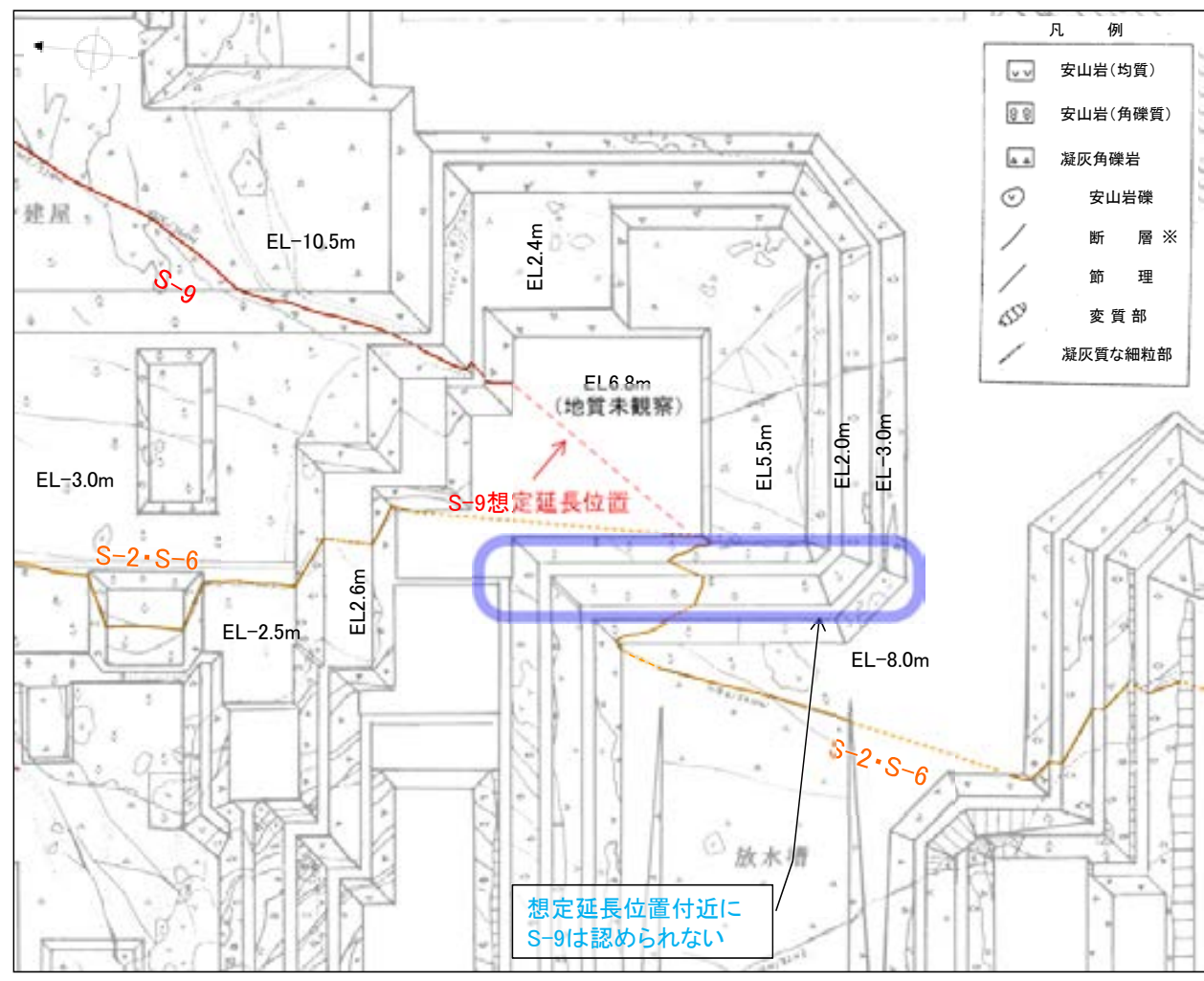
# S-2・S-6とS-9の水平方向・深度方向のデータ ー基礎掘削面ー

○基礎掘削面において、S-9は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。

※: S-9は赤, S-2・S-6は橙に着色

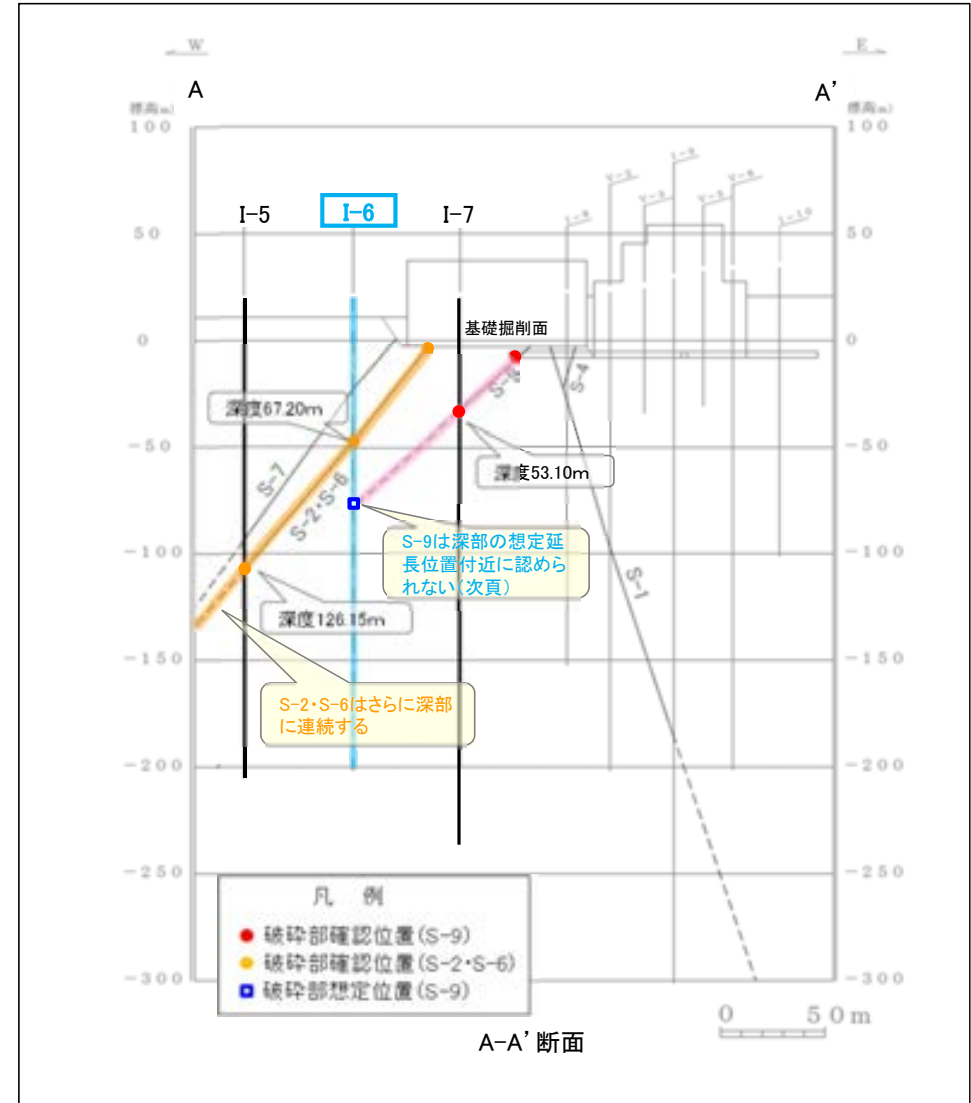
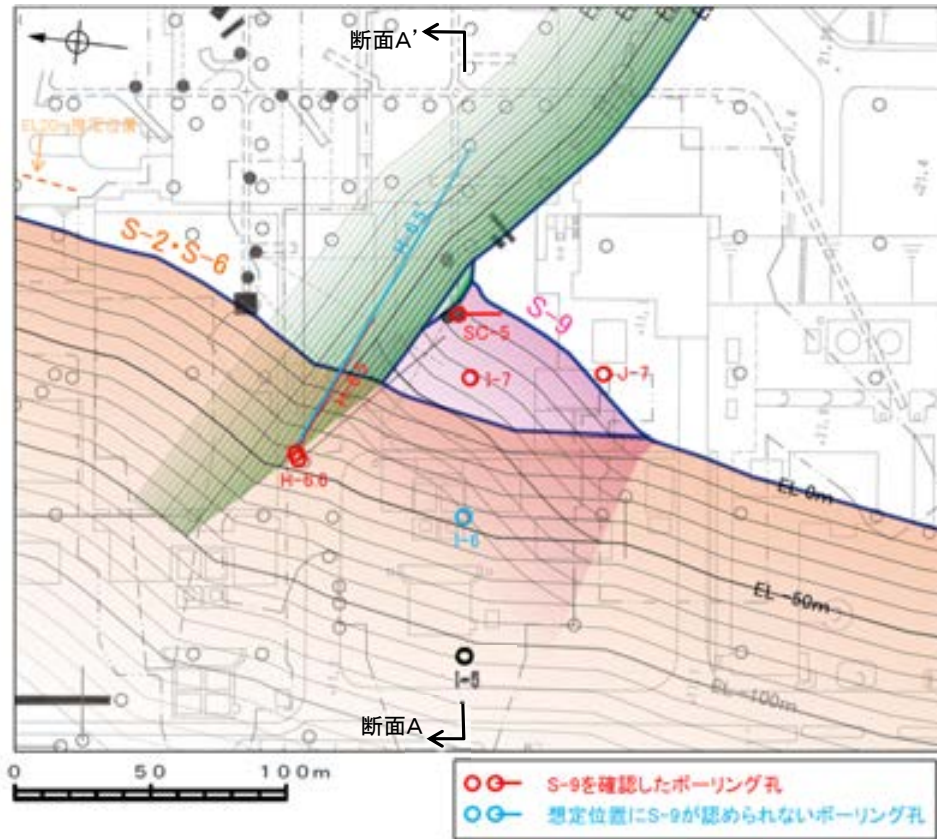


位置図



基礎掘削面スケッチ

○ボーリング断面において、S-9は、S-2・S-6を越えて連続しない。



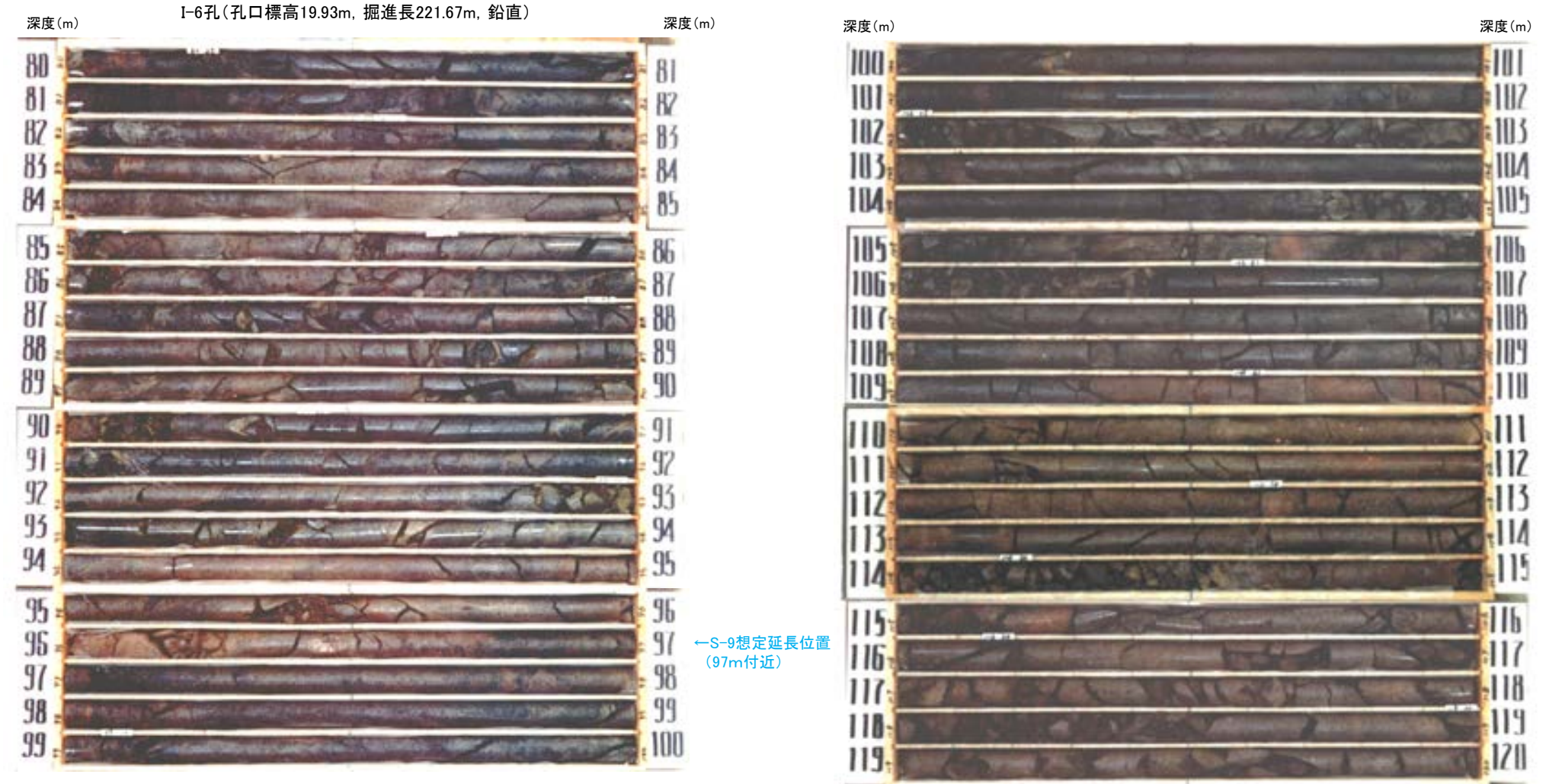
S-9は、ボーリングI-6孔において想定延長位置付近に認められず、S-2・S-6断層面より南東側にのみ認められる。

この図の断層線は、周辺ボーリングでの出現位置を基に直線的に描いている。

■I-6孔のS-9の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整



コア写真(深度80~120m)

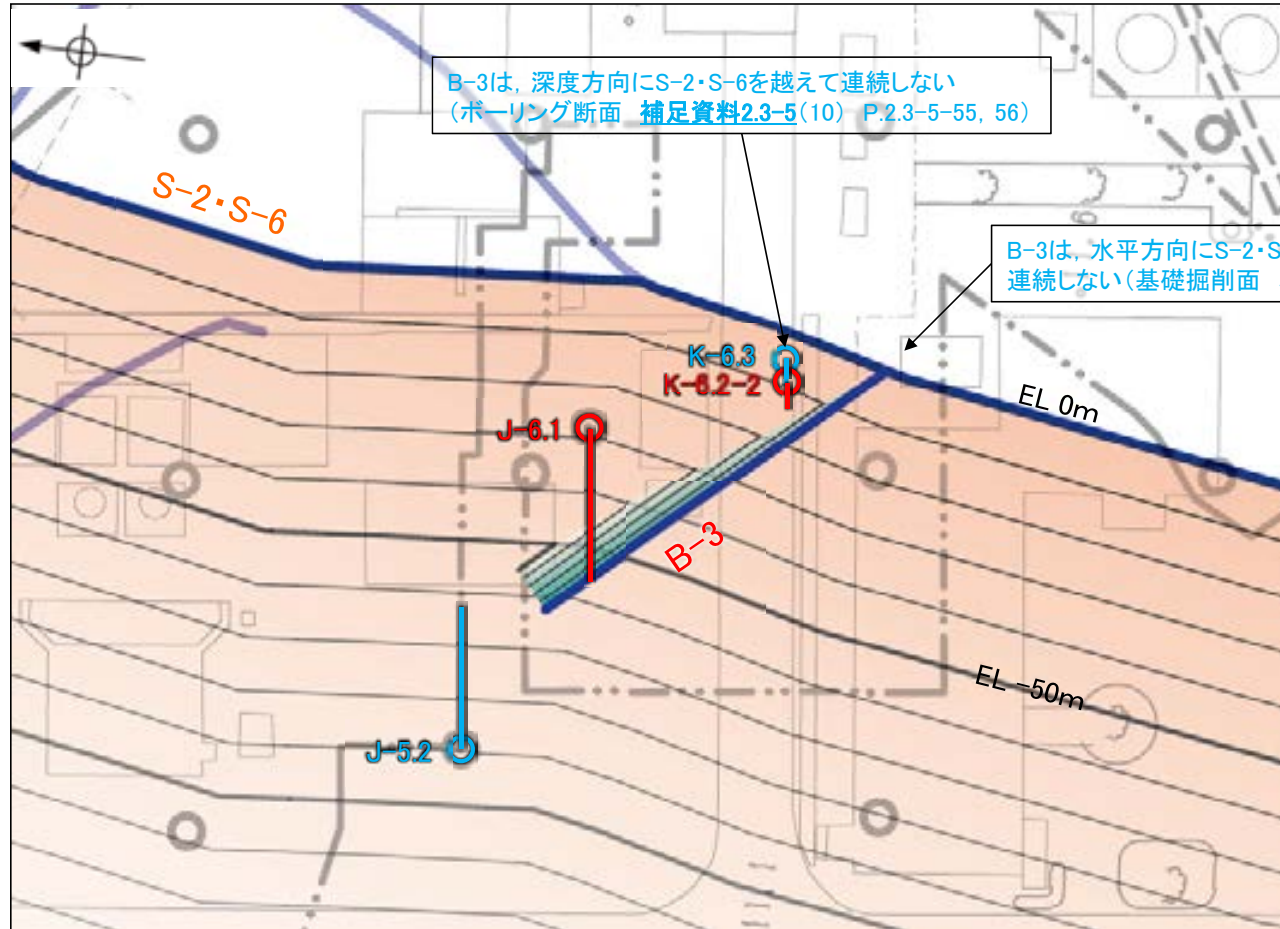
I-6孔において、想定延長位置付近にS-9は認められない。

---

(10) S-2・S-6とB-3の水平方向・深度方向のデータ

# S-2・S-6とB-3の水平方向・深度方向のデータ

OB-3は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



位置図

0 50 100m

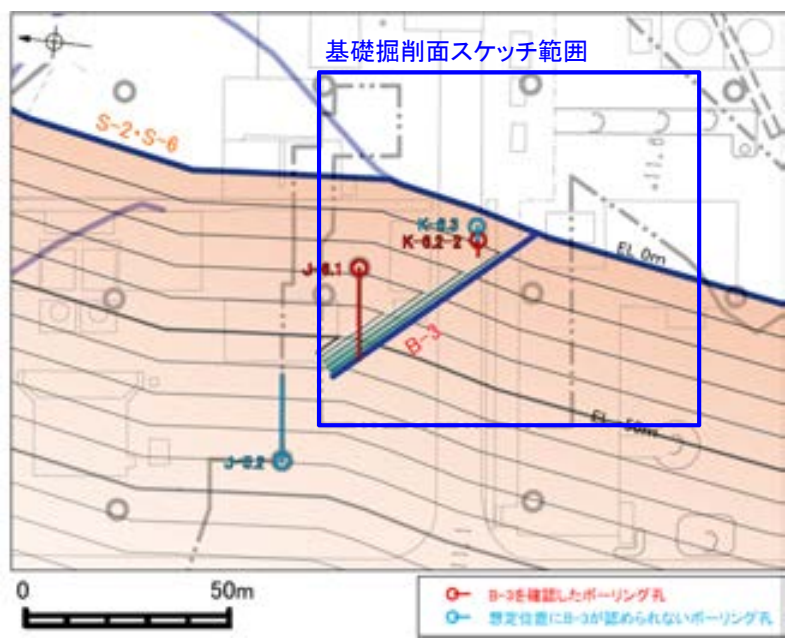
0 50m

- B-3を確認したボーリング孔
- 想定位置にB-3が認められないボーリング孔

S-2・S-6とB-3の関係

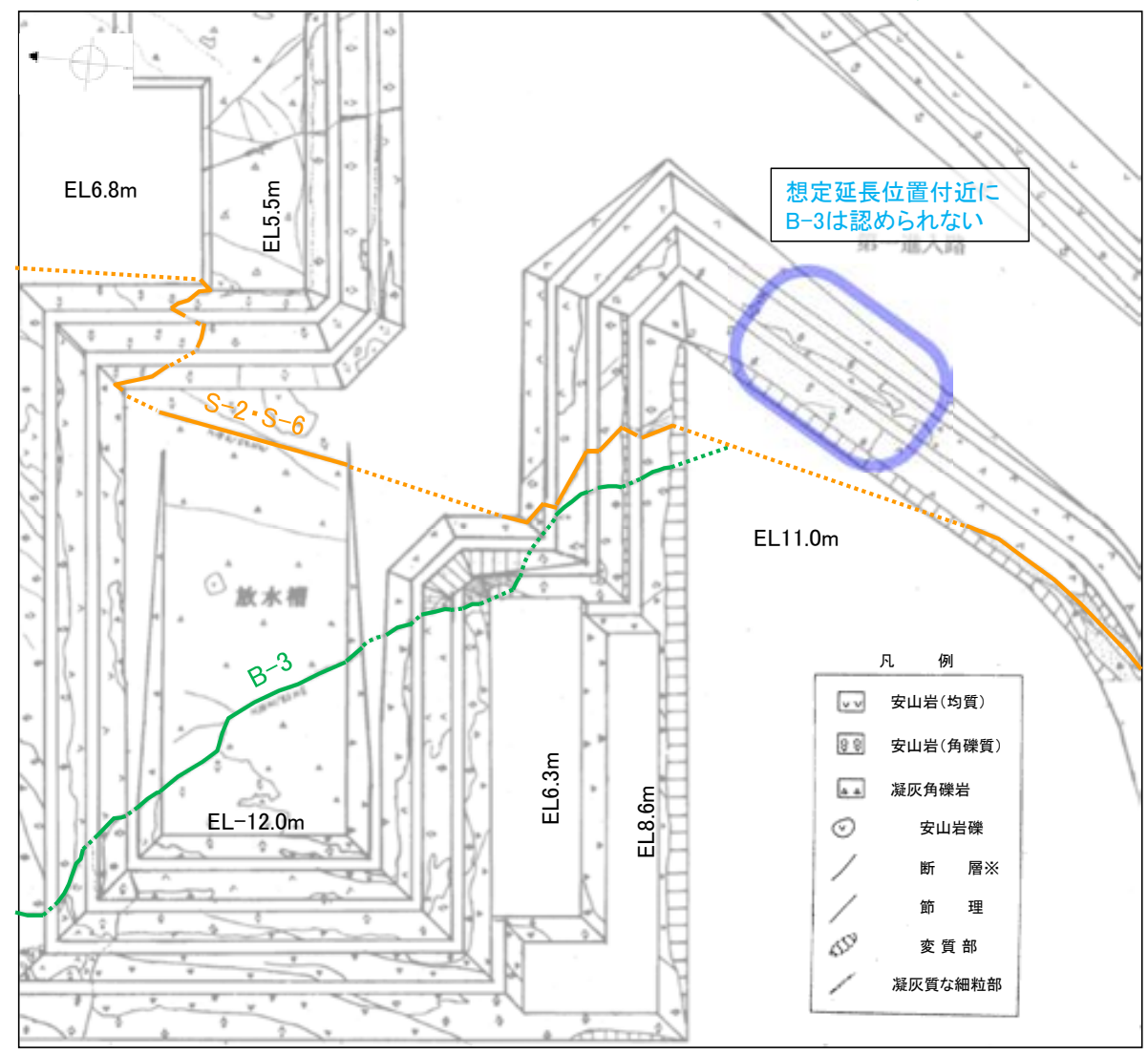
# S-2・S-6とB-3の水平方向・深度方向のデータ ー基礎掘削面ー

○基礎掘削面において、B-3は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。

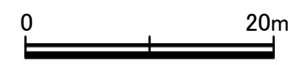


位置図

※B-3は緑、S-2・S-6は橙に着色

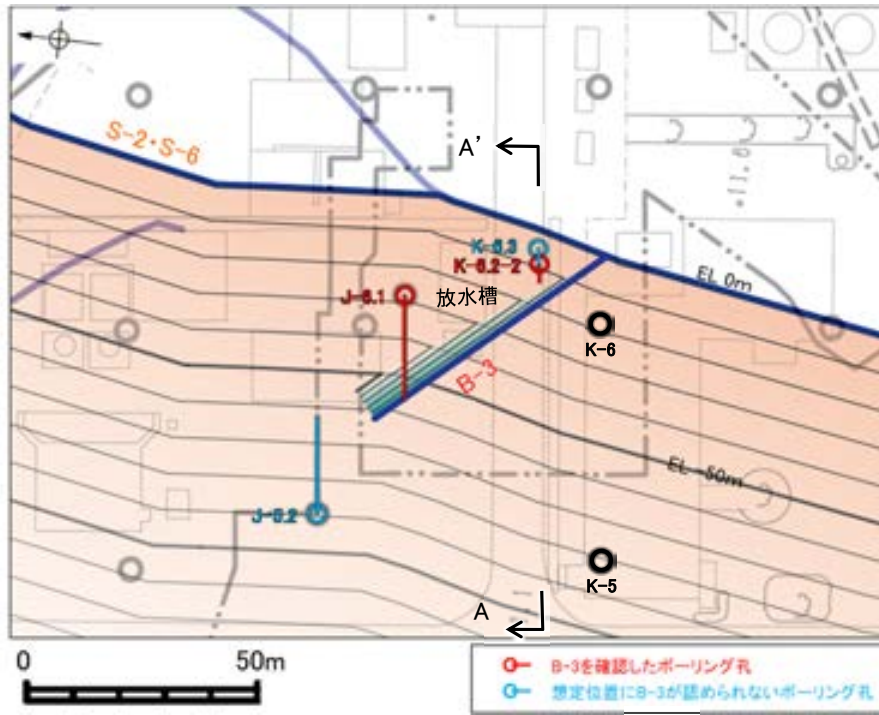


基礎掘削面スケッチ





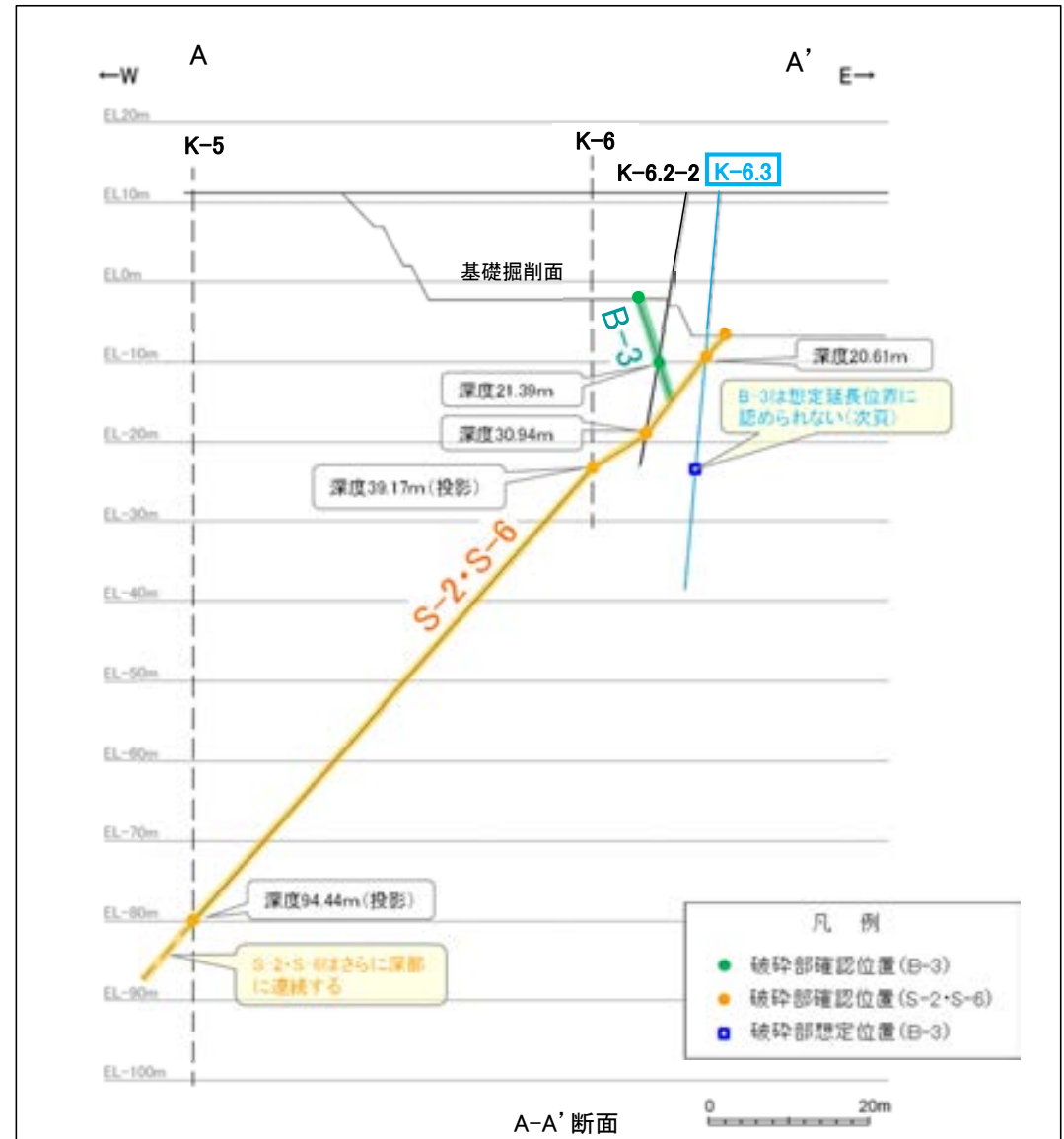
○ボーリング断面において、B-3は、S-2・S-6を越えて連続しない。



断面位置

位置図

- ・B-3は、K-6.3孔において、想定延長位置付近に認められない。
- ・北西傾斜であるS-2・S-6と北東傾斜であるB-3は、深部で会合する関係にあり、B-3は、S-2・S-6を越えて連続しない。

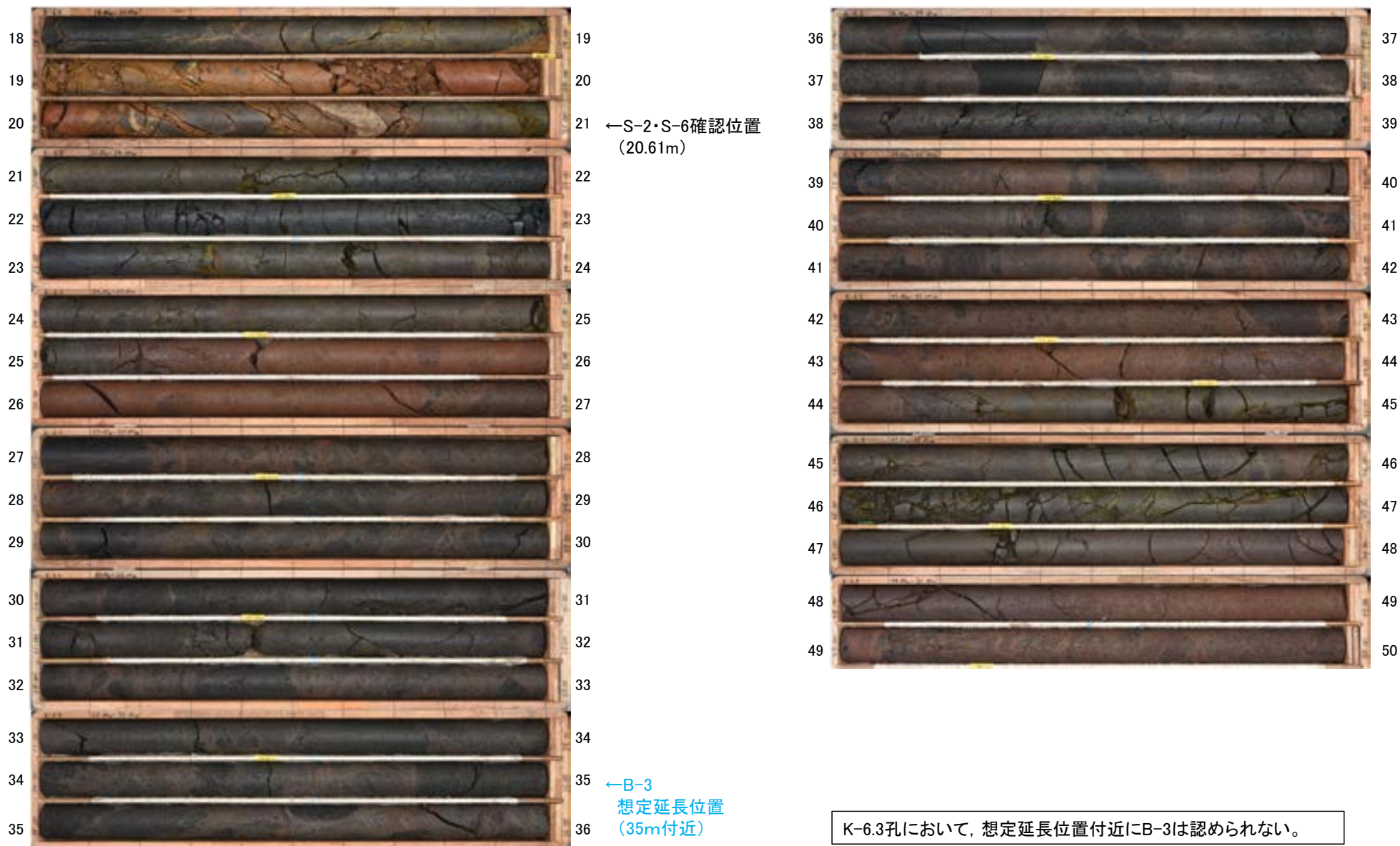


この図の断層線は、周辺ボーリングでの出現位置を基に直線的に描いている。  
K-5, K-6孔は投影位置。

ボーリング(K-6.3孔) B-3想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集1

K-6.3孔(孔口標高11.05m, 掘進長50.00m, 傾斜85°)



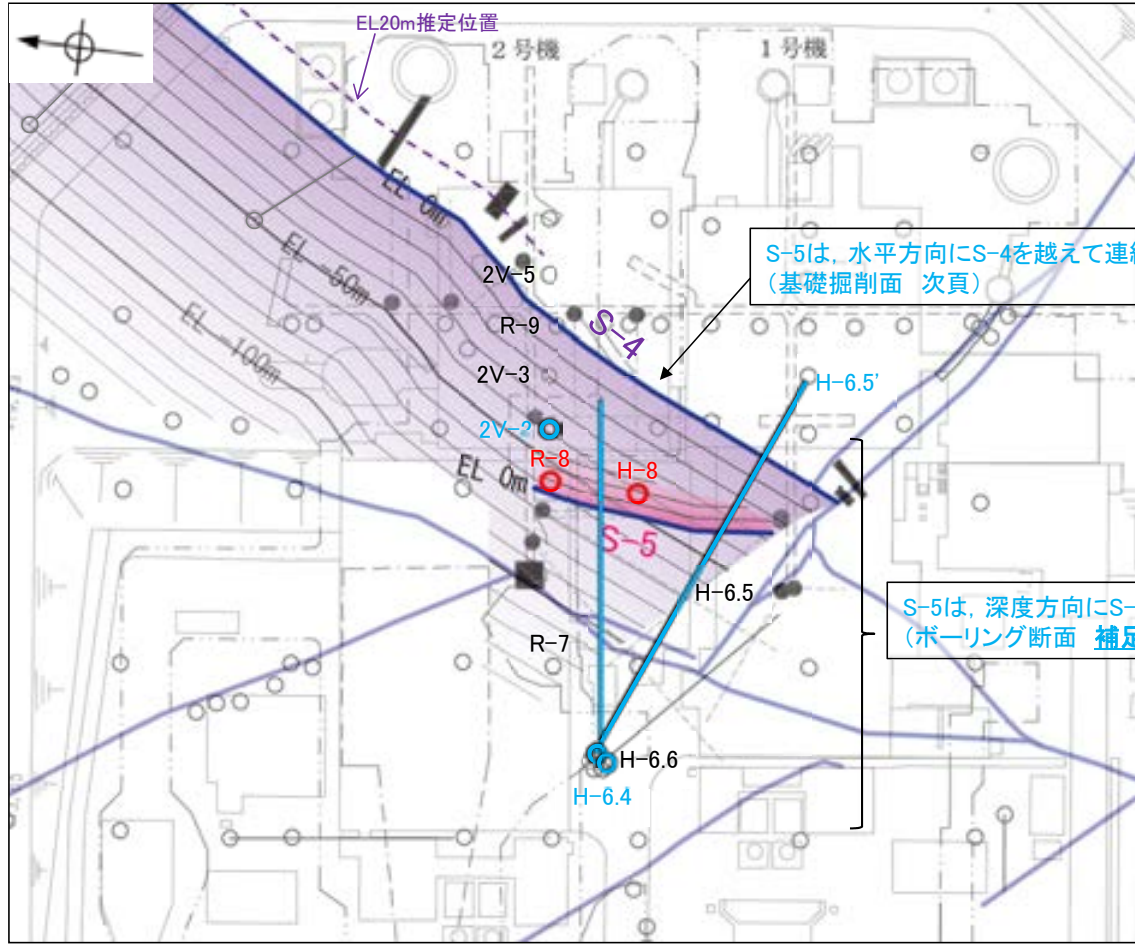
K-6.3孔において、想定延長位置付近にB-3は認められない。

コア写真(深度18~50m)

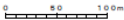
---

(11) S-4とS-5の水平方向・深度方向のデータ

OS-5は、水平方向・深度方向にS-4を越えて連続しない。



位置図

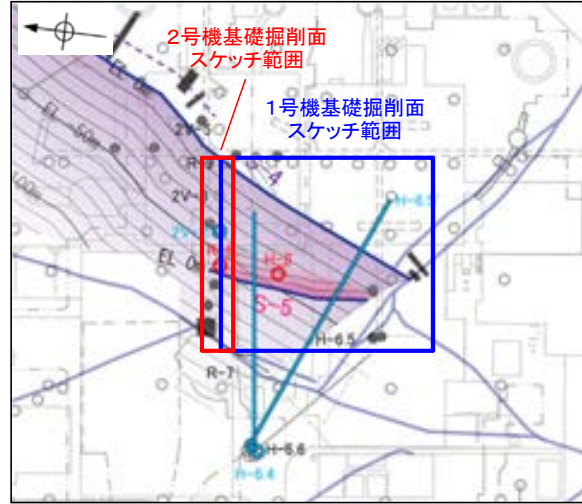


- S-5を確認したボーリング孔
- 想定位置にS-5が認められないボーリング孔

S-4とS-5の関係

○基礎掘削面において、S-5は、水平方向にS-4を越えて連続しない。

※S-5は赤、S-4は紫に着色

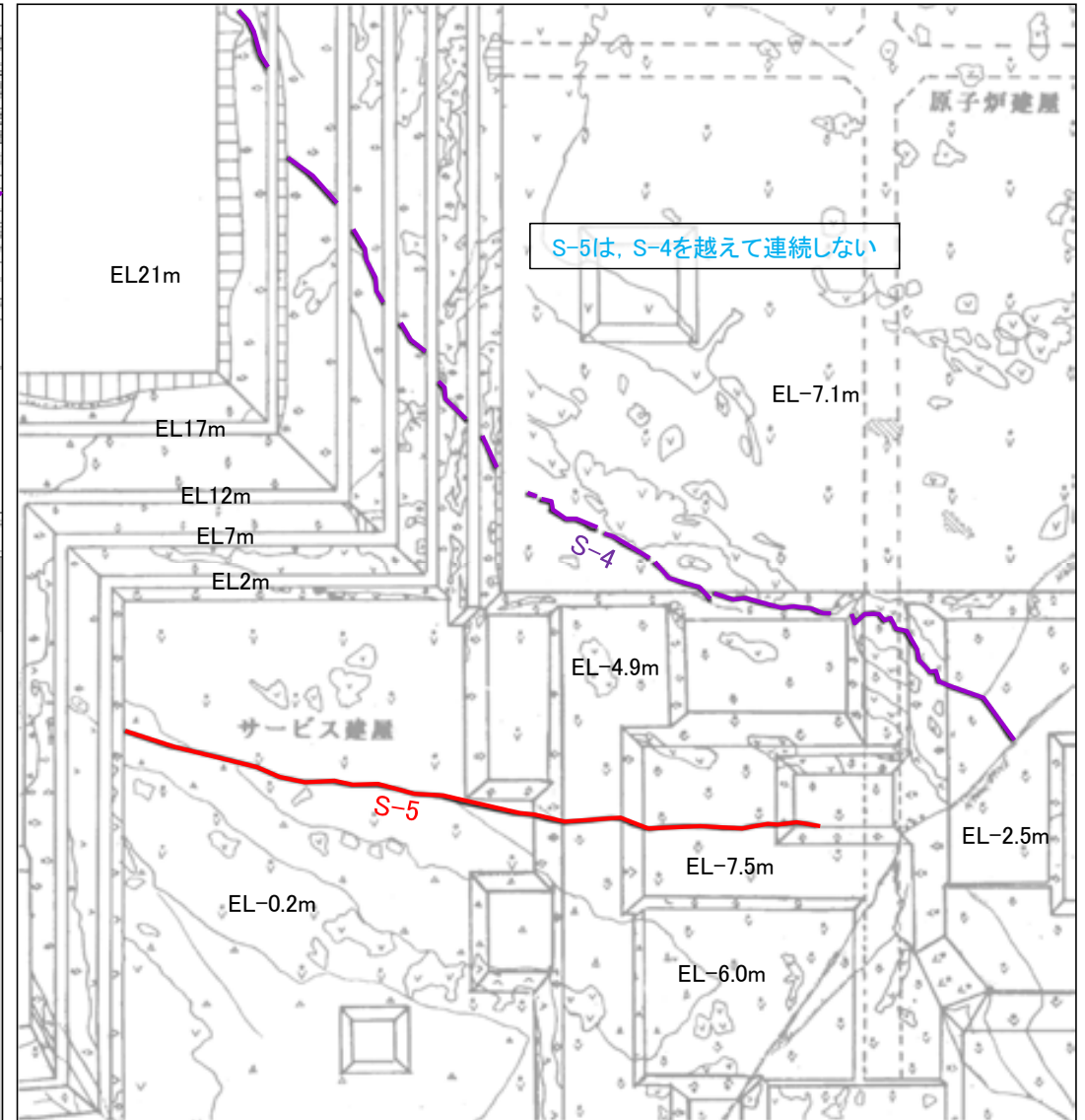
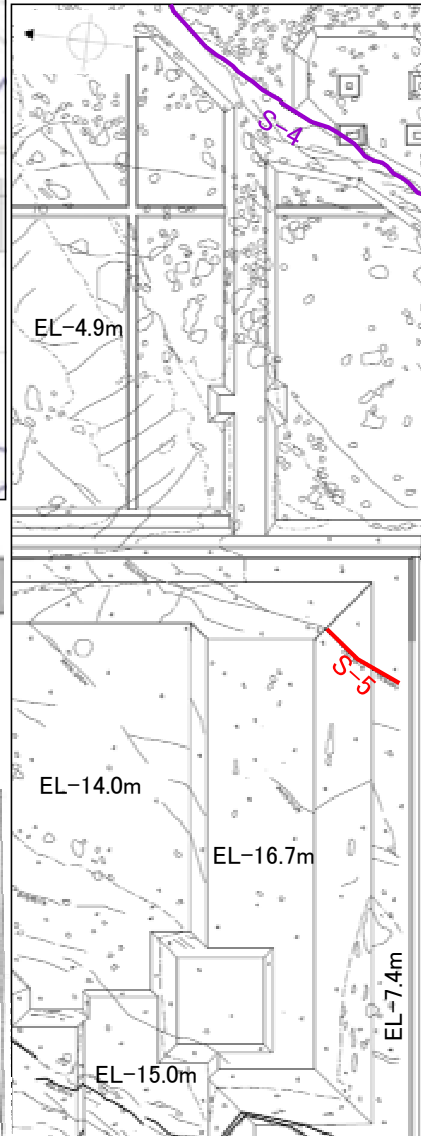


0 50 100m

○ S-5を確認したボーリング孔  
○ S-5が認められないボーリング孔

位置図

凡 例	
	安山岩(均質)
	安山岩(角礫質)
	凝灰角礫岩
	安山岩礫
	断 層 ※
	節 理
	変 質 部
	凝灰質な細粒部



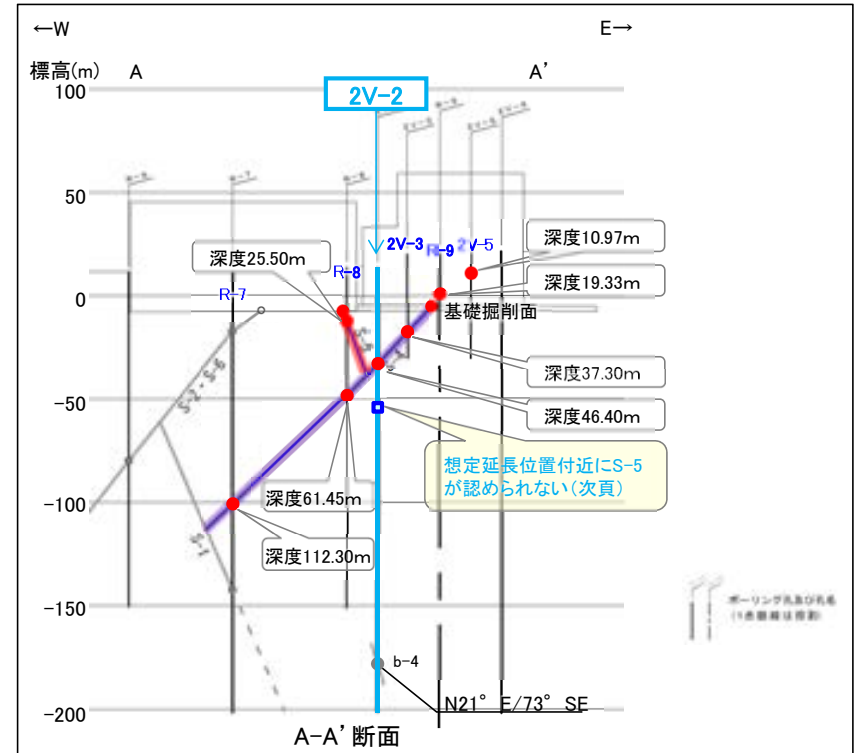
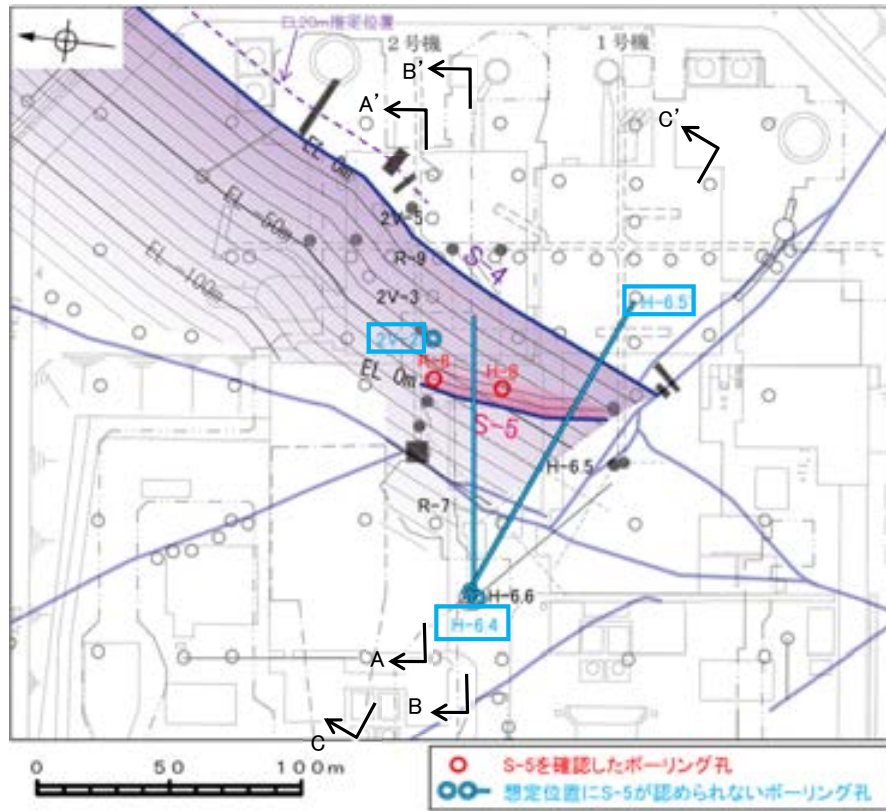
1・2号機基礎掘削面スケッチ

0 20m

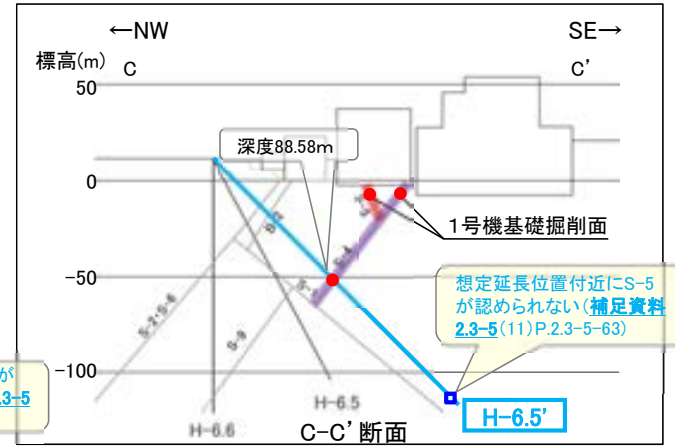
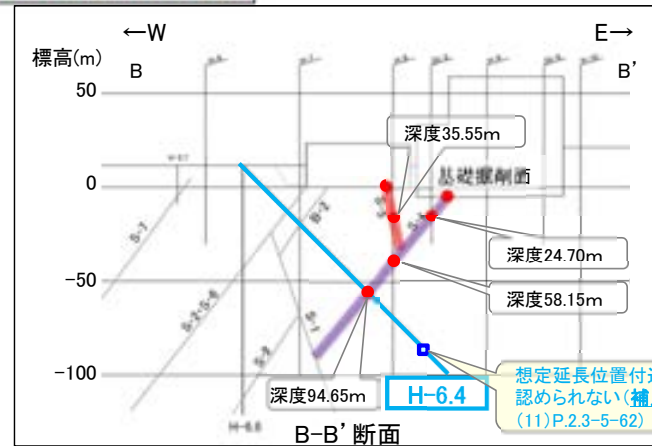
○ボーリング断面において、S-5は、S-4を越えて連続しない。

この図の断層線は、周辺ボーリングでの出現位置を基に直線的に描いている。

- 破砕部確認位置(S-4, S-5)
- 破砕部想定位置(S-5)



・S-5は2V-2孔、H-6.4孔及びH-6.5'孔において想定延長位置付近に認められない。  
・北西傾斜であるS-4と南東傾斜であるS-5は、深部で会合する関係にあり、S-5は、S-4を越えて連続しない。

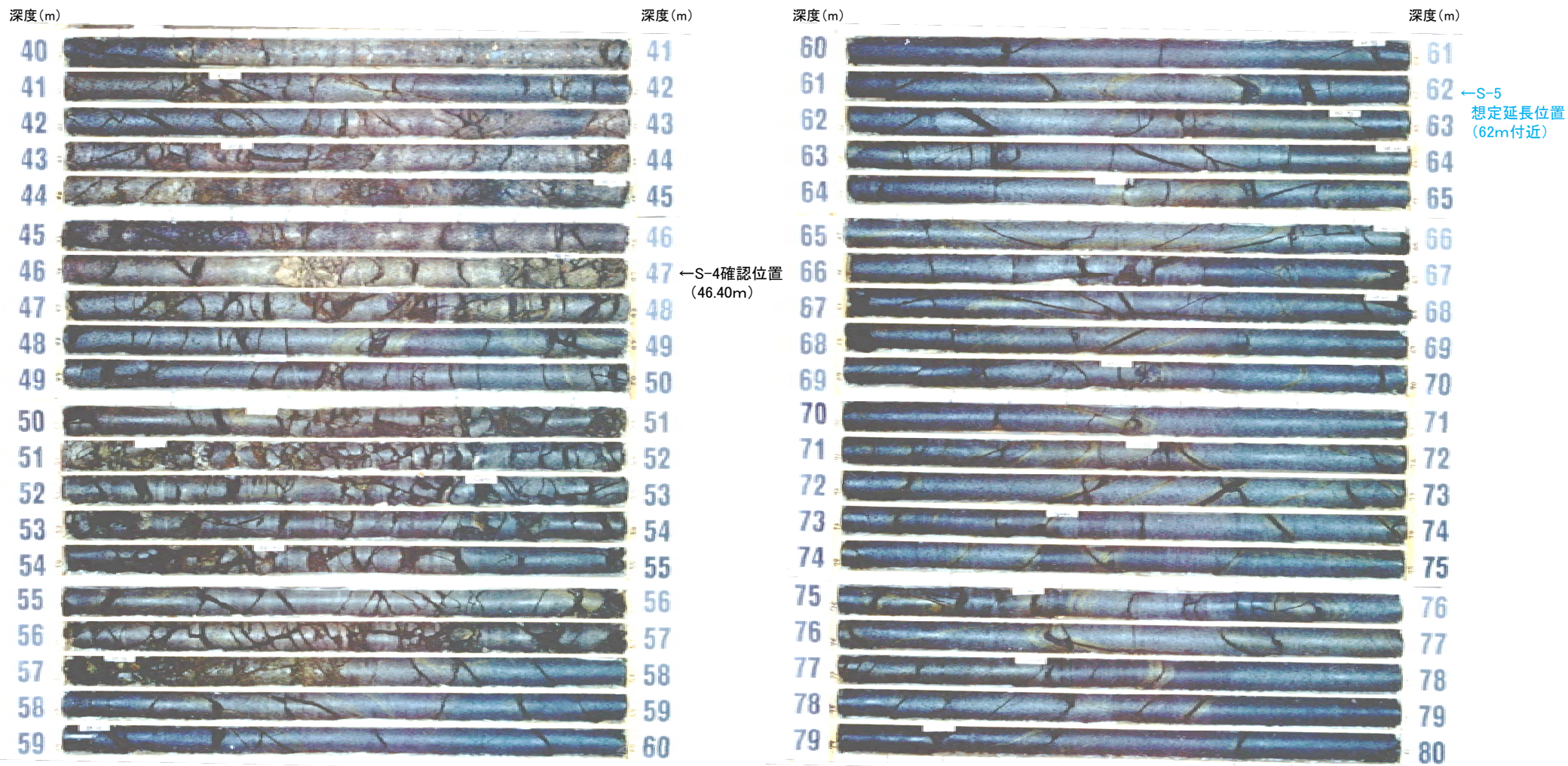


ボーリング(2V-2孔) S-5想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集1

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

2V-2孔(孔口標高13.28m, 掘進長214.50m, 鉛直)

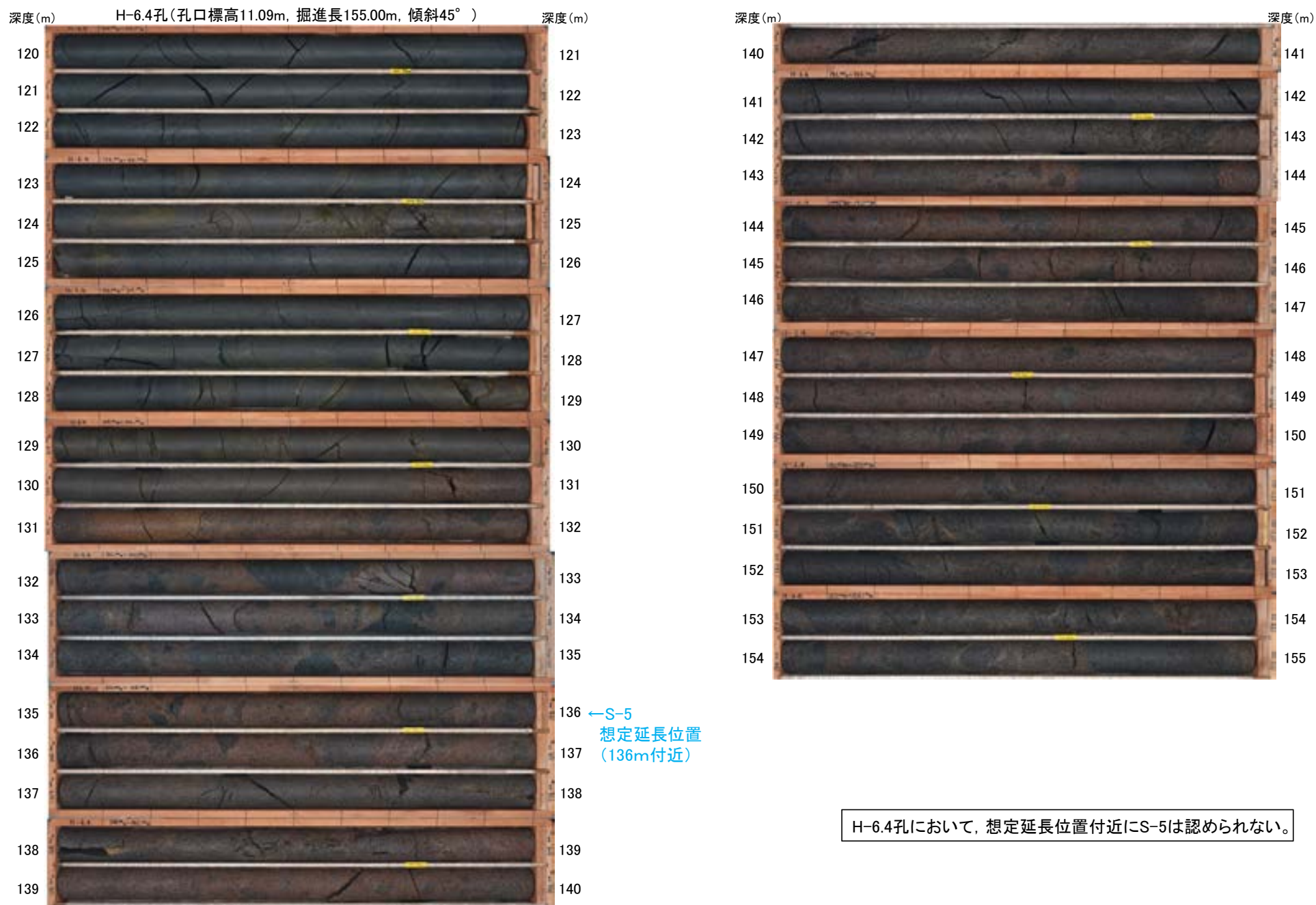


コア写真(深度40~80m)

2V-2孔において、想定延長位置付近にS-5は認められない。

ボーリング(H-6.4孔) S-5想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集1





ボーリング(H-6.5'孔) S-5想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集1

H-6.5' 孔(孔口標高11.02m, 掘進長180.00m, 傾斜45°)

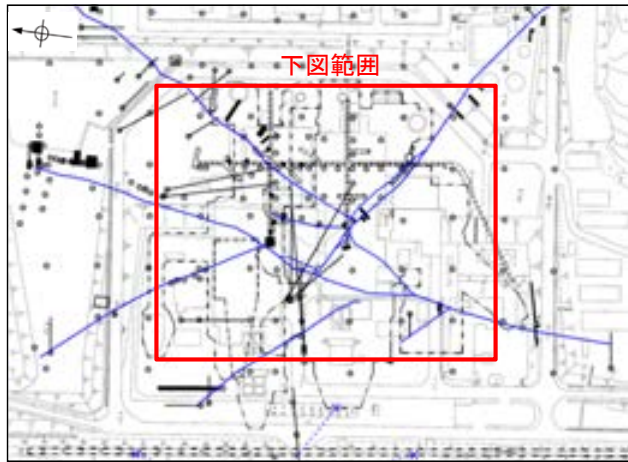


H-6.5' 孔において, 想定延長位置付近にS-5は認められない。

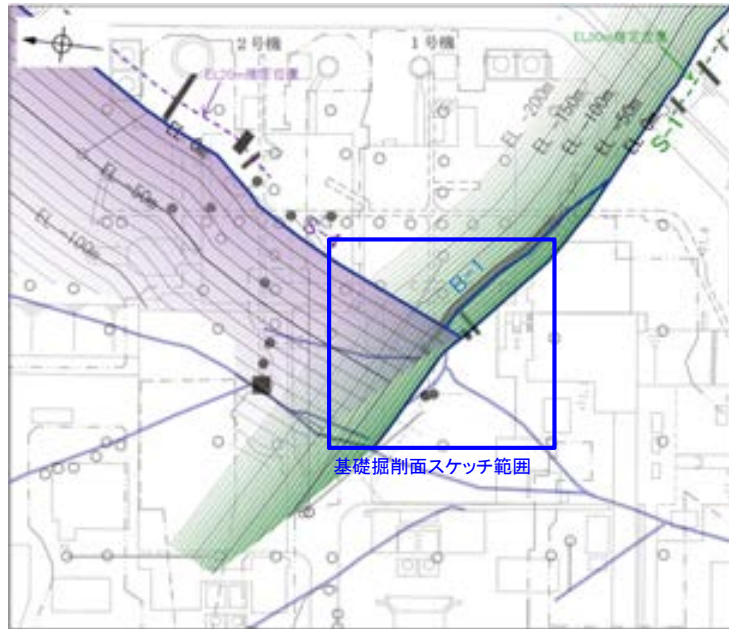
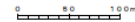
---

(12) S-4とB-1の水平方向のデータ

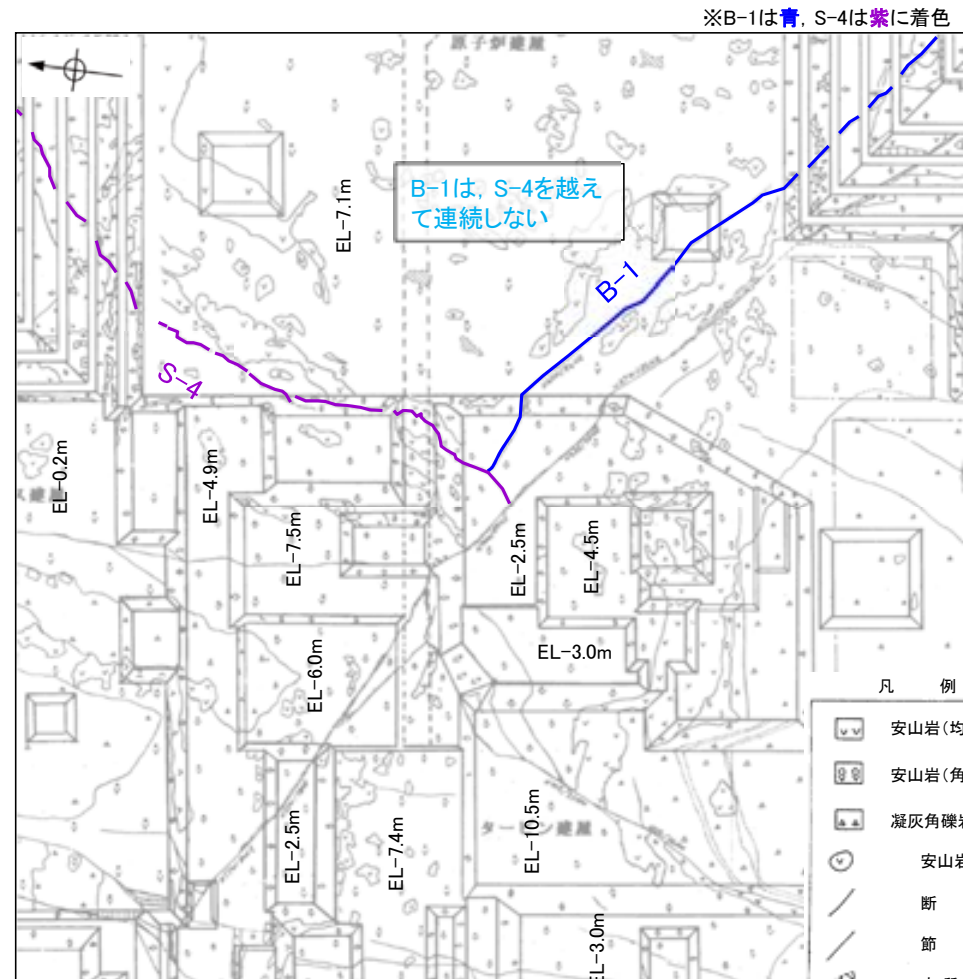
○基礎掘削面において、B-1は、水平方向にS-4を越えて連続しない。



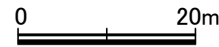
位置図



位置図



基礎掘削面スケッチ



---

余白

---

## 補足資料2. 3－6

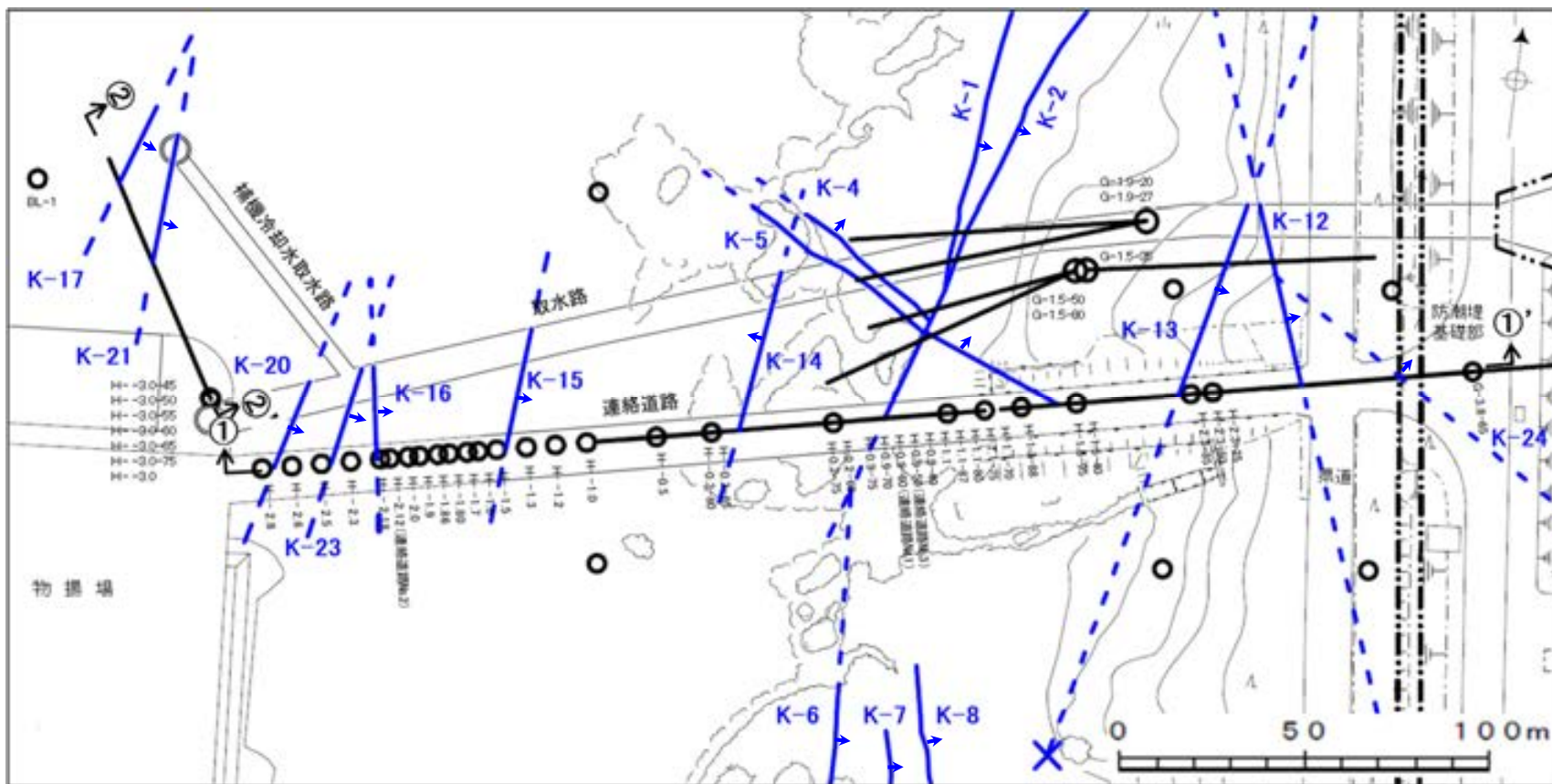
取水路沿いの調査における破砕部の抽出結果

# 取水路沿いの調査における破砕部の抽出結果

○抽出基準に基づき、134箇所の破砕部を連続性の検討対象となる破砕部として抽出した(平面図は下図、断面図は次頁、性状一覧は次々頁)。

## 【抽出した破砕部(幅3cm以上)の位置】

【平面図】

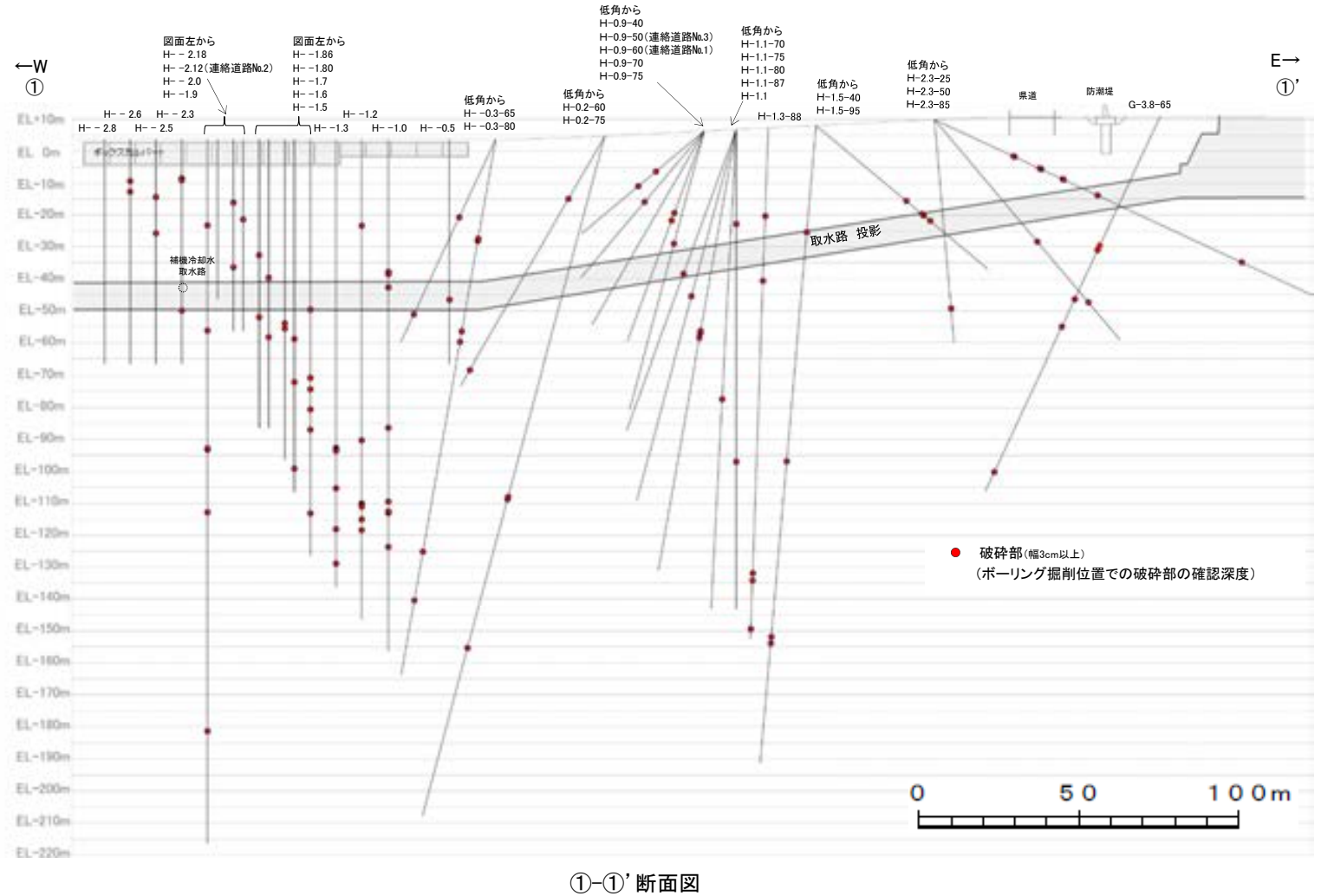
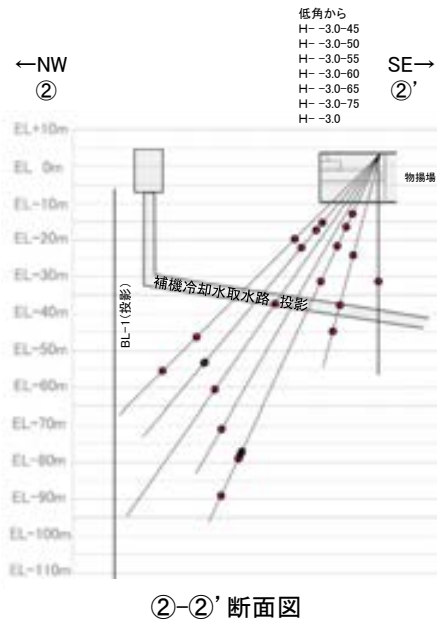


矢印(★)の向きは断層の傾斜方向を示す

凡例	
○	鉛直ボーリング孔
⦿	斜めボーリング孔
⋯	基礎掘削面

—	断層(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
⋯x	断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
⋯	断層端部を確認していないもの
K-○	(海岸部 EL.0m) (K-18, K-19, K-22, K-25, K-26については地表付近まで連続しないため記載していない)

【断面図】



## 【抽出した破砕部(幅3cm以上)の性状一覧】

孔名	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)
H- -3.0-45	32.84	EL-19.58	N9° E/62° SE	3
	70.46	EL-46.18	N8° E/86° SE	13
	83.49	EL-55.40	N1° W/67° NE	5
H- -3.0-50	24.56	EL-15.17	N63° W/31° NE	22
	27.13	EL-17.14	N12° W/48° NE	8
	33.37	EL-21.92	NS/70° E	19
	74.00	EL-53.05	N5° E/70° SE	8
	74.26	EL-53.25	N30° E/82° SE	10
H- -3.0-55	49.84	EL-37.19	N37° E/71° SE	15
	78.23	EL-60.44	N25° E/85° SE	14
H- -3.0-60	86.07	EL-70.90	N21° E/81° SE	4
H- -3.0-65	18.03	EL-12.70	N72° E/23° NW	7
	22.01	EL-16.31	N1° E/68° SE	4
	27.78	EL-21.54	N14° E/62° SE	16
	38.34	EL-31.11	N25° E/71° SE	8
	88.85	EL-76.89	NS/60° E	24
	89.76	EL-77.71	N2° W/64° NE	4
	91.04	EL-78.87	N2° E/77° SE	17
	102.18	EL-88.97	N83° W/16° SW	4
	28.57	EL-23.96	N13° W/76° NE	19
H- -3.0-75	42.59	EL-37.50	N2° E/66° SE	10
	49.98	EL-44.64	N30° E/54° SE	4
	34.73	EL-31.10	N18° E/69° SE	4
H- -2.6	13.09	EL-9.43	N3° E/65° SE	6
	16.38	EL-12.72	N38° E/41° NW	3
H- -2.5	18.10	EL-14.43	N21° E/52° SE	10
	29.44	EL-25.77	N28° E/62° SE	5
H- -2.3	12.21	EL-8.54	N21° W/63° NE	4
	12.80	EL-9.13	N15° E/55° SE	5
	53.63	EL-49.96	N28° E/71° NW	5
H- -2.18	26.91	EL-23.27	N3° W/63° NE	6
	59.88	EL-56.24	N12° W/67° NE	20
	96.42	EL-92.78	N7° W/54° NE	14
	96.86	EL-93.22	N16° W/58° NE	11
	116.51	EL-112.87	N20° W/59° NE	5
H- -2.0	185.01	EL-181.37	N17° E/68° NW	20
	19.73	EL-16.09	N24° W/70° NE	22
	40.01	EL-36.37	N4° E/69° SE	5
H- -1.9	25.04	EL-21.40	N18° W/68° NE	51
	36.28	EL-32.64	N22° W/63° NE	15
H- -1.86	55.70	EL-52.06	N51° E/70° SE	3
	43.35	EL-39.71	N19° W/74° NE	21
H- -1.80	61.95	EL-58.31	N15° E/73° SE	9
	57.55	EL-53.91	N8° W/72° NE	26
H- -1.7	59.24	EL-55.60	N6° E/77° NW	4

孔名	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)
H- -1.6	62.46	EL-58.82	N21° W/63° NE	22
	75.67	EL-72.03	N4° E/65° SE	17
	102.83	EL-99.19	N3° W/62° NE	4
H- -1.5	53.30	EL-49.66	N39° W/80° NE	4
	74.35	EL-70.71	N25° W/64° NE	16
	77.93	EL-74.29	N7° E/63° SE	21
	84.28	EL-80.64	N9° E/56° SE	9
	90.60	EL-86.96	N30° E/74° SE	9
	116.83	EL-113.19	N81° E/58° NW	7
H- -1.3	96.35	EL-92.66	N7° W/74° NE	14
	96.74	EL-93.05	N1° W/72° NE	3
	97.30	EL-93.61	NS/48° E	13
	108.99	EL-105.30	N29° E/60° SE	14
	121.79	EL-118.10	N5° E/52° SE	6
H- -1.2	132.56	EL-128.87	N24° E/58° NW	24
	27.05	EL-23.41	N15° E/69° SE	33
	93.90	EL-90.26	N16° E/77° NW	9
	113.68	EL-110.04	N9° W/64° NE	3
	114.05	EL-110.41	N16° W/73° NE	14
	114.75	EL-111.11	N7° E/78° SE	4
	118.76	EL-115.12	N2° W/64° SW	48
	122.07	EL-118.43	N18° E/53° SE	6
H- -1.0	41.51	EL-37.85	N4° W/64° NE	10
	42.25	EL-38.59	N13° E/64° SE	9
	46.36	EL-42.70	N4° E/80° SE	7
	90.03	EL-86.37	N20° E/75° NW	28
	113.16	EL-109.50	NS/57° E	5
	116.26	EL-112.60	N13° W/74° SW	3
H- -0.5	116.71	EL-113.05	N5° E/74° NW	4
	127.33	EL-123.67	N5° E/56° SE	11
	50.21	EL-46.57	N10° W/70° SW	31
H- -0.3-65	26.99	EL-20.77	N20° W/80° SW	4
	60.54	EL-51.18	N8° W/60° NE	11
	31.57	EL-27.40	N5° E/68° NW	72
	32.28	EL-28.10	N7° W/64° SW	4
	61.10	EL-56.48	N16° E/64° SE	15
H- -0.3-80	64.42	EL-59.75	N11° W/82° NE	3
	130.88	EL-125.20	N19° W/64° NE	11
	146.36	EL-140.45	N12° E/76° SE	6
	22.77	EL-14.99	N26° W/62° NE	10
H-0.2-60	84.35	EL-68.32	N26° E/80° SE	55
	116.75	EL-108.04	N2° E/81° SE	47
H-0.2-75	117.50	EL-108.77	N1° W/82° NE	12
	165.87	EL-155.49	N13° W/78° NE	9
H-0.9-40	19.65	EL-6.36	N23° E/75° SE	14
	26.90	EL-11.02	N21° W/70° NE	9
H-0.9-50	29.00	EL-15.95	N19° W/68° NE	11

孔名	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)
H-0.9-70	27.35	EL-19.43	N8° E/76° SE	18
	29.82	EL-21.75	N3° W/79° NE	21
H-0.9-75	36.51	EL-29.00	N9° E/80° SE	22
H-1.1-70	48.17	EL-38.48	N15° E/80° SE	94
	54.12	EL-45.50	N26° E/80° SE	44
H-1.1-80	64.13	EL-56.38	N13° E/79° SE	16
	64.79	EL-57.03	N4° W/62° NE	4
	66.27	EL-58.48	N5° W/73° NE	6
H-1.1-87	84.30	EL-77.40	N20° E/81° SE	45
	29.63	EL-22.85	N48° E/56° NW	7
H-1.1	103.77	EL-96.99	N21° E/80° SE	71
	27.67	EL-20.38	N2° E/76° SE	10
H-1.3-88	47.96	EL-40.66	N64° E/69° NW	3
	139.30	EL-131.95	N6° E/78° SE	75
	141.57	EL-134.21	N13° E/80° SE	17
	156.84	EL-149.47	N49° E/57° NW	4
H-1.5-95	33.59	EL-25.43	N65° E/42° NW	4
	105.26	EL-96.83	N35° W/79° NE	5
	160.54	EL-151.90	N7° W/81° NE	10
	162.56	EL-153.91	N12° E/89° SE	4
H-1.5-40	36.76	EL-15.60	N65° W/26° NE	4
	43.18	EL-19.73	N13° E/72° SE	7
	43.81	EL-20.13	N8° E/65° SE	14
	46.48	EL-21.85	N30° E/63° NW	8
H-2.3-85	59.40	EL-49.28	N16° E/81° SE	27
	49.99	EL-28.40	N29° W/71° NE	21
H-2.3-50	74.75	EL-47.37	N7° E/71° SE	10
	27.15	EL-1.58	N28° W/62° NE	10
H-2.3-25	27.49	EL-1.73	N17° W/58° NE	7
	36.22	EL-5.42	N15° W/71° NE	6
	36.77	EL-5.65	N12° E/57° SE	13
	44.19	EL-8.79	N34° W/89° NE	4
	44.46	EL-8.90	N44° W/76° NE	4
	56.18	EL-13.85	N61° W/86° SW	11
G-3.8-65	105.83	EL-34.84	N1° E/88° NW	5
	44.78	EL-29.64	N62° W/86° NE	4
	46.31	EL-31.03	N52° W/87° NE	9
	63.28	EL-46.41	N11° E/73° SE	4
	72.80	EL-55.04	N13° W/79° NE	12
G'-1.5-30	122.66	EL-100.23	N20° E/57° SE	16
	47.80	EL-19.25	N16° E/77° SE	8
	65.67	EL-28.19	N31° W/74° NE	7

・抽出した破砕部の性状については、[補足資料2.4-1\(2\)\(3\)](#)、ボーリング柱状図等は、[データ集1, 2, 3](#)



---

補足資料2. 4－1

破碎部性状一覽表

---

(1) S-1～B-3の性状一覧表